

# 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会 分科会の取り組み

- ① みずべプロムナードネットワーク
- ② 水辺の賑わい創出
- ③ 水辺の生態系保全再生・ネットワーク
- ④ 流域水環境再生／統合的流域管理に関する検討



琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

## みずべプロムナードネットワーク分科会

平成24年度及び平成25年度の取り組み

### ■平成24年度活動報告および平成25年度活動方針（案）

○みずべプロムナード整備状況

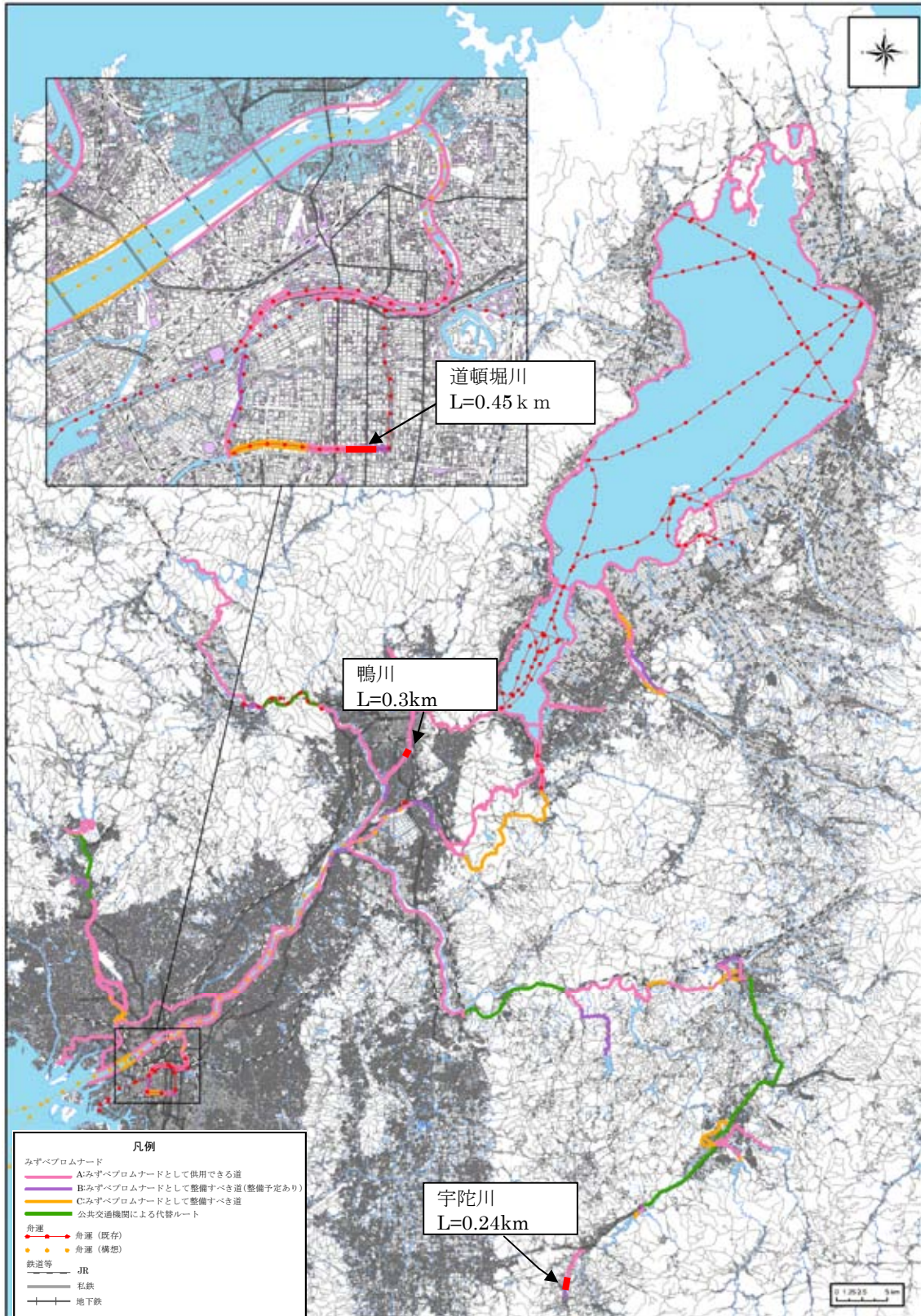
○ネットワークの構築

- ・プロムナード点検
- ・推奨プロムナードルートとりまとめ
- ・流域圏のたからもの

○取り組み事例集

○平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針（総括）

みずべプロムナードネットワーク整備状況図(平成 24 年 8 月時点)



# プロムナード整備状況整理表(平成 24 年度 8 月時点)

総延長 670.778  
 H24.8月まで供用済 609.285 + 0.75 = 610.035  
 整備率 610.035 ÷ 670.778 = 90.9%

番号	①担当機関名	②プロムナード区間		④整備進捗状況(延長:km)				⑤整備予定ありについて(平成24年8月時点)				備考 (C:整備未定の区間について、代替案の考え方を示す)	
		名称	③全体延長 (km)		④の内訳				H24年度供用済延長		H25年度供用済 予定延長		H26年度以降供 用済予定延長
			区間	延長	A.みずべ プロムナードと 併用可能な区 間+整備未 定区間の延長 (平成24 年度実績)	B.みずべ プロムナード として整備す べき区間 (整備未定 あり)	C.みずべ プロムナード として整備す べき区間 (整備未定 あり)	D.みずべ プロムナード として整備す べき区間 (整備未定 あり)	H24年4月～H24 年8月における 供用済延長	H24年9月～ H25年3月にお ける供用済予 定延長			
合計				670.778	609.285	16.563	44.93	0.75					
1	近畿地方整備局 淀川河川事務所	淀川本川	嵐山 竹生 木津	淀川河口	116.86	112.86	(7.8)	4					ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
2	大阪府	神崎川沿い	江口橋	西島橋	19.44	19.44	—	—					
3	大阪府	毛馬～中之島	毛馬橋	大津市中 央部市 境	13.78	13.78	—	—					
3-1	大阪府	水津川遊歩空間	昭和橋	大正橋	1.823	0.50	1.32	—	0	0	0	1.32	
3-2	大阪府	菅島川沿岸	水島橋	天神橋	0.8	0.00	0.80	—	0	0.4	0	0.4	
4	大阪市	道頓堀川	上大石橋	天神橋 河口	5.4	1.36	0.67	3.37	0.45	0.22	0	0	ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
5	京都府	天ヶ瀬ダム周辺 (東海自然歩道)	宇治 野風橋	野風橋	23.9	23.9	—	—					
6-1	奈良県	藤田川	藤田川 橋	野風橋 (東橋)	7.54	—	—	7.54					ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
6-2	奈良県	藤田川	菅原大橋 (東橋)	鳥橋	2.16	—	—	2.16					ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
6-3	奈良県	藤田川(東海自然歩 道)	石山寺	鳥橋	5.3	5.3	—	—					
7-1	近畿地方整備局 淀川河川事務所	藤田川洗堰周辺	藤田川	藤田川	10	10.0	—	—					ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
8	京都府	鴨川	蹴上全高 点	大堰橋 自 動車道 西点	35	28.6	6.4	—	0.3	1.5	1	3.6	
9	京都市	琵琶湖疏水①	大津市界 (山科区)	川邊沖島 (左宮区)	8.4	7.9	—	0.5					琵琶湖疏水のトンネル区間 については、本道のプロムナ ードとして整備することは困難 であるため、中心を有する生 活圏をルートとしている。生 活圏であることから積極的に 整備していくことは考えら れず、未整備区間として後 進づけている。
10	大津市	琵琶湖疏水②			3.35	3.35	—	—					
11	奈良県	琵琶湖湖底	藤田橋	藤田橋	193	193	—	—					
			大宮	金兵庫一 郎	12.07	12.07	—	—					
			下余兵	木之本10 区(旧)	0	(3.82)	—	—					
			木之本10	大宮(旧)	0	(0.85)	—	—					
			下余兵	金兵庫一 郎	0	(7.4)	—	—					
			大宮	新橋	21.2	21.2	—	—					
			長命寺	大宮	8.3	8.3	—	—					
			近江大橋		2.9	2.9	—	—					
			琵琶湖大橋		1.995	1.995	—	—					
12	近畿地方整備局 淀川河川事務所	野洲川	野洲川	野洲川河 口	22	22	—	—					
13	奈良県	藤津川	藤津川	藤津川河 口	11	11	—	—					
14	兵庫県	巨峰周辺	神崎大橋	巨峰の森 中央緑地	10.3	10.3	—	—					
15	近畿地方整備局 淀川河川事務所	藤名川	藤名川	神崎川河 口	38.1	32.7	0.4	5	0	0.4	0	0	ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
16	兵庫県	多田周辺			4.4	—	—	0.3					ネットワーク化に向けては、 公共交通機関による代替が相 応しい。
			藤崎	こんにゃ く橋				1.8	0	0	0	1.8	
				こんにゃ く橋	御社橋			1.8	0	0	0	1.8	
				御社橋	多田大橋			0.5	0	0.5	0	0	
17	近畿地方整備局 淀川河川事務所	一瀬ダム周辺	目成中央 駅	一瀬ダム 周辺	7	7	—	—					
18	京都府	桂川	日宮ダム	坊ノ島田 駅	25.5	23.2	2.3	—	0	0		未定	
19	京都府	天保川(東海自然歩 道)	R103	高宮渡 野風橋	13.6	13.6	—	—					
			中野ダム(東海自然歩 道)	高宮渡 野風橋	3.1	3.1	—	—					
20	奈良県	春日ダム周辺	春日ダム	野風橋	8	—	0.4	7.6	0	0	0	0.4	ネットワーク化に向けては、 公共交通機関による代替が相 応しい。
21	三重県	鳥ヶ原	鳥ヶ原村 山宮	上野市 朝長田橋	8.8	4.0	—	4.8					ネットワーク化に向けては、 公共交通機関による代替が相 応しい。
22	近畿地方整備局 淀川河川事務所	上野周辺			6.7	5.2	(2.8)	1.5					ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
23	近畿地方整備局 淀川河川事務所	名張周辺			7.1	—	—	7.1					ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
24	三重県	土家知ダム	近鉄 名張駅	土家知ダ ム	7.8	7.8	—	—					
25	三重県	青蓮寺ダム	近鉄 青蓮寺駅	青蓮寺ダ ム	3.3	2.7	—	0.6					公共交通機関の状況から、代 替ルート案は困難。
26	奈良県	聖生ダム	聖生ダム	近鉄日本橋 聖生口野 駅	0.86	0.23	0.17	0.46	0	0	0	0.17	ネットワーク化に向けては、 迂回ルートなど代替ルートの 設定が相応しい。
27	奈良県	甲陀川の堤防遊歩道	野原寺橋 藤原寺野 道	大寺院内 部	1.85	1.11	0.74	—	0.24	0	0	0.5	

今後の予定 ・ネットワーク構築に向け、未整備となっている区間の整備を進める。  
 ・整備状況を更新してとりまとめ、HPで公表する。

## ～「木津川上流散策ウォーク」を開催しました～

主 催：琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

開催日時：平成24年11月16日(金) 10:00～16:00

総参加者：約40名

行程概要：木津川～布目川～潜没橋～やまなみホール～高山ダム～岩倉峡公園

流域住民の方と一緒に水源地を訪れ、水源施設や水源地の状況を視察し水の大切さを再認識するとともに、水辺周辺のプロムナードの写真を撮りながら散策し、コースの概要や周辺にある魅力を確認しました。なお、河川レンジャーの方にボランティアガイドを行っていただきました。

今回いただいた意見を参考に、利活用を促進するためのガイドマップを作成します。

### 水源地探訪



高山ダムを視察しました。



ダムの役割や環境の取組みの説明を受けました。



高山ダムの堤体内まで視察しました。



参加者全員で堤体を背景に記念撮影をしました。

木津川上流散策路ウォーク



笠置駅を出発。



笠置水辺の楽校を視察しガイドを受けました。



木津川の景色を眺めながら散策している様子。



木津川に沿うJR関西本線の傍を散策している様子。



布目川に沿って散策している様子。



布目川甌穴群のガイドを受けました。



木津川の潜没橋を散策している様子。



南山城村かわまちづくりを視察しガイドを受けました。



水と自然と歴史に出会える道

笠置・伊賀地域の人の暮らしと文化、そして、アザヒの清流が流れる「水」の歴史をテーマにした散策ルートでは、笠置から伊賀上野駅までの約10kmの距離を、水と自然と歴史に出会える道として、散策ルートに設定しています。散策ルートには、水と自然と歴史に出会える道として、散策ルートに設定しています。

お問い合わせ先  
bwaiko.yodogawa@nkt.go.jp



**ガイドマップの作成にあたり、期望したい情報を把握してください。**

【記載要領】 下記の項目を参考に該当すると思われる項目をマップの該当場所に番号で記載してください。

- ① 分かれ道等で迷いやすい箇所、詳細な案内情報の掲載が望ましい箇所
- ② 散策する際に、安全上では注意すべきと思われる箇所、その情報の記載が望ましい箇所
- ③ 散策コース案内の観点として、ガイドマップに掲載することが望ましい箇所
- ④ 散策路周辺の魅力として、この地図マップに記載しているもので、ガイドマップへの掲載が不要な箇所

**水津川周辺 散策ウォーク 点検用マップ**

このマップの大きさ、読み方、マップ固有の文字の大きさ、色やフォント、掲載順、マップに掲載したい情報記事など自由に記載ください。

今回のウォークイベントにご参加いただいたり感想を自由に記載ください。

**参加者氏名**

<p><b>1. 笠置城跡</b></p> <p>笠置城跡は、天守閣が残り、その雄姿が今も残っています。城跡には、石垣や土塁が残り、その雄姿が今も残っています。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>2. 笠置山自然公園</b></p> <p>笠置山自然公園は、笠置山の自然を堪能できるスポットです。自然の美しさを堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>3. 水津川の清流</b></p> <p>水津川の清流は、笠置地域の貴重な自然資源です。清流の美しさを堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>4. 水津川の歴史</b></p> <p>水津川の歴史は、笠置地域の重要な歴史です。水津川の歴史を堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>5. 水津川の文化</b></p> <p>水津川の文化は、笠置地域の重要な文化です。水津川の文化を堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>6. 水津川の自然</b></p> <p>水津川の自然は、笠置地域の貴重な自然資源です。自然の美しさを堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>7. 水津川の歴史</b></p> <p>水津川の歴史は、笠置地域の重要な歴史です。水津川の歴史を堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>8. 水津川の文化</b></p> <p>水津川の文化は、笠置地域の重要な文化です。水津川の文化を堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>9. 水津川の自然</b></p> <p>水津川の自然は、笠置地域の貴重な自然資源です。自然の美しさを堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>	<p><b>10. 水津川の歴史</b></p> <p>水津川の歴史は、笠置地域の重要な歴史です。水津川の歴史を堪能できるスポットです。</p> <p>(A)(B)</p>
--	---	---	---	---	---	---	---	---	--

## [参考]

## 参加者からの声

今回の企画に参加した一般住民の方からいただいた感想をいくつか紹介します。

### 参加者の声

近くに住んでいながら、このように素晴らしい所があったとは嬉しく思いました。高山ダムは以前見学しましたが、岩倉峡は初めてで感動しました。途中の説明も良かったです。

### 参加者の声

川やダム見学、岩倉峡等 いろいろな場所を見学できてとっても有意義でした。前半の木津川沿いのウォーキングは少しペースが早かったです。説明を聞くか写真を自分のペースで撮るか迷いました。しかしながら全体的にとっても楽しく散策できました。  
スタッフの皆様には感謝します。

### 参加者の声

なかなか知らなかった所に素晴らしい場所があったのでよかった。  
又ぜひ来たいと思いました。ありがとうございました。

### 参加者の声

見所一杯のコースで私達の歩こう会（月一回）でも説明？を忘れないうち  
に是非歩きたいと思います。  
ありがとうございました。

### 参加者の声

水の流れと自然の美しさに、又、季節もよく参加出来て良かったです。  
まだまだ色んなところを見せてもらってありがとうございました。

# 利活用推奨プロムナード一覧

平成25年1月10日現在

No.	府県	担当		ルート名	延長	起点	終点	見どころ	河川名	テーマ	今後の活用
1	京都府	京都府	H22年度	京都八幡木津自転車道線	約45km	渡月橋右岸 阪急嵐山	泉大橋左岸 JR木津	嵐山公園、淀川河川公園(背割堤)、流れ橋	桂川、木津川	公園、自然観察、歴史、桜、紅葉	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ
2	京都府	京都府	H22年度	宇治川散策ルート	約8km	宇治橋 京阪宇治	天ヶ瀬ダム	宇治公園、塔の島、平等院、天ヶ瀬ダム、宇治上神社、宇治橋、太閤堤跡、天ヶ瀬森林公園、天ヶ瀬ダム、旧志津川発電所	宇治川	源氏物語、桜、紅葉	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 ※宇治川散策ルートとしてのマップはないが、宇治川周辺のマップはある。
3	京都府 滋賀県	近畿地方整備局	H22年度	琵琶湖疏水周辺大津～銀閣寺疏水ルート	約16km	銀閣寺 地下鉄蹴上	JR大津	銀閣寺、水路閣、三井寺	琵琶湖疏水	桜、歴史遺産	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 みずべプロムナードGuideMap「琵琶湖疏水周辺大津～銀閣寺疏水ルート」
4	滋賀県	近畿地方整備局	H22年度	瀬田川散策路ルート	約20km	近江大橋 京阪膳所本町	近江大橋 JR瀬田	石山寺、瀬田唐橋、檜山神社、瀬田川洗堰、立木観音	瀬田川	紅葉、歴史	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 瀬田川てくてくマップ
5	三重県	近畿地方整備局	H22年度	名張川周辺赤目口～名張市街地散策ルート	約6km	名張市安部田 近鉄赤目口	名張市新町 近鉄名張	名張市街地、兵頭の瀬、やなせ宿	宇陀川	紅葉、歴史	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 みずべプロムナードGuideMap「名張川周辺赤目口～名張市街地散策ルート」
6	京都府	京都市	H22年度	京都堀川ルート	約5km	地下鉄 鞍馬口	地下鉄 二条城前駅	京の七夕、元離宮二条城、一条戻橋、市電橋台跡、清明神社、西陣織会館	堀川	京の七夕	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
7	京都府	京都市	H22年度	高瀬川ルート	約2km	木屋町二条 地下鉄京都市役所前	木屋町五条 京阪清水五条	池田屋跡、坂本龍馬遭難の碑	高瀬川	幕末、桜	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
8	大阪府	大阪府	H22年度	長瀬川・玉串川ルート	約20km	柏原市上市 JR柏原	東大阪市玉串 JR放出	大和川治水公園、二番取水樋(有形文化財)、長瀬川水生植物帯、玉串川の桜並木	長瀬川	桜、旧大和川	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
9	大阪府	大阪府	H23年度	神崎川水とみどりのふれあい広場	約2km	東淀川区相川1丁目	北江口4丁目		神崎川		ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
10	大阪府	枚方市	H22年度	ひらかた(歴史街道・淀川水辺)コース	約4km	枚方新町 京阪枚方市	枚方市堤町 京阪枚方公園	ひらかた水辺公園、枚方宿、枚方宿歴史資料館、天野川遊歩道、水面通廊、淀川舟運イベント、ひらかた菊フェスティバル、ひらかたハーブマラソン、枚方シヤス ストリート、枚方くらわんか五六市	淀川	水辺散策、旧街道との組み合わせ	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 枚方宿まちあるき散策地図
11	京都府	京都府	H22年度	濠川・宇治川派流ルート	約3km	伏見区三軒 京阪中書島	伏見区平戸 京阪中書島	十石舟、三十石船、壕川・宇治川派流ライトアップ、伏見万灯流し、日本酒まつり、伏見港、寺田屋、御香宮	濠川・宇治川派流	舟運、公園	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
12	京都府	京都府	H22年度	鴨川ルート	約17km	北区上賀茂 地下鉄北大路	伏見区下鳥羽 叡電修学院	上賀茂、下鴨神社、府立植物園	鴨川	桜、紅葉、納涼床	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 かもがわマップ
13	大阪府	近畿地方整備局	H22年度	淀川舟運ルート～蘇れ!! 淀川の舟運～	約21km	八軒家 京阪天満橋	枚方公園 京阪枚方市	橋梁、ワンド、毛馬開門	淀川、大川	桜、紅葉	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 淀川舟運ウチケマップ
14	大阪府 京都府	近畿地方整備局	H22年度	淀川(淀～枚方)ルート	約16km	淀 京阪淀	枚方公園 京阪枚方市	背割堤公園、岩清水八幡宮、枚方公園	淀川	桜、ワンド	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 みずべ遊歩BOOK(淀～枚方)
15	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H23年度	芥川里山散策ルート	約15km	高槻市榎田地区	高槻 JR高槻	摂津峡、神峰山寺、旧芥川宿	芥川	里山、水辺景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
16	滋賀県 京都府	近畿地方整備局	H23年度	白川周辺 北白川～祇園散策ルート	約18km	大津市 JR大津京	京都市 京阪祇園四条	沈砂地、法然院、哲学の道、疏水インクライン、水路閣、祇園の街並み、琵琶湖疏水記念館など	白川	自然景観、歴史、土木遺産、街並み	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 みずべプロムナードGuideMap「白川周辺北白川～祇園散策ルート」
17	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H22年度	宇治川-淀川散策ルート	約16km	京阪中書島	京阪樟葉	三瀬開門、背割堤公園	淀川	桜、歴史遺産	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
18	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H22年度	木津川-淀川散策ルート	約13km	近鉄久津川	京阪樟葉	流れ橋、石清水八幡宮、ワンド	淀川、木津川	桜、紅葉、自然観察	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称

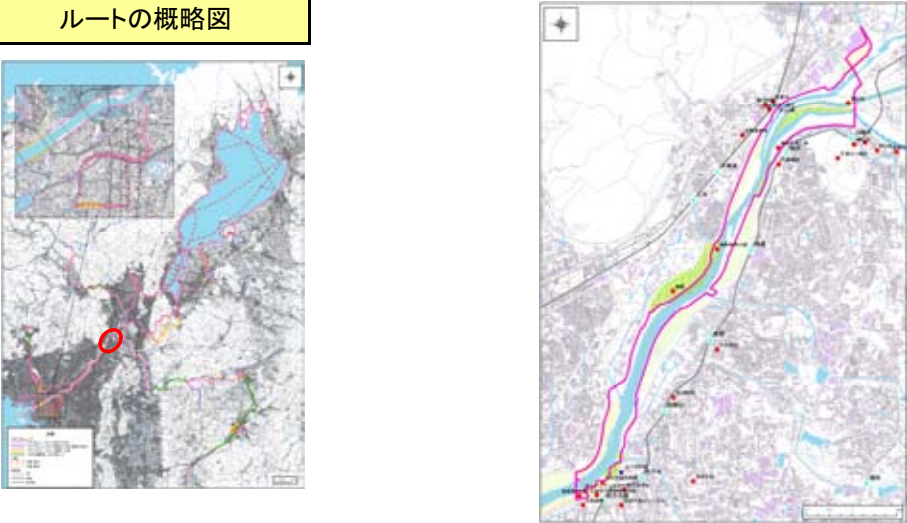
No.	府県	担当		ルート名	延長	起点	終点	見どころ	河川名	テーマ	今後の活用
19	京都府	京都府	H23年度	大谷川散策ルート	約1.2km	京阪八幡	京阪八幡	石清水八幡宮、男山ケーブル、淀川河川公園背割堤地区	大谷川	憩い、水遊び、自然景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
20	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H22年度	淀川右岸散策ルート	約16km	JR高槻	阪急大山崎	河川公園、鶴殿	淀川	公園、自然観察	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
21	滋賀県 京都府	近畿地方整備局	H22年度	瀬田川・宇治川散策ルート	約25km	京阪石山寺	京阪宇治	石山寺、塔の島	瀬田川、宇治川	桜、紅葉、自然観察	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
22	大阪府 兵庫県	近畿地方整備局	H22年度	猪名川一庫ダム散策ルート	約18km	能勢電日生中央	阪急池田	一庫ダム、多田神社、五月山	猪名川	桜、紅葉、歴史	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
23	大阪府 兵庫県	近畿地方整備局	H22年度	猪名川・藻川散策ルート	約8km	阪急園田	JR伊丹	尼崎市農業公園、大阪空港	猪名川	自然観察	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
24	大阪府 兵庫県	近畿地方整備局	H23年度	木津川(月ヶ瀬～笠置大橋)ルート	約14km	JR月ヶ瀬駅	JR笠置駅	笠置キャンプ場、水辺の楽校、月ヶ瀬湖、月ヶ瀬梅林、夢絃峡、高山ダムなど	木津川	自然観察、土木施設	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
25	京都府 三重県	近畿地方整備局	H22年度	木津川上流散策ルート	約27km	JR笠置駅	JR伊賀上野	布目川區穴、高山ダム、岩倉峡	木津川	桜、紅葉、土木施設	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 (みずべプロムナードGuideMap作成予定)
26	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H24年度	淀川三川合流域 淀川河川敷ロングルート	約30km	淀川河川公園背割堤地区	淀川河川公園背割堤地区	樟葉ワンド、鶴殿のヨシ原、枚方宿鍵屋資料館	淀川・宇治川・桂川・木津川	ワンド、ヨシ原、水辺景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
27	京都府	近畿地方整備局	H24年度	淀川三川合流域 大山崎・淀ルート	約12km	淀川河川公園背割堤地区	淀川河川公園背割堤地区	背割堤七たまつり、桜のトンネル、淀川河川公園背割堤地区	淀川・宇治川・桂川・木津川	桜並木、水辺景観、歴史	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
28	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H24年度	淀川三川合流域 大山崎ルート	約13km	淀川河川公園背割堤地区	淀川河川公園背割堤地区	背割堤七たまつり、水無瀬神宮	淀川・宇治川・桂川・木津川	桜並木、水辺景観、歴史	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
29	京都府	近畿地方整備局	H24年度	淀川三川合流域 淀ルート	約15km	淀川河川公園背割堤地区	淀川河川公園背割堤地区	伏見の御香水、淀城跡、東一口集落	淀川・宇治川・桂川・木津川	歴史、水辺景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
30	滋賀県	大津市	H24年度	蓬萊～近江舞子ルート	約9km	大津市八屋	大津市南小松	琵琶湖八景「涼風・雄松崎の白汀」、近江舞子内湖、志賀清林の碑	琵琶湖	湖岸風景、憩い	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称
31	滋賀県	滋賀県	H24年度	琵琶湖周遊ルート	約205km	琵琶湖一周	琵琶湖一周	針江の生水、旧南郷洗堰、石山寺	琵琶湖	湖岸景観、自然、憩い	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
32	滋賀県	滋賀県	H24年度	長浜鉄道スクエア～国宝彦根城ルート	約13.4km	長浜鉄道スクエア	彦根城	居醒の清水、豊公園、河内風穴	琵琶湖	自然、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
33	滋賀県	滋賀県	H24年度	国宝彦根城～柳川緑地公園バス停ルート	約11.7km	国宝彦根城	柳川緑地公園バス停	彦根城、十王村の水、芹川のけやき並木	琵琶湖	歴史、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
34	滋賀県	滋賀県	H24年度	柳川緑地公園バス停～長命寺町交差点ルート	約16.8km	柳川緑地公園バス停	長命寺町交差点	沖島、安土城、伊崎寺、長命寺	琵琶湖	内湖、歴史	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
35	滋賀県	滋賀県	H24年度	長命寺町交差点～野洲川河口ルート	約11.4km	長命寺町交差点	野洲川河口	近江八幡の水郷、長命寺、日牟禮八幡宮	琵琶湖	水郷、歴史、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
36	滋賀県	滋賀県	H24年度	野洲川河口～琵琶湖博物館ルート	約12.1km	野洲川河口	琵琶湖博物館	守山市鳩の森公園の源氏蛸、草津市立水生植物公園みずの森、琵琶湖博物館	琵琶湖	湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
37	滋賀県	滋賀県	H24年度	琵琶湖博物館～大津港ルート	約20.8km	琵琶湖博物館	大津港	石場津の常夜燈、瀬田の唐橋、建部大社	琵琶湖	湖岸景観、憩い	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
38	滋賀県	滋賀県	H24年度	大津港～JRおごと温泉駅ルート	約15.5km	大津港	JRおごと温泉駅	唐崎の松、柳が崎浄水場、比叡山延暦寺	琵琶湖	自然、土木施設、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)
39	滋賀県	滋賀県	H24年度	JRおごと温泉駅～JR志賀駅ルート	約16.7km	JRおごと温泉駅	JR志賀駅	浮御堂、独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	琵琶湖	歴史、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ピウイチマップ(ピウイチ観光ウォーキングマップ)

No.	府県	担当		ルート名	延長	起点	終点	見どころ	河川名	テーマ	今後の活用
40	滋賀県	滋賀県	H24年度	JR志賀駅～JR近江高島駅ルート	約16.6km	JR志賀駅	JR近江高島駅	白髭神社、雄松崎、近江舞子水泳場	琵琶湖	水遊び、湖岸景観、歴史	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
41	滋賀県	滋賀県	H24年度	JR近江高島駅～琵琶湖周航の歌資料館ルート	約17.7km	JR近江高島駅	琵琶湖周航の歌資料館	針江の生水、大溝～乙女ヶ池と水路がめぐる城下町～、滋賀県立朽木いきものふれあいの里センター	琵琶湖	歴史的街並み、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
42	滋賀県	滋賀県	H24年度	琵琶湖周航の歌資料館～JR近江中庄駅ルート	約6.0km	琵琶湖周航の歌資料館	JR近江中庄駅	新旭水鳥観察センター、琵琶湖周航の歌資料館	琵琶湖	自然、湖岸景観、水遊び	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
43	滋賀県	滋賀県	H24年度	JR近江中庄駅～JR永原駅ルート	約14.4km	JR近江中庄駅	JR永原駅	海津・西浜・知内の水辺景観、海津海峡、海津大崎の桜	琵琶湖	水遊び、湖岸景観、桜	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
44	滋賀県	滋賀県	H24年度	JR永原駅～道の駅湖北みずどりステーションルート	約20.1km	JR永原駅	道の駅湖北みずどりステーション	余呉湖、邦楽器系の里、丸子船	琵琶湖	歴史、自然、湖岸景観	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
45	滋賀県	滋賀県	H24年度	道の駅湖北みずどりステーション～長浜鉄道スクエアルート	約11.9km	道の駅湖北みずどりステーション	長浜鉄道スクエア	竹生島、堂来清水、旧長浜駅舎	琵琶湖	湖岸景観、歴史	ガイドマップ等の有無 有 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
46	大阪府 兵庫県	近畿地方整備局	H24年度	園田～大阪国際空港(箕面川コース)	約10km	阪急園田駅	大阪国際空港	伊丹スカイパーク、下河原緑地・エアフロントオアシス下河原	箕面川	歴史、水辺景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
47	大阪府 兵庫県	近畿地方整備局	H24年度	園田～大阪国際空港(千里川コース)	約9km	阪急園田駅	大阪国際空港	田能遺跡	千里川	歴史、水辺景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
48	京都府 大阪府	近畿地方整備局	H24年度	淀川三川合流域八幡・楠葉ルート	約12km	淀川河川公園背割堤地区	淀川河川公園背割堤地区	樟葉ワンド、石清水八幡、松華堂庭園	淀川・宇治川・桂川・木津川	水辺景観、歴史	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
49	京都府	近畿地方整備局	H24年度	淀川三川合流域八幡ルート	約15km	淀川河川公園背割堤地区	淀川河川公園背割堤地区	背割堤七たまつり、石清水八幡、松華堂庭園、上津屋橋(流れ橋)	淀川・宇治川・桂川・木津川	桜並木、歴史	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称
50	奈良県	琵琶湖・淀川流域圏再生協議会	H24年度	宇陀川散策ルート	約8km	近鉄榛原駅	近鉄榛原駅	宇陀川の桜並木、宇陀水分神社	淀川・宇治川・桂川・木津川	桜並木、水辺景観	ガイドマップ等の有無 無 ガイドマップ等の名称 ガイドマップ等の名称

推奨ルート名	淀川三川合流域 淀川河川敷ロングルート	最寄駅	京阪(八幡市駅)
起終点	背割堤地区	延長	約30km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地) 平地		
淀川の自然を感じながら、爽快なサイクリングを楽しむロングルート。			

ランダム情報	周辺のとからもの
背割堤地区を起終点として、淀川河川敷、枚方大橋などを巡るルート。	<p>&lt;歴史・文化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背割堤七夕まつり(たからもの京-023)、枚方宿鍵屋資料館(たからもの大-001)、枚方宿(たからもの大-002)</li> </ul> <p>&lt;賑わい施設・イベント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜のトンネル(たからもの京-003)、淀川河川公園背割堤地区(たからもの京-022)、恋人たちの聖地 天野川遊歩道(たからもの大-003)、水面廻廊(たからもの大-005)、ひらかた菊フェスティバル(たからもの大-006)、新春走ろうかい ひらかたハーフマラソン(たからもの大-007)、ひらかた水辺公園(たからもの大-008)、枚方宿ジャズストリート(たからもの大-009)、枚方宿くらわんか五六市(たからもの大-010)、磯島取水口(たからもの大-018)、枚方大橋(たからもの大-019)、枚方水管橋(たからもの大-020)</li> </ul> <p>&lt;自然&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樟葉ワンド(たからもの大-016)</li> </ul>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用


ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真

推奨ルート名	淀川三川合流域 大山崎・淀ルート	最寄駅	京阪(八幡市駅)
起終点	背割堤地区	延長	約12km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
天王山麓の寺社と旧淀町の史跡を巡るルート。			

ランダム情報	背割堤地区を起終点として、離宮八幡宮、淀城跡、浜納屋などを巡るルート。	周辺のたからもの	〈歴史・文化〉 ・背割堤七夕まつり(たからもの京-023)  〈賑わい施設・イベント〉 ・桜のトンネル(たからもの京-003)、淀川河川公園背割堤地区(たからもの京-022) 〈自然〉
--------	-------------------------------------	----------	---

ルート利用手段	徒歩・自転車	利用状況	日常的な沿線住民、観光客の利用
---------	--------	------	-----------------

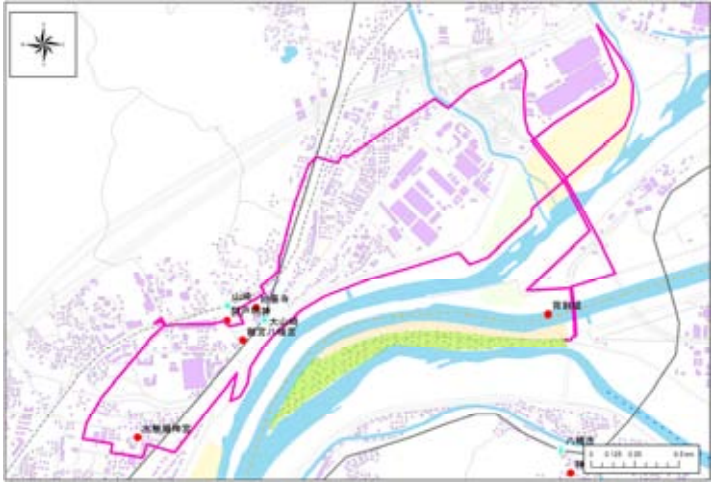
ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真		
	離宮八幡宮	淀川河川公園背割堤地区

推奨ルート名	淀川三川合流域 大山崎ルート	最寄駅	京阪(八幡市駅)
起終点	背割堤地区	延長	約13km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地) 平地		
東海道新幹線や名神高速道路が通り、交通の要所にありながらも、歴史のある閑静な街大山崎。古くから豊富な「水」にちなんだ名所を巡るルート。			

ランダム情報	周辺のとからもの
背割堤地区を起終点として、サントリー山崎蒸留所、水無瀬神宮などを巡るルート。	〈歴史・文化〉 ・石清水八幡(たからもの京-021)、背割堤七夕まつり(たからもの京-023) 〈賑わい施設・イベント〉 ・桜のトンネル(たからもの京-003)、エジソン碑(たからもの京-020)、淀川河川公園背割堤地区(たからもの京-022)、大谷川(たからもの京-039) 〈自然〉

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

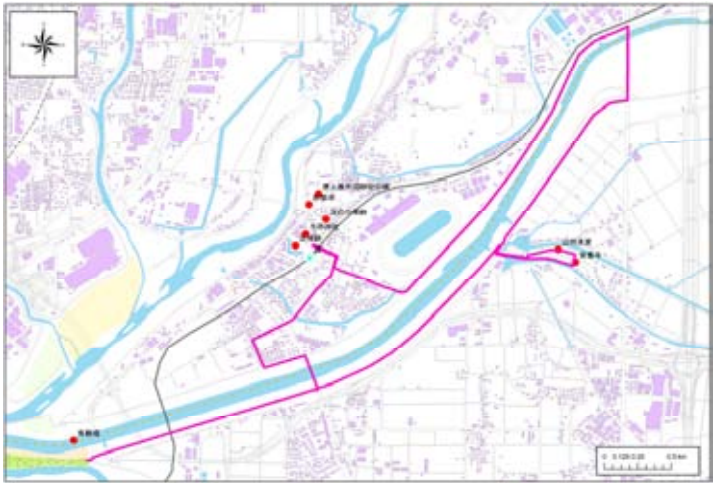
ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真		
	サントリー山崎蒸溜所	水無瀬神宮

推奨ルート名	淀川三川合流域 淀ルート	最寄駅	京阪(八幡市駅)
起終点	背割堤地区	延長	約15km
プロムナードの概要等		地勢(山間・平地)	平地
宇治川、桂川に挟まれた城下町、淀を巡るルート。壮大な山田家長屋門は、かつて京都一の湖だった巨椋池の漁業の繁栄振りが感じられます。			

ランダム情報	周辺のとからもの
背割堤地区を起終点として、山田家長屋門、淀城跡公園、などを巡るルート。	<歴史・文化> ・日本酒まつり(たからもの京-011)  <賑わい施設・イベント> ・三栖閘門資料館(たからもの京-032) <自然> ・伏見の御香水(たからもの京-024)

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真		
	山田家長屋門(東一口集落)	淀城跡・與杼神社

推奨ルート名	蓬萊－近江舞子ルート	最寄駅	JR湖西線(近江舞子駅、比良駅、志賀駅)
--------	------------	-----	----------------------

起終点	大津市八屋戸～大津市南小松	延長	約9km
-----	---------------	----	------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地、一部に山間区間
------------	-----------	------------

大津市の志賀地域の自然を楽しめるルート

<p><b>ランダム情報</b></p> <p>3kmにわたって白砂青松が続く近江舞子は、琵琶湖八景のひとつ。歩く途中に浜から見える景色も美しい。相撲行司の祖と伝えられる志賀清林の偉業を称える清林公園は、相撲をモチーフにした公園。</p>	<p><b>周辺のたからもの</b></p> <p>〈歴史・文化〉                  ・福田寺(ふくでんじ)、比良港跡、百間堤(ひゃっけんづつみ)、志賀清林(しがせいりん)の碑                  〈賑わい施設・イベント〉                  ・志賀清林パーク                  〈自然〉                  ・琵琶湖八景「涼風・雄松崎の白汀」、近江舞子内湖                  ・近江舞子水泳場、北比良水泳場、青柳浜水泳場、松の浦水泳場</p>
---	---

<p><b>ルート利用手段</b></p> <p>徒歩、自転車</p>	<p><b>利用状況</b></p> <p>日常的な沿線住民の利用</p>
-------------------------------------	---------------------------------------

**ルートの概略図**




「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」



推奨ルート名	琵琶湖周遊ルート(仮称)	最寄駅	JR湖西線、JR東海道本線、近江鉄道バス、湖国バス、帝産バス、江若バスなど
起終点	北湖・南湖を一周	延長	約205km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地、一部に山間区間
琵琶湖の北湖・南湖を1周するルート			
ランダム情報	周辺のたからもの		
湖岸沿いに歩き琵琶湖の美しさやたからものを知って味わい、琵琶湖の自然と歴史文化や人々の生活との関わりを感じながら楽しむことができる。	<歴史・文化> ・針江の生水(たからもの滋-004)、石山寺(たからもの滋-007)、旧南郷洗堰(たからもの滋-010)など ・鳥飼の渡し跡(たからもの大-041) <賑わい施設・イベント> ・海津大崎の桜(たからもの滋-024)、水のめぐみ館アควア琵琶(たからもの滋-025) <自然> ・河内風穴(たからもの滋-020) ・近江八景、琵琶湖八景		
ルート利用手段	利用状況		
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用		
ルートの概略図			
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」			
プロムナードの状況写真			
	国宝彦根城	浮御堂	

推奨ルート名	長浜鉄道スクエア～国宝彦根城ルート	最寄駅	JR東海道本線(長浜駅、田村駅、米原駅、彦根駅)、近江鉄道本線(米原駅、彦根駅)
--------	-------------------	-----	--



起終点	長浜鉄道スクエア～彦根城	延長	約13.4km
-----	--------------	----	---------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いに長浜鉄道スクエアから彦根城まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
<p>豊公園から見る対岸の夕日、竹生島の景観などを楽しみながら歩くことができます。ルートの途中には道の駅近江母の郷があります。</p>	<p>〈歴史・文化〉 ・河内風穴(たからもの滋-020)、彦根城(たからもの滋-021)</p> <p>〈賑わい施設・イベント〉 ・滋賀県醒井養鱒場(たからもの滋-011)</p> <p>〈自然〉 ・居醒の清水(たからもの滋-002)、泉神社湧水(たからもの滋-006)、豊公園(たからもの滋-018)、天野川流域のゲンジボタル(たからもの滋-056)</p>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情核、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真		
	長浜城歴史博物館	道の駅近江母の里

推奨ルート名	国宝彦根城～柳川緑地公園バス停ルート	最寄駅	JR東海道本線(彦根駅)－彦根路線バス(県立大学バス停) JR東海道本線(稲枝駅)－彦根観光バス(柳川緑地公園バス停) 近江鉄道本線(彦根駅)
--------	--------------------	-----	---


起終点	国宝彦根城～柳川緑地公園バス停	延長	約11.7km
-----	-----------------	----	---------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いに国宝彦根城から柳川緑地公園バス停まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
<p>芹川の樹齢約400年のけやき並木や、美しい多景島などを楽しみながら歩くことができます。柳川緑地公園の近くでは松並木が続いています。</p>	<p>〈歴史・文化〉 ・彦根城(たからもの滋-021)</p> <p>〈賑わい施設・イベント〉 ・柳川緑地公園、夢京橋キャスルロード</p> <p>〈自然〉 ・十王村の水(たからもの滋-005) ・芹川のけやき並木、多景島</p>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用


ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真	
国宝彦根城	夢京橋キャスルロード

推奨ルート名	柳川緑地公園バス停～長命寺町交差点ルート	最寄駅	JR東海道本線(近江八幡駅)－近江鉄道バス(長命寺バス停) JR東海道本線(能登川駅)－湖国バス(大中バス停)
起終点	柳川緑地公園バス停～長命寺町交差点	延長	約16.8km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
湖岸沿いの柳川緑地公園から伊庭内湖を経て長命寺付近まで歩くコース			

ランダム情報	周辺のたからもの
日本で唯一島民が生活する淡水湖上の沖島があります。大嶋神社・奥津嶋神社や安土城跡などを楽しみながら歩くことができます。	〈歴史・文化〉 ・安土城(たからもの滋-022)、観音寺城(たからもの滋-023)、伊崎寺(たからもの滋-032)、長命寺(たからもの滋-033)、沖島(たからもの滋-038)、水辺の集落 伊庭(たからもの滋-042) ・大嶋神社・奥津神社  〈賑わい施設・イベント〉 ・水郷めぐり、能登川水車とカヌーランド 〈自然〉

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真		
	沖島	休暇村近江八幡

推奨ルート名	長命寺町交差点～野洲川河口ルート	最寄駅	JR東海道本線(近江八幡駅)～近江鉄道バス(佐波江町バス停) JR東海道本線(野洲駅)～近江鉄道バス(あやめ浜バス停) JR東海道本線(守山駅)～近江鉄道バス(小浜町バス停)
--------	------------------	-----	---


起終点	長命寺町交差点～野洲川河口	延長	約11.4km
-----	---------------	----	---------

プロムナードの概要等		地勢(山間・平地)	平地
------------	--	-----------	----

湖岸沿いに長命寺付近から野洲川の河口付近まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
水郷で名高い近江八幡市を湖岸に沿って歩きます。白鳥川の堤防沿いには美しい桜並木があります。	<p>&lt;歴史・文化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長命寺(たからもの滋-033)、近江八幡の水郷(たからもの滋-037)</li> <li>・日牟禮八幡宮、八幡山城址、水茎岡山城跡</li> </ul> <p>&lt;賑わい施設・イベント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水郷めぐり</li> </ul> <p>&lt;自然&gt;</p>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真	 <p style="text-align: center;">マイアミ付近</p>	 <p style="text-align: center;">日野川大橋</p>
-------------	---	---

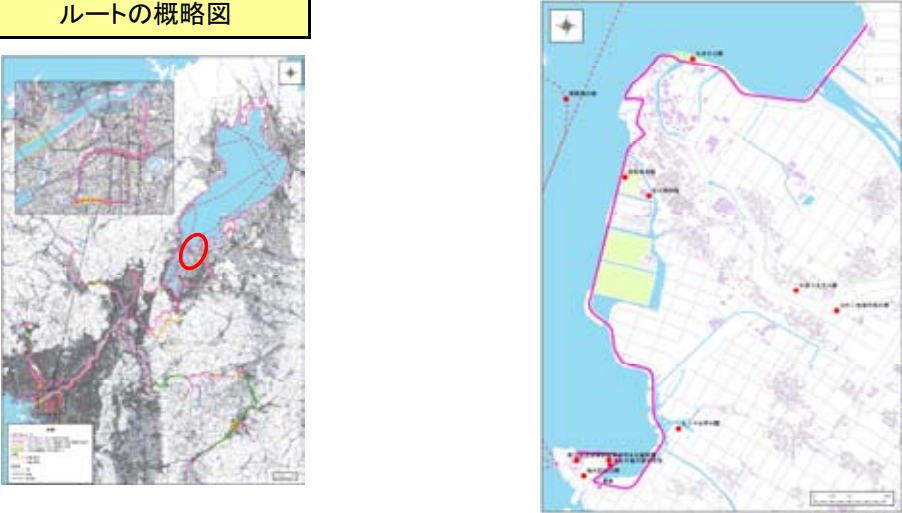
推奨ルート名	野洲川河口～琵琶湖博物館ルート	最寄駅	JR東海道本線(守山駅)～近江鉄道バス(小浜町バス停) JR東海道本線(堅田駅)～近江鉄道バス(ピエリ守山バス停) JR東海道本線(草津駅)～近江鉄道バス(琵琶湖博物館)
--------	-----------------	-----	---

起終点	野洲川河口～琵琶湖博物館	延長	約12.1km
-----	--------------	----	---------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
湖岸沿いに野洲川河口付近から琵琶湖博物館まで歩くコース		

ランダム情報	周辺のたからもの
比良、比叡山を背に、見る角度によってさまざまに変わる琵琶湖の風景を楽しみながら歩くことができます。	<p>〈歴史・文化〉</p> <p>〈賑わい施設・イベント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草津市立水生植物公園みずの森、琵琶湖博物館、道の駅草津</li> </ul> <p>〈自然〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守山市鳩の森公園の源氏蛭(たからもの滋-017)</li> </ul>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」	

プロムナードの状況写真	
さざなみ街道から琵琶湖大橋	風車(琵琶湖博物館)

推薦年度	平成24年度
------	--------

推奨ルート名	琵琶湖博物館～大津港ルート	最寄駅	JR東海道本線(草津駅)～近江鉄道バス(琵琶湖博物館前) JR東海道本線(瀬田駅、大津駅) 京阪電鉄(浜大津駅)
--------	---------------	-----	--

起終点	琵琶湖博物館～大津港	延長	約20.8km
-----	------------	----	---------



プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いに琵琶湖博物館から大津港まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
対岸の比叡山や大津の街並みが美しく、これらを楽しみながら歩くことができます。	〈歴史・文化〉 石山寺(たからもの滋-007)、瀬田の唐橋(たからもの滋-008)、建部大社(たからもの滋-009)、旧南郷洗堰(たからもの滋-010)、石場津の常夜燈(たからもの滋-045) 〈賑わい施設・イベント〉 ・大津湖岸なぎさ公園(たからもの滋-013)、柳が崎浄水場(たからもの滋-019) ・びわ湖ホール、草津市立水生植物公園みずの森、琵琶湖博物館 〈自然〉

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情模、第744号)」

プロムナードの状況写真




なぎさ公園

大津港

推奨ルート名	大津港～JRおごと温泉駅ルート	最寄駅	JR東海道本線(大津駅)、JR湖西線(比叡山坂本駅、おごと温泉駅) 京阪電気鉄道(浜大津駅、近江神宮前駅、坂本駅)
--------	-----------------	-----	--

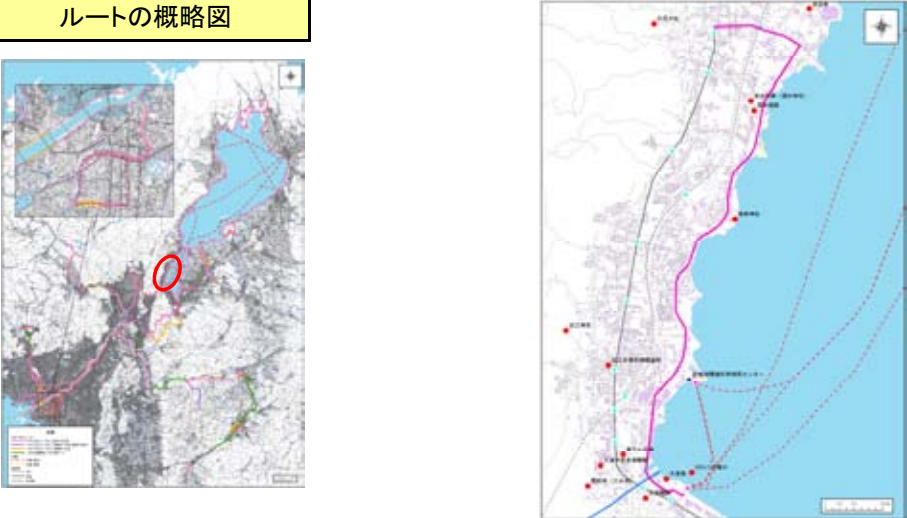
起終点	大津港～JRおごと温泉駅	延長	約15.5km
-----	--------------	----	---------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いに大津港からJRおごと温泉駅まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
大津から琵琶湖の西岸に沿って歩くコースで、世界遺産の比叡山延暦寺、三井寺(園城寺)や近江神宮などを楽しみながら歩くことができます。	<歴史・文化> ・比叡山延暦寺、三井寺(園城寺)、近江神宮  <賑わい施設・イベント> ・柳が崎浄水場(たからもの滋-019) <自然> ・唐崎の松(たからもの滋-055)

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用



ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真	
におの浜	唐崎の松

推奨ルート名	JRおごと温泉駅～JR志賀駅ルート	最寄駅	JR湖西線(おごと温泉駅、堅田駅、小野駅、蓬莱駅、志賀駅) JR湖西線(堅田駅)～近江鉄道バス(今堅田出島灯台バス停)
起終点	JRおごと温泉駅～JR志賀駅	延長	約16.7km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
琵琶湖大橋湖岸沿いにJRおごと温泉駅からJR志賀駅まで歩くコース			

ランダム情報	周辺のたからもの
浮御堂や琵琶湖大橋道の駅びわ湖大橋米プラザなどがあり、湖岸沿いでは琵琶湖の美しい景色を楽しみながら歩くことができます。	〈歴史・文化〉 ・浮御堂(たからもの滋-054) 〈賑わい施設・イベント〉 ・独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所(たからもの滋-027) 〈自然〉

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真		
	浮御堂	琵琶湖大橋

推奨ルート名	JR志賀駅～JR近江高島駅ルート	最寄駅	JR湖西線(志賀駅、比良駅、近江舞子駅、北小松駅、近江高島駅)
--------	------------------	-----	---------------------------------

起終点	JR志賀駅～JR近江高島駅	延長	約16.6km
-----	---------------	----	---------



プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いにJR志賀駅からJR近江高島駅まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
雄松崎、近江舞子水泳場には約3kmにわたって白砂青松が続く眺めはすばらしく琵琶湖八景にも「涼風・雄松崎の白汀」としてとりあげられています。延命長寿・長生きの神様として知られている白鬚神社などがあります。	<歴史・文化> ・白鬚神社(たからもの滋-034) <賑わい施設・イベント> ・雄松崎、近江舞子水泳場 <自然>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」

プロムナードの状況写真




白鬚神社

歩道のない駅前商店街

推奨ルート名	JR近江高島駅～ 琵琶湖周航の歌資料館ルート	最寄駅	JR湖西線(新旭駅)～高島市コミュニティバス(しんあさひ風車村) JR湖西線(近江今津駅、近江高島駅)
--------	---------------------------	-----	--

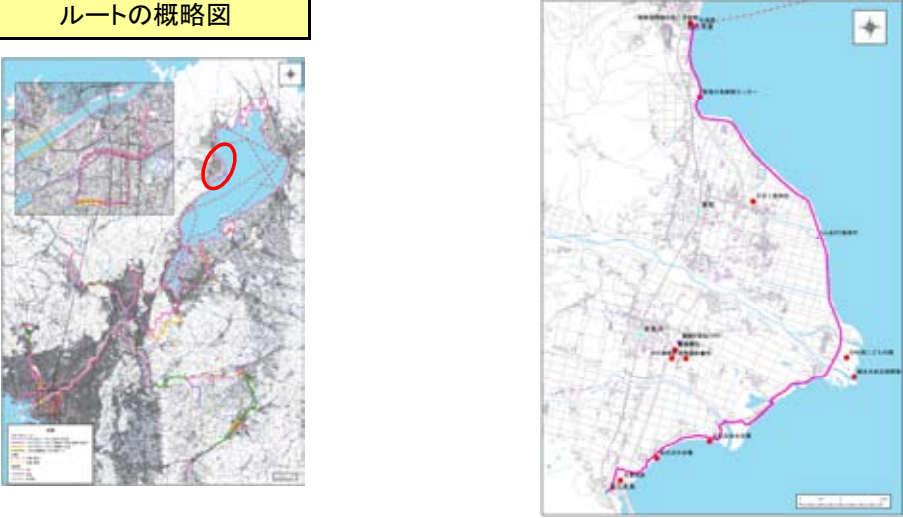
起終点	JR近江高島駅～琵琶湖周航の歌資料館	延長	約17.7km
-----	--------------------	----	---------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いにJR近江高島駅から琵琶湖周航の歌資料館まで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
新旭水鳥観察センターでは冬季に多くの水鳥を見ることができます。道の駅しんあさひ風車村ではヨーロッパ気分を満喫できます。	<p>〈歴史・文化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大溝～乙女ヶ池と水路がめぐる城下町～(たからもの滋-041)</li> </ul> <p>〈賑わい施設・イベント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県立朽木いきものふれあいの里センター(たからもの滋-026)</li> <li>・滋賀県立びわ湖こどもの国、琵琶湖周航の歌資料館</li> </ul> <p>〈自然〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針江の生水(たからもの滋-004)</li> </ul>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真	
新旭水鳥観察センター	道の駅しんあさひ風車村

推奨ルート名	琵琶湖周航の歌資料館～ JR近江中庄駅ルート	最寄駅	JR湖西線(近江今津駅、近江中庄駅)
起終点	琵琶湖周航の歌資料館～JR近江中庄駅	延長	約6.0km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
湖岸沿いに琵琶湖周航の歌資料館からJR近江中庄駅まで歩くコース			

ランダム情報	今津浜は「日本の白砂青松百選」に選定され、松並木が続いています。また、冬季には新旭水鳥観察センターで多くの水鳥を観察することができます。	周辺のたからもの	<歴史・文化> <賑わい施設・イベント> ・新旭水鳥観察センター、琵琶湖周航の歌資料館 <自然>
--------	--	----------	---

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用


ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真	
琵琶湖周航の歌資料館	今津浜

推奨ルート名	JR近江中庄駅～JR永原駅ルート	最寄駅	JR湖西線(近江中庄駅、マキノ駅、永原駅)
起終点	JR近江中庄駅～JR永原駅	延長	約14.4km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
湖岸沿いにJR近江中庄駅からJR永原駅まで歩くコース			

ランダム情報	周辺のたからもの
「日本のさくら名所100選」に選定されている海津大崎の桜並木、「快水浴場百選湖水の部特選」に選定されたマキノサニービーチ、重要文化的景観である海津・西浜・知内を楽しみながら歩くことができます。	〈歴史・文化〉 ・海津・西浜・知内の水辺景観(たからもの滋-039) 〈賑わい施設・イベント〉 ・海津大崎の桜(たからもの滋-024) 〈自然〉 ・海津海峡

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真	
海津の石積	梅津の桜並木

推薦年度	平成24年度
------	--------

推奨ルート名	JR永原駅～道の駅湖北みずどりステーションルート	最寄駅	JR湖西線(永原駅、近江塩津駅、木の本駅) JR湖西線(河毛駅)－湖北コミュニティバス(湖北みずどりステーション)
--------	--------------------------	-----	--

起終点	JR永原駅～道の駅湖北みずどりステーション	延長	約20.1km
-----	-----------------------	----	---------



プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地、一部に山間区間
------------	-----------	------------

湖岸沿いにJR永原駅から道の駅湖北みずどりステーションまで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
奥琵琶湖の神秘的な美しさや藤ヶ崎からつづらお崎方面の眺め、道の駅湖北みずどりステーションから眺める対岸の山に沈む夕日などを楽しみながら歩くことができます。	<歴史・文化> ・竹生島(たからもの滋-015)、邦楽器系の里(たからもの滋-036)、丸子船(たからもの滋-046) ・賤ヶ岳古戦場、渡岸寺観音堂(向源寺)  <賑わい施設・イベント>  <自然> ・余呉湖(たからもの滋-016)

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」

プロムナードの状況写真




道の駅塩津海道あぢかまの里

塩津浜旧道

推薦年度	平成24年度
------	--------

推奨ルート名	道の駅湖北みずどりステーション～長浜鉄道スクエアルート	最寄駅	JR湖西線(河毛駅)－湖北コミュニティバス(湖北みずどりステーション) JR北陸本線(長浜駅)
--------	-----------------------------	-----	--

起終点	道の駅湖北みずどりステーション～長浜鉄道スクエア	延長	約11.9km
-----	--------------------------	----	---------



プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

湖岸沿いに道の駅湖北みずどりステーションから長浜鉄道スクエアまで歩くコース

ランダム情報	周辺のたからもの
湖岸沿いに湖北みずどりステーションや姉川河口からの景色などを楽しみながら歩くことができます。	<歴史・文化> ・竹生島(たからもの滋-015)、旧長浜駅舎(たからもの滋-047) ・長浜城  <賑わい施設・イベント> ・田川カルバート(たからもの滋-050)、西野水道(たからもの滋-051) <自然> ・堂来清水(たからもの滋-003)

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情模、第744号)」

プロムナードの状況写真




道の駅湖北みずどりステーションより竹生島を望む      産直びわみずべの里

推奨ルート名	園田～ 大阪国際空港(箕面川コース)ルート	最寄駅	阪急(園田駅、蛍池駅)、大阪 モノレール(大阪空港駅、蛍池 駅)
--------	--------------------------	-----	--

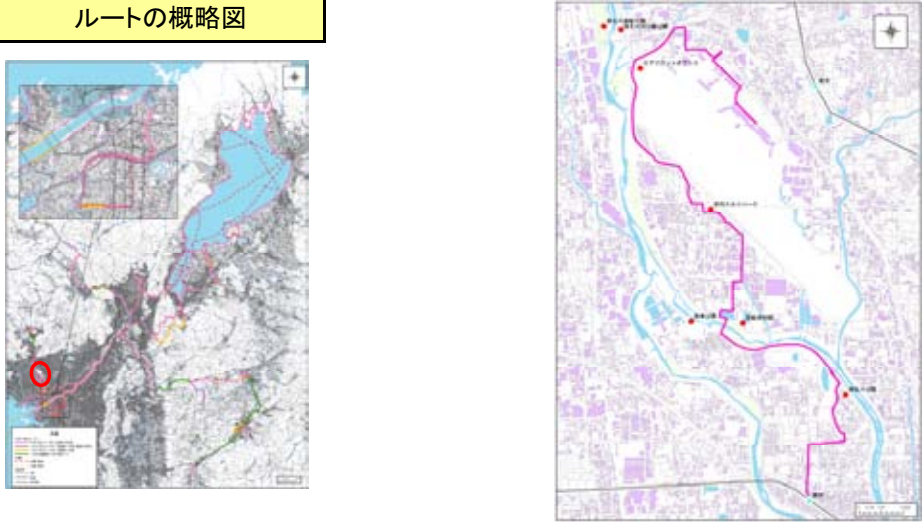
起終点	阪急園田駅～大阪国際空港	延長	約10km
-----	--------------	----	-------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

大阪国際空港に近い箕面川を楽しむコース

ランダム情報	周辺のたからもの
猪名川から大阪国際空港を周遊し、箕面川に沿って歩くコースで、川沿いの景色や航空機の迫力ある離着陸の様子を楽しむことができます。	〈歴史・文化〉 〈賑わい施設・イベント〉 ・伊丹スカイパーク(たからもの兵-006)、下河原緑地・エアフロントオアシス下河原(たからもの兵-007) 〈自然〉 ・浄源寺のイチョウ

ルート利用手段	利用状況
徒歩、自転車	日常的な沿線住民の利用

ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真

推奨ルート名	園田～ 大阪国際空港(千里川コース)ルート	最寄駅	阪急(園田駅、蛍池駅)、大阪 モノレール(大阪空港駅、蛍池 駅)
--------	--------------------------	-----	--

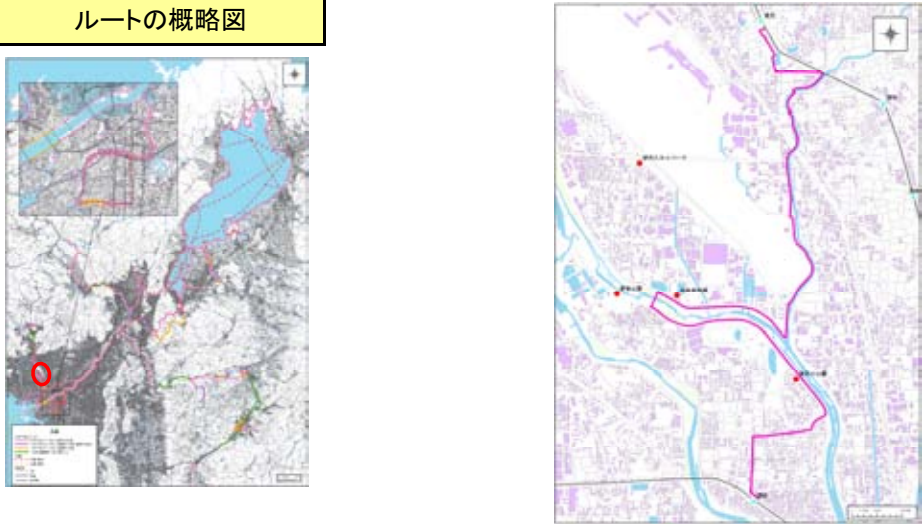
起終点	阪急園田駅～大阪国際空港	延長	約9km
-----	--------------	----	------

プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

大阪国際空港に近い千里川を楽しむコース

ランダム情報	周辺のたからもの
猪名川と千里川の2つの川に沿って歩き、遺跡や神社などの歴史にふれながら、航空機が離着陸する迫力ある姿を楽しみながら歩くことができます。	〈歴史・文化〉 ・田能遺跡(たからもの兵-005) 〈賑わい施設・イベント〉  〈自然〉

ルート利用手段	利用状況
徒歩、自転車	日常的な沿線住民の利用



ルートの概略図	
<small>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情検、第744号)」</small>	

プロムナードの状況写真

推奨ルート名	淀川三川合流域 八幡・樟葉ルート	最寄駅	京阪(八幡市駅)
起終点	背割堤地区	延長	約12km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
東高野街道・京街道沿いの名所・史跡を巡るルート。			

ランダム情報	周辺のとからもの
背割堤地区を起終点として、安居橋、松花堂庭園、楠葉東公園、交野天神社、継体天皇楠葉宮跡、楠葉台場跡などを巡るルート。	<p>〈歴史・文化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石清水八幡(たからもの京-021)、背割堤七夕まつり(たからもの京-023)</li> </ul> <p>〈賑わい施設・イベント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜のトンネル(たからもの京-003)、エジソン碑(たからもの京-020)、淀川河川公園背割堤地区(たからもの京-022)、大谷川(たからもの京-039)</li> </ul> <p>〈自然〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樟葉ワンド(たからもの大-016)</li> </ul>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

ルートの概略図	
	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真		
	松花堂庭園	安居橋

推奨ルート名	淀川三川合流域 八幡ルート	最寄駅	京阪(八幡市駅)
--------	---------------	-----	----------

起終点	背割堤地区	延長	約15km
-----	-------	----	-------


プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)	平地
------------	-----------	----

雄大な木津川沿いサイクリングコースを経て、最後は日本三大八幡宮の一つ石清水八幡宮へ。  
八幡の自然と歴史を堪能できるルート。

ランダム情報	周辺のたからもの
背割堤地区を起終点として、流れ橋、松花堂庭園、石清水八幡宮などを巡るルート。	<p>&lt;歴史・文化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石清水八幡(たからもの京-021)、背割堤七夕まつり(たからもの京-023)</li> </ul> <p>&lt;賑わい施設・イベント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜のトンネル(たからもの京-003)、エジソン碑(たからもの京-020)、淀川河川公園背割堤地区(たからもの京-022)、大谷川(たからもの京-039)</li> </ul> <p>&lt;自然&gt;</p>

ルート利用手段	利用状況
徒歩・自転車	日常的な沿線住民、観光客の利用

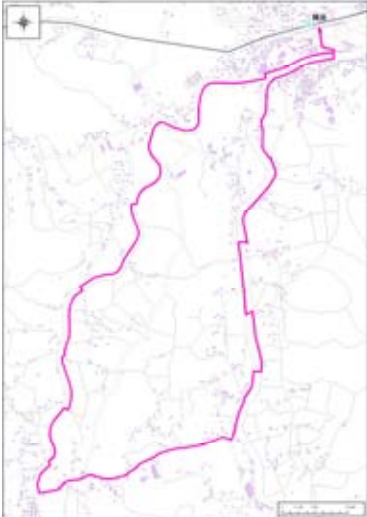
ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真


推奨ルート名	宇陀川散策ルート(仮称)	最寄駅	近鉄(榛原駅)、奈良交通バス
起終点	近鉄榛原駅～道の駅「宇陀路大宇陀」	延長	約8km
プロムナードの概要等	地勢(山間・平地)		平地
宇陀川沿いのルート。水辺の自然、歴史、景観を楽しむことができる。			

ランダム情報	周辺のたからもの
宇陀川沿いの桜、のどかな田園風景、松山伝統的建造物群などを楽しみながら散策やサイクリングを楽しむことができる。	<歴史・文化> ・宇陀水分神社(たからもの奈-005) ・松山伝統的建造物群 <賑わい施設・イベント> ・平成榛原子供の森公園(たからもの奈-007) <自然> ・宇陀川の桜並木(たからもの奈-003)

ルート利用手段	利用状況
徒歩、自転車	散歩、日常的な沿線住民の利用

ルートの概略図	
<p>「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平23情複、第744号)」</p>	

プロムナードの状況写真	 <p>松山伝統的建造物群保存地区 写真:宇陀市WEBサイトより引用</p>
-------------	---

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
滋-001	山比古湧水 (やまびこゆうすい)	滋賀県愛知郡愛荘町	①みずべ環境	昔よりお伊勢参りの旅人や山仕事に携わる地元の人々によって、ひっそりと護られ、そして親しまれ、今に語り継がれてきた名水。	滋賀県		無	H22.12.28
滋-002	居醒の清水 (いさめのしみず)	滋賀県米原市	①みずべ環境	「古事記」、「日本書紀」にも記載されている日本武尊が伊吹山の荒ぶる神の毒氣にあたったとき、その高熱を源流の水で癒したといわれている。	滋賀県		無	H22.12.28
滋-003	堂来清水 (どうらいしよず)	滋賀県長浜市	①みずべ環境	水源の「奥の池」は、1,100年以上前、干ばつのとき、月の坊という寺の住職槻之坊が、奥の池に住む白龍という竜神に雨乞いをし、麓の堂来に清水(湧水)が出るようになったという。	滋賀県		無	H22.12.28
滋-004	針江の生水 (はりえのしよず)	滋賀県高島市	①みずべ環境	安曇川の伏流水が湧出しているもので、川端(カバタ)とよばれる仕組みを用いて暮らしに利用され、この地域独特の川と生活が密着した美しい風景を作り出している。	滋賀県		無	H22.12.28
滋-005	十王村の水 (じゅうおうむらのみず)	滋賀県彦根市	①みずべ環境	湖東三名水のひとつとして知られ、古来清水として住民の配慮が払われている。水源には神社をまつり、「母乳の地藏尊」として地域の人たちに信仰されている。	滋賀県		無	H22.12.28
滋-006	泉神社湧水 (いずみじんじゃゆうすい)	滋賀県米原市	①みずべ環境	伊吹三名水の一つで、日本武尊の居醒水(いさめみず)でもあり、小栗助重が病の平癒を祈願した命乞いの水として由緒深いものである。	滋賀県		無	H22.12.28
滋-007	石山寺 (いしやまでら)	滋賀県大津市石山寺一丁目	⑤史跡・文化財	日本でも有数の観音霊場であり、西国三十三箇所観音霊場第13番礼所である。「蜻蛉日記」「更級日記」「枕草子」などの文学作品にも登場する。	近畿地方整備局 (琵琶湖河川事務所)	瀬田川てくてくマップ	無	H22.12.28
滋-008	瀬田の唐橋 (せたのからはし)	滋賀県大津市唐橋町、瀬田一丁目	⑤史跡・文化財	唐橋は古代より交通の要衝として、壬申の乱など数々の歴史の舞台となっており、日本三名橋・日本三古橋の一つとされる。	近畿地方整備局 (琵琶湖河川事務所)	瀬田川てくてくマップ	無	H22.12.28
滋-009	建部大社 (たてべたいしゃ)	滋賀県大津市神領一丁目	⑤史跡・文化財	近江一の宮、長い歴史と由緒を持つ全国屈指の古社。平安時代の作で日本武尊の妃といわれる木造女神像があり、石灯笼とともに重要文化財指定	近畿地方整備局 (琵琶湖河川事務所)	瀬田川てくてくマップ	無	H22.12.28
滋-010	旧南郷洗堰 (きゆうなんごうあらいぜき)	滋賀県大津市黒津4丁目	④歴史的風土・建造物	明治33~41年淀川改良工事で、洪水と渇水という相反する2つの事項を解決するために設けられた。平成14年に土木学会から「土木遺産」として認定	近畿地方整備局 (琵琶湖河川事務所)	瀬田川てくてくマップ	無	H22.12.28

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
滋-011	滋賀県醒ヶ井養鱒場(しがけんさめがいようそんじょう)	滋賀県米原市上丹生	④歴史的風土・建造物	イワナ、アマゴ、ニジマスなどが群泳し、レクリエーションの場として絶好。マス類のルアー・フライ釣り場もあり、四季折々にゆったりとしたときを過ごせる。	滋賀県		無	H24.1.31
滋-012	滋賀県南郷水産センター(しがけんなんごうすいさんセンター)	滋賀県大津市黒津	⑥公園・賑わい施設	釣って、つかんで、触れて、食べて…ガラス越しではなく、じかに魚と触れ合える琵琶湖の漁業団体が経営する魚のテーマパーク。	滋賀県		無	H24.1.31
滋-013	大津湖岸なぎさ公園(おおつこがんなぎさこうえん)	大津市島の関～晴嵐一丁目	⑥公園・賑わい施設	大津湖岸なぎさ公園は全長4.8kmの琵琶湖沿いの公園です。水に親しむことのできる公園として市民の憩いの場所となっています。	大津市		無	H24.1.31
滋-014	湖北用水(こほくようすい)	琵琶湖北東部	③河川・水に関わる施設	滋賀県湖北地域を中心とする周辺地域4,720ha 湖北地域の用水源は古くから三つの主な河川からの取水が大部分を占めていたが、各河川の扇状地に開けた地域であるため、用水の地下浸透が甚だしく、頻りに用水不足を生じる地域であった。そのため、国営湖北土地改良事業(昭和40年度～昭和61年度)が実施され、余呉湖・琵琶湖に用水補給源を求め、用水不足を解消してきた地域である。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-015	竹生島(ちくぶじま)	長浜市早崎町	④歴史的風土・建造物	長浜市の湖岸から約6km沖合に位置し周囲約2kmの島。美しい島は琵琶湖八景の一つとして、また、神の住む島といわれ信仰の対象としても人々に親しまれている。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-016	余呉湖(よごこ)	長浜市余呉町	①みずべ環境	琵琶湖の北、賤ヶ岳の近くに位置する面積約1.8km <sup>2</sup> の湖で、天女の羽衣や龍神・菊石姫の伝説が残る湖。別名「鏡湖」とも呼ばれている。余呉湖と琵琶湖にのみ棲息する特産物のイトコナマズをはじめ、ワカサギ、フナ、コイ、ウナギ、ナマズなど魚類も多く、冬には飛来する水鳥をみることができる。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-017	守山市鳩の森公園の源氏堂(もりやましはとのもりこうえん)	守山市播磨田町	②水辺風景	鳩の森公園ホテル河川でゲンジボタルの観察ができる。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-018	豊公園(ほうこうえん)	長浜市公園町	②水辺風景	長浜城の城跡に明治42年に作られた。琵琶湖に面する公園から眺める夕陽は、「日本の夕陽百選」に選定されている。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-019	柳が崎浄水場(やながさきじょうすいじょう)	大津市柳が崎6	③河川・水に関わる施設	柳が崎は大津市上水道の発祥の地で、昭和3年、大津市上水道創設時山上浄水場の水源地(取水場)が設置された。それ以来、柳が崎は大津市民にとって水道と切りはなせない地名となり近代水道百選にも選ばれている。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-020	河内風穴(かわちのふうけつ)	滋賀県多賀町	④歴史的風土・建造物	霊仙山塊(りょうぜんさんかい)カルスト地帯にある鍾乳洞(しょうにゅうどう)の風穴。総面積1,544m <sup>2</sup> で関西でも有数の鍾乳洞といわれている。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
滋-021	彦根城 (ひこねじょう)	滋賀県彦根市金亀町1-1	⑤史跡・文化財	彦根城は、井伊直継(なおつぐ)・直孝(なおたか)によって建設され、元和8年(1622)に完成した。月明かりに浮かぶ彦根城は、その美しさから琵琶湖八景の1つに数えられている。国指定の特別史跡である。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-022	安土城 (あづちじょう)	滋賀県近江八幡市安土町桑実寺800	⑤史跡・文化財	安土城は、織田信長が天正4年(1576年)丹羽長秀に命じ、約3年の歳月をかけて完成した。現在の安土山に建造され、大型の天守を初めて持つなど威容を誇ったが、天正10年(1582年)の本能寺の変後まもなくして何らかの原因によって焼失、その後廃城となった。現在は石垣などの一部の遺構を残すのみである。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-023	観音寺城 (かんのんじじょう)	滋賀県近江八幡市安土町石寺	⑤史跡・文化財	鎌倉時代初期から戦国時代末期まで近江守護を勤めた佐々木六角氏が戦国時代に居城としたのが観音寺城。標高約430mの織(きぬがさ)山の山上に築かれた。周辺は琵琶湖や大中の湖、美濃～京都へ至る東山道、長光寺集落から伊勢へ抜ける八風街道があり、それらを管制できる要衝に位置した。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-024	海津大崎の桜 (かいづおおさきのさくら)	高島市マキノ町海津	⑥公園・賑わい施設	琵琶湖八景「暁霧・海津大崎の岩礁」としても有名な海津大崎では樹齢60年以上の600本のそめい吉野桜が咲きほこり、周辺の琵琶湖の風景ともあいまって絶妙の景観を呈し、毎年多くの花見客で賑わう。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-025	水のめぐみ館 アクア琵琶	大津市黒津4-2-2	⑦その他	「雨たいけん室」、映像ホールやタッチパネル式施設などで、琵琶湖や瀬田川洗堰について学ぶことができます。	近畿地方整備局企画部	流域ミュージアム案内所マップ	無	H24.1.31
滋-026	滋賀県立朽木(しがけりつくつき)いきものふれあいの里センター	高島市朽木柏341-3	⑦その他	自然の不思議さ、面白さ、すばらしさを知っていただけるように作られた施設で、自然の仕組みや自然保護に関する展示を行い、自然と親しむための様々なイベントを開催しています。	近畿地方整備局企画部	流域ミュージアム案内所マップ	無	H24.1.31
滋-027	独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	大津市堅田2-1-10	⑦その他	琵琶湖開発事業、環境保全の取り組み、琵琶湖の豊かさ、水の大切さについて、紹介、情報発信をしています。	近畿地方整備局企画部	流域ミュージアム案内所マップ	無	H24.1.31
滋-028	あめのいお御飯 (ピワマス) (あめのいおはん・ピワマス)	滋賀県内	⑦その他	アメノイオは、和名「ピワマス」というサケ・マス的一种。アメノイオが産卵のため川をのぼる秋頃の季節を代表するごちそう。湖畔の集落ではアメノウオを使って収穫の感謝として、秋祭りに欠かせない郷土料理となっている。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-029	しじみ料理(瀬田しじみ)	滋賀県内	⑦その他	シジミの中でも、琵琶湖の瀬田川で採れるセタシジミは、殻は小さく身が大きくマシジミより風味がよくコクがある。シジミは低脂肪でグリコーゲンが多く含まれるため、昔から肝臓病に効果があるといわれている。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31
滋-030	ふな寿司(ニゴロブナ)	滋賀県内	⑦その他	鮎寿司は、鮎を用いて作られる熟れ寿司(なれずし)の一種で、滋賀県では琵琶湖のニゴロブナが用いられる。御飯の自然発酵によって保存性を高めている。寿司の原点となっており押し寿司、ばらずしから握りずしへと変化してきた。	近畿地方整備局企画部		無	H24.1.31

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
滋-031	葛川明王院 (かつらがわみょうおういん)	大津市葛川坊村町	⑤史跡・文化財	葛川明王院は、比良山系の西方を流れる安曇川上流の溪谷に立地する天台宗の寺院で、平安時代初期に、比叡山延暦寺の僧相応が葛川の三の滝で祈念していたところ、飛瀑中に生身の不動明王を感得し、自ら刻んだ不動明王を安置したことに始ると伝えられる。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-032	伊崎寺 (いさきでら)	近江八幡市白王町	⑤史跡・文化財	伊崎寺は、近江八幡市の北端、琵琶湖岸に面した伊崎山に立地する天台宗の寺院で、比叡山の回峰行の開祖とされる相応の創建と伝えられる。毎年8月1日に行われる竿飛びの行事は、琵琶湖に突き出した竿の先端から禪姿の行者が7m下の湖面に飛び込む。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-033	長命寺 (ちようめいじ)	近江八幡市長命寺町	⑤史跡・文化財	長命寺は琵琶湖の東岸、標高333mの長命寺山腹に位置する。湖を広く見渡す景勝地に重要文化財の本堂をはじめ中世建築の堂塔が軒を連ね、壮観な伽藍を今に伝える。秘仏厨子の奥室に薬師如来像が祀られ、境内に不老滝があるなど、水と関わる深い信仰の存在が伺える。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-034	白鬚神社 (しらひげじんじや)	高島市鷺川	⑤史跡・文化財	白鬚神社は全国の白鬚社の本社とされ、湖西地方を代表する滋賀県の古社である。社殿は琵琶湖に向かって開かれ、鳥居によって湖とつながる。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-035	大瀧神社 (おおたきじんじや)	犬上郡多賀町富之尾	⑤史跡・文化財	犬上川が轟々と流れる景勝地「大蛇の淵」に臨んで鎮座する大瀧神社は、犬上川下流27か村の水源を司り、五穀豊穡をもたらす神として大いに信仰を集めたとされる。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-036	邦楽器系の里 (ほうがっきいとのさと)	長浜市木之本町大音(おおと)・西山	④歴史的風土・建造物	賤ヶ岳の麓に位置する大音・西山の里は、琴糸の里と呼ばれ、琴や三味線、琵琶等の邦楽器で使う絃の原糸となる生糸生産が伝統技術として受け継がれる。上質な生糸の製造には、賤ヶ岳の麓から湧き出る清浄な水によるところが大きいと言われる。その名残が、現在も大音の里には、昔から地元の人々が大切に使ってきた清水(しょうず)と呼ばれる池が点在する。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-037	近江八幡の水郷 (おうみはちまんのすいごう)	近江八幡市白王町・円山町ほか	④歴史的風土・建造物	近江八幡の水郷は、漁業やヨシ産業等、周辺に暮らす人々の生業を通し、自然と人が共生し、豊かな恵み、自然、景観の維持・再生が繰り返されてきた。こうしたことが高く評価され、平成18年、我が国で最初の「重要文化的景観」に選定された。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-038	沖島 (おきしま)	近江八幡市沖島町	④歴史的風土・建造物	沖島は琵琶湖最大の島で、近江八幡市の沖合約1.5kmに浮かび、架橋はない。淡水湖上の島としては、日本国内で唯一人が定住することで知られる。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-039	海津・西浜・知内の水辺景観 (かいづ・にしはま・ちないのみずべいかん)	高島市マキノ町海津・西浜・知内	④歴史的風土・建造物	海津・西浜・知内地区は、日本海方面からの物資を大津に運び出すための要港として繁栄した。その有様は、街道沿いに走る建造物群や、集落を琵琶湖の荒波から守るために築かれた壮大な石垣等に残されている。また、琵琶湖や知内川では、今なおアユ漁を中心とした漁業や、琵琶湖の水を利用した生活が継承されている。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
滋-040	高島の古式水道(たかしまのこしきすいどう)	高島市勝野・朽木市場	③河川・水に関わる施設	古式水道とは、水を確保するため、水源から管をつなぎ、要所にサイフォンを利用した溜め枡を作り、家々に水を配分した施設のこと。その起源は江戸時代に遡る。豊富な湧水を活用するため、あるいは地下水が飲用に不向きなため、整備された。現在では飲用としては用いられなくなったが、生活用水として用いられている。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-041	大溝(おおみぞ)～乙女ヶ池(おとめがいけ)と水路がめぐる城下町～	高島市大溝	④歴史的風土・建造物	大溝城は、織田信長が琵琶湖の制海権の掌握を目的に、琵琶湖の四方に築いた4つの城郭のうちの一つである。琵琶湖から砂堆で仕切られて出来た乙女ヶ池を天然の濠とし、その北西端に本丸や天主台を突出させた大溝城は、現在は水田化・市街化が進み天主台の石垣だけが当時の面影を偲ぼせるが、湖城と呼ぶにふさわしい景観として見ることができる。	滋賀県	ピワイチマップ(ピワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-042	水辺の集落 伊庭(みずべのしゅうらくいば)	東近江市伊庭	④歴史的風土・建造物	東近江市伊庭は、湖東平野に残る水郷集落の一つ。町中には瓜生川から引いた水路が縦横に巡り、豊富な水量と清らかな水質をみることができる。また、それぞれの家々に設けられた「カワト」も多く残されており、水との関わりは今も息づいている。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-043	琵琶湖の伝統的漁法(びわこのでんとうてきぎょうほう)	滋賀県内一円	④歴史的風土・建造物	琵琶湖では漁法の改良による多獲指向は顕著でなく、内水面という限られた漁場で漁業を持続させるための指向がみられる。琵琶湖ではこうした背景のもと、現在に至るまで伝統的漁法が多く伝えられてきた。それを特徴づけるのが魚の習性をうまく利用して捕獲する「待ち」の漁法であり、その代表が現在も琵琶湖独特の景観を形成するエリである。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-044	膳所城跡公園(ぜぜじょうあとこうえん)	滋賀県大津市本丸町	⑥公園・賑わい施設	徳川家康が大津城をこの地に移して築いた膳所城の本丸跡。膳所城は、東海道の名勝としても知られた水城であった。日本歴史公園100選に選ばれている。	大津市		無	H25.1.10
滋-045	石場津の常夜燈(いしばづのじょうやとう)	大津市打出浜	④歴史的風土・建造物	石場は、江戸時代に東海道の宿場町として賑わった大津町の東の外れの琵琶湖岸に設置された船着場である。この石場の船着場に弘化2年(1845年)に建立されたのが、「石場津の常夜燈」である。なぎさ公園内に移設された現在も、江戸時代に盛んだった湖上交通を偲ぼせる。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-046	丸子船(まるこぶね)	長浜市西浅井町大浦	⑤史跡・文化財	丸子船は琵琶湖を代表する船で、江戸時代から昭和30年代までは琵琶湖の主力船舶として活躍した。現在その姿を完全な状態で見ることができるのは、琵琶湖博物館に復元展示されるものと、長浜市西浅井町大浦の北淡海丸子船の館に保管展示されている「神與丸」が唯一である。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-047	旧長浜駅舎(きゅうながはまえきしゃ)	長浜市北船町	⑤史跡・文化財	明治15年、長浜～敦賀間を結ぶ北陸線の始発駅として、長浜～大津を結ぶ連絡線に接続する駅として、長浜駅が誕生した。長浜と大津を結んだ鉄道連絡線は、同22年に湖東線の完成により東海道線が全通したことに伴って廃止された。現在見られる旧長浜駅舎は、現存する駅舎としては日本最古のもので、日本初の鉄道記念物に指定され、昭和58年から資料館として一般公開されている。	滋賀県	ピワイチマップ(ピワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
滋-048	矢川神社・矢川津 (やがわじんじや・やがわつ)	甲賀市甲南町森尻	④歴史的風土・建造物	矢川(杣川)は滋賀県甲賀市域を流れる河川で、野洲川最大の支流である。近辺には甲賀杣と呼ばれる山林が広がり、ここで切り出された木材が、「矢川津」と呼ばれる川津を経て、そこから川伝いに琵琶湖、瀬田川から下流へ運ばれ、宮都や寺院の建築資材として用いられた。河畔には、矢川水系の司水神として祀られた矢川神社がある。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-049	田上山中の堰堤群 (たなかみさんちゅうのえんでいくん)	大津市上田上桐生町・田上森町若女谷	③河川・水に関わる施設	田上山は古代以前、樫や檜に覆われた美山であったと言われるが、乱伐や土の採取によって禿げ山となり、度々水害を引き起こすようになった。被害は下流の淀川流域にも及んだことから、多くの人々が様々な砂防工事に取り組んだ。中でも砂防堰堤は土砂の流出を止めるのに最も効果的と考えられ、明治時代から西洋の技術を取り入れた石積みの堰堤が、田上山周辺に大小数多く建設された。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-050	田川カルバート (たがわカルバート)	長浜市虎姫町唐国ほか	③河川・水に関わる施設	田川、姉川、高時川の三川合流による水害に悩まされてきた長浜市虎姫町周辺の田川で建設されたカルバートは、川を立体交差させるという珍しいアイデアによるものだった。このカルバートは、お雇い外国人デ・レーケの提案した計画を、日本人の技術が実現した明治初期を代表する構造物である。また、度重なる水害に対する田川の災害克服の記念碑でもある。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-051	西野水道 (にしのみずいどう)	長浜市高月町西野	③河川・水に関わる施設	塩津湾の東岸は、琵琶湖と平野部との間を古保利丘陵が遮り、丘陵東麓ではしばしば余呉川が氾濫した。西野水道は、この川水を琵琶湖に排水するための洞門で、江戸時代の末期に洪水の被災地である西野村の人々が幾多の苦難を乗り越えて掘り貫きに成功した。菊池寛の小説『恩讐の彼方に』で有名な「青の洞門」に対比して、「近江の青の洞門」とも呼ばれる。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H25.1.10
滋-052	大沙川隧道 (おおすながわすいどう)	湖南市吉永	③河川・水に関わる施設	大沙川隧道は、旧東海道と大沙川が交差する位置にある。周辺の南側に迫る山々は、今では緑に覆われているが、明治時代末頃には樹木がほとんどなく、そのため山々を水源として流れ出る大沙川は砂を運び、天井川となっている。ここに明治17年に建造された大沙川隧道は、建設当初の位置で現存する現役の石像道路隧道としては日本最古のものである。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-053	横田渡 (よこたのわたし)	甲賀市水口町泉	③河川・水に関わる施設	横田渡は、東海道石部宿と水口宿の間、鈴鹿山脈かに源を発する野洲川と東海道が交わる所にある。横田渡の常夜燈は、近江東海道最大の渡河地点に位置しており、道行く旅人たちに対し、横田渡の存在を知らしめるランドマークだった。	滋賀県		無	H25.1.10
滋-054	浮御堂 (うきみどう)	大津市堅田	⑤史跡・文化財	近江八景「堅田の落雁」で名高い浮御堂は、寺名を海門山満月寺という。平安時代、恵心僧侶が湖上安全と衆生済度を祈願して建立したという。現在の建物は昭和12年の再建によるもので、昭和57年にも修理が行われ、昔の情緒をそのまま残している。境内の観音堂には、重要文化財である聖観音座像が安置されている。	滋賀県	ビワイチマップ(ビワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H23.12.12

流域圏の“たからもの”推奨リスト(滋賀県域)

H25. 1. 10現在

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイ ドマップ	にぎわい カード	登録日
滋-055	唐崎の松 (からさきのまつ)	大津市唐崎	②水辺風景	「唐崎の松」は、歌川広重(安藤広重)の浮世絵「近江八景之内唐崎夜雨」にも描かれた県内屈指の景勝地。万葉の時代から和歌や俳句などで幾度となく詠まれてきたところでもある。	滋賀県	ピワイチマップ(ピワイチ観光ウォーキングマップ)	無	H23.12.12
滋-056	天野川流域のゲンジボタル (あまのがわりゆういきのゲンジボタル)	米原市長岡	②水辺風景	ゲンジボタルは、孵化後幼虫で約265日を水中で生活する。この間餌となるカワニナを食べ6回脱皮して大きくなる。天野川は、伊吹山や霊仙山などの石灰岩地帯を水源とすることからカルシウムを豊富に含んでおり、カワニナの生育に適している。また流域においては古くから人々の暮らしがあり、適度な生活排水が流れ込むとともに、昔ながらの土の堤防が残されている。タルの良質な生育環境は、流域の人々の熱心な取組に支えられている。	滋賀県		無	H23.12.12
滋-057	鹿跳溪谷 (ししとびけいこく)	大津市大石	①みずべ環境	瀬田川景勝地のひとつ。鹿跳橋付近は川幅が狭く水流が激しいため奇岩があちこちに見られる。鹿跳の名は、弘法大師の伝説に由来しているという。	大津市		無	H25.1.10

流域圏の“たからもの”推奨リスト(奈良県域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
奈-001	宇陀川(墨坂神社) (うだがわ・すみさかじんじゃ)	宇陀市榛原区	②みずべ風景	神社正面に架かる宮橋は、参道を思わせる朱塗りの人道橋として整備が行われており、緑豊かな河道にアクセントを加える景観が形成されています。	奈良県		無	H22.12.28
奈-002	兜岳・鎧岳・屏風岩(青蓮寺川沿い) (かぶとだけ・よろいだけ・びょうぶいわ)	曾爾村今井	②みずべ風景	川沿いの道路の一部が東海自然歩道ルートになっており、川沿いに兜岳・鎧岳・屏風岩などの特異な形状の山々を望むことができます	奈良県		無	H22.12.28
奈-003	宇陀川の桜並木 (うだがわのさくらなみき)	宇陀市榛原区	②みずべ風景	桜並木が続き、春には地域住民によってお花見に利用され、河川空間が憩いの場となっています。	奈良県		無	H22.12.28
奈-004	曾爾高原湧水群 (そにこうげんゆうすいぐん)	宇陀市曾爾村	①みずべ環境	平成の名水百選に選定されています。室生赤目青山国定公園内にあり、お亀池を中心に点在しています。	奈良県		無	H22.12.28
奈-005	宇太水分神社 (うだみくまりじんじゃ)	宇陀市菟田野区古市場	④歴史的風土・建造物	水分とは「水配り」で、古くから農耕とかかわって神聖視され、崇敬を集めています。湧水は、引水されて参詣者の喉をうるおしています。	奈良県		無	H22.12.28
奈-006	宇陀川浄化センター (うだがわじょうかセンター)	宇陀市榛原区福地	③河川・水に関わる施設	宇陀川流域の水質保全のため、昭和62年に完成しました。	奈良県		無	H22.12.28
奈-007	平成榛原子供の森公園 (へいせいはいばらこどものもりこうえん)	宇陀市榛原区	⑥公園・賑わい施設	平成13年4月、室生ダムの貯水池湖畔にオープンしました。宇陀川と宇陀川を囲む山並みが美しい場所にあります。	奈良県		無	H22.12.28
奈-008	室生寺の紅葉 (むろうじのもみじ)	宇陀市室生78	②水辺風景	奈良時代末、東宮(のちの桓武帝)の病氣平癒を願って興福寺の僧賢暲(賢環)が創建した。シャクナゲやモミジが境内を美しく彩ることで有名。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
奈-009	旧奈良駅舎 (きゅうならえきしゃ)	奈良市三条本町1	④歴史的風土・建造物	昭和9年の建築で、洋風の建物と、寺院風屋根が特徴の和洋折衷の駅舎。駅の高架化に伴い、その役目をいったん終えたがH21年7月奈良市の総合観光案内所として生まれ変わった。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
奈-010	旧富雄変電所 (旧大阪電気軌道の変電所) (きゅうとみおへんでんしよ)	奈良市富雄北	④歴史的風土・建造物	富雄駅のすぐ北にある赤レンガの近代建築。旧大阪電気軌道(現在の近畿日本鉄道)の変電所で大正3(1914)年に建てられた。現在はスペイン料理店として注目をあびている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31

流域圏の“たからもの”推奨リスト(京都府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド ドマップ	にぎわい カード	登録日
京-001	宇治川の中洲に浮かぶ公園 (うじがわのなかすにうかぶこうえん)	宇治市宇治(宇治公園)	⑥公園・賑わい施設	宇治川の中洲に浮かぶ塔の島、橋島。塔の島には高さ約15メートルの石塔が立つ。石塔としては我が国最大で重要文化財に指定されている。	京都府		無	H22.12.28
京-002	桂川の中洲に浮かぶ公園 (かつらがわのなかすにうかぶこうえん)	京都市右京区嵯峨(嵐山公園)	⑥公園・賑わい施設	桂川の中洲をなす中之島地区。松や桜が多く花見の季節には多くの行楽客で賑わう	京都府		無	H22.12.28
京-003	桜のトンネル (さくらのトンネル)	八幡市(淀川河川公園)	⑥公園・賑わい施設	木津川と宇治川に挟まれた背割堤の上に約1.4km桜並木が整備され春は桜のトンネルとなる。	京都府		無	H22.12.28
京-004	京の七夕 (きょうのたなばた)	京都市堀川、鴨川	④歴史的風土・建造物	「一年に一度、願いごとをする」という七夕に改めて目を向け、「願い」をテーマに、全国から様々な願いを募るとともに、堀川、鴨川をメイン会場として竹と光で夜の賑いを演出する「京の七夕」を平成22年8月に開催	京都市		無	H22.12.28
京-005	元離宮二条城 (もとけきゆうにじょうじょう)	京都市中京区二条通堀川西入二条城町	⑤史跡・文化財	二条城は、徳川将軍家康が、京都御所の守護と将軍上洛のときの宿泊所として造営された。史跡指定された二条城の旧外堀は、堀川の護岸として保存、活用されている。	京都市		無	H22.12.28
京-006	一条戻橋 (いちじょうもどりばし)	京都市上京区堀川一条	④歴史的風土・建造物	堀川に架かっている橋。源頼光の四天王の一人であった渡辺綱が、この橋の東詰で鬼女にであったなど様々な伝説が残る。	京都市		無	H22.12.28
京-007	京都市営電車が走っていた橋梁の橋台跡	京都市上京区堀川中立売	④歴史的風土・建造物	京都市営電車(チンチン電車)が走っていた橋梁の橋台跡。明治から昭和にかけて市電が堀川沿いを往来していた。	京都市		無	H22.12.28
京-008	十石舟・三十石船 (じゅっこくぶね・さんじゅっこくぶね)	京都市壕川・宇治川派流	④歴史的風土・建造物	江戸時代に伏見の酒や米を大阪へ運んでいた舟を、地元が力を合わせ現代に遊覧船として再現。優しい風に吹かれながら港町伏見が楽しめる。	京都市		無	H22.12.28
京-009	壕川・宇治川派流ライトアップ (ほりかわ・うじがわはりゅうらいとあっぷ)	京都市壕川・宇治川派流	④歴史的風土・建造物	港町伏見。十石舟が運航されている川沿い及び酒蔵を伏見の「名水」をモチーフにしたオリジナル灯ろうでライトアップ。	京都市		無	H22.12.28
京-010	伏見万灯流し (ふしみまんどうながし)	京都市寺田屋浜	④歴史的風土・建造物	幕末維新の町伏見。鳥羽伏見の戦いの慰霊と家内安全を願い、色とりどりの祈りの光を水辺に浮かべる。	京都市		無	H22.12.28

流域圏の“たからもの”推奨リスト(京都府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド ドマップ	にぎわい カード	登録日
京-011	日本酒まつり (にほんしゅまつり)	京都市伏見桃山 界隈	④歴史的 風土・建 造物	数多くの名水が湧き、日本酒の 里として知られる伏見において、 各蔵元自慢新酒、銘酒がきき酒 ができる「日本酒まつり」を開 催。	京都市		無	H22.12.28
京-012	平等院 (びょうどういん)	宇治市宇治蓮華 116	⑤史跡・ 文化財	平安時代の後期、1052年に宇 治関白藤原頼道が父道長の別 荘を寺院に改めたもの。鳳凰堂 が10円玉のデザイン。平成6年 に世界文化遺産登録	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-013	宇治上神社 (うじがみじん じゃ)	宇治市宇治東内 45-26	⑤史跡・ 文化財	本殿は、平安時代後期に建てら れた。現存する我が国最古の神 社建築。祭神は、応神天皇とそ の皇子菟道稚郎子及び兄の仁 徳天皇とされている。平成6年に 世界文化遺産登録	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-014	宇治橋 (うじばし)	宇治市宇治	④歴史的 風土・建 造物	646年に架けられた日本最古の 橋。架設依頼、度重なる洪水や 戦禍で架け替えられてきた。現 在の橋は平成8年3月完成したも の。従来の伝統的な木橋のイ メージを残し土木技術が駆使さ れている。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-015	塔の島 (とうのしま)	宇治市宇治	⑥公園・ 賑わい施 設	松林の中の広場に鳩が降り立 つ塔の島は、その名前の通り、 中央部にシンボリックな「十三重 の塔(国の重要文化財登録)」が 建っています。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-016	太閤堤跡 (たいこうづつみ あと)	宇治市菟道	④歴史的 風土・建 造物	平成19年度の発掘調査で確認 された遺跡。豊田秀吉が伏見城 築城後、宇治川を改修するた めに築いた堤防と言われている。 護岸形式を変えながら約250m は続くことが確認されている。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-017	天ヶ瀬森林公園 (あまがせしりん んこうえん)	宇治市横島町横 尾山	⑥公園・ 賑わい施 設	保健休養の場を提供したり、ま た森林を積極的に守り育てるこ とによって生活環境を良好に保 つために、「生活環境保全林」と して整備されたもの。園内約90 ヘクタールのうち、約35ヘクタ ールの区域に、四季折々の花の 咲く木や実のなる木を植栽する とともに、遊歩道、トイレ、休憩 所、展覧施設などを設置してい る。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-018	天ヶ瀬ダム (あまがせだむ)	宇治市宇治金井 戸	②みずべ 風景	昭和39年から管理を開始した ドーム型アーチ式ダム。堤頂部 は夜間を除き開放しており、 ゲート使用中には、勇壮な放流 を見ることができる。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-019	旧志津川発電所 (きゅうしづかわ はつでんしょ)	宇治市横島町横 尾山	④歴史的 風土・建 造物	関西電力(株)前身の宇治川電 気(株)が1913年(大正2年)に設 置した発電所。天ヶ瀬ダム建設 に伴い廃止され、現在は民間企 業の実験施設として使用され ている。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-020	エジソン碑 (エジソンひ)	八幡市	⑥公園・ 賑わい施 設	エジソンが白熱炭素電球発明の 際、そのフィラメントに使用した 「八幡の竹」。これを記念して建 てられた碑	近畿地方整備局		無	H22.12.28

流域圏の“たからもの”推奨リスト(京都府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド ドマップ	にぎわい カード	登録日
京-021	石清水八幡宮 (いわしみずはちまんぐう)	八幡市	⑤史跡・文化財	日本三大八幡宮のひとつ。社殿は重要文化財に指定。造営された現在の社殿は厄除けの神様として広く信仰を集めている。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
京-022	淀川河川公園背割堤地区 (よどがわかせんこうえんせわりていちく)	八幡市	⑥公園・賑わい施設	木津川、宇治川、桂川が合流する淀川河川公園背割堤地区。豊かな自然が残り、歴史的にも重要な場所。堤には1.4kmの桜並木やバーベキュー場があり、多くの人で賑わう。	京都府		無	H24.1.31
京-023	背割堤七夕まつり (せわりていたなばたまつり)	八幡市	④歴史的風土・建造物	平成21年度から、淀川三川合流域をPRするために七夕まつりイベントを開催。舞台イベント、Eポート体験、工場見学会等を実施しており、この地域の魅力を体験できる。	京都府		無	H24.1.31
京-024	伏見の御香水 (ふしみのごこうすい)	京都市伏見区桃山御香宮門前町	①みずべ環境	昔、瀕死の猿曳ぎに、猿がこの水を飲ませると忽ち元気になったという逸話があり、現在でも霊水として、病氣平癒、茶道、書道用に持ち帰る人が多い。また「御香宮」の名の起源となった水で「伏見七名水」の一つとして、よく知られている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-025	八丁平湿原 (はっちょうだいらしつげん)	京都市左京区久多下の町	①みずべ環境	最終氷期から形成されてきた高層湿原であり、周辺の山地で囲まれた盆地地形の中に池が作られ、周辺の森林からの湧き水で池が維持され、湿原がつけられてきた。貴重な生物の生息地でもある。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-026	上津屋の渡し跡 [上津屋橋周辺] (こうつやのわたし)	城陽市、久御山町、八幡市	①みずべ環境	山城地域を貫流する木津川には、明治時代まで各地に渡しが存在し、交通や流通の中継地として利用されてきた。 現在、周辺はアン原や砂浜、竹林等があり、野鳥の生息地として身近な自然環境を保持している。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-027	蹴上浄水場 (けあげじょうすいじょう)	京都市東山区粟田口華頂町3番地	③河川・水に関わる施設	日本最初の急速ろ過式の浄水場として明治45年3月に竣工し、京都市ではじめて給水を開始した。場内約7,000本のつつじ・さつきが咲いており一般公開されている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-028	三船祭 (みふねまつり)	大堰川	④歴史的風土・建造物	平安貴族の舟遊びを再現した車折神社の例祭。雅楽の演奏や芸能上達を祈願した扇が川に流される。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-029	嵐山もみじ祭 (あらしやまもみじまつり)	嵐山渡月橋上流一帯	④歴史的風土・建造物	嵐山小倉山のもみじの美しさを讃え、もみじに感謝するとともに、一帯の豊かな史跡や文化を色とりどりの船上で盛り上げる。能楽、舞楽、六斎念仏、今様歌舞、長唄等々芸能船が川を上り下りして技を競う。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-030	弁天祭 (べんてんまつり)	京都市	④歴史的風土・建造物	「中書島の弁天さん」で親しまれている長建寺では、かつて中書島遊廓あげての信仰をあつめ、盛大な祭りが行われたといわれている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31

流域圏の“たからもの”推奨リスト(京都府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
京-031	笠置山自然公園(かさぎやましぜんこうえん)	相楽郡笠置町笠置小笠置山	⑥公園・賑わい施設	笠置山は木津川の南岸にそびえる古くからの修験道場、信仰の山として、また、歴史上のさまざまなドラマの舞台として知られている。全山が広葉樹におおわれ、明るい自然林となっており多くの行楽客で賑わう。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-032	三栖閘門資料館(みすこうもんしりょうかん)	京都市伏見区葎島金井戸町官有地	⑦その他	三栖閘門の過去の歴史から役割が分かる模型展示などを行っています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-033	琵琶湖疎水記念館(びわこそすいきねんかん)	京都市左京区南禅寺草川町17	⑦その他	明治の大事業琵琶湖の疎水の建設の図画や絵図、工事に係った人々の苦勞をしのぼせる資料を展示しています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-034	独立行政法人水資源機構 日吉ダム防災資料館	南丹市日吉町天若寺谷48	⑦その他	南丹市の災害時一時避難場所に指定されていると共に、地域の防災について学ぶことができます。また、水の役割、水の働き、水の怖さなど、水について学習することができます。日吉ダムについてもパネルや映像、模型等で説明しています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-035	川床料理(かわゆかりょうり)		⑦その他	溪流に床を張り出し、せせらぎの音を聞きながら川の幸、山の幸をいただく貴船の名物。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-036	京漬物(京野菜)(きょうつけもの)		⑦その他	京都で収穫される「京野菜」を、野菜本来のうまみを活かし、歴史に彩られた伝統の技術で漬ける京漬物は、日本が誇る伝統食品。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-037	いとこ汁		⑦その他	長岡京市の特産物の「ナス」、「かぼちゃ」と「小豆」を醤油と味噌で味付けした「汁もの」。簡単で栄養価が高く、学校給食でもとり入れられている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-038	鴨川高水敷(かもがわこうすいじき)	京都市中京区	③河川・水に関わる施設	近隣や観光客が集う鴨川の高水敷と芝生公園	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-039	大谷川(放生川)(おおたにがわ・ほうじょうがわ)	京都府八幡市八幡	③河川・水に関わる施設	石清水八幡宮のある男山の東側を流下する大谷川(放生川)。高水敷を遊歩道として整備。石清水八幡宮の雰囲気を生かした落ち着いた整備。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-040	玉川の桜(たまがわのさくら)	京都府井手町玉水	⑥公園・賑わい施設	堤防沿いの桜並木シーズンになると花見客で賑わう。	近畿地方整備局		無	H24.1.31

流域圏の“たからもの”推奨リスト(京都府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド ドマップ	にぎわい カード	登録日
京-041	小畑川「水辺の舞台」 (おぼたがわ みずべのぶたい)	京都市西京区	③河川・水に関わる施設	洛西ニュータウンのシンボルとなる“まつりの場”としての整備。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-042	保津峡 (ほづきょう)	亀岡市馬堀～嵐山	④歴史的風土・建造物	嵐山より上流、亀岡までの約16kmの峡谷。江戸時代に角倉了以が開削したことで知られ、今でも京都の景勝地として、観光に訪れる人々が絶えない。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-043	豪川・宇治川派流 (ほりかわ・うじがわはりゅう)	京都市伏見区	④歴史的風土・建造物	豊臣秀吉が伏見城を築くため整備した伏見港。その雰囲気を残す整備がされている。シーズンには十石船も運航する。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-044	高野川の桜並木 (たかのがわのさくらなみき)	京都市左京区	②みずべ風景	高野川の出町から北山までの間に、絶え間なく続く桜並木。京都の桜の名所の一つ。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
京-045	布目川の懸穴 (ぬのめがわのおうけつ)	京都府笠置町	②水辺風景	懸穴は川底の岩のくぼみに落ちた石が、渦巻き流で回転しながら岩を削ってできた円形の穴のこと。布目川の木津川合流点付近には大小さまざまな懸穴があり、布目川懸穴群と呼ばれている。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
京-046	潜没橋 (せんぼつきょう)	京都府笠置町	③河川・水に関わる施設	笠置町飛鳥路と有市をつなぐ木津川の潜没橋は、欄干がなく、増水時には水面下し沈んでしまいます。水面が近く、橋の上からは川の流れをじっくりと眺めることができる。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
京-047	大河原発電所 (おおがわらはつでんしょ)	京都府相楽郡南山城村	③河川・水に関わる施設	大正8年、水力発電所として運転を開始してから、現在も現役として活躍し、山城・奈良方面に電気を供給している。レンガ造りの建物で、昭和57年には日本建築学会による「全国の建物2000棟」にも選ばれている。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
京-048	夢絃峡 (むげんきょう)	京都府相楽郡南山城村	②水辺風景	三重県・伊賀市からの木津川本流と奈良市・月ヶ瀬からの名張川が静かに交わりあう深淵は夢絃峡と呼ばれている。夢絃峡の呼び名は平安時代の悲恋の物語の主人公、大和国司・絃之丞と名張郡司の娘・夢姫の2人にちなんで名付けられたとも言われている。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
京-049	高山ダム (たかやまだむ)	京都府相楽郡南山城村	③河川・水に関わる施設	1969年に木津川支川名張川に建設された、洪水調整、河川環境の保全、水道用水、発電を目的とした多目的ダム。アーチ重力式コンクリートダムと呼ばれる形式で、重力式とアーチ式という二つの形式の特性を持った珍しいタイプのダム。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
京-050	JR関西本線 (かんさいほんせん)	JR難波駅～名古屋駅	⑦その他	難波駅と名古屋駅を結ぶ関西本線は、木津川周辺 笠置～伊賀上野駅散策ルートを含む加茂駅から亀山駅間が非電化区間になっておりディーゼルカーが走っています。散策ルート区間では木津川と沿うように線路が敷かれている。	近畿地方整備局		無	H25.1.10

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイ ドマップ	にぎわい カード	登録日
大-001	枚方宿鍵屋資料館 (ひらかたしゅくかぎやしりょうかん)	枚方市堤町10-27	④歴史的 風土・建 造物	「市立枚方宿鍵屋資料館」は、枚方宿を代表する町家「鍵屋」と、その別棟を使った展示コーナーからなります。「鍵屋」は、三十石船の船待ちの宿として栄えました。その主屋を解体修理し、江戸時代の姿に復元しています。また、別棟の展示コーナーには、宿場に残された古文書や民具、発掘調査の出土品などを展示。くらわんか舟や三十石船などの模型や映像が展示されており、枚方宿や淀川舟運の歴史を楽しむことができます。	枚方市		無	H22.12.28
大-002	枚方宿 (ひらかたしゅく)	枚方市新町1丁目 6番27号～ 枚方市堤町10番 32号までの街道	④歴史的 風土・建 造物	枚方宿は東海道57次の56番目の宿場町として、また淀川舟運の中継港として栄え、東海道筋でも有数の宿場町として、街道筋には本陣や問屋場のほか旅館や茶屋が軒を並べ、徳川御三家の紀州侯が参勤交代の折にお泊りになる大きな宿場町でした。その延長は約1.5kmにもおよび、現在でも街道沿いには歴史的な町家が建ち並び当時の面影を残しています。	枚方市		無	H22.12.28
大-003	恋人たちの聖地 (天野川遊歩道) (こいびとたちの せいち・あまのが わゆうほう)	枚方市天野川・宮 之阪周辺	③河川・ 水に関わ る施設	平安時代「交野が原」と呼ばれていた天野川流域には、七夕伝説にちなんだ地名が残されているほか、交野市には織姫を祀った機物神社やその対岸にある枚方市の牽牛石などがあります。天野川に架かるかささぎ橋、逢合橋、禁野橋周辺の河川敷、堤防は遊歩道として整備されており、七夕にまつわる碑文やモニュメントが配置され、ロマンティックな遊歩道となっています。	枚方市		無	H22.12.28
大-004	淀川舟運イベ ント (よどがわしゅう うんイベント)	枚方船着場～八 軒家浜港	⑦その他	平成15年3月の世界水フォーラムに合わせて枚方舟運まつりを開催し、「舟運再生枚方宣言」を行って以降、市民が水辺を身近に感じられる川に向かって開かれたまちづくりが進められています。そのひとつとして「舟運イベント」が開催されています。屋形船や水上バスに乗船では、毛馬閘門の開閉も体験することができます。	枚方市		無	H22.12.28
大-005	水面廻廊 (みなもかいろ う)	枚方市桜町、伊加 賀西町、出口地内	③河川・ 水に関わ る施設	水面廻廊は枚方市南部に位置し、枚方大橋付近から淀川とほぼ平行して寝屋川市界まで流れている延長2.8kmの水路です。水路としての役割だけでなく、古くから灌漑用水としても利用された多目的水路となっています。当水路は、人と生物・自然が共存しながら多くの人々が集い、水に親しめ、安らぎのある親水空間として現存する歴史ある水路を新しく再生したものです。三十石船のレプリカも見ることができます。	枚方市		無	H22.12.28
大-006	ひらかた菊フェ スティバル	枚方市役所周辺、 枚方宿鍵屋資料 館等	⑦その他	市の花「菊」にちなみ、「枚方菊花展」・「枚方宿街道菊花祭」・「枚方市民菊人形の展示」・「菊ライブ」を総称して「ひらかた菊フェスティバル」が開催しています。	枚方市		無	H22.12.28

■ 非公表

非公表 ■

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド マップ	にぎわい カード	登録日
大-007	新春走ろうかい ひらかたハーフ マラソン	淀川左岸緊急用 河川敷道路	⑦その他	このイベントは、枚方市の冬の風物詩となっており、例年3,500名を越える人が参加されているこの周辺地域最大の大会となっています。 成人の日の開催と言うこともあり、毎年、新成人が「二十歳のメモリアルRUN」ということで振袖姿や紋付袴姿で走っています。	枚方市		無	H22.12.28
大-008	ひらかた水辺公園 (淀川河川公園・ 枚方地区)	枚方市三矢	⑥公園・ 賑わい施設	「枚方で一番好きなのはココ！」と市民に愛される公園。遠く摂津の山なみを望む広大な緑地に水のせせらぎや鳥の音が聞こえ、町中にこんなに大きな自然があることに驚かされる。休日はここでピクニックやアウトドアスポーツを楽しむ家族連れやカップルも多い。	枚方市		無	H22.12.28
大-009	枚方宿ジャズスト リート (ひらかたしゆく ジャズストリート)	枚方市岡本町から の堤町の京街 道沿い	⑦その他	毎年6月「ビックバンドフェスティバル」と題してプレイベントを開催し、11月には街道菊花祭と併せて「枚方宿ジャズストリート」として、街道周辺の寺や公園などで、ジャズの演奏会を開催しています。 街道沿いには菊の花が並び、各会場からはジャズの音楽が流れ、花と音楽と歴史が融合したイベントとなっています。	枚方市		無	H22.12.28
大-010	枚方宿くらわん か五六市 (ひらかたしゆく くらわんかごろく いち)	枚方市岡本町から の堤町の京街 道沿い	⑦その他	毎年6月「ビックバンドフェスティバル」と題してプレイベントを開催し、11月には街道菊花祭と併せて「枚方宿ジャズストリート」として、街道周辺の寺や公園などで、ジャズの演奏会を開催しています。 街道沿いには菊の花が並び、各会場からはジャズの音楽が流れ、花と音楽と歴史が融合したイベントとなっています。	枚方市		無	H22.12.28
大-011	八軒家浜 (はちけんやば ま)	大阪市中央区天 満橋京町1地先	⑥公園・ 賑わい施設	大川沿いの八軒家浜は、古くから京都との水上交通の拠点で、熊野街道への起点といわれており、この八軒家浜の再整備は平成21年に完成し、船着場や親水護岸・遊歩道等の水辺整備や周辺のライトアップなどの整備をしています。	大阪府		無	H22.12.28
大-012	川の駅はちけん や	大阪市中央区北 浜東1番2号	⑥公園・ 賑わい施設	「川の駅はちけんや」は八軒家浜に位置し、施設内にはレストランや乗船券売り場などが入っており、平成21年8月に完成しました。八軒家浜を会場とするイベント時の利用などにも活用されています。	大阪府		無	H22.12.28
大-013	津波・高潮ス テーション (つなみ・たかし おステーション)	大阪市西区江之 子島2丁目地先	③河川・ 水に関わ る施設	「津波・高潮ステーション」は、津波や高潮についての正しい知識、いざ地震や津波が発生した時の対応などを学べる防災啓発施設です。“見て、聞いて、触って”楽しく学び、災害への備えの大切さを心に刻んでください。	大阪府		無	H22.12.28
大-014	ほたるまち前	大阪市福島区福 島1丁目地先	②みずべ 風景	堂島川沿いのほたるまち前では、スーパー堤防による遊歩道等の水辺整備をしています。さらに、水上交通ネットワークの拠点として、また様々なイベント利用できるものとして船着場の整備をしています。	大阪府		無	H22.12.28
大-015	中之島バンク (なかのしまばん くす)	大阪府西区中之 島5丁目	⑥公園・ 賑わい施設	堂島川に面した河川敷の賑わい空間で、デザインミュージアムなどが入った施設があります。また、川側には隣接して公共船着場があり、夜には対岸などがライトアップされます。	大阪府		無	H22.12.28

流域圏の“たからもの”推奨リスト(大阪府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイ ドマップ	にぎわい カード	登録日
大-016	樟葉ワンド (くずはワンド)	枚方市樟葉	①みずべ 環境	淀川最上流部でのワンドやたまりの再生を試みている箇所。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-017	鵜殿のヨシ原 (うどののヨシはら)	高槻市	①みずべ 環境	鵜殿のヨシは古くからヨシ刈りやヨシ焼きが行われており、ヨシの加工(よし等)は地元の伝統産業として長い歴史を有している。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-018	磯島取水口 (いそじましゅすいこう)	枚方市	③河川・ 水に関わ る施設	大阪府域の水道用水として、村野浄水場に送水されています。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-019	枚方大橋 (ひらかたおおはし)	枚方市、高槻市	③河川・ 水に関わ る施設	昭和42年完成。大阪府内の淀川では最上流部にあります。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-020	枚方水管橋 (ひらかたすいかんきょう)	枚方市、高槻市	③河川・ 水に関わ る施設	昭和40年完成。村野浄水場から北摂地域へ水道水を送る管を渡す橋です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-021	千里川 萱野中央2号公園(せせらぎ公園) (せんりがわかのちゅうおう2ごうこうえん)	箕面市 西宿	③河川・ 水に関わ る施設	箕面市萱野中央の区画整理事業に伴い、河川の付替え工事と併せて親水空間整備を実施し、平成12年度に整備完了。大型ショッピングセンター(イオン箕面店)に隣接しており、大勢の家族連れでにぎわっています。	大阪府		無	H24.1.31
大-022	高川 水路橋 (たかがわすいろきょう)	豊中市北条町	③河川・ 水に関わ る施設	川が道路の上を流れる珍しい橋です。高川は、過去から洪水が多く、何度も堤防を高く直したため、天井川となり、現在の府道豊中吹田線の整備時に水路橋として築造されました。	大阪府		無	H24.1.31
大-023	天竺川 桜並木 (てんじくがわさくらなみき)	豊中市北条町	⑥公園・ 賑わい施 設	神崎川との合流点までの約7.6km間には史跡や伝承も多く、気軽な流域散策が楽しめます。特に、3月下旬から4月上旬にかけては、ユキヤナギ・桜並木が美しい景観を作り出します。	大阪府		無	H24.1.31
大-024	芥川 親水空間 (あくたがわしんすいくわん)	高槻市清福寺町	⑥公園・ 賑わい施 設	「あくた川21」計画に基づき、地域に調和した水辺空間の整備や水と緑のネットワークづくりなど地域の多様なニーズに対応した河川環境整備事業として整備された親水空間です。	大阪府		無	H24.1.31
大-025	水辺プラザの 里いわふね (みずべぶらざの しのさといわふ ね)	交野市私市	③河川・ 水に関わ る施設	地域のふれあい・交流拠点として、豊かな自然環境の保全や生物にやさしい河川空間の創出、自然を身近に感じる河川空間の形成、歴史的土木施設の保全・ネットワーク化を計画し水辺空間が整備され、平成19年度に完	大阪府		無	H24.1.31
大-026	寝屋川せせらぎ 公園 (ねやがわせせら ぎこうえん)	寝屋川市東大利町	③河川・ 水に関わ る施設	平成13年市制50周年を記念し、寝屋川を市のシンボル(市民に親しまれる魅力ある川)として再生するため、寝屋川再生ワークショップを立上げ、市民とのパートナーシップによる川づくりとして親水公園整備が実施され、平成17年度に完成。	大阪府		無	H24.1.31
大-027	天野川トンネル (あまのかわたん ネル)	交野市私市	③河川・ 水に関わ る施設	当地は、名勝「磐船峡」に指定されており、下流には磐船神社があります。このような現地状況から、磐船峡の景観や環境保全に配慮し、トンネル放水路として計画・整備され、平成13年度に完成しました。	大阪府		無	H24.1.31
大-028	免除川 (めんじょかわ)	交野市東倉治1丁目から交野市大字倉治	③河川・ 水に関わ る施設	免除川流域内にある『源氏の滝』は交野市八景の一つとして市民に親しまれ憩いの場となっており、都市周辺に残された自然環境を考慮し、親水施設等を取り入れた景観保全事業として整備されました。	大阪府		無	H24.1.31

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイ ドマップ	にぎわい カード	登録日
大-029	二番取水樋 (にばんしゅすいひ)	柏原市上市	③河川・ 水に関わ る施設	大和川から長瀬川に農業用水を取水するために明治時代に設けられたこの樋は、レンガ積の美しいアーチで仕上げられており、文化庁有形登録文化財になっています。	大阪府		無	H24.1.31
大-030	二俣分水樋 (ふたまたぶんすいひ)	八尾市二俣	③河川・ 水に関わ る施設	大和川から取水した用水を長瀬川と玉串川に分流するための施設で、近接して整備された園地には疎水百選選定記念碑が設置されています。	大阪府		無	H24.1.31
大-031	安中町五丁目公園 (あなちようご ちようめこうえん)	八尾市安中町	⑥公園・ 賑わい施 設	大雨時には長瀬川の流水を一時貯留する機能を持つこの公園では、地域の小学生等により水生植物の植栽帯が整備されています。長瀬川沿いには他にも水生植物帯が数カ所設置されています。	大阪府		無	H24.1.31
大-032	玉串川の桜並木 (たまぐしかわの 桜なみき)	八尾市	⑥公園・ 賑わい施 設	玉串川の南北約4kmに渡り、昭和40年代に市民の手によって植えられた桜が、春には見事に咲き誇ります。大阪ミュージアム構想でも選定されています。	大阪府		無	H24.1.31
大-033	出口スーパー堤防 (でぐちスーパー ていぼう)	枚方市	③河川・ 水に関わ る施設	昭和63年に日本で初めて完成したスーパー堤防です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-034	三島江の渡し跡 (みしまえのわた しあと)	高槻市	④歴史的 風土・建 造物	江戸時代に内陸の高槻や富田の外港として栄えた。古くから歌枕にされた葦や月の名所であり、近世には三島江の渡しが設けられ対岸の枚方市(松ヶ鼻)と結んでいた。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-035	木屋取水口 (こやしゅすいこ う)	枚方市	③河川・ 水に関わ る施設	寝屋川市の水道用水として、香里浄水場から市内に配水されます。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-036	太間排水機場、 樋門 (たいまはいすい きじょう、ひもん)	寝屋川市	③河川・ 水に関わ る施設	寝屋川下流部の洪水時に淀川にポンプで排水するための施設です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-037	くらわんか舟発 祥の地	高槻市	④歴史的 風土・建 造物	淀川の舟運があった時代、往来する舟に向かって酒や餅を売っていた小舟を「くらわんか舟」といいました。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-038	点野ワンド (しめのワンド)	寝屋川市	①みずべ 環境	ワンドとは、淀川本流とつながっているか、水が増えたときにつながる河川敷の小さな池のこと。ほとんど流れがないためさまざまな生きものが見られる。点野ワンドは、淀川のワンドのうち淀川新橋と鳥飼仁和寺大橋の間にある。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-039	淀川新橋 (よどがわしんば し)	寝屋川市、高槻市	③河川・ 水に関わ る施設	昭和53年完成。橋の形式として一般的な桁橋です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-040	鳥飼・仁和寺大 橋 (とりかい・にん なじおおはし)	寝屋川市、摂津市	③河川・ 水に関わ る施設	昭和62年完成。一般有料道路です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-041	鳥飼の渡し跡 (とりかいのわた しあと)	摂津市	④歴史的 風土・建 造物	このあたり江戸時代には多くの渡しがありました。多くは橋の架設で廃止されましたが、鳥飼の渡しのみ昭和50年まで地元の足となっていました。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-042	宮ノ下渡船場跡 (みやのしたとせ んじょうあと)	摂津市	④歴史的 風土・建 造物	永禄元年頃から河内と摂津を結ぶ重要な渡船場でした。鳥飼大橋の完成とともに姿を消しました。	近畿地方整備局		無	H22.12.28

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド マップ	にぎわい カード	登録日
大-043	庭窪ワンド群 (にわくぼワンド ぐん)	守口市	①みずべ 環境	庭窪ワンド群は、淀川のワンド のうち鳥飼大橋付近にある。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-044	大道取水口 (おおみちしゅす いこう)	大阪市東淀川区	③河川・ 水に関わ る施設	兵庫県の神戸市・尼崎市・西宮 市・芦屋市の水道用水として取 水され、猪名川浄水場に送水さ れています。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-045	豊里大橋 (とよさとおおは し)	大阪市旭区、東淀 川区	③河川・ 水に関わ る施設	昭和45年完成。大阪府で初め ての斜張橋で215mの桁間の 長さは当時では日本最長でし た。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-046	平田の渡し跡 (ひらたのわたし あと)	大阪市東淀川区	④歴史的 風土・建 造物	豊里大橋が完成するまで約30 0年運航していました。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-047	菅原城北大橋 (すがわらしろき たおおはし)	大阪市旭区、東淀 川区	③河川・ 水に関わ る施設	平成元年完成。大阪府で最初の 有料道路橋で、普通車の通行料 が100円であることから「100 円橋」と呼ばれています。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-048	城北ワンド群 (しろきたワンド ぐん)	大阪市旭区	①みずべ 環境	城北ワンド群は、淀川のワンド のうち菅原城北大橋付近にあ る。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-049	赤川鉄橋 (あかがわてつ きょう)	大阪市旭区、東淀 川区	③河川・ 水に関わ る施設	昭和4年完成。列車と人が一緒 に渡る珍しい橋梁です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-050	淀川水管橋 (よどがわすいか んきょう)	大阪市都島区、東 淀川区	③河川・ 水に関わ る施設	昭和60年完成。 大阪市内の水道水の送水管を 渡す橋です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-051	柴島取水口 (くいにじましゅ すいこう)	大阪市東淀川区	③河川・ 水に関わ る施設	大正3年に東洋一といわれた柴 島浄水場に送水され、大阪市内 の水道水となります。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-052	淀川大堰 (よどがわおおぜ き)	大阪市都島区、淀 川区	③河川・ 水に関わ る施設	淀川の水を安定に取水するた め、海水が遡上しないようにす る施設です。	近畿地方整備局		無	H22.12.28
大-053	WTCコスモタ ワー[夕陽]	大阪市住之江区	②水辺風 景	淡路島、明石海峡大橋、関西国 際空港、神戸・大阪の街並みな ど、はるか遠くの景色までが一 望できる西日本一の高さを誇る 展望台。 「日本の夕陽百選」に選定されて いる。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-054	舞洲スポーツ アイランド[夕陽] (まいしゅスポー ツアイランド)	大阪市此花区	②水辺風 景	舞洲の高さ25mの人工の山が 「新夕陽ヶ丘」。頂上からは360 度に広がる眺望を楽しむことが できる。「日本の夕陽百選」に選 定されている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-055	四天王寺[夕陽] (してんのうじ)	大阪市天王寺区	②水辺風 景	約1400年前、聖徳太子が建立し た日本仏教最初の官寺で、国の 重要文化財。創建当時はすぐ西 が海、彼岸の中日に夕陽がちよ うど真ん中に沈む大鳥居が極楽 の東門にあたとされていた。 「日本の夕陽百選」に選定されて いる。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-056	今城塚遺跡 (いましろづかこ ふん)	高槻市郡家新町	⑤史跡・文 化財	淀川流域では最大級の前方後 円墳であり、国指定の史跡。日 本最大の家形埴輪や精緻な武 人埴輪が発見されている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-057	百済寺跡 (くだらじあと)	枚方市中宮西之 町1	⑤史跡・文 化財	全国でも初めての史跡公園。か つての威容をしのばせる礎石が 今も残る寺院跡は、「百済寺跡 の松風」として枚方八景の一つ にも選ばれている。国の特別史 跡に指定されている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイ ドマップ	にぎわい カード	登録日
大-058	下水道科学館 (げすいどうかがくかん)	大阪市此花区高見1-2-53	⑦その他	都市の暮らしを支える下水道の役割や、下水道の仕組みと働きなどを様々な展示物や体験施設により、わかりやすく、楽しみながら学ぶことができます。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-059	水道記念館 (すいどうきねんかん)	大阪市東淀川区柴島1-3-1	⑦その他	水道100年の歴史、暮らしと水道とのかかわりについてわかりやすく紹介しています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-060	大阪府環境農林水産総合研究所「大阪府環境情報プラザ」 (おおさかふかふんきょうぶらざ)	大阪市東成区中道3-62	⑦その他	環境に関する情報を広く府民に情報提供するとともに、施設を活動の場として提供し、府民・環境NPO・事業者などの環境学習や環境活動を支援しています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-061	大阪府環境農林水産総合研究所「水生生物センター」 (すいせいせいぶつせんたー)	寝屋川市木屋元町10-4	⑦その他	淡水魚など水生生物の生態や生息環境の調査研究を行い、その成果の普及に努めています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-062	淀川資料館 (よどがわしりょうかん)	枚方市新町2-2-13	⑦その他	自然・歴史・文化から河川改修事業まで、淀川をあらゆる角度からわかりやすく紹介しています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-063	箱寿司 (はこずし)		⑦その他	木型にえび、魚の切り身などと酢で味付けしたご飯を入れて押し出したあと、取り出して食べやすい大きさに切り、食べる大阪発祥の寿司。大阪寿司とも呼ばれている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
大-064	玉川の里 (たまがわのさと)	高槻市 玉川	②水辺風景	平安朝より和歌に歌われ、江戸期には俳句や川柳に詠まれた「卯の花の玉川」。卯の花や月の名所として名高く、高槻市の花に卯の花が指定されたのもこの地が由来。「摂津国三島の玉川」として全国・六玉川の一つに数えられる。春は桜の花が多く咲き花見の人で賑わう。	大阪府		無	H25.1.10
大-065	三箇牧揚水機場取水口 (さんがまきようすいきじょうしゆすいこう)	高槻市 唐崎	③河川・水に関わる施設	古来あった合同樋(高槻市唐崎地内)と実正樋(高槻市柱本・摂津市鳥飼上付近)を統合し、昭和24年に築造されたものを昭和57年に現在地に移築。ここで取水した農業用水を高槻市三箇牧地区・茨木市の阪急京都線以南地区・摂津市の阪急京都線以南地区・吹田市の岸辺、吹田、豊津の農地に送水	大阪府		無	H25.1.10
大-066	安威川を伏せ越す排水路群 (あいがわをふせこすはいすいろぐん)	茨木市・摂津市	③河川・水に関わる施設	古来北摂地区の配水は北から南、東から西へと流化し、安威川・神崎川へと放流されていた。そのなかで、上記の箇所において安威川の水位上昇による堤内地への被害を防ぐため、安威川をサイホンでくぐり、新幹線鳥飼基地北側の番田水路・鳥飼三箇牧水路へ排水している。	大阪府		無	H25.1.10
大-067	北大冠水路 (きたおおかんむりすいり) “オタガイサマ”活動	高槻市	⑦その他	北大冠水路では、水路の内側に花を飾り、地元企業及び地域住民によって日々の水やりなどの美化活動が行われている。対岸を通る人が花を眺めて和めるようにということで、“オタガイサマ”を活動のテーマとして地域に親しまれる水辺づくりが続けられている。	大阪府		無	H25.1.10
大-068	大阪ふれあいの水辺	大阪市都島区中野町(毛馬桜之宮公園内)	①みずべ環境	大川の貯木場跡地に整備された1.2haの人工砂浜。都会の中で水辺とふれあえる貴重な空間です。	大阪府		無	H25.1.10

流域圏の“たからもの”推奨リスト(大阪府域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイド マップ	にぎわい カード	登録日
大-069	中之島周辺のライトアップ(橋梁) (なかのしましゅうへんのライトアップ・きょうりょう)	大阪市北区中之島ほか	②水辺風景	浪華三大橋(天満橋・天神橋・難波橋)の他、中之島にかかる多くの橋梁がライトアップされています。LED照明が採用され、季節や時間によって変化する橋梁もあります。	大阪府		無	H25.1.10
大-070	中之島周辺のライトアップ(護岸) (なかのしましゅうへんのライトアップ・ごがん)	大阪市北区南天満他	②水辺風景	八軒家浜や大阪国際会議場、ほたるまちなどの対岸では、護岸や水面、公園のみどりをライトアップし魅力的な景観を演出しています。	大阪府		無	H25.1.10
大-071	中之島周辺のライトアップ(船着場) (なかのしましゅうへんのライトアップ・ふなつき)	大阪市中央区天満橋京町	②水辺風景	八軒家浜港、ローズポート、ほたるまち港、大阪国際会議場港、大阪中央卸売市場港では、それぞれのテーマにより光の演出がされています。	大阪府		無	H25.1.10
大-072	毛馬洗堰 (けまあらいぜき)	大阪市北区長柄東3丁目	④歴史的風土・建造物	毛馬洗堰は、淀川改良工事(明治30年～43年)のとき新放水路を開削し、旧淀川を締め切るため、その地点に旧淀川へ必要な維持流量を流すために築造された施設です。平成20年6月重要文化財指定。毛馬公園の一部として公開。	近畿地方整備局		無	H25.1.10

流域圏の“たからもの”推奨リスト(兵庫県)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連ガイドマップ	にぎわいカード	登録日
兵-001	昆陽池の渡り鳥(こやいけのわたりどり)	伊丹市昆陽池3丁目	①みずべ環境	ユリカモメやオナガガモ、ヒドリガモなど約7種類の渡り鳥が、11月中旬から翌年2月にかけてシベリアやサハリンから冬越しのためにやってくる。阪神間屈指の「野鳥の楽園」として、市民の憩いの場として親しまれている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
兵-002	あまがさきホテルの里	尼崎市西昆陽3丁目	①みずべ環境	昭和30年代後半まで生息していたホテルを甦らせようと、武庫川からの良質の流入水を取り入れ整備した。6月上旬には水路周辺を飛び交うゲンジボタルが観賞できる。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
兵-003	多田院(多田神社)(ただいん・ただじんじゃ)	川西市多田院多田所町1-1	⑤史跡・文化財	源満仲、頼光、頼信、頼義、義家を祀る源氏発祥の地といわれている。境内はとても雄大で眺めも素晴らしく、宝物殿には書画など多数陳列しており、国史上重要な地域であるとして史蹟指定を受けている。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
兵-004	猪名川自然林(いながわしぜんりん)	尼崎市椎堂	⑥公園・賑わい施設	猪名川の蛇行部分のショートカット工事により約20ヘクタールの廃川敷ができ、旧堤防には猪名川の氾濫とともに成立したエノキ・ムクノギからなる河畔林が形成されていた。この河畔林は都市部に残る貴重なものであるとして「猪名川自然林」と名付けられ、現在兵庫県のレッドデータ	近畿地方整備局		無	H24.1.31
兵-005	田能遺跡跡(たのいせきあと)	尼崎市田能6丁目	⑤史跡・文化財	弥生時代の全期間にわたる集落跡で、近畿地方弥生時代の墓制を明かにした木棺墓(もっかんぼ)、土壇墓(どこうぼ)、壺・甕棺墓(かめかんぼ)などの墓が発見されました。弥生時代の暮らしを体験する体験学習会も開催されています。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
兵-006	伊丹スカイパーク(いたみスカイパーク)	伊丹市森本7丁目	⑥公園・賑わい施設	大阪国際空港の滑走路のすぐ横に隣接する公園で、長さ1.2km、幅80m、高さ約7mの連続した丘が連なり、丘の上から航空機の離着陸を間近でみることができている。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
兵-007	下河原緑地(しもがわらりよくち)・エアフロントオアシス下河原	伊丹市下河原	⑥公園・賑わい施設	下河原緑地(伊丹市整備)とエアフロントオアシス下河原(国が整備)は、一体で大阪国際空港の北側に隣接し、離陸する飛行機やヘリコプターをみることができる。	近畿地方整備局		無	H25.1.10
兵-008	大阪国際空港(おおさかこくさいくうこう)	兵庫県伊丹市、大阪府豊中市・池田市にまたがる	⑦その他	1939年に「大阪第二飛行場」として開設されたのち、1959年に「大阪国際空港」に改称した。空港周辺には猪名川に注ぐ箕面川、千里川、空港川があり、空港沿いの空港川のほとりは飛行機を見物にくる人たちににぎ	近畿地方整備局		無	H25.1.10

流域圏の“たからもの”推奨リスト(三重県域)

H25. 1. 10現在

非公表

非公表

No.	たからもの 名称	所在地	分類	たからもの概要	推奨機関	関連方 イドマツ	にぎわい カード	登録日
三-001	香落溪 (かおちだに)	名張市青蓮寺	②水辺風景	名張川の支流・青蓮寺川に沿う香落溪は、約8キロメートルに渡る柱状節理の岩肌を形成しています。秋には全山が紅葉におおわれます。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
三-002	岩倉峡 (いわくらきょう)	伊賀市	④歴史的 風土・建造物	伊賀市にある渓谷。木津川両岸に深い谷を形成しており、清流と大小の奇岩、瀬、淵に富んだ景観である。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
三-003	伊賀上野城 (いがうえのじょう)	伊賀市上野丸之内106	⑤史跡・文化財	藤堂高虎により築城され、現在は当時の内堀と石垣、天守閣が残っており、石垣は日本有数の高さを誇ります。市の指定文化財に指定されています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
三-004	独立行政法人水 資源機構 木津 川ダム総合管理 所	名張市下比奈知 2811-2	⑦その他	高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダムの役割、流域の情報等について、携帯サイト等でも情報発信しています。	近畿地方整備局		無	H24.1.31
三-005	しあん橋	三重県伊賀市 西山一西高倉	②水辺風景	岩倉峡公園の中にある「しあん橋」と呼ばれる全長118mの吊り橋は、奇岩連なる景勝地である岩倉峡を眼下に眺めることができる。	近畿地方整備局		無	H25.1.10

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-031	葛川明王院(かつらがわみょうおういん)	滋-032	伊崎寺(いさきでら)
分類	⑤史跡・文化財	分類	⑤史跡・文化財
 <p style="text-align: center;"><small>(社)びわこビジターズビューロー提供</small></p>		 <p style="text-align: center;"><small>(社)びわこビジターズビューロー提供</small></p>	
所在地		所在地	
大津市葛川坊村町		近江八幡市白王町	
管理者		管理者	
—		—	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>葛川明王院は、比良山系の西方を流れる安曇川上流の溪谷に立地する天台宗の寺院で、平安時代初期に、比叡山延暦寺の僧相応が葛川の三の滝で祈念していたところ、飛瀑中に生身の不動明王を感得し、自ら刻んだ不動明王を安置したことに始まると伝えられる。</p>		<p>伊崎寺は、近江八幡市の北端、琵琶湖岸に面した伊崎山に立地する天台宗の寺院で、比叡山の回峰行の開祖とされる相応の創建と伝えられる。毎年8月1日に行われる竿飛びの行事は、琵琶湖に突き出した竿の先端から禪姿の行者が7m下の湖面に飛び込む。</p>	
滋-033	長命寺(ちょうめいじ)	滋-034	白鬚神社(しらひげじんじゃ)
分類	⑤史跡・文化財	分類	⑤史跡・文化財
 <p style="text-align: center;"><small>(社)びわこビジターズビューロー提供</small></p>		 <p style="text-align: center;"><small>(社)びわこビジターズビューロー提供</small></p>	
所在地		所在地	
近江八幡市長命寺町		高島市鵜川	
管理者		管理者	
—		—	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>長命寺は琵琶湖の東岸、標高333mの長命寺山腹に位置する。湖を広く見渡す景勝地に重要文化財の本堂をはじめ中世建築の堂塔が軒を連ね、壮麗な伽藍を今に伝える。秘仏厨子の奥室に薬師如来像が祀られ、境内に不老滝があるなど、水と関わる深い信仰の存在が伺える。</p>		<p>白鬚神社は全国の白鬚社の本社とされ、湖西地方を代表する滋賀県の古社である。社殿は琵琶湖に向かって開かれ、鳥居によって湖とつながる。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-035	大瀧神社(おおたきじんじゃ)	滋-036	邦楽器系の里(ほうがっきいとのだ)
分類	⑤史跡・文化財	分類	④歴史的風土・建造物
 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>		 <p style="text-align: right; font-size: small;">(社)びわこビジターズビューロー提供</p>	
所在地		所在地	
犬上郡多賀町富之尾		長浜市木之本町大音(おおと)・西山	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>犬上川が轟々と流れる景勝地「大蛇の淵」に臨んで鎮座する大瀧神社は、犬上川下流27ヵ村の水源を司り、五穀豊穡をもたらす神として大いに信仰を集めたとされる。</p>		<p>賤ヶ岳の麓に位置する大音・西山の里は、琴系の里と呼ばれ、琴や三味線、琵琶等の邦楽器で使う絃の原糸となる生糸生産が伝統技術として受け継がれる。上質な生糸の製造には、賤ヶ岳の麓から湧き出る清浄な水によるところが大きいと言われる。その名残か、現在も大音の里には、昔から地元の人々が大切に用いてきた清水(しょうず)と呼ばれる池が点在する。</p>	
滋-037	近江八幡の水郷(おうみはちまんのすいごう)	滋-038	沖島(おきしま)
分類	④歴史的風土・建造物	分類	④歴史的風土・建造物
 <p style="text-align: right; font-size: small;">(社)びわこビジターズビューロー提供</p>		 <p style="text-align: right; font-size: small;">(社)びわこビジターズビューロー提供</p>	
所在地		所在地	
近江八幡市白王町・円山町ほか		近江八幡市沖島町	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>近江八幡の水郷は、漁業やヨシ産業等、周辺に暮らす人々の生業を通し、自然と人が共生し、豊かな恵み、自然、景観の維持・再生が繰り返されてきた。こうしたことが高く評価され、平成18年、我が国で最初の「重要文化的景観」に選定された。</p>		<p>沖島は琵琶湖最大の島で、近江八幡市の沖合約1.5kmに浮かび、架橋はない。淡水湖上の島としては、日本国内で唯一人が定住することで知られる。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-039	海津・西浜・知内の水辺景観(かいづ・にしはま・ちないのみずべけいかん)	滋-040	高島の古式水道 (たかしまのこしきすいどう)
分類	④歴史的風土・建造物	分類	③河川・水に関わる施設
 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>		 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>	
所在地		所在地	
高島市マキノ町海津・西浜・知内		高島市勝野・朽木市場	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>海津・西浜・知内地区は、日本海方面からの物資を大津に運び出すための要港として繁栄した。その有様は、街道沿いに走る建造物群や、集落を琵琶湖の荒波から守るために築かれた壮大な石垣等に残されている。また、琵琶湖や知内川では、今なおアユ漁を中心とした漁業や、琵琶湖の水を利用した生活が継承されている。</p>		<p>古式水道とは、水を確保するため、水源から管をつなぎ、要所にサイフォンを利用した溜め枡を作り、家々に水を配分した施設のこと。その起源は江戸時代に遡る。豊富な湧水を活用するため、あるいは地下水が飲用に不向きなため、整備された。現在では飲用としては用いられなくなったが、生活用水として用いられている。</p>	
滋-041	大溝～乙女ヶ池と水路がめぐる城下町～	滋-042	水辺の集落 伊庭 (みずべのしゅうらく いば)
分類	④歴史的風土・建造物	分類	④歴史的風土・建造物
 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>		 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>	
所在地		所在地	
高島市大溝		東近江市伊庭	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>大溝城は、織田信長が琵琶湖の制海権の掌握を目的に、琵琶湖の四方に築いた4つの城郭のうちの一つである。琵琶湖から砂堆で仕切られて出来た乙女ヶ池を天然の湊とし、その北西端に本丸や天主台を突出させた大溝城は、現在は水田化・市街化が進み天主台の石垣だけが当時の面影を偲ばせるが、湖城と呼ぶにふさわしい景観として見る事ができる。</p>		<p>東近江市伊庭は、湖東平野に残る水郷集落の一つ。町中には瓜生川から引いた水路が縦横に巡り、豊富な水量と清らかな水質をみることができる。また、それぞれの家々に設けられた「カワト」も多く残されており、水との関わりは今も息づいている。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-043	琵琶湖の伝統的漁法 (びわこのでんとうてきぎょほう)	滋-044	膳所城跡公園(ぜぜじょうあとこうえん)
分類	④歴史的風土・建造物	分類	⑥公園・賑わい施設
 <p style="text-align: right; font-size: small;">(社)びわこビジターズビューロー提供</p>		 <p style="text-align: right; font-size: small;">(社)びわこビジターズビューロー提供</p>	
所在地		所在地	
滋賀県内一円		滋賀県大津市本丸町	
管理者		管理者	
-		大津市	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>琵琶湖では漁法の改良による多獲指向は顕著でなく、内水面という限られた漁場で漁業を持続させるための指向がみられる。琵琶湖ではこうした背景のもと、現在に至るまで伝統的漁法が多く伝えられてきた。それを特徴づけるのが魚の習性をうまく利用して捕獲する「待ち」の漁法であり、その代表が現在も琵琶湖独特の景観を形成するエリである。</p>		<p>徳川家康が大津城をこの地に移して築いた膳所城の本丸跡。膳所城は、東海道の名勝としても知られた水城であった。日本歴史公園100選に選ばれている。</p>	
滋-045	石場津の常夜燈(いしばづのじょうやとう)	滋-046	丸子船(まるこぶね)
分類	④歴史的風土・建造物	分類	⑤史跡・文化財
 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>		 <p style="text-align: right; font-size: small;">滋賀県文化財保護課提供</p>	
所在地		所在地	
大津市打出浜		長浜市西浅井町大浦	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>石場は、江戸時代に東海道の宿場町として賑わった大津町の東の外れの琵琶湖岸に設置された船着場である。この石場の船着場に弘化2年(1845年)に建立されたのが、「石場津の常夜燈」である。なぎさ公園内に移設された現在も、江戸時代に盛んだった湖上交通を偲ばせる。</p>		<p>丸子船は琵琶湖を代表する船で、江戸時代から昭和30年代までは琵琶湖の主力船舶として活躍した。現在その姿を完全な状態で見ることができるのは、琵琶湖博物館に復元展示されるものと、長浜市西浅井町大浦の北淡海丸子船の館に保管展示されている「神與丸」が唯一である。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-047	旧長浜駅舎(きゅうながはまえきしゃ)	滋-048	矢川神社・矢川津 (やがわじんじや・やがわづ)
分類	⑤史跡・文化財	分類	④歴史的風土・建造物
 <p>(社)びわこビジターズビューロー提供</p>		 <p>(社)びわこビジターズビューロー提供</p>	
所在地	管理者	所在地	管理者
長浜市北船町	—	甲賀市甲南町森尻	—
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>明治15年、長浜～敦賀間を結ぶ北陸線の始発駅として、長浜～大津を結ぶ連絡線に接続する駅として、長浜駅が誕生した。長浜と大津を結んだ鉄道連絡線は、同22年に湖東線の完成により東海道線が全通したことに伴って廃止された。現在見られる旧長浜駅舎は、現存する駅舎としては日本最古のもので、日本初の鉄道記念物に指定され、昭和58年から資料館として一般公開されている。</p>		<p>矢川(杣川)は滋賀県甲賀市域を流れる河川で、野洲川最大の支流である。近辺には甲賀杣と呼ばれる山林が広がり、ここで切り出された木材が、「矢川津」と呼ばれる川津を経て、そこから川伝いに琵琶湖、瀬田川から下流へ運ばれ、宮都や寺院の建築資材として用いられた。河畔には、矢川水系の司水神として祀られた矢川神社がある。</p>	
滋-049	田上山中の堰堤群(たなかみさんちゅうのえんていぐ)	滋-050	田川カルバート(たがわカルバート)
分類	③河川・水に関わる施設	分類	③河川・水に関わる施設
 <p>滋賀県文化財保護課提供</p>		 <p>滋賀県文化振興課提供</p>	
所在地	管理者	所在地	管理者
大津市上田上桐生町・田上森町若女谷	—	長浜市虎姫町唐国ほか	—
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>田上山は古代以前、桜や檜に覆われた美山であったと言われるが、乱伐や土の採取によって禿げ山となり、度々水害を引き起こすようになった。被害は下流の淀川流域にも及んだことから、多くの人々が様々な砂防工事に取り組んだ。中でも砂防堰堤は土砂の流出を止めるのに最も効果的と考えられ、明治時代から西洋の技術を取り入れた石積みの堰堤が、田上山周辺に大小数多く建設された。</p>		<p>田川、姉川、高時川の三川合流による水害に悩まされてきた長浜市虎姫町周辺の田川で建設されたカルバートは、川を立体交差させるという珍しいアイデアによるものだった。このカルバートは、お雇い外国人デ・レーケの提案した計画を、日本人の技術が実現した明治初期を代表する構造物である。また、度重なる水害に対する田川の災害克服の記念碑でもある。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-051	西野水道(にしのみずいどう)	滋-052	大沙川隧道(おおすながわすいどう)
分類	③河川・水に関わる施設	分類	③河川・水に関わる施設
 <p>(社)びわこビジターズビューロー提供</p>		 <p>滋賀県文化財保護課提供</p>	
所在地		所在地	
長浜市高月町西野		湖南市吉永	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>塩津湾の東岸は、琵琶湖と平野部との間を古保利丘陵が遮り、丘陵東麓ではしばしば余呉川が氾濫した。西野水道は、この川水を琵琶湖に排水するための洞門で、江戸時代の末期に洪水の被災地である西野村の人々が幾多の苦難を乗り越えて掘り貫きに成功した。菊池寛の小説『恩讐の彼方に』で有名な「青の洞門」に対比して、「近江の青の洞門」とも呼ばれる。</p>		<p>大沙川隧道は、旧東海道と大沙川が交差する位置にある。周辺の南側に迫る山々は、今では緑に覆われているが、明治時代末頃には樹木がほとんどなく、そのため山々を水源として流れ出る大沙川は砂を運び、天井川となっている。ここに明治17年に建造された大沙川隧道は、建設当初の位置で現存する現役の石像道路隧道としては日本最古のものである。</p>	
滋-053	横田渡(よこたのわたし)	滋-054	浮御堂(うきみどう)
分類	③河川・水に関わる施設	分類	⑤史跡・文化財
 <p>滋賀県文化財保護課提供</p>		 <p>(社)びわこビジターズビューロー提供</p>	
所在地		所在地	
甲賀市水口町泉		大津市堅田	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>横田渡は、東海道石部宿と水口宿の間、鈴鹿山脈かに源を発する野洲川と東海道が交わる所にある。横田渡の常夜燈は、近江東海道最大の渡河地点に位置しており、道行く旅人たちに対し、横田渡の存在を知らしめるランドマークだった。</p>		<p>近江八景「堅田の落雁」で名高い浮御堂は、寺名を海門山満月寺という。平安時代、恵心僧都が湖上安全と衆生済度を祈願して建立したという。現在の建物は昭和12年の再建によるもので、昭和57年にも修理が行われ、昔の情緒をそのまま残している。境内の観音堂には、重要文化財である聖観音座像が安置されている。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

滋賀県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

滋-055	唐崎の松(からさきのまつ)	滋-056	天野川流域のゲンジボタル (あまのかわりゅういきのゲンジボタル)
分類	②水辺風景	分類	②水辺風景
 <p>(社)びわこビジターズビューロー提供</p>		 <p>(社)びわこビジターズビューロー提供</p>	
所在地		所在地	
大津市唐崎		米原市長岡	
管理者		管理者	
-		-	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>「唐崎の松」は、歌川広重(安藤広重)の浮世絵「近江八景之内 唐崎夜雨」にも描かれた県内屈指の景勝地。万葉の時代から和歌や俳句などで幾度となく詠まれてきたところでもある。</p>		<p>ゲンジボタルは、孵化後幼虫で約265日を水中で生活する。この間餌となるカワニナを食べ6回脱皮して大きくなる。天野川は、伊吹山や霊仙山などの石灰岩地帯を水源とすることからカルシウムを豊富に含んでおり、カワニナの生育に適している。また流域においては古くから人々の暮らしがあり、適度な生活排水が流れ込むとともに、昔ながらの土の堤防が残されている。タルの良質な生育環境は、流域の人々の熱心な取組に支えられている。</p>	
滋-057	鹿跳溪谷(ししとびけいこく)		
分類	①みずべ環境	分類	
			
所在地		所在地	
滋賀県大津市大石			
管理者		管理者	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>瀬田川景勝地のひとつ。鹿跳橋付近は川幅が狭く水流が激しいため奇岩があちこちに見られる。鹿跳の名は、弘法大師の伝説に由来しているという。</p>			

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア	京都府域
-------	------

<b>【分類】</b>	
①みずべ環境	(名水、湿地、いきもの 等)
②水辺風景	(紅葉、夕陽、ホタル 等)
③河川・水に関わる施設	(護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
④歴史的風土・建造物	(祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
⑤史跡・文化財	(寺社仏閣、城 等)
⑥公園・賑わい施設	(桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
⑦その他	(食材、耕作物、公共施設 等)



京-045	布目川の甌穴(ぬのめがわのおうけつ)	京-046	潜没橋(せんぼつきょう)
分類	②水辺風景	分類	③河川・水に関わる施設
			
所在地	管理者	所在地	管理者
京都府笠置町		京都府笠置町	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
甌穴は川底の岩のくぼみに落ちた石が、渦巻き流で回転しながら岩を削ってできた円形の穴のこと。布目川の本津川合流点付近には大小さまざまな甌穴があり、布目川甌穴群と呼ばれている。		笠置町飛鳥路と有市をつなぐ木津川の潜没橋は、欄干がなく、増水時には水面下し沈んでいます。水面が近く、橋の上からは川の流をじっくりと眺めることができます。	
京-047	大河原発電所(おおがわらはつでん)	京-048	夢絃峡(むげんきょう)
分類	③河川・水に関わる施設	分類	②水辺風景
			
所在地	管理者	所在地	管理者
京都府相楽郡南山城村		京都府相楽郡南山城村	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
大正8年、水力発電所として運転を開始してから、現在も現役として活躍し、山城・奈良方面に電気を供給している。レンガ造りの建物で、昭和57年には日本建築学会による「全国の建物2000棟」にも選ばれている。		三重県・伊賀市からの木津川本流と奈良市・月ヶ瀬からの名張川が静かに交わりあう深淵は夢絃峡と呼ばれている。夢絃峡の呼び名は平安時代の悲恋の物語の主人公、大和国司・絃之丞と名張郡司の娘・夢姫の2人にちなんで名付けられたとも言われている。	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア	京都府域
-------	------

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

京-049	高山ダム(たかやまだむ)	京-050	JR関西本線(かんさいほんせん)
分類	③河川・水に関わる施設		⑦その他
			
所在地	管理者	所在地	管理者
京都府相楽郡南山城村		JR難波駅～名古屋駅	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>1969年に木津川支川名張川に建設された、洪水調整、河川環境の保全、水道用水、発電を目的とした多目的ダム。アーチ重力式コンクリートダムと呼ばれる形式で、重力式とアーチ式という二つの形式の特性を持った珍しいタイプのダム。</p>		<p>難波駅と名古屋駅を結ぶ関西本線は、木津川周辺 笠置～伊賀上野駅散策ルートを含む加茂駅から亀山駅間が非電化区間になっておりディーゼルカーが走っています。散策ルート区間では木津川と沿うように線路が敷かれている。</p>	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

大阪府域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

大-063	箱寿司(はこずし)	大-064	玉川の里(たまがわのさと)
分類	⑦その他	分類	②水辺風景
			
財団法人農村開発企画委員会 農山漁村の郷土料理WEBサイトより引用			
所在地	管理者	所在地	管理者
-	-	高槻市 玉川	神安土地改良区、高槻市
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
木型にえび、魚の切り身などと酢で味付けしたご飯を入れて押したあと、取り出して食べやすい大きさに切り、食べる大阪発祥の寿司。大阪寿司とも呼ばれている。		平安期より和歌に歌われ、江戸期には俳句や川柳に詠まれた‘卯の花の玉川’。卯の花や月の名所として名高く、高槻市の花に卯の花が指定されたのもこの地が由来。「撰津国三島の玉川」として全国・六玉川の一つに数えられる。春は桜の花が多く咲き花見の人で賑わう。	
大-065	三箇牧揚水機場取水口 (さんがまきようすいきじょうしゅすいこう)	大-066	安威川を伏せ越す排水路群 (あいがわをふせこすはいすいろぐん)
分類	③河川・水に関わる施設	分類	③河川・水に関わる施設
			
所在地	管理者	所在地	管理者
高槻市 唐崎	神安土地改良区	茨木市・摂津市	神安土地改良区
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
古来あった合同樋(高槻市唐崎地内)と実正樋(高槻市柱本・摂津市鳥飼上付近)を統合し、昭和24年に築造されたものを昭和57年に現在地に移築。ここで取水した農業用水を高槻市三箇牧地区・茨木市の阪急京都線以南地区・摂津市の阪急京都線以南地区・吹田市の岸辺、吹田、豊津の農地に送水。		古来北摂地区の配水は北から南、東から西へと流化し、安威川・神崎川へと放流されていた。そのなかで、上記の箇所において安威川の水位上昇による堤内地への被害を防ぐため、安威川をサイホンでくぐり、新幹線鳥飼基地北側の番田水路・鳥飼三箇牧水路へ排水している。	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

大阪府域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホタル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

大-067	北大冠水路(きたおおかんむりすいろ) “オタガイサマ”活動	大-068	大阪ふれあいの水辺
分類	⑦その他	分類	①みずべ環境
			
所在地	管理者	所在地	管理者
高槻市	高槻市 東部土地改良区	大阪市都島区中野町 (毛馬桜之宮公園内)	大阪府
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
北大冠水路では、水路の内側に花を飾り、地元企業及び地域住民によって日々の水やりなどの美化活動が行われている。対岸を通る人が花を眺めて和めるようにということで、“オタガイサマ”を活動のテーマとして地域に親しまれる水辺づくりが続けられてる。		大川の貯木場跡地に整備された1.2haの人工砂浜。都会の中で水辺とふれあえる貴重な空間です。	
大-069	中之島周辺のライトアップ(橋梁) (なかのしましゅうへんのライトアップ・きょうりょう)	大-070	中之島周辺のライトアップ(護岸) (なかのしましゅうへんのライトアップ・ごがん)
分類	②水辺風景	分類	②水辺風景
			
所在地	管理者	所在地	管理者
大阪市北区中之島ほか	大阪市	大阪市北区南天満他	大阪府
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
浪華三大橋(天満橋・天神橋・難波橋)の他、中之島にかかる多くの橋梁がライトアップされています。LED照明が採用され、季節や時間によって変化する橋梁もあります。(写真は天満橋)		八軒家浜や大阪国際会議場、ほたるまちなどの対岸では、護岸や水面、公園のみどりをライトアップし魅力的な景観を演出しています。(写真は八軒家浜対岸の南天満公園(奥の橋梁は天神橋))	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

大阪府域

## 【分類】

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ①みずべ環境      | (名水、湿地、いきもの 等)      |
| ②水辺風景       | (紅葉、夕陽、ホタル 等)       |
| ③河川・水に関わる施設 | (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など) |
| ④歴史的風土・建造物  | (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)  |
| ⑤史跡・文化財     | (寺社仏閣、城 等)          |
| ⑥公園・賑わい施設   | (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)  |
| ⑦その他        | (食材、耕作物、公共施設 等)     |

大-071	中之島周辺のライトアップ(船着場) (なかのしましゅうへんのライトアップ・ ふなつきば)	大-072	毛馬洗堰(けまあらいぜき)
分類	②水辺風景	分類	④歴史的風土・建造物
			
所在地	管理者	所在地	管理者
大阪市中央区天満橋京町	大阪府	大阪市北区長柄東3丁目	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
八軒家浜港、ローズポート、ほたるまち港、大阪国際会議場港、大阪中央卸売市場港では、それぞれのテーマにより光の演出がされています。(写真は八軒家浜港)		毛馬洗堰は、淀川改良工事(明治30年～43年)のとき新放水路を開削し、旧淀川を締め切るため、その地点に旧淀川へ必要な維持流量を流すために築造された施設です。平成20年6月重要文化財指定。毛馬公園の一部として公開。	

# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

兵庫県域

## 【分類】

- ①みずべ環境 (名水、湿地、いきもの 等)
- ②水辺風景 (紅葉、夕陽、ホテル 等)
- ③河川・水に関わる施設 (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など)
- ④歴史的風土・建造物 (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)
- ⑤史跡・文化財 (寺社仏閣、城 等)
- ⑥公園・賑わい施設 (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)
- ⑦その他 (食材、耕作物、公共施設 等)

兵-005	田能遺跡跡(たのいせきあと)	兵-006	伊丹スカイパーク(いたみスカイパーク)
分類	⑤史跡・文化財	分類	⑥公園・賑わい施設
 <p>尼崎市WEBサイトより引用</p>		 <p>伊丹市WEBサイトより引用</p>	
所在地		所在地	
尼崎市田能6丁目		伊丹市森本7丁目	
管理者		管理者	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>弥生時代の全期間にわたる集落跡で、近畿地方弥生時代の墓制を明かにした木棺墓(もっかんぼ)、土壙墓(どこうぼ)、壺・甕棺墓(かめかんぼ)などの墓が発見されました。弥生時代の暮らしを体験する体験学習会も開催されている。</p>		<p>大阪国際空港の滑走路のすぐ横に隣接する公園で、長さ1.2km、幅80m、高さ約7mの連続した丘が連なり、丘の上から航空機の離着陸を間近でみる事ができる。</p>	
兵-007	下河原緑地(しもがわりりよくち)・エアフロントオアシス下河原	兵-008	大阪国際空港(おおさかこくさいくうこう)
分類	⑥公園・賑わい施設	分類	⑦その他
 <p>伊丹市WEBサイトより引用(写真は下河原緑地)</p>			
所在地		所在地	
伊丹市下河原		兵庫県伊丹市、大阪府豊中市・池田市にまたがる	
管理者		管理者	
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
<p>下河原緑地(伊丹市整備)とエアフロントオアシス下河原(国が整備)は一体で大阪国際空港の北側に隣接し、離陸する飛行機やヘリコプターをみる事ができる。</p>		<p>1939年に「大阪第二飛行場」として開設されたのち、1959年に「大阪国際空港」に改称した。空港周辺には猪名川に注ぐ箕面川、千里川、空港川があり、空港沿いの空港川のほとりは飛行機を見物にくる人たちににぎわう。</p>	


# 流域圏の“たからもの”

地区エリア

三重県域

## 【分類】

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ①みずべ環境      | (名水、湿地、いきもの 等)      |
| ②水辺風景       | (紅葉、夕陽、ホタル 等)       |
| ③河川・水に関わる施設 | (護岸、床固め、堰、水門、浄水場など) |
| ④歴史的風土・建造物  | (祭り、地形、街並み、土木遺産 等)  |
| ⑤史跡・文化財     | (寺社仏閣、城 等)          |
| ⑥公園・賑わい施設   | (桜並木、親水公園、キャンプ場 等)  |
| ⑦その他        | (食材、耕作物、公共施設 等)     |

三-005	しあん橋		
分類	②水辺風景	分類	
			
所在地	管理者	所在地	管理者
三重県伊賀市 西山-西高倉			
“たからもの”解説		“たからもの”解説	
岩倉峡公園の中にある「しあん橋」と呼ばれる全長118mの吊り橋は、奇岩連なる景勝地である岩倉峡を眼下に眺めることができる。			

## ネットワークの構築の実施方針（プロムナード活用方策の推進）

- ① プロムナード点検
- ② 推奨プロムナードルートとりまとめ
- ③ 流域圏のたからもの探し

### 1. 概要と目的

みずべプロムナードネットワークは、平成24年度8月末時点で、610kmが完成している。

既に整備されたプロムナードを、広く利用者の方々に知っていただき、活用の促進を図ることを目的に、推奨ルートの点検を行い、コースや危険箇所などのルート情報、公共交通機関からのアクセス情報、周辺の魅力（流域圏のたからもの）を確認する取り組みを推進する。

点検した区間は、ガイドマップ、にぎわいカードを作成し、散策モデルコースとして、ホームページでの公開やマップ、カードの配付に取り組む。

### 2. 実施概要

#### 分科会の取り組み

平成25年度のプロムナードネットワーク分科会としては、引き続き取り組みを進める推奨プロムナードルートのとりまとめにあわせて、2府県に跨る推奨散策ルートの点検を水辺の賑わい創出分科会と連携して実施する。

実施ルートについては、プロムナード推奨ルートから候補ルートを抽出し、点検時の安全確保の確認や散策ガイドの調整などの結果から決定する。協議会メンバーとの協働開催についても検討する。

実施時期については、秋頃として準備を進める。

点検結果については、今年度中を目途に散策ガイドマップやにぎわいカードの作成に反映させ、情報を公開する。

#### 各構成機関の取り組み

平成25年度も推奨プロムナードルートのとりまとめの取り組みにあわせ、ガイドマップなどがない推奨ルートの広報ツールの作成や新たな推奨ルート、流域圏のたからもの候補の確認に向けて、それぞれの機関でプロムナードの点検を積極的に取り組む。



※平成24年度の取り組み状況

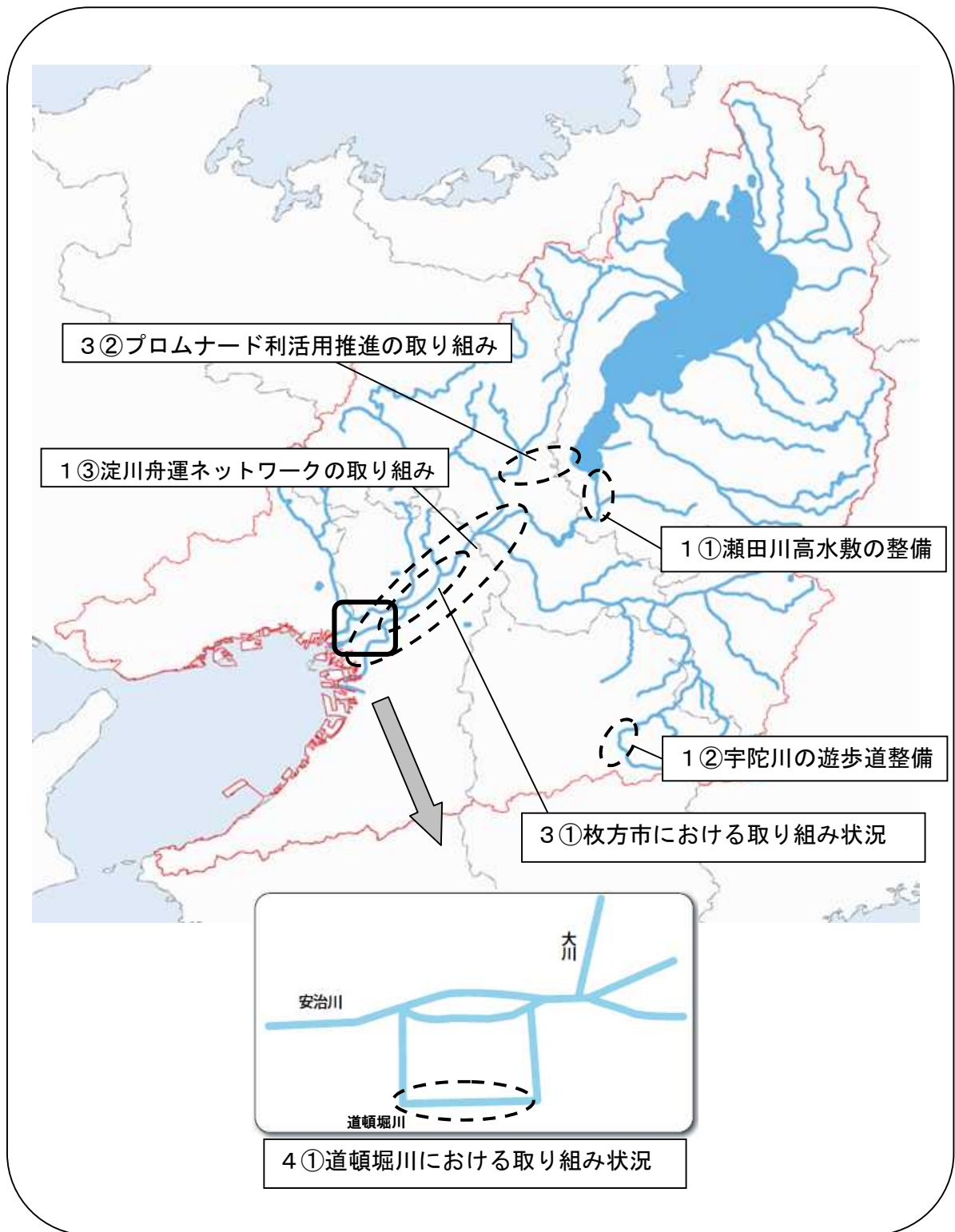
# 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会 みずべプロムナードネットワーク分科会

## みずべプロムナードネットワーク取り組み事例集

- 水辺の賑わい創出取り組み事例マップ .....
- 1. ネットワークの構築 .....
- ①瀬田川高水敷の整備(近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所)
- ②宇陀川の遊歩道整備の取り組み(奈良県)
- ③淀川舟運ネットワークの取り組み(近畿地方整備局 淀川河川事務所)
- 3. ソフト面の取り組み .....
- ①蘇れ！淀川の舟運(淀川における舟運再生について)(大阪府 枚方市)
- ②プロムナード利活用推進の取り組み(みずべプロムナードネットワーク分科会)
- 4. 社会実験としての取り組み .....
- ①道頓堀川における取り組み(大阪市)

■みずべプロムナードネットワーク取り組み事例集

○ みずべプロムナードネットワーク取り組みマップ



# 1. ネットワークの構築

## ①瀬田川高水敷の整備 (近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所)

### 1. イメージ図等

#### 瀬田川高水敷の整備



(整備前)



(整備後)



(高水敷の活用状況)



完成イメージ



(整備区間 (上空より))

## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所  
(大津市)

### 2) 事業概要

瀬田川沿川には、石山寺・唐橋・洗堰等の川や地域と関わりの深い歴史的・文化的施設等が多く、これら施設と瀬田川の水辺と一体的にとらえ、より親しみのある空間として瀬田川を活用するため、高水敷整備を行っています。

整備にあたっては、地域の団体等で構成する瀬田川水辺協議会において議論して頂き、提言「瀬田川のあるべき姿」を頂きました。この提言を受け、河川利用者が水辺に親しめるよう、河川利用拠点間を安全・快適に移動が出来るよう高水敷の整備を行っています。

高水敷整備 右岸 L=2.7km (2.6km 整備済)  
左岸 L=2.0km (2.0km 整備済)  
歩道幅員 B=2.0m  
事業工期 平成17年度～平成26年度

#### (瀬田川水辺協議会の構成)

瀬田川の既存の栈橋や係留施設の集約・共有化、あるいは水辺のあり方について検討することを中心に協議し、その内容を今後の瀬田川に関する河川整備に反映させていくことを目的として設立。

#### (構成団体)

- ・ 地元自治会
- ・ 観光団体
- ・ ボート協会
- ・ 漁業協同組合
- ・ 行政等

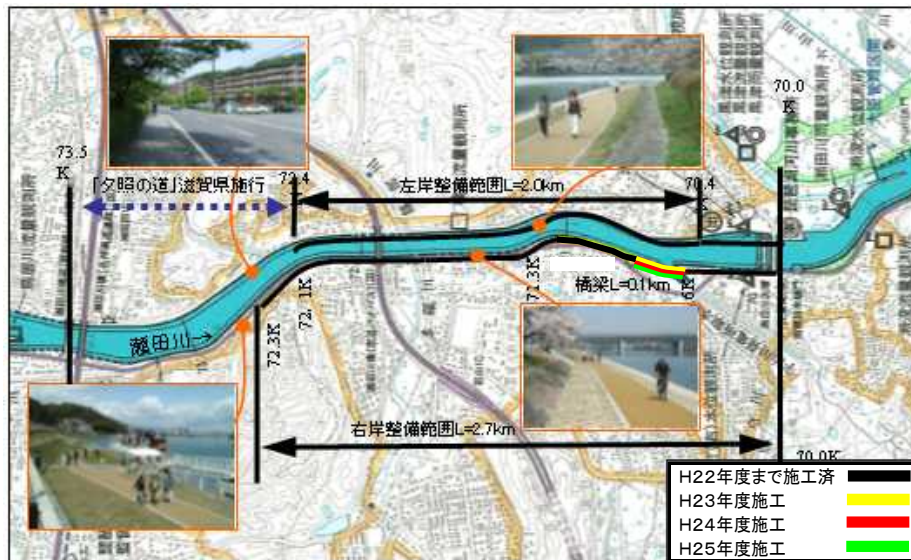
### 3. 課題

施工場所が風致地区のため、景観に配慮した整備を行うことが課題となっていました。そのために、学識経験者、地元住民、自治体から構成している瀬田川水辺協議会で、景観について検討しました。

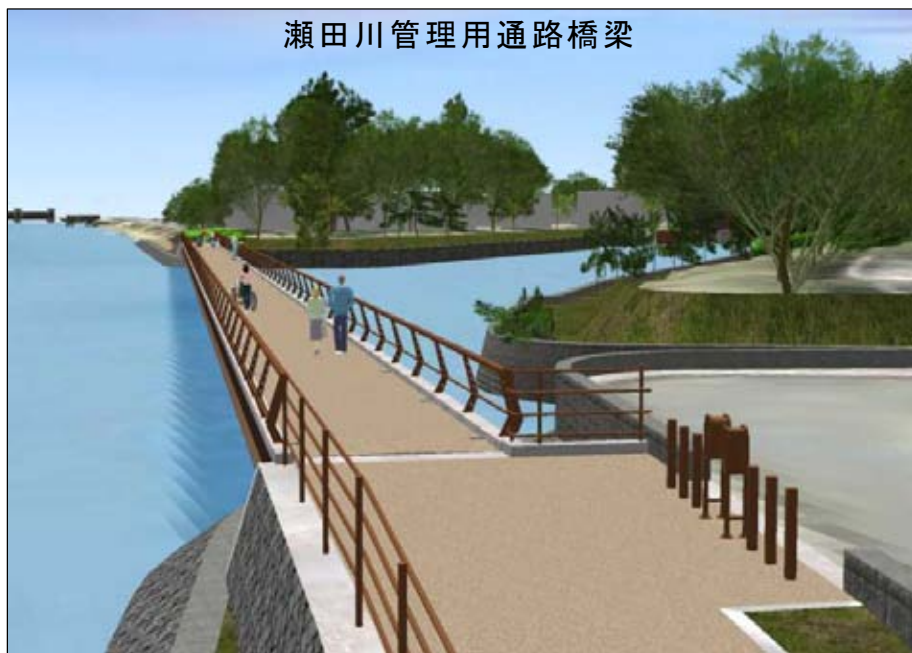
### 4. 事業スケジュール

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
(平津地区 L=0.4km) ・高水敷整備	—				
(千町地区 L=0.3km) ・高水敷整備	—				
(平津地区) ・橋梁工一式	—	—	—	—	—

## 5. 平成24年度の取り組み状況

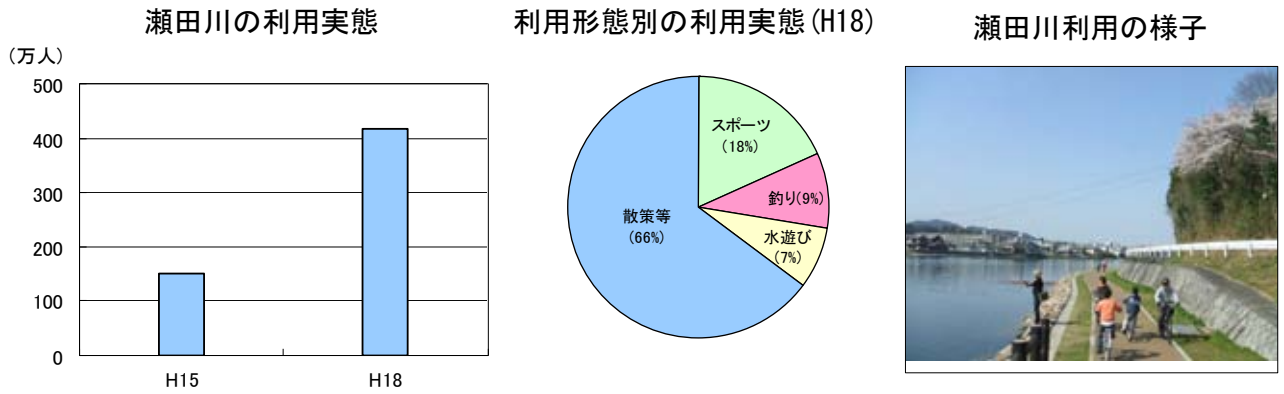


瀬田川管理用通路橋梁



## 6. 取り組みによる効果

瀬田川の利用者数は、近年増加傾向にあり、利用形態は散策がもっとも多い



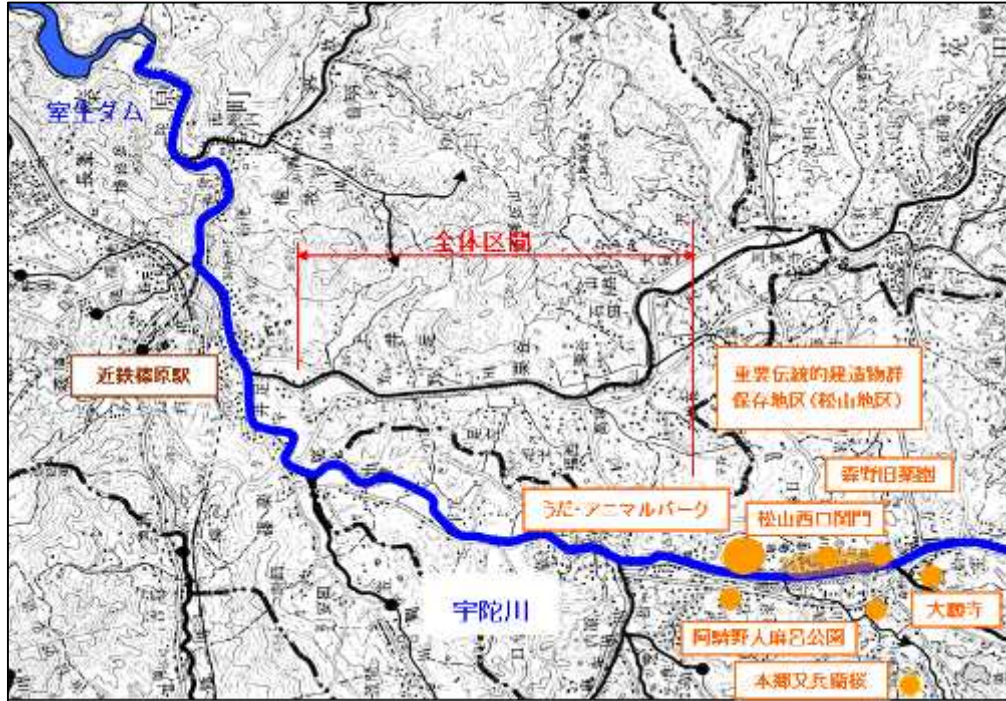
<資料：河川水辺の国勢調査> ※四季を通じた休日5日・平日2日の合計7日間から利用者を算定

## 7. 平成25年度の取り組み予定

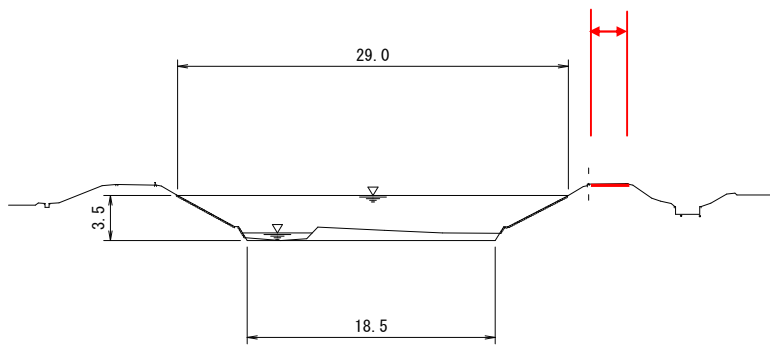
瀬田川管理用通路橋梁の桁の設置を行う。平成26年度完成予定。

## ②宇陀川の遊歩道整備の取り組み (奈良県)

### 1. イメージ図



遊歩道  $W = 2.5 \sim 3.0 \text{ m}$



遊歩道  $W = 2.5 \sim 3.0 \text{ m}$



## 2. 概要

### 1) 事業主体

奈良県

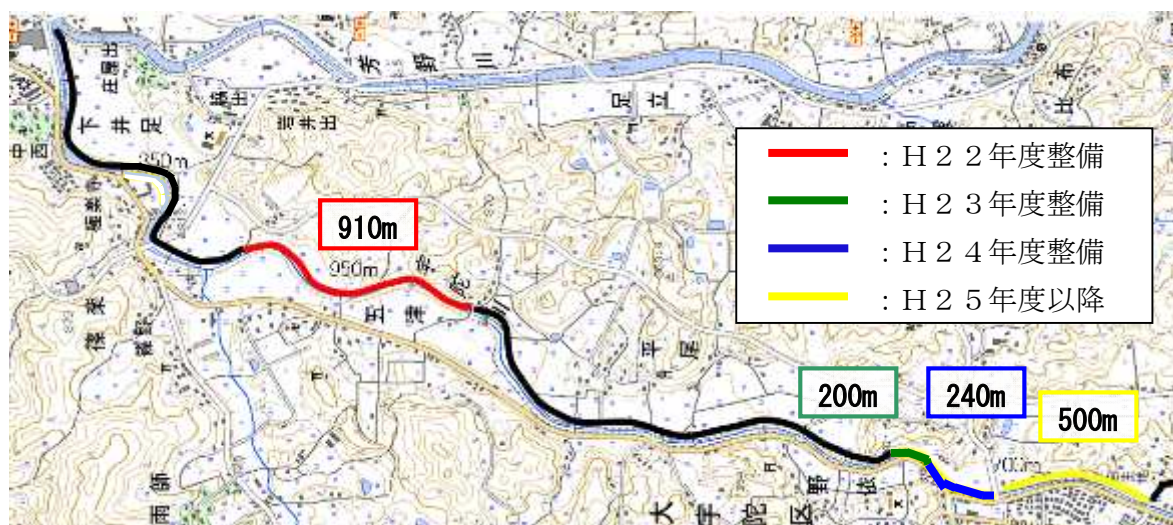
### 2) 事業概要

河川は、水と緑の豊かなオープンスペースとして「やすらぎ」と「うるおい」を与え、地域景観を形成する大きな要素となっています。宇陀川改良事業として宇陀市榛原区下井足～大宇陀区内原間の河川堤防を有効活用した遊歩道の整備を行い、自然環境と調和した水辺空間を目指すとともに、公共交通を利用した宇陀地域の観光誘客に寄与する。

## 3. 事業スケジュール

事業着工年度	平成21年
完成予定年度	平成26年

#### 4. 平成24年度の取り組み状況



整備前



整備後

#### 5. 取り組みによる効果

河川堤防を有効活用した遊歩道整備を行い、榛原駅に設置される電動付アシスト自転車駐輪施設の拠点と大宇陀地区にある宇陀アニマルパーク、重要伝統的建造物群保存地区等の観光施設整備とのネットワークを図ることで、公共交通を利用した宇陀地域の観光誘客に寄与することができる。

③淀川舟運ネットワークの取り組み（近畿地方整備局 淀川河川事務所）

1. イメージ図

「持続可能で活力ある国土・地域づくり」  
**蘇れ淀川舟運** ～地震災害時の緊急輸送、観光活性化のための「川のみち」再生～

■ 地震災害時の緊急輸送路となる淀川



平成7年の阪神・淡路大震災では陸上交通が遮断  
 船着場、緊急用河川暫設路が負傷者の搬送、緊急物資輸送等の代替路として機能。地域の震災復旧・復興を支援

■ 淀川舟運の課題と対策



凡例  
 緊急用船着場  
 淀川航路  
 大川航路  
 緊急河川暫設路

高槻市 大塚船着場 枚方市 枚方船着場  
 茨田船着場 津市 津船着場  
 船着場 大塚船着場 守口市 守口船着場  
 新北野船着場 大阪市 毛馬船着場  
 海老江船着場

淀川大堰

大川の水晶橋  
 大川は橋の相下高が低いため通航困難  
 大川は輸送船の通航が困難

淀川大堰周辺  
 舟運で河口から輸送する場合、淀川大堰の上下流で船から車道に積替入が必要  
 本川は淀川大堰で航路が分断

淀川大堰に船を通す「開門」を新設  
 淀川河口から上流までの航路確保、船着場等の耐震強化・津波対策等を併せて実施し、地震災害時の輸送機能を確保

■ 官民協働での舟運活性化の推進



平成23年11月2日、自治体、民間、河川管理者等が連携し、舟運による帰宅困難者の輸送訓練を実施

舟運復活!!  
 淀川歴史探訪の旅

大堰開門  
 大阪市内を流れる大川では、天神祭など舟運を活かした地域活性化の取組を官民協働で展開

(株)大坂水上バスは平成22年5月、一般旅客定期航路事業に着手。淀川自治体と連携して舟運復活イベントを継続実施

## 2. 概要

- 地震災害時を想定した、河川を利用した災害復旧に資する河川整備を実施
- 都市を流れる河川であることを踏まえ、身近な自然を楽しめるなど町が一体となった河川整備を実施。

### 【災害時の利用・平常時舟運の活性化】

- 河口から伏見まで航行可能となるよう航路確保等必要な整備や検討を行う
  - ・河口から磯島付近までの航路を維持する
  - ・枚方より上流域の航路確保策を検討する
  - ・鵜殿、前島、牧野地先において、航路確保に資するよう試験水制工を施工する
- 淀川大堰上下流の舟運による通航確保を目的とした淀川大堰閘門の設置について早期に実現出来るよう検討を進める。
- かつて淀川の左右岸を結んでいた「渡し」を復活させ、地域の繋がり、地域活性化に資する取組の実施
- 桜の名所となっている「背割堤」での花見船就航にむけた取組

### 3. 課題

京都と大阪を結ぶ交通の大動脈であった淀川の舟運が幕を閉じて以来約50年間、舟運は伏見・観月橋周辺での観光や淀川下流部における砂利採取船等の航行に止まっている。

### 4. 事業スケジュール

#### ・平常時の検討

H23年度 淀川上流域の舟運の可能性

H24年度 枚方～伏見間の舟運活性化、渡しの復活

H25年度 航路計測、災害時の活用、平常時の事業化

#### ・大堰閘門、上流域の航路確保はH25年度以降

### 5. 平成24年度の取り組み状況

#### ○枚方～伏見間の舟運の活性化について

実施日：平成24年11月21日～22日

航行区間：枚方船着場～観月橋仮設船着場

所要時間：上り約2.5時間、下り約2.0時間

参加者：一般旅客者、活動団体、行政

実施項目：航路周辺状況確認、ガイドによる案内

船舶接岸状況確認、意見交換会（課題等抽出）

○渡しの復活について

実施日：平成24年11月6日 航行区間：島本～橋本～背割堤を周遊

所要時間：50分程度

参加者：行政（島本、八幡）、活動団体（観光ボランティア、河川レンジャー）

実施項目：周辺状況、接岸場所の確認、ガイドによる案内、意見交換会（課題抽出）



○桜の花見船

・小型船

運航期間：平成24年4月9日～10日

運航コース：船着場より先端付近まで往復。

運航距離約 2.5km 20分

乗船人数：2日で214名



・Eボート

運航期間：平成24年4月7日～10日

運航コース：船着場より背割堤先端まで片道

運航距離約 1.3km 15分

乗船人数：4日で390名



## 6. 取り組みによる効果

### ○枚方～伏見間の舟運の活性化について

- ・上流域航路状況を把握し、小型船であれば水位状況により航行可能
- ・歴史的な背景もあり、伏見～大阪には魅力がある(事業者)
- ・「歴史探訪の旅」の乗船者にモニターとして参加していただいたき評価○

### ○渡しの復活について

- ・出来ないという先入観は排除できた
- ・地域の関心が得られ、今後の取組について検討

### ○桜の花見船について

- ・事前の広報がほとんど出来なかったが、盛況であった。
- ・地元、観光協会、観光業者などから問合せ、要望が来ている。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

平成25年4月 八幡市背割堤桜祭り「花見船」

平成25年8月 淀川三川ふれあい交流「七夕祭り」

・カヌー ・渡し&乗船体験

平成25年9月 「カヌーの日」イベント連携

平成26年1月 防災訓練(沿川自治体、水上安全協会)

その他(予定)

・航路計測 ・大阪～京都間の事業化に向けて ・大堰閘門検討  
利用規則(案)検討 ・船着場の設計

### 3. ソフト面の取り組み

#### ①蘇れ！！淀川の舟運（淀川における舟運再生について）（枚方市）

##### 1. イメージ図

平成 23 年度 「蘇れ！！淀川の舟運」



アクアライナー



屋形船



淀川の景色



アクア mini



毛馬閘門通過時の様子



船内イベント(舟唄)の様子

## 2. 概要

### 1) 事業主体

主 催	枚方市、枚方文化観光協会
後 援	淀川舟運整備推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会 枚方フェスティバル協議会
船舶運航	大阪水上バス、一本松海運
協 力	国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所 淀川資料館、大阪府

### 2) 事業概要

枚方は、江戸時代に大阪と京都を結ぶ京街道（東海道）の宿場町として栄え、また淀川三十石船などが往来する淀川舟運の中継港としてにぎわい、多様な文化が育まれてきた。本市では、平成15年3月の世界水フォーラムに合わせ、枚方舟運まつりを開催し、「舟運再生枚方宣言」を行った。以後、市民が水辺を身近に感じられる川に向かって開かれたまちづくりを進めるため、淀川河川公園枚方地区を会場とした「淀川舟運イベント」を開催している。

## 3. 課題

枚方船着場～八軒家浜船着場間は砂利が堆積しやすいため、定期的な砂利採取が必要であり、国の支援が必要となる。また、民間で行う定期就航を観光資源として定着させるには、船着場の整備などが必要であり、淀川舟運再生に関しては、地方と国がより連携して取り組みを進める必要がある。

## 4. 事業スケジュール

### ■蘇れ!!淀川の舟運

(屋形船・水上バスによる、枚方船着場と大阪・八軒家浜船着場間の舟運イベント)  
平成24年10月5日(金)・6日(土)・12日(金)・13日(土)  
19日(金)・20日(土)

### ■くらわんか産業いきいきまつり

(小型クルーズ船「アクア mini」による、枚方船着場周辺の周遊)  
平成24年11月10日(土)・11日(日)

■その他に、観光協会や舟運事業者が、春と秋に、独自の舟運イベントを実施。

## 5. 平成24年度の取り組み状況

三十石船に見立てた屋形船と、屋根付きの水上バスで、「枚方船着場」と大阪市の「八軒家浜船着場」を結び、淀川の舟運を再現する淀川舟運イベント「蘇れ！！淀川の舟運」を実施した。その中で一部イベントについては観光バスと組み合わせなど新たな魅力の付加を企画した(台風による増水で中止)。また、昨年引き続き小型クルーズ船での枚方船着場周辺の周遊をする市制65周年記念イベント「くらわんか産業いきいきまつり」の中で実施した。

加えて、観光協会や舟運事業者が行う、独自の舟運イベントに対する支援を行った。

## 6. 取り組みによる効果

- ・ イベントの参加者に対し、かつての淀川の歴史を感じていただけるほか、淀川の環境問題の意識付けにも効果を発揮している。また、枚方市の歴史や文化遺産を知っていただくきっかけにもなっている。
- ・ 平成15年度から毎年継続して実施することによって、市民の、淀川舟運再生に関する意識が高まっていると思われる。また、平成22年度からは、舟運事業者が、淀川での定期運行許可を取得し、春と秋に独自運行を実施するなど、民間事業者独自の取り組みも進んでいる。
- ・ 今年度は、淀川の水位上昇に伴うイベント中止日や雨天もあり、参加人数は前年度割れとなったが、合計374名の参加があった。  
(蘇れ!!淀川の舟運 248人、淀川周遊 126人)

## 7. 平成25年度の取り組み予定

引き続き、淀川舟運イベントを実施するとともに、観光協会や舟運事業者が独自に実施している舟運イベントの支援を行う。

② みずべプロムナードの活用推進の取り組み（みずべプロムナードネットワーク分科会、水辺の賑わい創出分科会）

1. イメージ図

琵琶湖・淀川流域圏において、既に整備されている水辺をつなぐ、みずべプロムナードネットワークの持続的な利活用を促進し、水辺の賑わいを創出するための取り組みを推進する。



ガイドマップの作成・公表

にぎわいカードの作成・公表



## 2. 概要

### 1) 事業主体

みずべプロムナードネットワーク分科会、水辺の賑わい創出分科会

### 2) 事業概要

流域圏におけるプロムナードは、平成 24 年 8 月末時点で 610km が完成しており、既に整備された水辺をつなぐプロムナードネットワークを広く周知し、プロムナードの活用促進を図ることを目的に、住民参加型の点検を行い、コースにおける危険箇所や周辺公共交通機関とのアクセスなどを確認するとともに、周辺の魅力ある歴史、文化、自然等（流域圏のたからもの）を確認して、「ガイドマップ」や「にぎわいカード」を作成し情報発信する。

また昨年度から、流域圏の魅力ある散策コースなどを推奨プロムナードとしてとりまとめるとともに、様々な水辺の魅力を流域圏のたからものとして情報発信する取り組みを進めている。

## 3. 課題

- ・ 水辺をつなぐプロムナードネットワークの整備が進んできており、持続的な利活用を推進するための取り組みを進める必要がある。
- ・ 流域圏のなかには、広く知られていない魅力あるプロムナードや利用者が快適に散策、サイクリングなどを行うために必要な情報が不足しているプロムナードがある。

## 4. 事業スケジュール

平成 20 年度	点検（分科会メンバー）
平成 21 年 11 月	住民参加型点検実施（対象箇所：琵琶湖疏水ルート）
平成 22 年 3 月	ガイドマップ作成・公表
平成 22 年 11 月	住民参加型点検実施（対象箇所：宇陀川・名張川ルート）
平成 23 年 3 月	・ガイドマップの作成・公表 ・推奨プロムナード、流域圏のたからもの公表
平成 23 年 11 月	住民参加型点検実施（対象箇所：白川周辺散策ルート）
平成 24 年 3 月	・ガイドマップの作成・公表 ・推奨プロムナード、流域圏のたからもの公表
平成 24 年 11 月	住民参加型点検実施（対象箇所：木津川上流散策ルート）
平成 25 年 3 月	・ガイドマップの作成・公表 ・推奨プロムナード、流域圏のたからもの公表
平成 25 年度以降	継続実施

## 5. 平成24年度の取り組み状況

### ◆住民参加型プロムナード点検

実施日：平成24年11月16日

対象箇所：木津川上流（笠置～岩倉峡）

参加者：約50名

笠置大橋から木津川の流に沿いつつ、河川レンジャーによるガイドも聞きながら、途中バスも使用して岩倉峡まで点検した。

ウォーキングは笠置駅からスタートし、約3.5kmを歩いて散策コースの状況とあわせ、周辺の魅力ある自然、河川構造物、甌穴群など水にかかわる魅力などを確認した。

また今回の点検では、木津川の流に沿いながら水の交わりを確認し、上下流の水の繋がりを体感した。

あわせて、流域水環境再生分科会の合同企画として、水源地である高山ダムを探訪するとともに、水資源機構のご協力により、高山ダム内の施設を見学しながら、ダムの仕組みや洪水時の対応状況の説明をいただき、参加者の方に水源地と水源施設を体感してもらった。

### ◆プロムナード推奨ルート等の情報発信

流域圏におけるみずべプロムナードの推奨ルートを取りまとめ情報発信する取り組みとして、各構成機関からプロムナードの推奨ルートを追加集約し、今年度は追加推奨ルートを公表し情報発信した。

また、流域圏のたからものについても、同様に追加のとりまとめ公表している。

プロムナード点検の様子



点検用マップ



ダム見学の様子



## 6. 取り組みによる効果

- ・ 住民参加型の点検により、利用者の視点による点検が実施でき、参加者の声を反映した、より利用者にとって利便性の高いガイドマップを作成して、配布やHP等により広く周知することができた。
- ・ これまでに作成したマップは、イベントなどでも活用されるなど成果を上げている。今後も流域ミュージアム案内所での情報発信とあわせ、観光協会等との連携促進などで、一層PR効果を高めることが可能である。

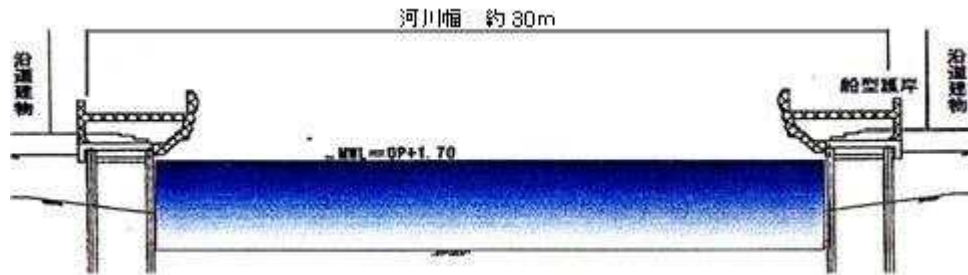
#### 4. 社会実験としての取り組み

##### ①道頓堀川における取り組み状況 ( 大阪市 )

###### 1. イメージ図

###### ○道頓堀川遊歩道（とんぼりリバーウォーク）の整備

- ・整備前断面（戎橋～太左衛門橋区間）



- ・整備後断面（戎橋～太左衛門橋区間）



###### ○整備済区間



## 2. 概要

### 1) 事業主体

大阪市

### 2) 事業概要

道頓堀川の水辺に親水性の高い遊歩道を整備し、潤いと賑わいある水辺空間を創出することにより都市魅力の向上を図る。遊歩道整備により、沿川の建物から遊歩道へ直接出られる出入口が設置可能となるため、沿川建物と遊歩道が一体となった賑わい創出が可能となる。

また、遊歩道において規制緩和を行い、これまで認められていなかったイベント、オープンカフェ等の利用が社会実験として利用できるようになったが、平成 24 年度から制度化されたため引続き更なる水辺の賑わい創出を図る。

## 3. 課題

イベントの実施などによる賑わいづくりを進める一方で、現場の安全管理や不適正利用の排除など、公共空間としての適正な管理を確保することが課題として挙げられる。

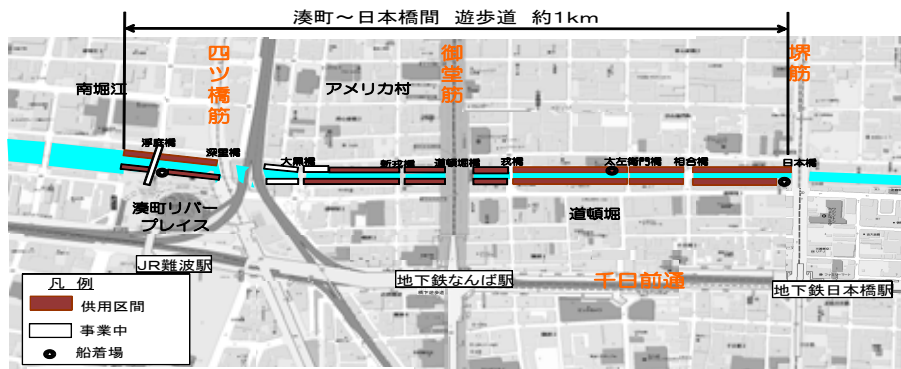
## 4. 事業スケジュール

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
道頓堀川遊歩道の整備 (湊町～日本橋間)	●				●	●		●	
	戎橋～太左衛門橋間完成		太左衛門橋～相合橋間完成		相合橋～日本橋間完成		道頓堀橋～新戎橋間完成		
社会実験 (※)									制度化

※ H24 年 10 月末時点で、湊町、新戎橋～日本橋間で実施中。

## 5. 事業スケジュール

- ・道頓堀川水辺整備については、平成25年春の湊町～日本橋間遊歩道約1kmの完成に向けて、未供用区間の工事進捗を図った。（平成24年10月末時点で約860mが供用済）
- ・賑わいの創出については、これまでの湊町、道頓堀橋～日本橋間に加えて、道頓堀橋～新戎橋間についても新たに水辺利用検討会を設置して実施区間を拡大し、イベントやオープンカフェを実施している。
- ・平成24年度から制度化ならびに更なる規制緩和により、遊歩道の管理運営主体者を公募により民間事業者に決定した。



オープンカフェの実施



広告の実施

## 6. 取り組みによる効果

○舟運の活性化（船着場利用回数の増加）

船着場名	供用開始	利用実績(回)							
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
湊町船着場	H13.3	1,508	1,524	1,755	1,684	2,721	3,404	2,957	2,398
太左衛門橋船着場	H16.12	46	1,108	4,226	5,302	5,639	5,714	5,209	4,595
日本橋船着場	H21.8	-	-	-	-	-	0	8	2

○社会実験イベント件数の増加および定着化

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計
件数	12回	19回	21回	20回	20回	40回	49回	181回
日数	33日	80日	79日	79日	118日	107日	106日	602日

○沿川建物の遊歩道への接続

H23時点 44件（H24年3月末現在）

## 7. 平成 25 年度の取り組み予定

- 道頓堀川水辺整備については、平成 25 年春に湊町～日本橋間遊歩道約 1 k m が完成予定。
- 民間事業者（管理運営主体者）の活力により、さらなる賑わい創出を図っていく。

■平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針(案)

みずべプロムナードネットワーク

実施項目	平成24年度		平成25年度の活動方針
	活動方針	活動報告	
1. ネットワークの構築 遊歩道、航路等の ネットワーク化	・各機関において、プロムナードの整備を進める。	・みずべプロムナードの整備を行い、新たに道頓堀川で0.45km(大阪市)、鴨川で0.3km(京都府)、宇陀川で0.24km(奈良県)を供用した。 ・ネットワークを繋げるため、瀬田川管理用通路(散策路)の未整備区間において整備を実施した。 ・全体延長670.778kmのうち、610.035km(90.9%)の利用が可能となっている。 ※H24,8月末時点	・引き続き各機関において、プロムナードの整備を進める。
		・みずべプロムナードの整備状況を更新してとりまとめ、平成24年度版として公表する予定。 ・ネットワークとして整備が必要な区間の整備予定、整備未定区間の方向性についてとりまとめた。	・引き続き整備状況を更新してとりまとめ、ネットワーク図を更新して公表する。
		・淀川舟運ネットワークの構築に向け、枚方～伏見間の水深・航路状況や周辺状況を確認する実証実験を実施した。	・三川合流域付近における舟運活性化に向け、花見船の実証実験等に取り組む。
2. 「川の駅」・「湖の駅」の整備	・各機関において、「川の駅」・「湖の駅」の整備を進める。	・流域圏における整備予定も含む船着場を把握し、フォローアップした。伏見地区の船着場へ接岸状況を確認する実証実験を実施した。	・陸路と水路を結節する機能として、既存の船着場の公共利用の展望もふまえ、船着場の整備が必要な箇所について整理のうえ、各機関において共有し、今後の整備に繋げる。
3. ソフト面の取り組み	・水辺の賑わい創出分科会と連携し、プロムナードを活用し流域圏のたからもの確認する点検を行い、奨励ルートとしてマップ、にぎわいカードを作成し公表する。	・木津川(笠置町～岩倉峡)を対象に、住民参加によるプロムナードの点検、周辺の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、ガイドマップ、にぎわいカードを作成し、公表・配布する。	・水辺の賑わい創出分科会と連携し、プロムナードを活用し流域圏のたからもの確認する点検を行い、推奨ルートとしてマップ、にぎわいカードを作成し公表する。協議会メンバーとの協働開催についても検討する。

	みずべプロムナードの推奨ルートを選定を引き続き進める。	・流域圏のみずべプロムナード推奨ルートとして、引き続き各機関からの推薦によってとりまとめ、ホームページで公表する。	・流域圏のみずべプロムナードの利活用促進に向け、利用可能な散策ルートについて、引き続き奨励ルートとしてとりまとめ公表する。
		・枚方市において、「甦れ！！淀川の舟運」の取り組みを行った。	・引き続き、舟運を活用したイベント等に取り組む。
4. 社会実験としての取り組み	引き続き、プロムナードの持続的な活用を図るための社会実験等を活用した取り組みを進める。	・道頓堀川の遊歩道供用区間において、これまでの社会実験を踏まえ、規制緩和によるイベントやオープンカフェを実施した。 ・制度化ならびに更なる規制緩和により、遊歩道の運営管理を公募し民間事業者に決定した。	・舟運ネットワーク活性化に向けた舟運イベント等に取り組む。 ・道頓堀川において、水辺整備を行い、民間事業者（管理運営主体者）の活力により、さらにプロムナードを活性化させる。

## みずべプロムナードネットワーク

### 1. ネットワークの構築

#### 〔平成24年度の取り組み〕

- ・みずべプロムナードの整備を行い、新たに道頓堀川で 0.45km(大阪市)、鴨川で 0.3km(京都府)、宇陀川で 0.24km(奈良県)を供用した。
- ・ネットワークを繋げるため、瀬田川管理用区間(散策路)の未整備区間において整備を実施した。
- ・全体延長 670.778km のうち、610.035km(90.9%)の利用が可能となっている。(H24 年 8 月末時点)
- ・みずべプロムナードの整備状況を更新してとりまとめ、平成 24 年度版として公表する予定。
- ・ネットワークとして整備が必要な区間の整備予定、整備未定区間の方向性についてとりまとめた。
- ・淀川舟運ネットワークの構築に向け、枚方～伏見間の水深・航路状況や周辺状況を確認する実証実験を実施した。



みずべプロムナードの利用状況

#### (事例集参照)

- ① 瀬田川高水敷の整備(近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所)
- ② 宇陀川の遊歩道整備の取り組み(奈良県)
- ③ 淀川舟運ネットワークの取り組み(近畿地方整備局 淀川河川事務所)

#### 〔平成25年度の取り組み〕

- ・引き続き各機関において、プロムナードの整備を進める。
- ・引き続き整備状況を更新してとりまとめ、ネットワーク図を更新して公表する。
- ・三川合流域付近における舟運活性化に向け、花見船の実証実験等に取り組む。

### 2. 「川の駅」「湖の駅」の整備

#### 〔平成24年度の取り組み〕

- ・流域圏における整備予定も含む船着場を把握し、フォローアップした。
- ・伏見地区の船着場へ接岸状況を確認する実証実験を実施した。



仮設船着場への接岸確認状況

#### 〔平成25年度の取り組み〕

- ・陸路と水路を結節する機能として、既存の船着場の公共利用の展望もふまえ、船着場の整備が必要な箇所について整理のうえ、各機関において共有し、今後の整備に繋げる。

### 3. ソフト面の取り組み

#### 〔平成24年度の取り組み〕

- ・木津川(笠置町～岩倉峡)を対象に、住民参加によるプロムナードの点検、周辺の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、ガイドマップ、にぎわいカードを作成し、公表・配付する。
- ・流域圏のみずべプロムナード推奨ルートとして、引き続き各機関からの推薦によってとりまとめ、ホームページで公表する。
- ・枚方において、「甦れ！！淀川の舟運」や「淀川周遊」イベントの取り組みを行った。



#### (事例集参照)

- ① 蘇れ！！淀川の舟運(淀川における舟運再生について) (大阪府 枚方市)
- ② プロムナード利活用推進の取り組み(みずべプロムナードネットワーク分科会)

#### 〔平成25年度の取り組み〕

- ・水辺の賑わい創出分科会と連携し、プロムナードを活用し流域園のたからもの確認する点検を行い、推奨ルートとしてマップ、にぎわいカードを作成し公表する。協議会メンバーとの協働開催についても検討する。
- ・流域圏のみずべプロムナードの利活用促進に向け、利用可能な散策ルートについて、引き続き推奨ルートとしてとりまとめ公表する。
- ・引き続き、舟運を活用したイベント等に取り組む。

### 4. 社会実験としての取り組み

#### 〔平成24年度の取り組み〕

- ・道頓堀川の歩道供用区間において、これまでの社会実験を踏まえ、規制緩和によるイベントやオープンカフェを実施した。
- ・制度化ならびに更なる規制緩和により、遊歩道の運営管理を公募し民間事業者に決定した。



オープンカフェの実施

#### (事例集参照)

- ① 道頓堀川における取り組み (大阪市)

#### 〔平成25年度の取り組み〕

- ・舟運ネットワーク活性化に向けた舟運イベント等に取り組む。
- ・道頓堀川において、水辺整備を行い、民間事業者(管理運営主体者)の活用により、さらにプロムナード周辺を活性化させる。



琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

## 水辺の賑わい創出分科会

平成24年度及び平成25年度の取り組み

■平成24年度活動報告および平成25年度活動方針（案）

○水都大阪 水と光のまちづくり（大阪府）

（水の回廊ライトアップ）

○取り組み事例集

○平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針（総括）

# 水都大阪 水と光のまちづくり 水の回廊ライトアップ

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会  
プロム・賑わい分科会

2013年1月10日

# 水都大阪 水の回廊ライトアップ

平成24年4月現在

凡例

ライトアップ主催者

- (赤)大阪府
  - (青)大阪市
  - (緑)水都大阪2009
  - (黒)民間、その他
- ①~④ 近代建築

A 天満橋



B 南天満公園



C 天神橋



M ほたるまち前護岸



5 中央卸売市場前港



O 日本銀行北側護岸



3 福島港



ライトアップ施設

1~5 船着場

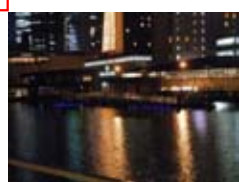
1 八軒家浜船着場



L 玉江橋



4 大阪国際会議場前港



N 中之島ガーデンブリッジ



2 ローズポート



K 国際会議場前護岸



J 堂島大橋



I 錦橋



H 阪神高速道路



G 日本銀行



④ 芝川ビル



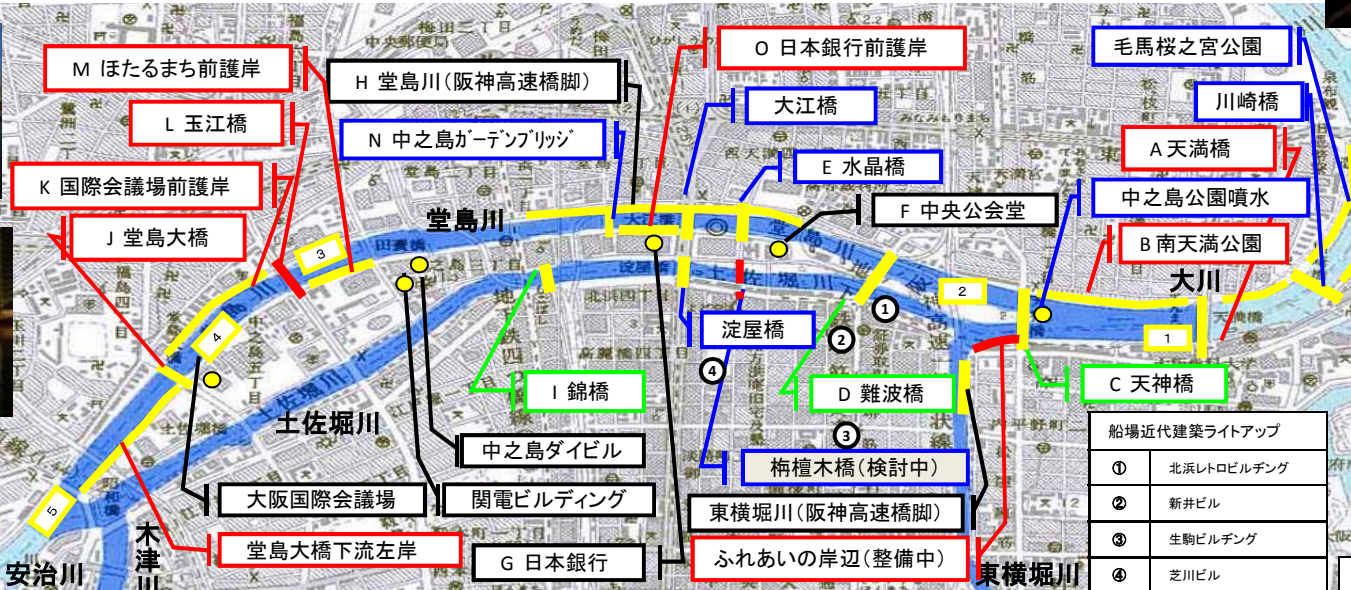
F 中央公会堂



E 水晶橋



D 難波橋



船場近代建築ライトアップ	
①	北浜レトロビルディング
②	新井ビル
③	生駒ビルディング
④	芝川ビル

公共船着場一覧	
1	八軒家浜船着場
2	ローズポート
3	福島港(ほたるまち港)
4	大阪国際会議場前港
5	中央卸売市場前港



◆堂島大橋



◆玉江橋



◆天満橋



◆ 国際会議場前護岸



◆ほたるまち前護岸



◆日本銀行前護岸



◆南天満公園



◆ローズポート

橋梁ライトアップ



天神橋



2009年



◆土佐堀川(淀屋橋)



◆日銀大阪支店

橋梁ライトアップ



なにわ橋  
(難波橋)



2009年



ウォールタペストリー(中之島図書館)



中之島界限ライトアップ



御堂筋イルミネーション

# 北浜テラス(大阪川床)





水辺カフェ

# 水都大阪 水の回廊ライトアップ

平成24年4月現在

凡例

ライトアップ主催者

(赤)大阪府

別途木津川でウォールペインティングライトアップ実施

(青)大阪市

(緑)水都大阪2009

(黒)民間、その他

①~④ 近代建築

A 天満橋

B 南天満公園

C 天神橋

M ほたるまち前護岸



5 中央卸売市場前港



O 日本銀行北側護岸



3 福島港



ライトアップ施設

1~5 船着場

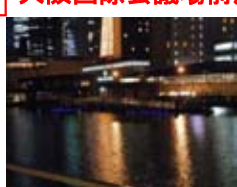
1 八軒家浜船着場



L 玉江橋



4 大阪国際会議場前港



N 中之島ガーデンブリッジ



2 ローズポート



K 国際会議場前護岸



M ほたるまち前護岸

L 玉江橋

K 国際会議場前護岸



J 堂島大橋

J 堂島大橋



I 錦橋

H 堂島川(阪神高速橋脚)

N 中之島ガーデンブリッジ

I 錦橋

中之島ダイビル

大阪国際会議場

関電ビルディング

堂島大橋下流左岸

G 日本銀行

O 日本銀行前護岸

大江橋

E 水晶橋

F 中央公会堂

淀屋橋

D 難波橋

梅榎木橋(検討中)

東横堀川(阪神高速橋脚)

ふれあいの岸边(整備中)

毛馬桜之宮公園

川崎橋

A 天満橋

中之島公園噴水

B 南天満公園

大川

C 天神橋

船場近代建築ライトアップ

① 北浜レトロビルディング

② 新井ビル

③ 生駒ビルディング

④ 芝川ビル

公共船着場一覧

1	八軒家浜船着場
2	ローズポート
3	福島港(ほたるまち港)
4	大阪国際会議場前港
5	中央卸売市場前港

H 阪神高速道路



G 日本銀行



④ 芝川ビル



F 中央公会堂



E 水晶橋



D 難波橋



# 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

## 水辺の賑わい創出分科会

### 水辺のにぎわい創出取り組み事例集

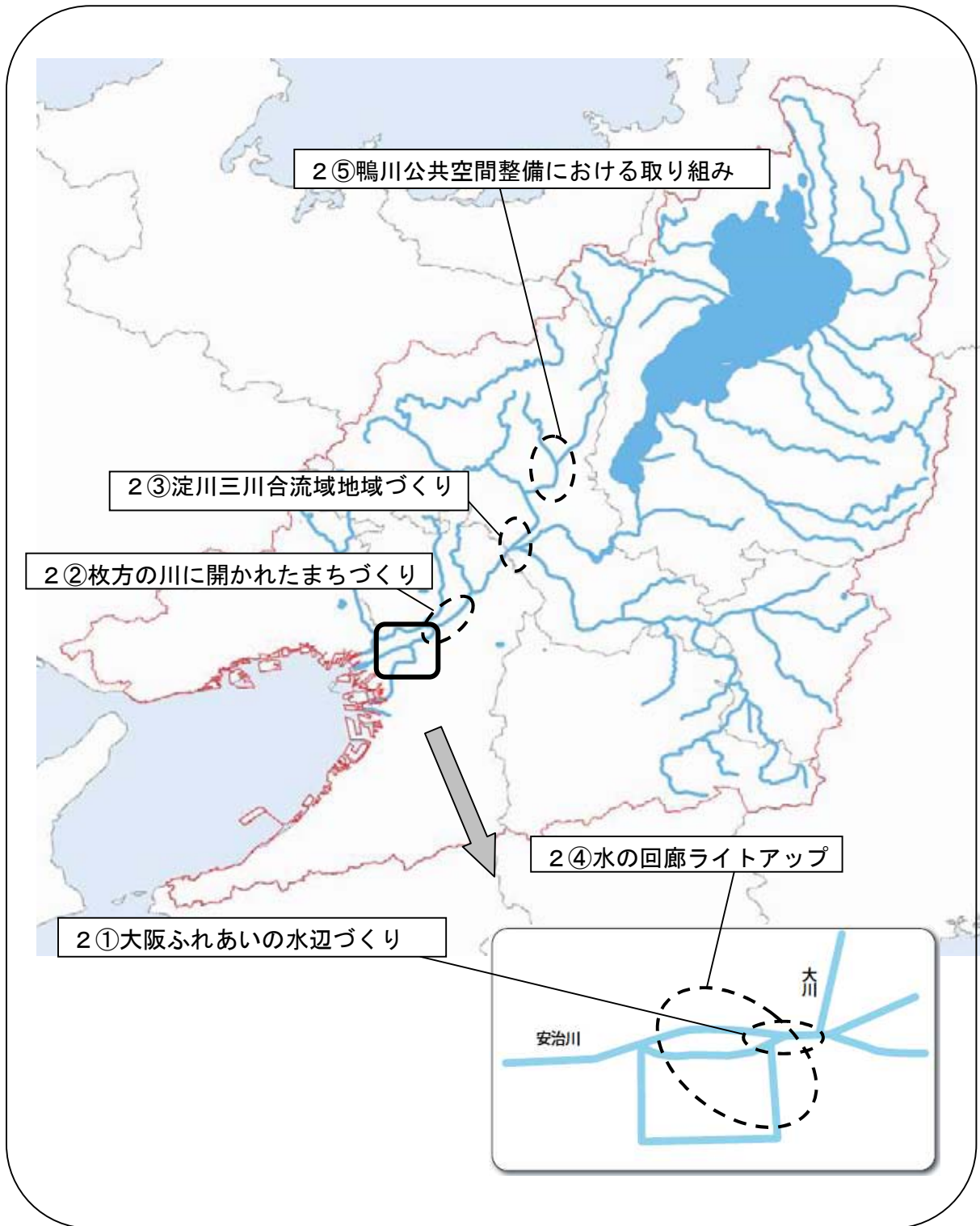
#### ○水辺の賑わい創出取り組み事例マップ .....

##### 2. 親水空間の再生・創出

- ①大阪ふれあい水辺づくり(大阪府)
- ②枚方の川に開かれたまちづくり(大阪府 枚方市)
- ③淀川三川合流域地域づくり(京都府)
- ④水の回廊ライトアップ(大阪府)
- ⑤「鴨川公共空間整備」における取り組み(京都府)

■水辺の賑わい創出事例集

○ 水辺の賑わい創出事例マップ



## 2. 親水空間の再生・創出

### ①大阪ふれあいの水辺づくり（大阪府）

#### 1. イメージ図

#### ○大阪ふれあいの水辺事業

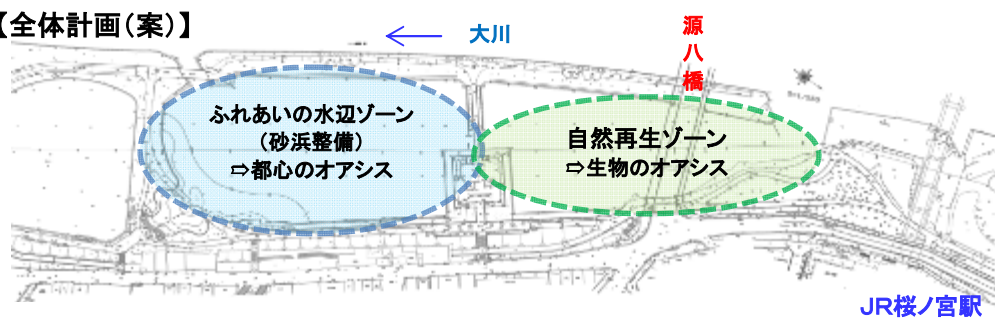
【位置図】



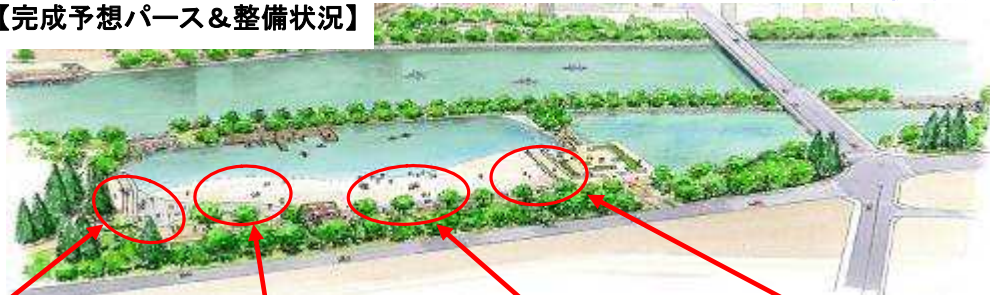
【現況写真】



【全体計画(案)】



【完成予想パース&整備状況】



【ふれあいの水辺オープニング5DAYS(8/18~22)での賑わい状況】



カヌーやパドルボートを体験！



川辺にできた砂浜で水遊び！



カニ釣り体験で生物学習！

## 2. 概要

### 《大阪ふれあいの水辺づくり》

#### 1) 事業主体… 大阪府

#### 2) 事業概要

##### ■基本コンセプトの設定

(人と水辺の絆の復活！！ ～心に響く都心のオアシス～)

- ① 都心部の水辺を感じるオアシス空間づくり ⇒水辺の快適さを体感
- ② みんなが楽しめる多様な空間づくり ⇒多様な楽しみ方を提案
- ③ 水質や生物について学べる空間づくり ⇒身近に水辺環境を学習

##### 【マーケティングリサーチ結果】

⇒都心の川辺という空間にくつろぎの場や、水とのふれあいの場を求めるニーズは非常に高く、また、多様な利用ニーズへの対応が望まれている。

○8割以上の方が「ふれあいの水辺」の利用に興味を示している。

○利用ニーズ： 水辺でのくつろぎ (71%)、水遊び (36%)、自然学習 (25%)、  
カヌー・ボート (22%)

#### ○「大阪ふれあいの水辺」の基盤整備(H22～H23年度)

##### ⇒工事概要

工事範囲：	全体	1.2ha		
砂 浜：	(平面部)	面積 0.3ha	幅 24m	延長 140m
	(傾斜部)	面積 0.4ha	幅 28m	延長 140m
砂投入量：	15,000m <sup>3</sup>			
水 面：	面積 0.5ha	幅 32m	延長 150m	
施 設：	手足洗い場 2箇所、階段・広場整備 1式			
浄化施設：	1式			

#### ○「大阪ふれあいの水辺」の利活用の検証(H23年度)

##### ⇒オープニング5DAYSの実施

## 3. 課題

#### 1) 琵琶湖・淀川流域圏における連携

⇒みずべプロムナードネットワークと連携し、「大阪ふれあいの水辺」を広く周知することで、府内だけでなく他府県からの利用促進を図る。

#### 2) 地域と連携した迷惑行為対策

⇒夜間の砂浜への立ち入り防止や、ペットの侵入禁止などの迷惑行為防止措置を実施

#### 3) 府民や民間事業者等による利活用の促進

#### 4. 事業スケジュール

- H22年度： マーケティング・リサーチ（府民ニーズの把握）  
基本コンセプトの整理  
現地測量、水質・底質調査、実施設計
- H22～  
H23年度： 「大阪ふれあいの水辺」基盤整備工事着手  
※浚渫、砂浜整備、水質浄化施設、上面基盤整備
- H23年度： 「大阪ふれあいの水辺」オープン  
※ふれあいの水辺オープニング5DAYS実施
- H24年度以降： 自然再生ゾーンの検討

#### 5. 平成24年度の取り組み状況と効果

##### ★水都大阪のシンボルスポットとしての多様な活用



パドルボードの体験会



花見の時期の利用の様子



地引網による生物調査

（アユやカライワシなど11種500匹以上の魚が網にかかりました）

#### 6. 平成25年度の取り組み予定

##### ★民間事業者等による、定期的な利活用の促進

##### ★自然再生ゾーンの検討

⇒ワークショップ等により、民意を反映した整備内容の検討を進める。

自然再生ゾーンを中心として、生き物の生息環境に配慮した整備を行なうため、水辺で活動する団体や地域住民等の参画によるワークショップで、今後の整備のあり方等について議論を深めていく。

## ②枚方の川に開かれたまちづくり（大阪府 枚方市）

### 1. イメージ図



<上空から眺めた枚方市>



<枚方宿の街なみ>



<ジャズストリート>



<淀川舟運イベント>



## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省・大阪府・枚方市

### 2) 事業概要

舟運を活用し、駅前から水辺まで一体となったまちづくりを進める。このため、スーパー堤防の整備にあわせたまちづくり、駅、まち、川、船着場をつなぐ動線整備、河川公園の整備等を行う。

①スーパー堤防枚方新町地区の整備 淀川と一体となった市民の交流拠点を整備	
②府道京都守口線の立体横断施設(横断デッキ)の整備【大阪府整備】 枚方市駅から淀川へのアクセスを改善	平成17年度完了
③コミュニティーゾーンや駅前広場の整備 淀川、歴史街道枚方宿、駅、ひらかたパーク等を結ぶ安全で快適な歩行空間のネットワークの形成	平成17年度完了
④歴史街道枚方宿街なみ環境整備 淀川と並行する歴史街道枚方宿における魅力ある歩行空間を形成	平成14年度より 継続中
⑤万年寺山御茶屋御殿跡展望広場整備 淀川を見渡す展望の確保。枚方宿の歴史的景観形成	平成17年度完了
⑥舟運関連イベントの実施 淀川の河川空間を生かした水辺の賑わいづくりの創出	平成15年度より 継続中
⑦停泊地等の整備【国土交通省事業】	平成16年度完了

## 3. 課題

### ④歴史街道枚方宿街なみ環境整備

- ・府道京都守口線を挟むようにして位置する淀川河川公園と歴史街道及び宿場町を結びつける取り組みが少ない。

### ⑥舟運関連イベントの実施

- ・定期的な砂利採取による水深の確保等、国の支援が必要である。

## 4. 事業スケジュール

### ④歴史街道枚方宿街なみ環境整備

- ・街なみ環境整備事業を活用し、歴史的景観の保全・形成事業を進める。

### ⑥舟運関連イベントの実施

- ・淀川の舟運を再現する淀川舟運イベントを実施する。

## 5. 平成24年度の取り組み状況

### ④歴史街道枚方宿街なみ環境整備

- ・枚方宿では、歴史街道の一部区間の無電柱化と、駅前広場や街道に統一したデザインのサイン照明や街路灯の設置などを行った。また、歴史的な街並み形成のため修景助成も行っている。
- ・地元協議会の定例イベント「枚方宿街道菊花祭」や「くらわんか五六市」を継続的に実施している。
- ・建物を建築する際に地元協議会と景観協議を行う「街づくり協定」や空地や空家の活用を支援する「町家情報バンク」に取り組んでいる。

### ⑥舟運関連イベントの実施

- ・淀川の舟運を再現する淀川舟運イベントを実施した。
  - ＜蘇れ!!淀川の舟運＞平成23年10月7日から29日まで合計8日間
  - ＜淀川周遊＞平成23年11月12、13日の2日間
- ・観光協会や舟運事業者が行う、独自の舟運イベントに対する支援を行った。

## 6. 取り組みによる効果

### ④歴史街道枚方宿街なみ環境整備

- ・歴史的景観の保全・形成事業の継続的な取り組みにより、地元住民も地域の魅力を再認識し、地域主体のまちづくりについて意識が高まってきている。
- ・継続的なイベントの実施や、空地・空家の活用により、地域のにぎわいを取り戻しつつある。また、地元での取り組みが一般紙などにも掲載され、地域外からの来客数も増加している。

### ⑥舟運関連イベントの実施

- ・継続実施することにより、淀川舟運再生に関する市民の意識が高まってきている。
- ・市外からの参加も多く、枚方市を知っていただくきっかけとなっている。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

### ④歴史街道枚方宿街なみ環境整備

- ・引き続き、地元協議会の協力を得ながら歴史的景観保全事業を進め、さらに定例イベント等の継続による賑わい創出も併せて「枚方宿」の発展に繋げていく。

### ⑥舟運関連イベントの実施

- ・淀川舟運の再生に向け、引き続き、淀川舟運イベントを実施するとともに、観光協会や舟運事業者が独自に実施している舟運イベントの支援を行う。

### ③淀川三川合流域地域づくり（京都府）

#### 1. イメージ図

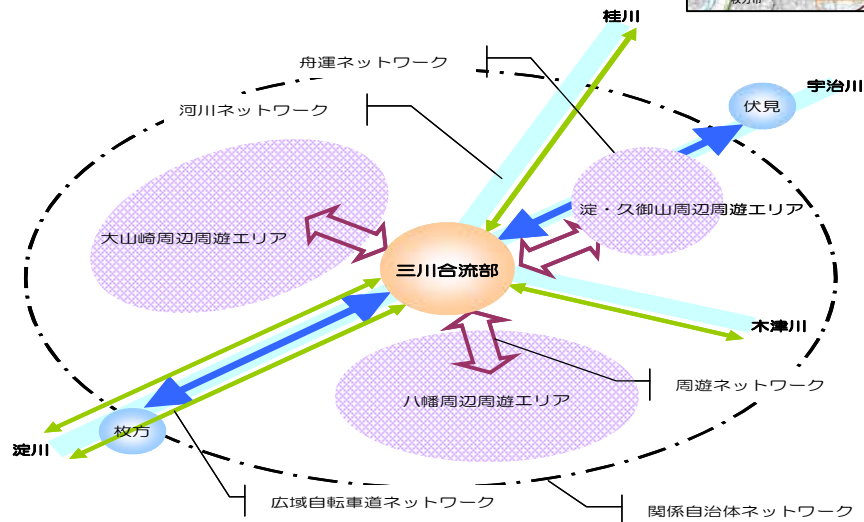
#### ○ 淀川三川合流域地域づくり

淀川三川合流部は、京都市をはじめとする沿川自治体が行政界を有し、河川により分断されてきた地域であった。一方、この地域では京都第2外環状道路など、近年のインフラ整備により地域利用のポテンシャルが増加した。このような背景のもと、沿川自治体が連携し三川合流部が有する雄大な自然や豊富な歴史資源を活かした地域づくりに取り組んでいる。

#### 〔概念図〕

淀川三川合流部を中心とし、地域間の連携を図る。

- ・ 舟運、サイクリングロードなどによる上下流の交流
- ・ 歴史資源等を活かしたテーマルートの整備
- ・ 地域間の中心地である三川合流部の魅力向上のための整備



#### 〔三川合流部の整備イメージ〕



## 2. 概要

### 1) 事業主体

淀川三川合流域地域づくり推進協議会

(近畿地方整備局、京都府、大阪府、京都市、八幡市、大山崎町、久御山町、枚方市、島本町)

### 2) 事業概要

平成 16 年度より、桂川・宇治川・木津川が合流する三川合流域の歴史・文化、自然環境・景観に調和した地域づくりについて検討を重ねてきた。

平成 19 年 11 月に第 3 回の検討会を開催し、「淀川三川合流域地域づくり構想(以下、「三川構想」という。)」をとりまとめた。

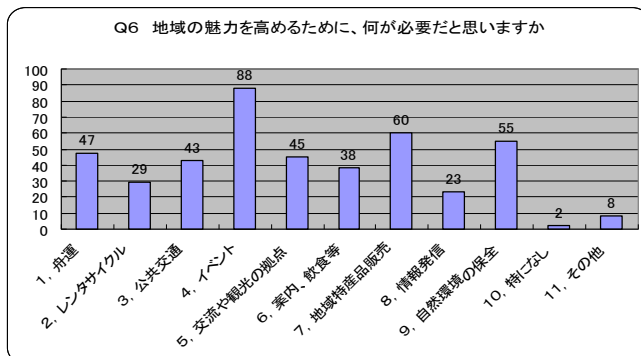
三川構想の検討にあたっては、2 回の社会実験(淀川三川交流イベント)を開催し、地域の魅力の掘り起こしを行うとともに、住民ニーズの把握を行った。

平成 21 年 3 月には、具体の整備内容作成のためのニーズ把握等を目的とした第 3 回社会実験(淀川三川交流イベント)などを行い、その結果を反映した三川構想の「実現に向けた行動計画」をとりまとめた。

平成 21 年度は、地域や関係団体と連携した持続可能な交流活動の継続と国営公園をはじめ、交流活動の中核となる施設整備に繋げるための第 4 回社会実験(淀川三川交流イベント)に取り組んだほか、ツール・ド・三川・西国街道(サイクル&クイズラリー)、背割堤七夕まつりなどのイベントを開催し、平成 24 年度も引き続き第 4 回背割堤七夕まつりを開催し、三川合流域の魅力を PR した。

## 3. 課題

毎年イベントを実施しているが、まだ行政が主導で開催をしている状況で盛り上がりには欠ける。しかし、イベント時に実施したアンケート調査の結果では、地域の活性化にはイベントの継続が必要だと感じている人が多く、継続的な開催をするための仕組みづくりが必要である。そのために地域住民や企業と連携し、行政が主体にならずとも継続的にイベントが実施できる体制が必要である。



平成22年度8月開催「淀川三川ふれあい交流第2回七夕まつり」で実施したアンケート調査より

#### 4. 事業スケジュール

- 平成 16 年 12 月 三川合流域地域づくり検討会の設置
- 平成 18 年 3 月 三川合流域地域づくり構想 中間とりまとめ
- 平成 18 年 11 月 第 1 回社会実験（淀川三川交流イベント）を実施
- 平成 19 年 5 月 第 2 回社会実験（淀川三川交流イベント）を実施
- 平成 19 年 11 月 淀川三川合流域地域づくり構想策定
- 平成 19 年 12 月 淀川三川合流域地域づくり推進協議会の設置
- 平成 20 年 5 月 第 3 回社会実験（淀川三川ふれあい交流）を実施
- 平成 20 年 12 月 推進協議会合同部会による勉強会・意見交換会の実施
- 平成 21 年 3 月 「淀川三川合流域地域づくり構想」実現に向けた行動計画策定
- 平成 21 年 4 月 ツール・ド・三川・西国街道（サイクル&クイズラリー）を実施
- 平成 21 年 7 月 背割堤七夕まつりを実施
- 平成 21 年 10 月 淀川三川合流域事業調整連絡会の設置
- 平成 21 年 10 月 第 4 回社会実験（淀川三川ふれあい交流）を実施
- 平成 21 年 10 月 にぎわい拠点創出部会を休会し、淀川三川合流域事業調整連絡会を設置
- 平成 22 年 3 月 淀川河川公園上流域地域協議会の設置

#### 5. 平成 24 年度の取り組み状況

##### ◆背割堤七夕まつり

旧暦の 8 月に淀川河川公園背割堤で七夕まつりイベントを行い、淀川三川合流域を PR しました。

- ・ 日時 : 平成 24 年 8 月 10 日（金）～8 月 12 日（日）
- ・ 実施主体 : 七夕まつり等ふれあい交流実行委員会
- ・ 場所 : 淀川河川公園背割堤地区
- ・ イベント内容 : 笹飾り・ライトアップ・舞台イベント・工場見学会・七夕船の運航  
シャトルバスの運行（大山崎駅、背割堤公園、八幡市駅）・模擬店
- ・ 来場者 : 3, 850 人（3 日間）



七夕飾りと灯ろう



七夕船の運航



工場見学会

## 6. 取り組みによる効果

- ・推進協議会の活動の他、「春の舟運イベント(桜見船)」、「乙訓・八幡歴史ウォーク」など沿川自治体や民間による独自のイベントが三川合流域で企画・開催されており、三川合流域の魅力を紹介する活動が根付き始めている。
- ・背割堤七夕まつりの来場者については以下のとおりでした。  
H23来場者数 2,200人 → H24来場者数 3,850人に増加  
淀川河川公園背割堤地区について、周辺市町から訪れた、多くの来場者に対して、多くの自然が残された当該地区の魅力等をPRすることができた。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

- ・七夕まつりは継続して実施。
- ・淀川三川合流域地域づくり協議会に参画している市町村が、NPO等民間と協働した取り組みを実施していく予定。
- ・国、府、市町等の行政団体や民間企業等が連携し、背割堤を中心に四季を通じたイベントを開催し、定着させていく。

④水の回廊ライトアップ（大阪府）

1. イメージ図



橋梁（天満橋ライトアップ）



橋梁及び護岸（堂島大橋・大阪国際会議場前ライトアップ）

## 2. 概要

### 1) 事業主体

大阪府都市整備部河川室河川環境課

### 2) 事業概要

大阪の都心部は、四方を川で囲まれる「水の回廊」が形成されており、世界でも稀な地形となっています。この地形を生かし、昼と夜の水辺の夜間景観整備やにぎわい創出に向けた基盤整備をすすめているところであります。

特に中之島周辺は、堂島川、土佐堀川に沿った水都大阪の代表するエリアであり、川にかかる橋梁や護岸のライトアップを実施し、都市魅力の向上と水都大阪のブランド化を図るものであります。

・橋梁ライトアップ 10箇所

※大阪府・大阪市・水都大阪実行委員会施工分含む

・護岸ライトアップ 4箇所

・船着場ライトアップ 5箇所

## 3. 課題

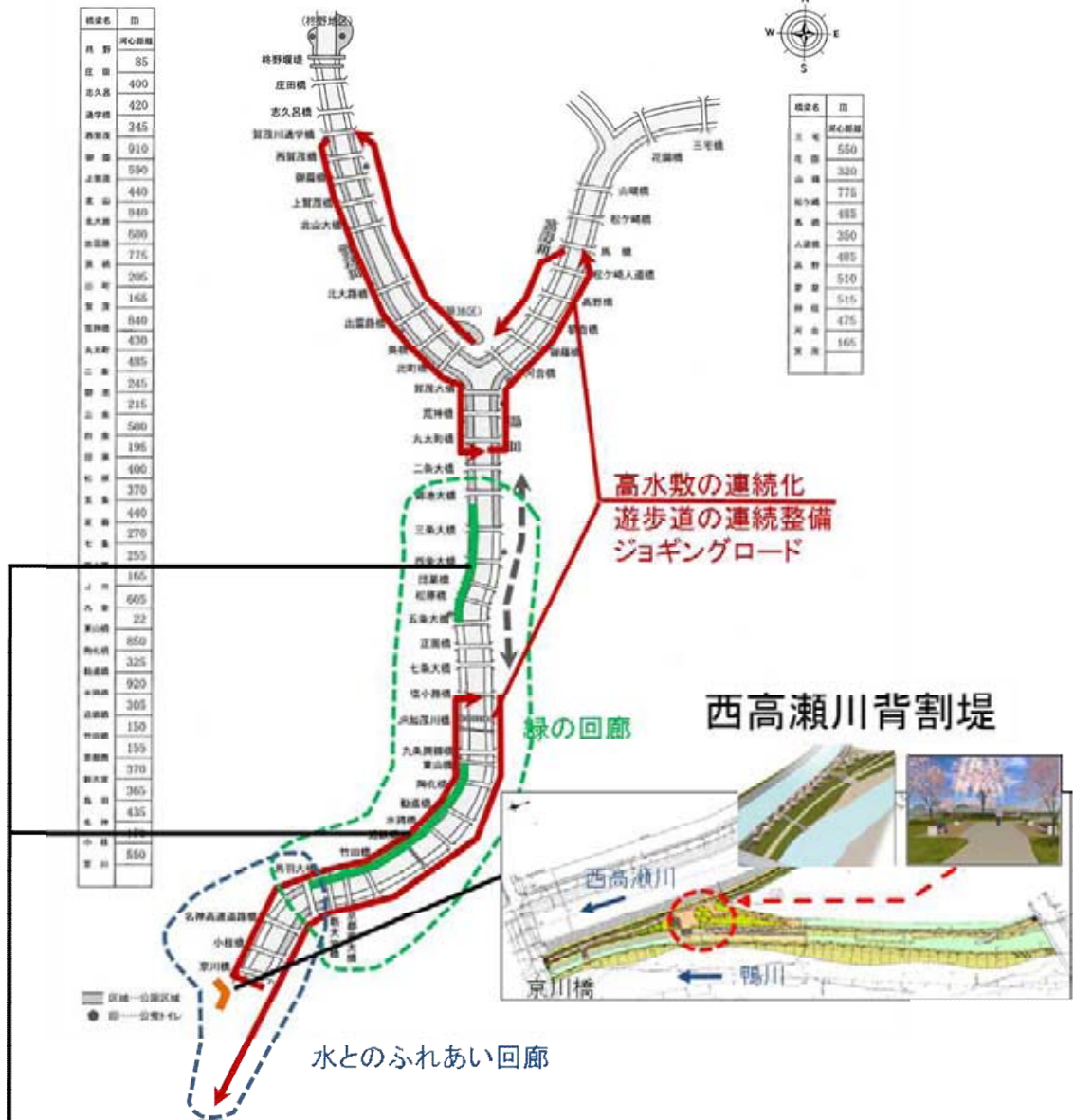
都市空間の夜間景観の形成にあたっては、各行政管理者（国、府、市の道路部局、河川部局、公園部局）の連携と、さらに経済界も含めて官民一体となった、構想、実施計画の策定と効果的なPRがなければ、求める効果を得られません。

大阪では、「水都大阪2009」というイベントを通じ、官民が一体となる協力体制が確立され、大阪を「水の都・光の都」という目標のもと『水と光のまちづくり構想』を策定し、水辺の魅力を発信し続けることが重要と考えております。



⑤「鴨川公共空間整備」における取り組み（京都府）

1. イメージ図



緑の回廊整備（御池大橋～三条大橋右岸）

整備前



整備後



## 2. 概要

### 1) 事業主体

京都府

### 2) 事業概要

鴨川が一層多くの人から親しまれる公共空間になるように、アクティビティ施設の整備と、訪れる人が安らぎや憩いを感じ、気軽に集うことが出来るアメニティ施設の整備を行う。

アクティビティ施設整備として、高水敷を連続的に整備し、ウォーキングやジョギングに利用できるようにする。ジョギングロード整備にあたっては、膝や身体へ負担の少ない路面構造にする。

アメニティ施設整備として、回廊整備を実施し、季節や自然を身近に感じられる河川空間を創出する。また、可能な範囲で、並木や休憩スポットなど、拠点空間の形成を図る。

## 3. 課題

特になし

#### 4. 事業スケジュール

平成21年3月に水辺の回廊整備・鴨川想像プランを作成し、このプランに基づき、平成25年度を目標に整備を進める。

本年度、来年度は、ジョギングロードの整備と緑の回廊整備（拠点整備）を行う。

項目	内容	H21	H22	H23	H24	H25	合計	区間
公共空間整備	計画策定、PR活動	→						事業区間全域
	ジョギングロード整備		→	→	→	→		高水敷区間全川
	拠点整備 拠点整備(緑化) 高水敷整備			→	→	→		西高瀬川背割り堤 堀川合流部 竹田橋～陶化橋 名神橋～竹田橋 四条大橋～御池大橋

#### 5. 平成24年度の取り組み状況

緑の回廊整備（五条大橋～御池大橋）の中で、三条大橋から四条大橋の右岸の下流半分の区間について整備を行う。

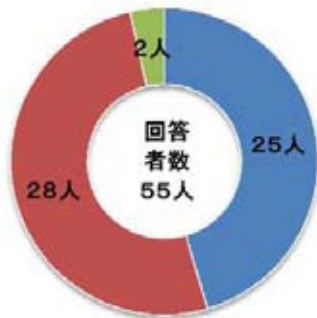


## 6. 取り組みによる効果

平成23年6月に御池大橋～三条大橋間の高水敷整備（緑の回廊整備）に関して、利用者にアンケートを実施したところ、良い、大変良いとの回答が多数をしめた。また、三条大橋～四条大橋間の整備についても、同じような整備が良いとの回答が多数をしめた。

### ■御池大橋～三条大橋間の整備

Q1. 全体の印象について



Q2. 土系の舗装について



Q3. 芝生による緑化について



■ 大変良い ■ 良い ■ 普通 ■ あまり良くない ■ 良くない

### ■三条大橋～四条大橋間の整備

Q4. 御池大橋～三条大橋間と同様の整備について



■ 御池大橋～三条大橋と同じが良い  
■ 御池大橋～三条大橋と違う方が良い  
■ 今のままが良い

## 7. 平成25年度の取り組み予定

- ・引き続き、ジョギングロードの整備、回廊整備を進めていく。

■平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針

水辺の賑わい創出

実施項目	平成24年度		平成25年度の活動方針
	活動方針	活動報告	
1. せせらぎの創出 既存水路等を活用したせせらぎを創出する	・水利用の弾力的な有用や未利用水の活用、水質の改善について、引き続き、取組を進める。		・引き続き、水利用の弾力的な運用や未利用水の活用、水質の改善の取組を進める。
2. 親水空間の再生・創出 川に向けたまちづくり、水に活かされたまちづくりを進める	・川が地域の中心となった魅力ある水辺空間の整備や川に開かれたまちづくりの推進に向けた取組を引き続き、実施する。	・大川において、ふれあいの水辺づくりとして基盤整備されていた場所で、パドルボートの体験会や花見、地引き網による生物調査を行い、水都大阪のシンボルスポットとして多様な活用を行った。	・親しみのある水辺空間の創出に向けた取組みや川に開かれたまちづくりの取組を進める。
		・道頓堀川において、水辺整備とあわせ、賑わいの創出に向けた取組を進めた。	
		・枚方市において、川に開かれたまちづくりに向けた、街なみ環境整備や舟運関連イベントを実施した。	・引き続き、川に開かれたまちづくりの推進に向けた取組を実施する。
	・三川合流域地域間交流拠点づくりの取組を推進する。	・三川合流域地域づくりの推進に向け、背割堤七夕まつりの開催やこの地域の魅力をPRした。	・三川合流域地域づくりとして、この地域の魅力をPRするイベントの開催等の取組を実施する。
	・水辺の賑わいを創出し活性化する取組を引き続き、実施する。	・水の回廊が形成されている中之島周辺において、橋梁・護岸・船着場のライトアップを行い水辺の夜間景観整備やにぎわい創出にむけた取組を行っている。	・水辺空間の利用促進に向け、水辺に親しむ機会づくりや利用環境の向上を図る取組を実施する。
・鴨川において、高水敷を連続的に整備し、並木や休憩スポットなど設置することで安らぎや憩いを感じられる公共空間整備に取り組んでいる。			
・水辺に親しむ機会づくりのため、流域圏における水辺周辺の魅力を“たからもの”として、引き続きとりまとめ、ホームページ等で情報提供する。			

	<p>みずべプロムナード分科会と連携し、流域圏の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、賑わい施設を含めた推奨ルートとしてのガイドマップ、にぎわいカードを作成し公表する。</p>	<p>・木津川(笠置町～岩倉峡)を対象に、住民参加によるプロムナードの点検、周辺の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、ガイドマップ、にぎわいカードを作成し、公表・配布する。</p>	<p>・みずべプロムナードネットワーク分科会と連携し、流域圏の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、水辺周辺魅力を反映したガイドマップ、にぎわいカードを作成し公表する。協議会メンバーの協働開催についても検討する。</p>
--	---	--	---

## 水辺の賑わい創出

### 1. せせらぎの創出

〔平成25年度の取り組み〕

- ・せせらぎの創出に向け、水利用の弾力的な運用や未利用水の活用の取り組みを進める。

### 2. 親水空間の再生・創出

〔平成24年度の取り組み〕

- ・大川において、ふれあいの水辺づくりとして基盤整備されていた場所で、パドルボードの体験会や花見、地引き網による生物調査を行い、水都大阪のシンボルスポットとして多様な活用を行った。



完成イメージパース



地引き網による生物調査

- ・道頓堀川において、水辺整備とあわせ、賑わいの創出に向けた取り組みを進めた。
- ・枚方市において、川に開かれたまちづくりに向けた、街なみ環境整備や舟運関連イベントを実施した。
- ・三川合流域地域づくりの推進に向け、背割堤七夕まつりの開催やこの地域の魅力をPRした。
- ・水の回廊が形成されている中之島周辺において、橋梁、護岸、船着場のライトアップを行い水辺の夜間景観整備やにぎわい創出にむけた取り組みを行っている。
- ・鴨川において、高水敷を連続的に整備し、並木や休憩スポットなど設置することで安らぎや憩いを感じられる公共空間整備に取り組んでいる。
- ・水辺に親しむ機会づくりのため、流域圏における水辺周辺の魅力を“たからもの”として、引き続きとりまとめ、ホームページ等で情報提供する。
- ・木津川(笠置町～岩倉峡)を対象に、住民参加によるプロムナードの点検、周辺の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、ガイドマップ、にぎわいカードを作成し、公表・配付する。



淀川周遊クルーズ

### (事例集参照)

- ① 大阪ふれあいの水辺づくり(大阪府)
- ② 枚方の川に開かれたまちづくり(大阪府 枚方市)
- ③ 淀川三川合流域地域づくり(京都府)
- ④ 水の回廊ライトアップ(大阪府)
- ⑤ 「鴨川公共空間整備」における取り組み

### 〔平成25年度の取り組み〕

- ・親しみのある水辺空間の創出に向けた取り組みや川に開かれたまちづくりの取り組みを進める。
- ・引き続き、川に開かれたまちづくりの推進に向けた取り組みを実施する。
- ・三川合流域地域づくりとして、この地域の魅力をPRするイベントの開催等の取り組みを実施する。
- ・水辺空間の利用促進に向け、水辺に親しむ機会づくりや利用環境の向上を図る取り組みを実施する。
- ・みずべプロムナードネットワーク分科会と連携し、流域圏の魅力(たからもの)を確認する点検を行い、水辺周辺の魅力を反映したガイドマップ、にぎわいカードを作成し公表する。協議会メンバーとの協働開催についても検討する。



背割堤七夕まつり



琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

## 水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会

平成24年度及び平成25年度の取り組み

■平成24年度活動報告および平成25年度活動方針（案）

- ナルミ井堰（木津川上流河川）
- 外来種対策検討会の取り組み
- 生態系保全再生・ネットワーク取り組み事例集
- 南湖再生WG（琵琶湖河川事務所）
- 平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針（総括）

～木津川上流 河川縦断連続性再生 地域連携の取り組み～

# 水辺の小技による ナルミ井堰魚道の簡易改良



近畿地方整備局 木津川上流河川事務所

# 木津川上流における河川の縦断連続性再生検討

## 課題・対策の必要性

【かつての姿】  
上下流の連続性が十分に機能

【現在の課題】  
ダム・堰の建設により連続性が  
分断



ナルミ井堰

▲木津川上流域

▲アユ釣りでにぎわう名張川

### 木津川上流 (木津川上流河川事務所 管理区間)

- ◆流域面積: 1,308km<sup>3</sup>
- ◆流路延長: 木津川52km、柘植川17km、服部川27km、名張川53km、宇陀川33km、青蓮寺川28km
- ◆流域府県: 三重県、奈良県、京都府の5市5町村
- ◆流域内人口: 250,000人
- ◆主な都市: 伊賀市(人口100,734人)、名張市(人口82,989人) <H22.1現在>

### 簡易改良の概要

木津川上流域では堰などの河川横断工作物により、魚類の遡上  
が困難な状況となっています。今回、簡易改良を実施するナルミ  
井堰では、魚道が設置されているものの老朽化等により、落差が  
大きくなったり、流況が悪化して、魚類の遡上が難しい状態とな  
っています。そこで、木津川上流域の魚類環境の保全・復元をテー  
マに、流域の方々と行政が一体となって考え、協働しながら実施  
する取り組みとして魚道の簡易改良を行いました。魚道の全面的  
な改良には、多額の費用や堰管理者との調整が必要であり、早  
期の実現が困難であるため、現状の部分的な改良によって魚道  
機能の向上を図る簡易改良を試行しました。

# 木津川上流における河川の縦断連続性再生検討

検討対象である木津川上流(木津川、名張川、宇陀川)に位置する6つの井堰  
⇒「**宇陀川 ナルミ井堰**」を選定し、魚道の簡易改良対策を検討・実施。



相楽発電所取水井堰



大河原発電所取水井堰



高岩井堰



鹿高井堰



ナルミ井堰



キトラ井堰

◎地元関係者等との調整を進め、ナルミ井堰での対策を実施。



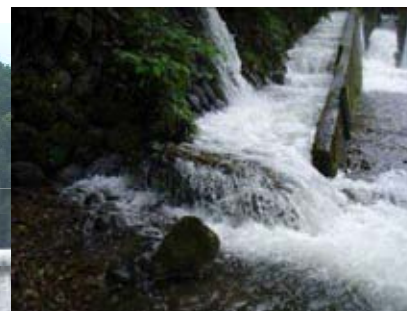
# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆宇陀川 ナルミ井堰

- ◎江戸時代から農業用水を取水、昭和36年にコンクリート堰に改築
- ◎宇陀川8km(奈良県宇陀市三本松)
- ◎管理者:宇陀市
- ◎堤高:3.2m



魚道はあるものの、改良作業前の調査では、魚類の遡上は確認されなかった！



# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆ナルミ井堰魚道簡易改良の方法

### A: 魚道内流量の調整対策

流速2.2m/s



#### 【課題】

魚道内の流量が多いため、流速が大きく、プール内流況の乱れがみられる。

#### 【対策】

角落としの形状により流量を調節し、魚道内の流況を適切な状態で安定させる。



【目標】流速1.0m/s程度

### B: 魚道隔壁の補修

落差60cm

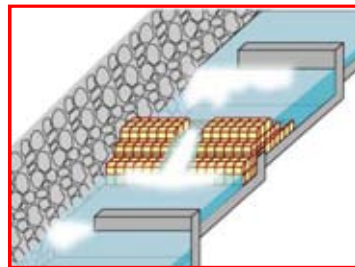


#### 【課題】

一部の隔壁が破損しており、落差が大きい。

#### 【対策】

土のうによる隔壁を設置し、プール内水位を上昇させ、直上の隔壁との落差を緩和する。



【目標】落差30cm以下

### C: 魚道入口の落差緩和

落差50cm

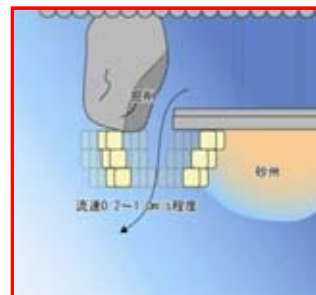


#### 【課題】

魚道入口の落差が大きい。

#### 【対策】

土のうによりプールを設け、高落差を緩和する。



【目標】落差30cm以下

### D: 農業用水の落水対策

流況が悪化



#### 【課題】

農業用水の落水・流入により魚道内の流況が悪化。

#### 【対策】

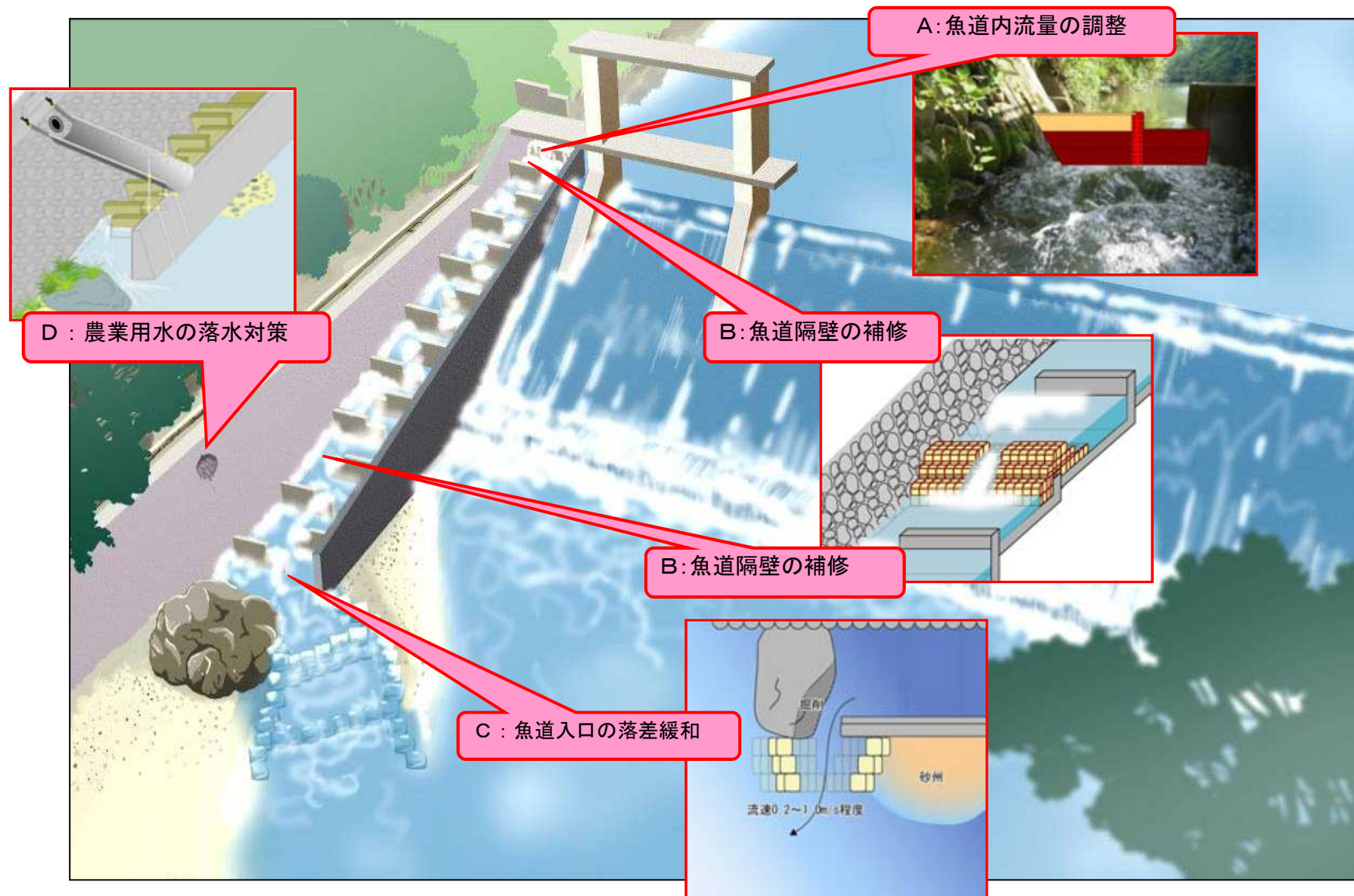
落水の放流口にコルゲートパイプによる樋(とい)を設け、河川に直接導水することで魚道内の流況を安定させる。



【目標】泡だたない程度

# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆ナルミ井堰魚道簡易改良の方法



# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆ナルミ井堰魚道簡易改良の実施

1. 実施日：平成24年9月7日(金曜)・8日(土曜)〈2日間〉
2. 活動人数：参加者49名が1日ないし2日間の都合のよい時間に作業できるよう調整した結果、2日間の作業人数はのべ65名となった。
3. 参加者：市民・地元関係者(地元自治会・住民、沿川NPO団体、室生漁業協同組合、鳴海水利組合)のほか、行政関係(宇陀市・水資源機構)、事務局関係者



# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆改良作業を実施！

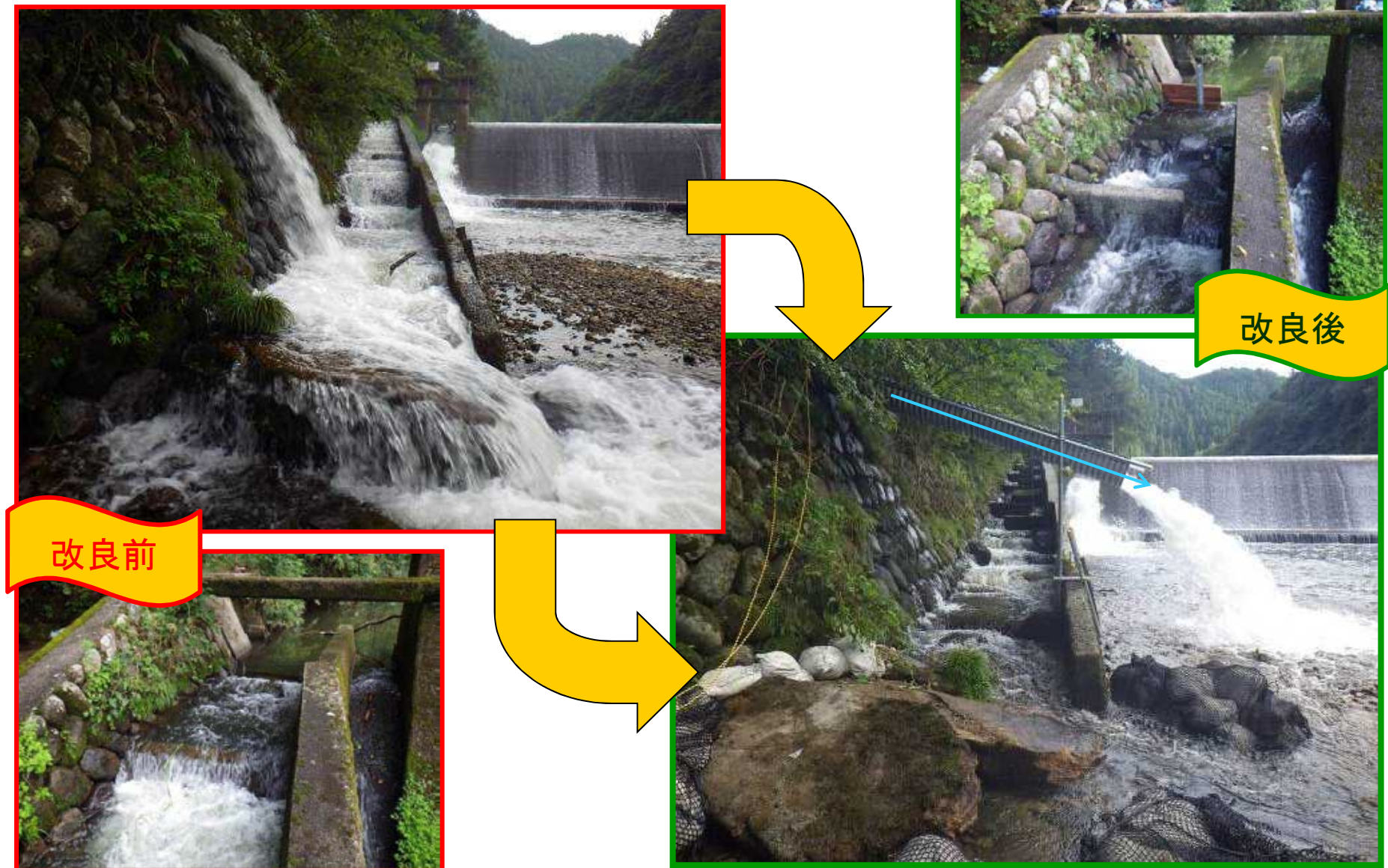
ケガや熱中症に留意しながら、作業を実施。重労働ながら、協力し合い、楽しみながら作業を進めることができた。



作業のようすは、  
ビデオで！

# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆実施前後比較



# ナルミ井堰における魚道簡易改良

## ◆実施前後比較

A: 流速の緩和  
(流量調節)

流速2.2m/s



改良後



流速1.0m/s程度

B: 落差の緩和  
(隔壁破損箇所)

落差60cm



改良後



落差30cm以下

C: 落差の緩和  
(入り口部)

落差50cm



改良後



落差なし

D: 流況の緩和  
(落水対策)

流況が悪化



改良後



流況の改善

# 改良後モニタリング調査

**魚類等の遡上が確認できた！ 全部で116匹！ 効果があった！**

魚類4種(オイカワ、カワムツ、ギギ、カワヨシノボリ)、甲殻類2種(テナガエビ、スジエビ)の遡上を確認できた。遡上実験によりアユの遡上が可能であることも確認できた。

改良以前は、遡上魚類等は確認されていなかったこと、  
遊泳魚だけでなくギギ、カワヨシノボリといった底生魚類の遡上も確認されたことから、  
対策は効果があったといえる。

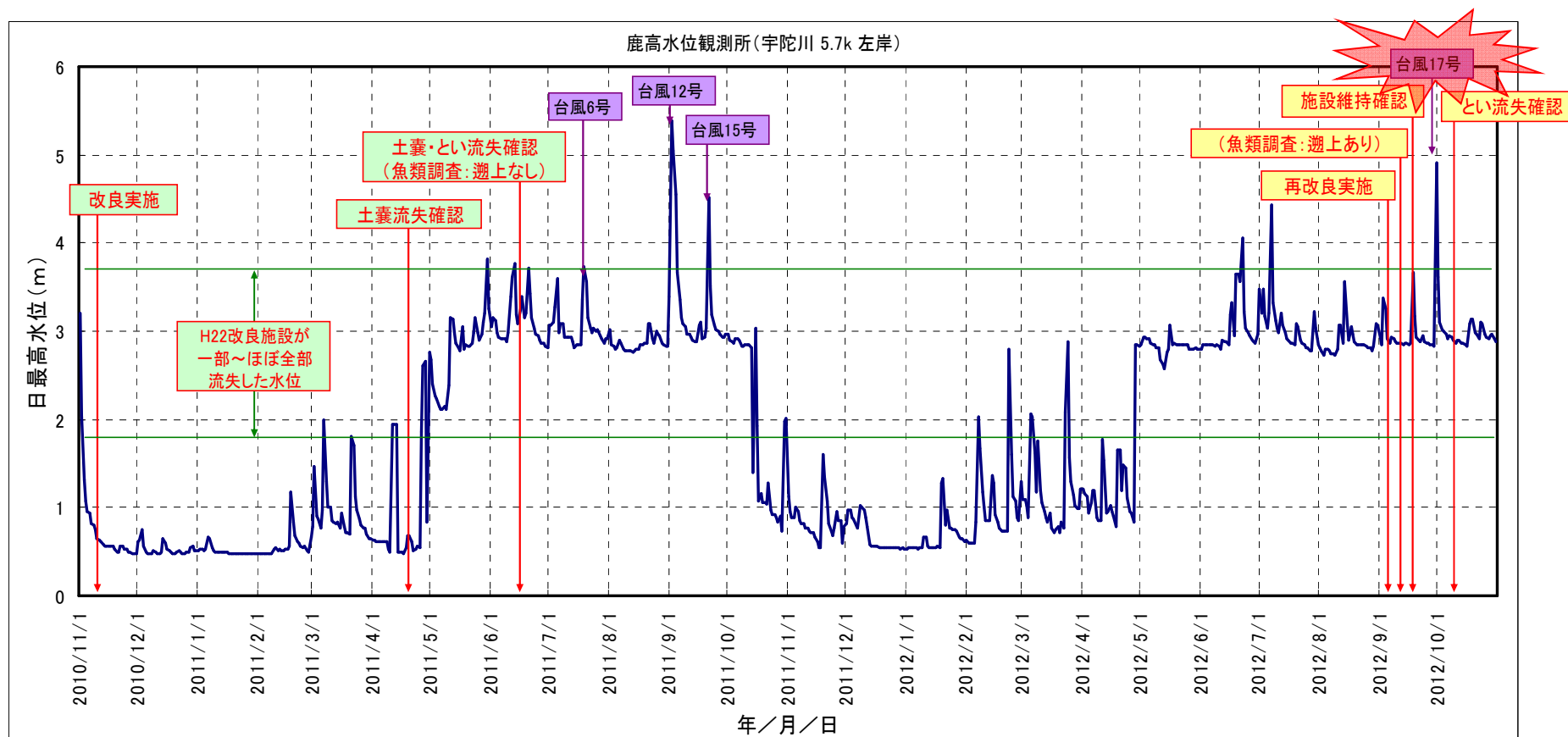


～魚道の遡上を確認した魚類・甲殻類～

# 改良後モニタリング調査

## ◆構造物の耐久状況モニタリング

魚道簡易改良完了の10日後(9月18日)の大雨、  
および22日後(9月30日)の台風17号による水位上昇を受け、  
簡易改良時に設置した構造物の耐久状況を確認するモニタリング調査を実施した。



# 改良後モニタリング調査

**大きな出水においてもトイ以外は変状なし！ 工夫した効果があった！**

◎過年度に改良施設が全流失した水位とほぼ同程度の9月18出水(推定流量:約49m<sup>3</sup>/s)では、構造物は完全に維持された。

◎計画時の想定流量(平均年最大:約176m<sup>3</sup>/s)を超えた、9月30日出水(推定流量:約232m<sup>3</sup>/s)では、といが流失したものの、その他の設置物は維持された。



隔壁(流失なし)



上流側隔壁間土のう(流失なし)



下流側隔壁間土のう(流失なし)



魚道入り口部土のう(流失なし)



といは流失したが、約700m下流で回収した。  
水利組合との調整により春までは落水緩和措置を実施。施設管理者に対策を依頼中。



～計画時想定流量を超えた9/30出水後に確認した魚道簡易改良構造物の耐久状況～

# 河川縦断連続性再生の成果と今後の方針

## 【今回の魚道改良の成果】

地域と連携できた！安い施工費で！少ない日数で！  
**河川縦断連続性が再生できた！**

地域のみなさんの「川への関心」がさらに高まった！



## 【魚道改良の成果を踏まえた展開】

- ◎今回の作業を、DVDビデオにまとめ、参加者・関係者に配布→**河川への思い向上**。  
地域イベントの際にはビデオ上映会予定→参加できなかった方も興味を持つ。
- ◎**他の堰でも簡易改良を検討**する。
- ◎簡易改良は低コストで早期に対策効果を得るための対処療法。**今回の成果を参考にし、堰・魚道の本格改築の必要性を堰管理者等へ発信。本格改築につなげたい！**

# 參考資料

## (工夫したこと)

- 土嚢をネットで一体化。→○出水に耐えた。前回から改善。
- 角落とし支柱を鋼材に。→○出水に耐えた。前回から改善。
- トイの設置高さを上げた→×前回から改善したが、想定以上が来て流失。
- 土嚢の積み方をあえてガタガタにし、流れのパターンを創出。
- 改良時期及びモニタリング時期の設定→川の中での作業であり、寒くない時期、モチベーション確保。魚が活発に動く10月までにモニタリング。前回は11月にモニタリングし遡上確認できず。
- 詳細な遡上調査。
- 経過状況を常に関係者へ報告。→1枚PPT作成配布。常に興味を。
- 地域へのヒアリングで、地域のみなさんの「川への想い」を知ることが出来、連続性確保の意義を再確認。モチベーションアップ。
- 前回の失敗があり、今回の成功。失敗しても良い、まずやってみる。

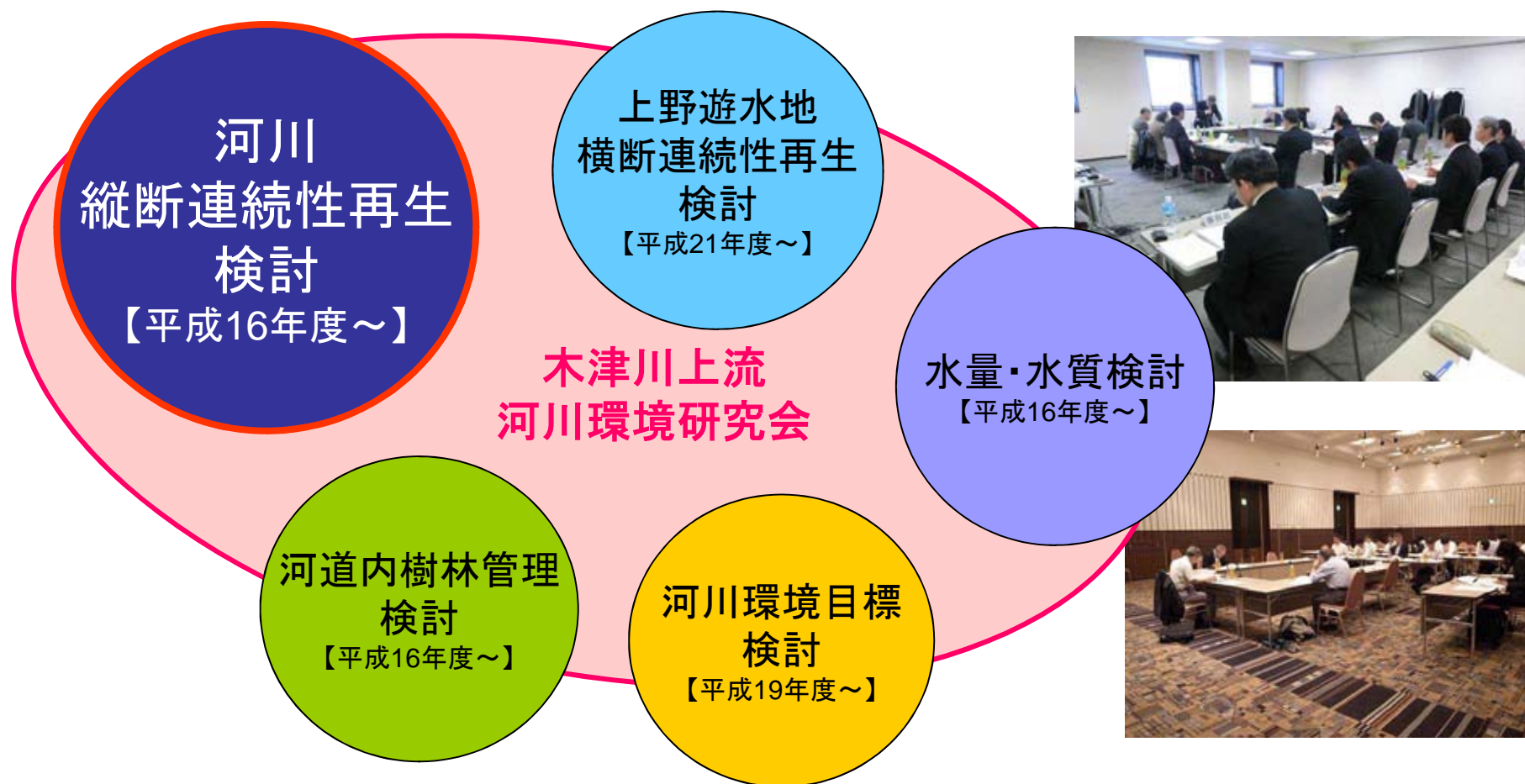
## (困難だったこと)

- 河川管理者として、流される可能性が高いもの、不完全と思われるものを設置することへのジレンマ。
- 安全管理全般。安全施設の設置、雨天時など作業継続の見極め。→上流の室生ダムと詳細な情報交換。作業現場の水機構職員が協力。

# 木津川上流における河川の縦断連続性再生検討

## ◆木津川上流における河川縦断連続性再生検討

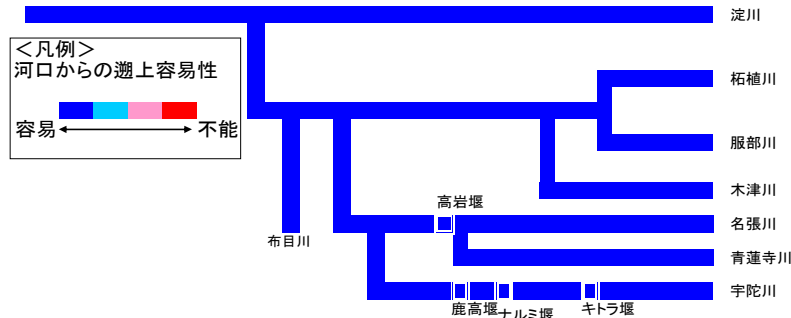
木津川上流の河川環境に係わる諸課題について、河川環境の整備と保全の面から、学識経験者が技術的な指導・助言を行う「木津川上流河川環境研究会（H16～，池淵周一座長）」における課題のひとつとして、平成16年度より継続して検討している。



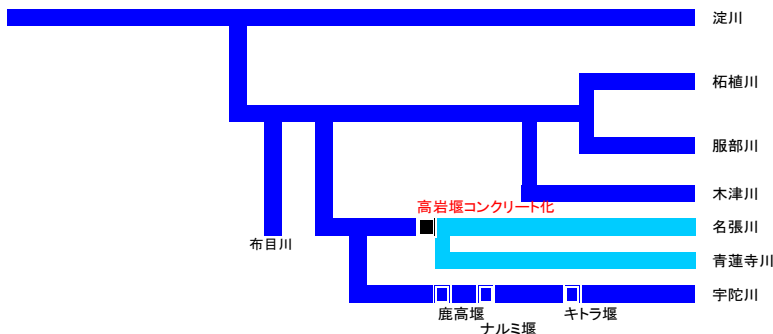
# 木津川上流における河川の縦断連続性再生検討

木津川上流では、大正時代初期より、井堰やダム建設により連続性が低下

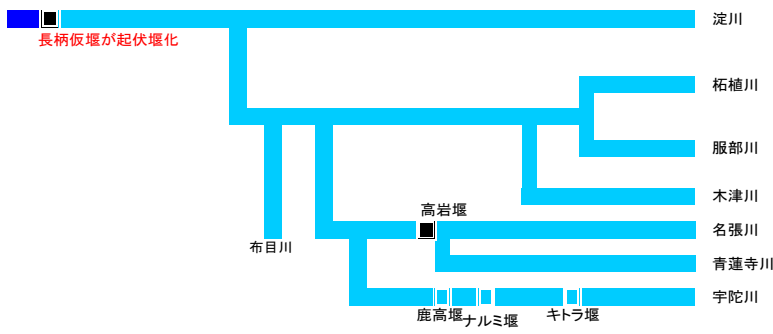
【明治期以前】: 井堰は既に存在するも石造りで(出水時は流出)遡上は可能



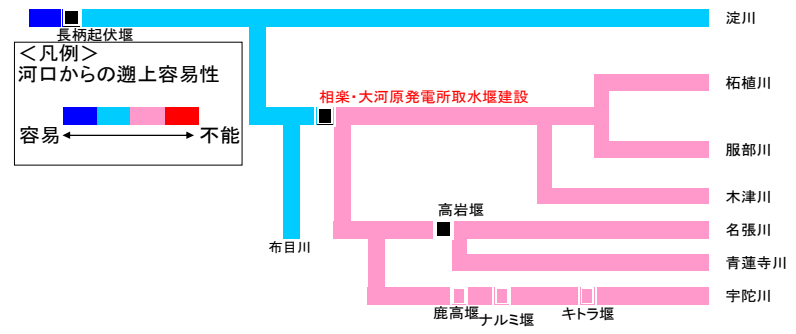
【明治期】: 高岩井堰がコンクリート化するが遡上は可能(H15でも遡上確認)



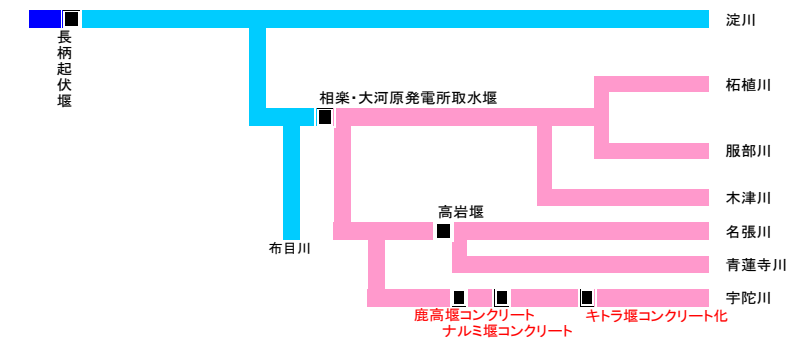
【大正3年頃~】: 長柄仮堰が起伏堰に改修され、遡上著しく減少



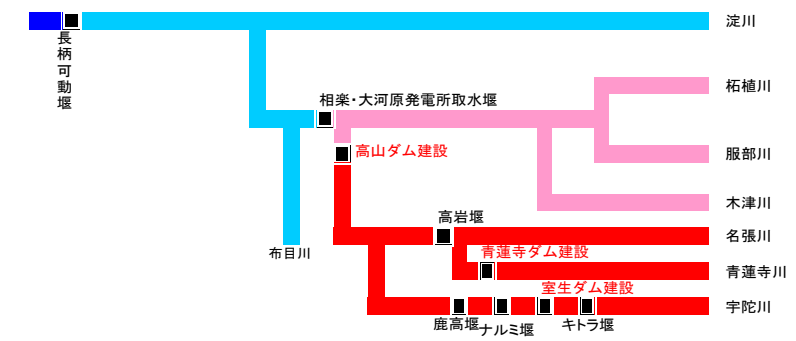
【大正8年頃~】: 大河原(T8)、相楽(S3)取水堰が建設され遡上止まる



【昭和35年頃~】: 鹿高・キトラ井堰(S35)、ナルミ井堰(S36)がコンクリート化



【昭和44年頃~】: 高山ダムS44, 青蓮寺ダムS45, 室生ダムS49建設で遡上止まる



# 木津川上流における河川の縦断連続性再生検討

## ◆河川縦断連続性再生検討における取り組み内容

### 【対策①: 対策必要性に関する調査】

対策の必要性を明確にするため、淀川水系におけるアユ遡上実態を把握する。

### 【対策②: 堰・魚道の改良】

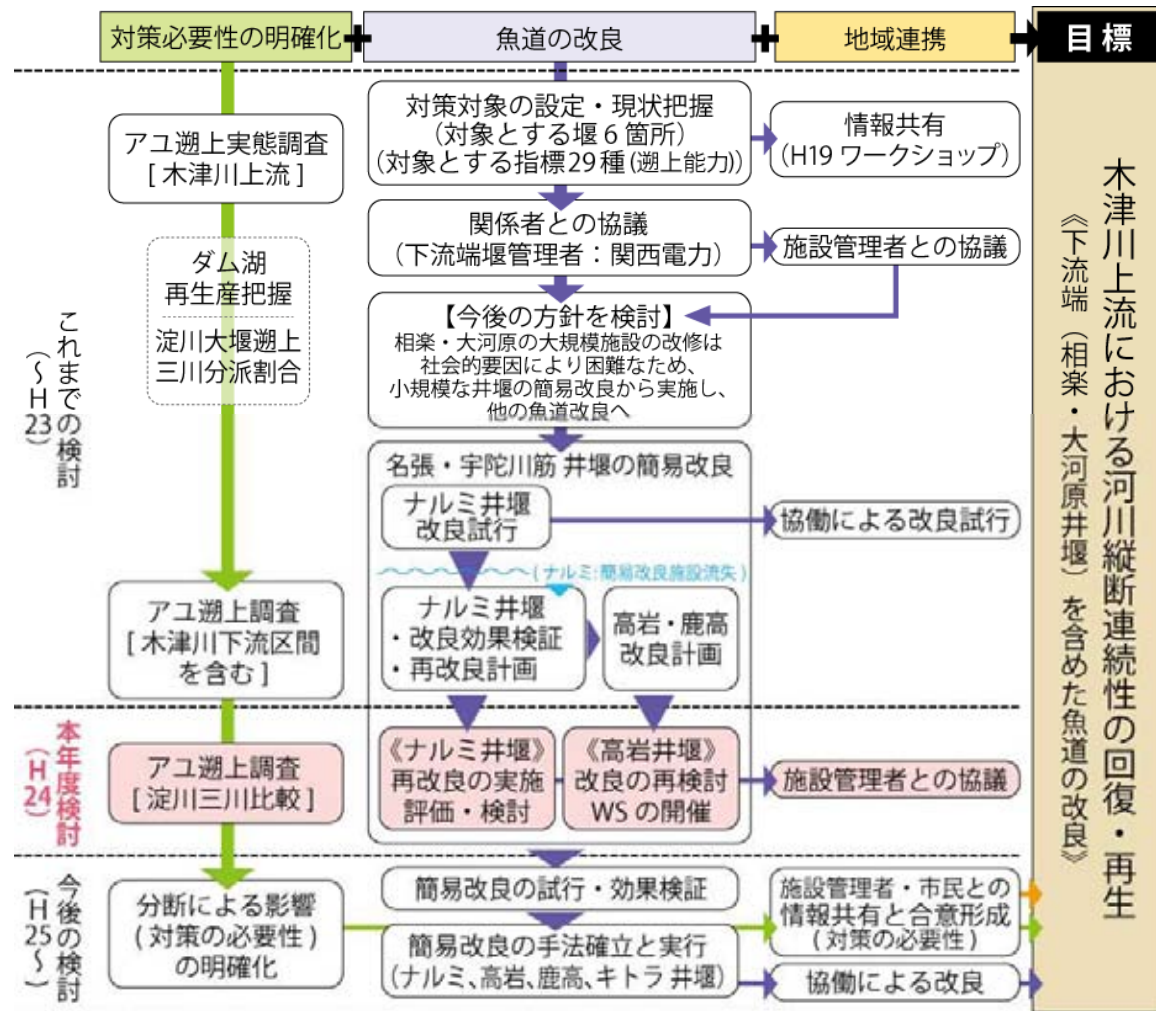
各井堰の魚道改良により、縦断連続性を改善させる。

### 【対策③: 地域連携】

魚道の改良は地域との合意を踏まえ、協働により実施する。

### 【目標】

木津川上流における河川縦断連続性の回復・再生



# 土囊設置箇所の流れ

## 魚道上流部(プール⑭)



※土のうの設置に当たっては、意図的に凹凸を設け、水流に変化をつけた。  
・これにより複数の遡上ルートから、各魚類等が遡上しやすい箇所を選択できるようにした。

※簡易改良実施後の平成24年9月9日に撮影

## 魚道内で確認されたオオサンショウウオ



※モニタリング調査時の平成24年9月16日に撮影。

～魚道下流部(プール③)の土のう下で確認されたオオサンショウウオ～

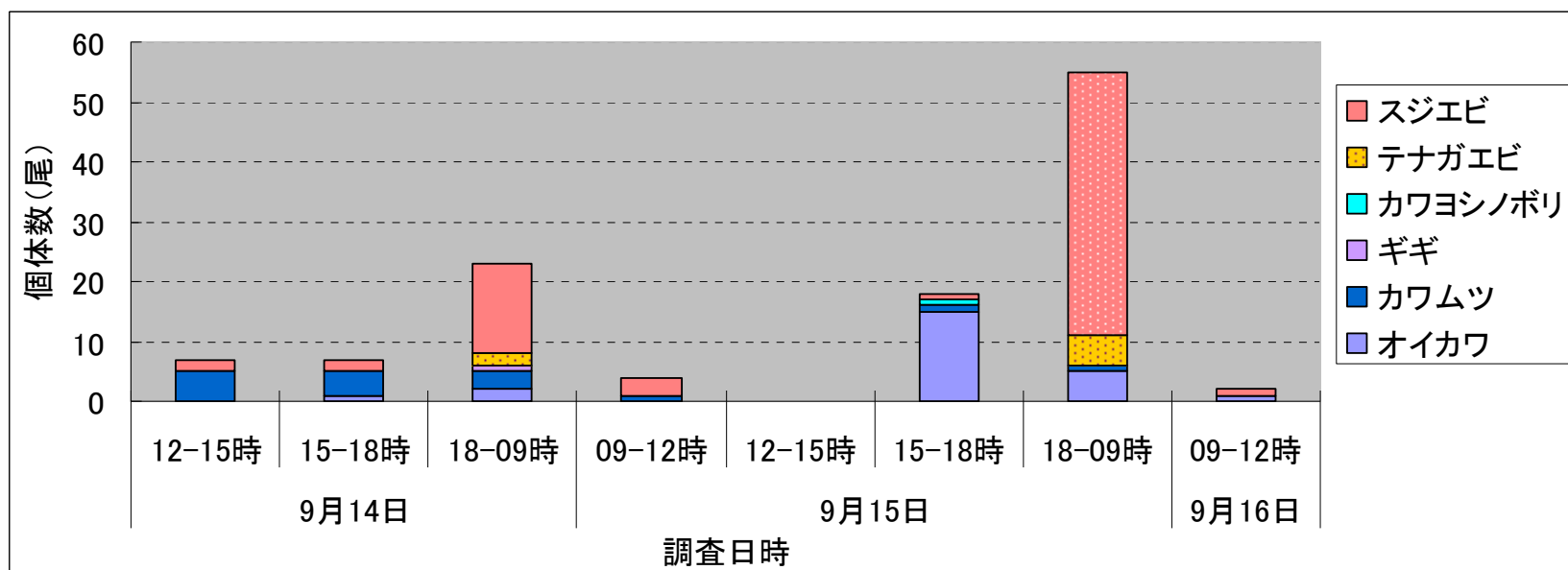
# 改良後モニタリング調査

## ◆魚類等の遡上状況モニタリング

魚道簡易改良完了の6日後から3日間、平成24年9月14日・15日・16日に実施。

確認種					調査日時ごとの確認個体数								
分類	種名	効果指標種	生活型	遊泳型	9月14日			9月15日			9月16日	2日間合計	
					12-15時	15-18時	18-09時	09-12時	12-15時	15-18時	18-09時		09-12時
魚類	オイカワ		淡水	遊泳		1	2			15	5	1	24
	カワムツ		淡水	遊泳	5	4	3	1		1	1		15
	ギギ	◎	淡水	底生			1						1
	カワヨシノボリ		淡水	底生						1			1
甲殻類	テナガエビ		回遊	—			2				5		7
	スジエビ		淡水	—	2	2	15	3		1	44	1	68

※効果指標種： カジカ、ギギ、アカザなどの底生魚のほか、この地域に特徴的なムギツクやスゴモロコ属。

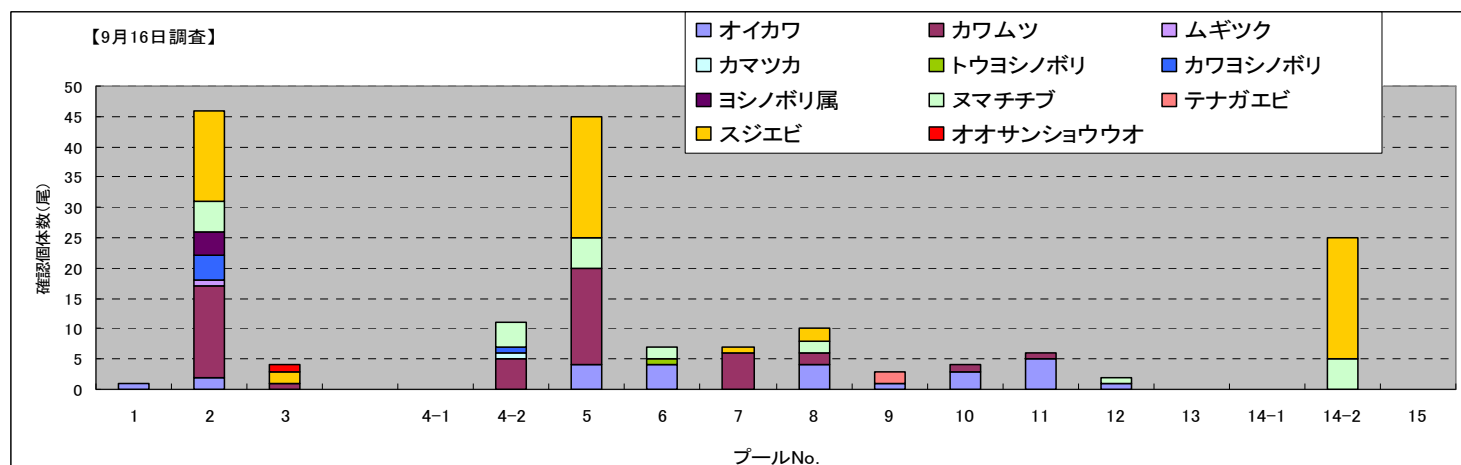
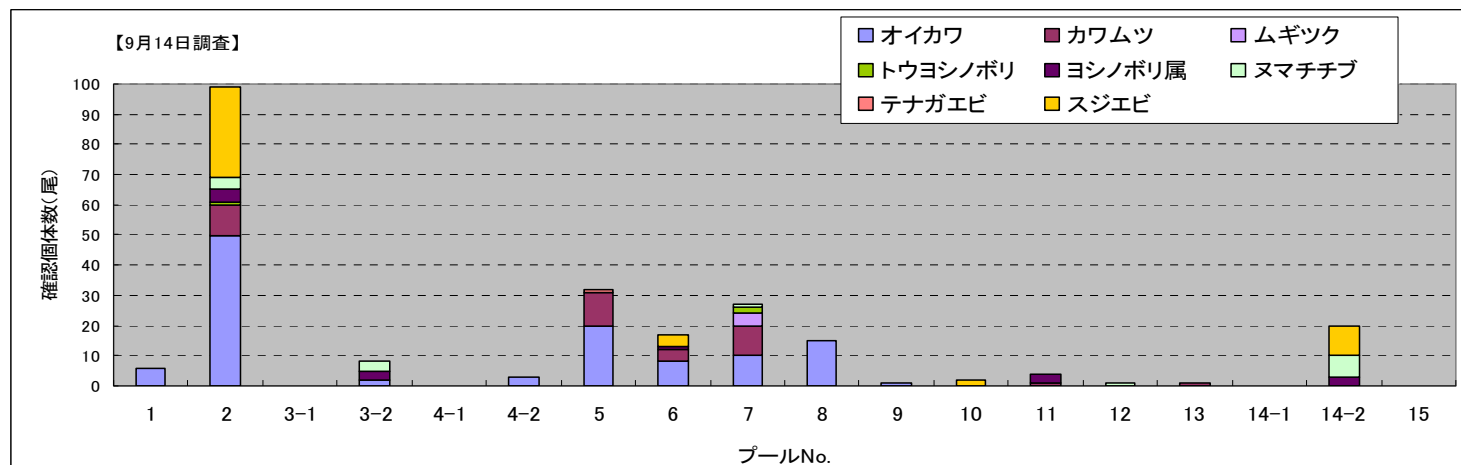


魚道内 遡上魚類等採捕調査結果(魚道上流端 定置網採捕個体数)

# 改良後モニタリング調査(魚道内潜水目視観察)

方法: 魚道の各プール内で潜水目視確認を行い、魚類残留状況を把握した。

結果: プール内で、魚類6種(オイカワ、カワムツ等)、甲殻類2種(スジエビ、テナガエビ)、両生類1種(オオサンショウウオ)を確認。



※モニタリング調査と合わせて、平成24年9月14日・16日に実施。

## 魚道内 潜水目視観察 結果(各プール内の確認個体数)

# 改良後モニタリング調査 (遡上確認実験)

方法: プール内にマーキングした魚類を放流し、魚道出口部定置網で採捕した。

結果: カワムツ、アユが遡上可能なことを確認。

魚道内 潜水目視観察 結果  
(各プール内の確認個体数)

放流プールNo.	種名	放流個体数	遡上個体数	9月15日				9月16日		マーク箇所 (切除部位)
				12時	15時	16時	18時	9時	12時	
No.②	アユ	1	0	◆	—	—	—	—	—	尾緒下葉
	カワムツ	8	1	◆	—	—	—	●(1)	—	
	カマツカ	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ヌマチチブ	3	0	◆	—	—	—	—	—	
	ニゴイ属	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ギギ	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ムギツク	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ヨシノボリ属	3	0	◆	—	—	—	—	—	
	カジカ	1	0	◆	—	—	—	—	—	
No.②	アユ	1	0	◆	—	—	—	—	—	尾緒下葉+あぶら鱈
No.④-1	アユ	4	0	/	/	/	/	◆	—	
	オイカワ	2	0	/	/	/	/	◆	—	
	カワムツ	3	0	/	/	/	/	◆	—	
No.⑤	アユ	1	0	◆	—	—	—	—	—	尻緒
	カワムツ	8	1	◆	—	—	—	●(1)	—	
	カマツカ	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ヌマチチブ	3	0	◆	—	—	—	—	—	
	ニゴイ属	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ムギツク	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ヨシノボリ属	3	0	◆	—	—	—	—	—	
No.⑬	アユ	1	0	◆	—	—	—	—	—	尾緒上葉
	カワムツ	8	5	◆	●(1)	—	●(4)	—	—	
	カマツカ	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ヌマチチブ	3	0	◆	—	—	—	—	—	
	ニゴイ属	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ムギツク	1	0	◆	—	—	—	—	—	
	ヨシノボリ属	3	0	◆	—	—	—	—	—	
No.⑬	アユ	4	4	/	/	/	/	◆	●(2)	あぶら鱈
	カジカ	1	0	/	/	/	/	◆	—	

◆は放流した時刻、●は遡上を確認した時刻(カッコ内は確認個体数)を示す  
※モニタリング調査と合わせて平成24年9月15日・16日に実施。



# 改良後モニタリング調査(堰周辺魚類相調査)

方法: 堰上下流において、投網・タモ網を用いて魚類等を採捕した。

結果: 堰の上下流で、カワムツ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ、ヌマチチブなど  
合計17種類の魚介類を確認。

## 堰周辺魚類相 確認調査結果

No.	科名	種名	生活型	効果 指標種	採捕個体数(尾)		簡易改良後 魚道調査結果	
					上流	下流	遡上確認 (定置網)	プール内確認 (目視)
1	コイ科	オイカワ	淡水		5	6	◎	○
2		カワムツ	淡水		34	33	◎	○
3		ムギツク	淡水	◇		3		○
4		カマツカ	淡水		1	4		○
5		ズナガニゴイ	淡水			1		
6		コウライニゴイ	淡水			1		
-		ニゴイ属	淡水			1		
7		コウライモロコ	淡水	◇	1	3		
8	ギギ科	ギギ	淡水	◇		3	◎	
9	アユ科	アユ	回遊		1	3	※	
10	カジカ科	カジカ	淡水	◇		3		
11	サンフィッシュ科	ブルーギル(外来種)	淡水		3			
12	ハゼ科	ウキゴリ	回遊		1			
13		トウヨシノボリ	回遊		13	8		○
14		カワヨシノボリ	淡水		2	92	◎	○
15		ヌマチチブ	回遊		21	31		○
16	テナガエビ科	テナガエビ	回遊			11	◎	○
17		スジエビ	淡水		2	6	◎	○
個体数計					84	209		
種数計					17			

※アユは放流実験でのみ遡上確認

※モニタリング調査と合わせて平成24年9月14日・15日に実施。

## 河川縦断連続性再生の成果と今後の方針

今回の成果を活かし、他の井堰においても魚道改良を進めていきたい。

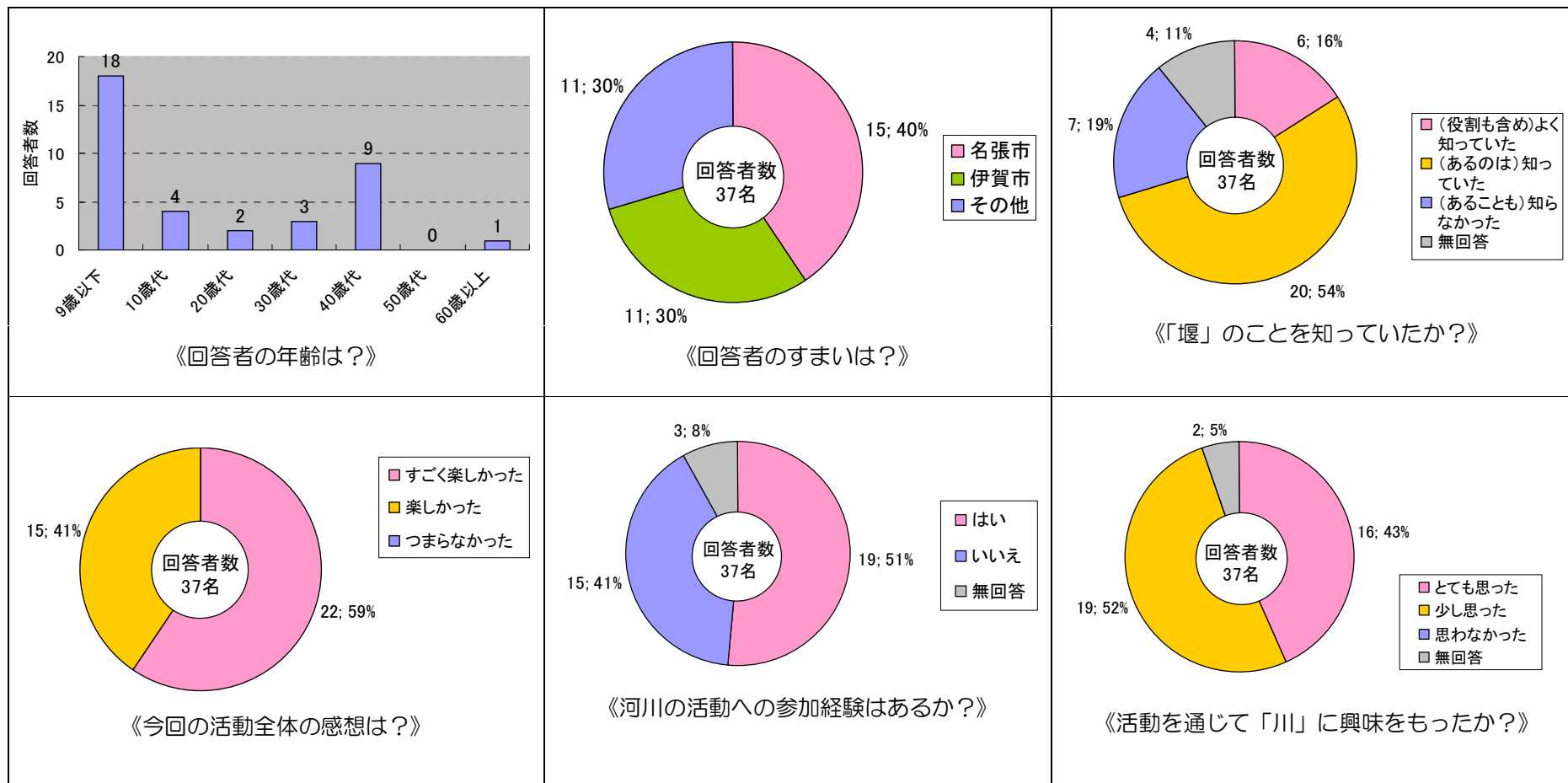
本年度は、ナルミ井堰(宇陀川)の魚道改良とは別途、次年度以降に簡易改良を検討している高岩堰周辺(名張川)において、住民参加型の環境学習会(ワークショップ)を開催し、対策実施への合意形成を図っている。



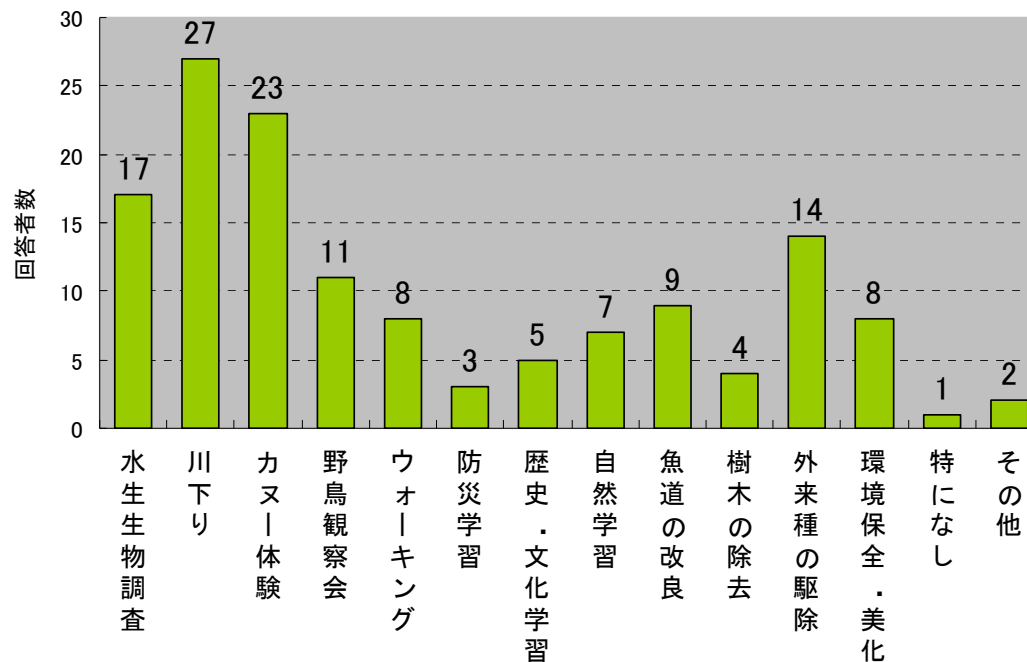
名張川 高岩井堰近傍で開催した、環境学習会のようす  
(水生生物、水質、河川の食文化とともに、河川連続性に関する勉強会を実施。)

# 環境学習会（ワークショップ）のアンケート結果①

環境学習会の活動内容への感想や、木津川・名張川に関する感想・要望を把握するためのアンケート調査を実施した。参加者44名のうち、37名から回答を得た。（回答率約84%）



## 環境学習会（ワークショップ）のアンケート結果②



《今後参加してみたいと思う活動・学習会の内容は?》

- ・きれいでいろいろな生物がいる川
- ・安全な川になって欲しい きれいな川になって欲しい 遊べる川になって欲しい
- ・名張川で生きる魚や動物で川のきれいなことがわかるがどれくらい汚れているかがわかってよかった。
- ・ホテルなどがすみつけるきれいな川になればいいなと思った。
- ・説明がパソコンをつかって分かりやすく、中身が良かった。子どもには盛りだくさんな内容だったかもしれないが、実際に鯉こくやなまずの蒲焼き風つくだ煮を食べたり、川で生物を探したり、体験を通して子ども自身が川の環境をきれいにする必要性を考えられたと思う。
- ・川虫など知らなかった事が多かった クイズが楽しかった。

《活動内容への感想、河川への要望等、自由意見の抜粋》

表. ナルミ井堰魚道簡易改良 前後の魚道内流況等

	計画時目標値	簡易改良前	簡易改良後
落差(入り口部)	30cm以下	約50cm	落差なし
隔壁間落差	30cm以下	約60cm	概ね30cm以下
隔壁上流速	1.0m/s以下	約2.2m/s	約1.0m/s程度
プール内流況	泡のない流れ	著しい乱れあり	泡、乱れともになし
プール水深	30cm以上	30cm以下	概ね30cm以上



簡易改良前



簡易改良後

# 魚道開通！ナルミ井堰で魚道簡易改良を実施

平成24年9月7日(金)、8日(土)

## ■簡易改良について

魚がすみやすい・のぼりやすい川の実現に向けた活動です。遡上困難となっていたナルミ井堰魚道において、試験的に簡易改良を実施しました。参加者は一般の方や水機構・宇陀市などの関係機関を含め、なんと**49人！**ものたくさんの方々に参加いただきました。土のうりレー・大石綱引きなど、作業は大変でしたが一体感が生まれ、「魚達のために！」の熱い思いのもと、熱心に取り組んでもらうことが出来、立派な“仮設”魚道が完成しました。

## ■今後の予定

魚道が開通しましたので、魚類調査を実施し効果検証を行います(1回目は9/18,19予定)。また、今回のイベントについては活動の様子を撮影・編集した「活動記録」を配布する予定です。

1日目



2日目



# 魚道開通後、魚の遡上を確認！

## ナルミ井堰魚道簡易改良後の効果検証を実施しました

調査日：平成24年9月14日(金)、15日(土)、16(日)

改良後の魚道で、2日間で魚類4種41個体、甲殻類2種69個体の遡上を確認し、簡易改良の効果が実証されました。

### ■調査結果(速報値)

◎ 魚道遡上調査(魚道上流端に定置網を設置、遡上魚類等を捕獲)

- ・魚類4種41個体(カワムツ15個体、オイカワ24個体、ギギ1個体、カワヨシノボリ1個体)が遡上
- ・甲殻類2種69個体(スジエビ67、テナガエビ2)が遡上。
- ・日中はオイカワ、夜間はスジエビが多数遡上。



魚道ゴール地点の定置網

上がってきた魚はここに入ります



オイカワ



カワヨシノボリ

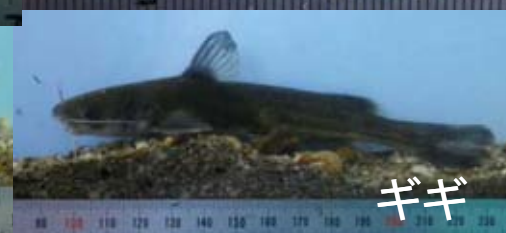


カワムツ

川を自由に動き回れるようになって超気持ちいいッス！



スジエビ



ギギ

# 魚道開通後、初の出水！実験施設異常なし！

ナルミ井堰魚道簡易改良実験施設の洪水時の安定性を検証しました

調査日：平成24年9月18日(火)、19日(水)

前回の簡易改良(H22実施)実験施設が流出した規模の出水が来た！

出水後の状況を確認！  
すべて異常ありませんでした！



翌日



ある程度(前回流出した程度)の洪水でも流失せず安定することが実証されました。

# 魚道開通後、2度目の出水！トイが流失した！

ナルミ井堰魚道簡易改良実験施設の洪水時の安定性を検証しました(2回目)

調査日：平成24年10月2日(火) 10:00



平成23年度の台風15号を上回る規模の出水！  
実験施設の安定性確認を行った。

## 結果

○トイ(半割)とトイ土台(単管)の流出を確認！要検討

○プール、異常なし！

○角落とし、土嚢は異常なし！

→大規模な出水でも安定！  
効果が確認できた！

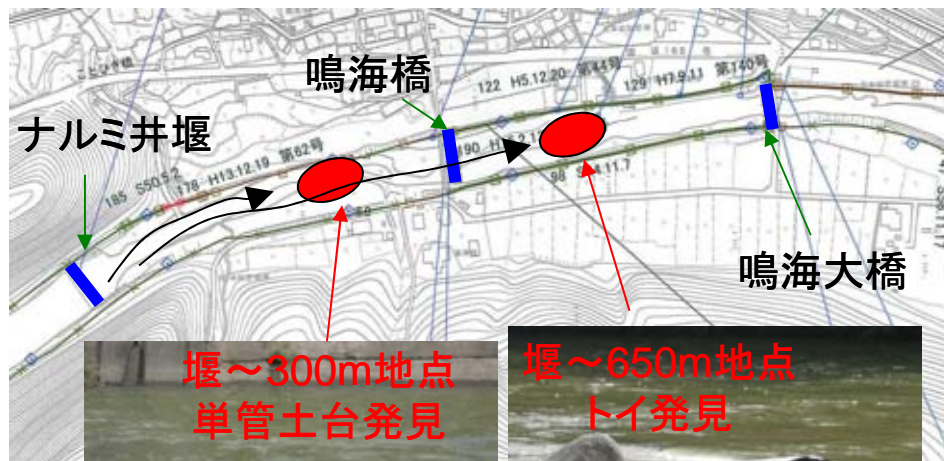
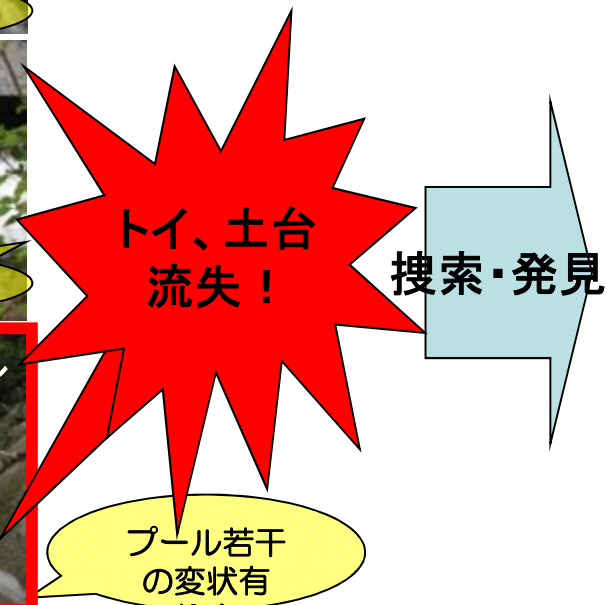
トイ(半割コルゲート)、土台(単管パイプ)の回収

○トイ→300m下流で発見

○土台→650m下流で発見

→明日10月3日中に回収する

トイが流水の影響を受けた際、余水吐施設が破損しないよう、一定の力(チェーン1本100kg×2本)がかかれば外れるように設置していた



プール若干の変状有



# 外来種対策の取り組みについて

## ー 外来種対策検討会の活動概要 ー

### 1. 経緯

琵琶湖・淀川流域圏の再生計画では、琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全、生態系に影響を及ぼす外来種対策に取り組んでいくこととしている。流域圏の各所において、関係機関による連携した取り組みの実施、地域住民やNPO団体などと協働による取り組みの推進を図るため、連携交流会と協働で「外来種対策検討会」を継続的に開催し、外来種対策に関する情報の共有や意見交換を行うとともに、外来種勉強会として流域圏の各所の現地調査を行い、現状の把握と流域住民等を対象とした広報資料の作成と情報発信の取り組みを進めている。

### 2. メンバー

今年度から、外来種対策検討会の取り組みの広がりや情報共有の観点から、分科会の全構成機関による参画を基本としている。

○琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

水辺の生態系保全・再生ネットワーク分科会 各構成機関

○琵琶湖・淀川流域圏再生連携交流会

○事務局 近畿地方整備局 企画部 広域計画課

### 3. H24年度の活動内容

○ 6月22日 第7回 外来種対策検討会

・外来種チュウゴクオオサンショウウオの調査事例（京都市）について情報交換。

・猪名川の外来種対策（猪名川河川事務所）について情報交換

・今年度の現地勉強会実施方針の確認

○ 7月6日 嵐山地区現地勉強会の開催

・地域団体からの説明のあと意見交換。

・アユモドキ保全（環境省）について意見交換。

○ 7月28日 BY展における情報発信

～7月29日 ・ポスター展示、広報チラシの配布 等

#### ◆BY展における情報発信

BY展において、各機関や連携交流会の取り組みを紹介するポスター展示と昨年度に実施した。



# 外来種対策検討会の今後の取り組みについて

## 1. 再生計画の記載内容

### 5. ソフト面の取り組み

#### (3) 流域住民との連携・協働や環境教育

多様な主体や地域住民の参画と連携のもとに、生態系の保全再生の取り組みを推進する。  
また、流域圏の小中学校の環境教育の場として活用を図る。(再生計画P40 抜粋)

### 6. 連携施策の推進

#### (3) 生態系に悪影響を及ぼす外来種対策プロジェクト

琵琶湖・淀川ならではの豊かな生態系を守るため、流域内府県他、関係機関が連携して「外来種対策委員会」を設置し、外来種に関する情報交換（外来種の侵入発見、外来種の被害、外来種対策の効果等）等を行い、オオクチバス、ブルーギル、ウォーターレタス等の外来種の予防・駆除対策を実施する。(再生計画P42 抜粋)

## 2. 概要

流域圏の各所における関係機関の連携や地域住民やNPO団体などと協働による取り組みを推進していくため、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会と連携した、「外来種対策検討会」を引き続き継続し、外来種やその対策の取り組みに関する知見の収集と情報共有の取り組みを進めていく。

## 3. 実施概要

### ○取り組み方針

これまでの外来種対策検討会の取り組みもふまえ、以下のテーマに関する取り組みを引き続き、実施する。

- ◆外来種に関する情報、各機関における取り組み、研究成果などの技術的な知見などに関する情報の共有
- ◆流域住民等を対象とした外来種対策の取り組み推進に向けた広報
- ◆地域住民などと協働した取り組み事例などに関する勉強・情報収集

### ○実施内容

外来種対策などについて、地元団体などと連携している取り組み情報を収集・検討し、現地における調査を実施する。とりまとめた情報から広報資料を作成して情報発信を行い、地域住民などとの協働した取り組みの促進につなげる。

できるだけ多くの人に外来種対策の重要性を知ってもらうためのアイデアを模索する。



嵐山地区現地勉強会調査にて作成した広報資料



# 外来生物を放っておけない！

～取り除く活動に参加してみよう！～



外来生物というのは、もともと日本にいなかった生きもので、外国から人間がもちこんだり、荷物といっしょにもちこまれた生きもののことだよ。

## ☆外来生物がふえすぎると、どうなるの？

外来生物は繁殖する力が強いので、もともといた植物が生育できなくなったり、水がよごれたりなど大きな影響がでているんだ。また、もともといた動物が食べられて少なくなったり、絶滅したり、雑種をつくったりして生態系に影響をおよぼしたり、農作物を食べるため私たちの生活にも影響をおよぼすことがあるんだよ。このような問題をひきおこす外来生物は「特定外来生物」に指定されているんだ。

## ☆特定外来生物を飼ってもいいの？

特定外来生物を飼ったり、人にあげたりしてはいけないうんだよ。飼っている特定外来生物の子どもを増やすこともできないんだよ。このことは、外来生物法(正しくは、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」)に定められているんだよ。

みんなの家の近くにも、いろんな外来生物がいるかもしれないので調べてみようよ！  
気をつけてみよう。



写真: 環境省のホームページから引用 (http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/asimg.html)

## ■水草の中にも、外来種がたくさんいるので気をつけてみましょう！

琵琶湖や淀川、桂川などにも、特定外来生物に指定されている水草のミズヒマワリ、ナガエツルノゲイトウ、ボタンウキクサや要注意外来生物に選ばれているオオカナダモが生育しています。その他にもコカナダモなども生育しています。



ミズヒマワリ  
中南米原産で、第二次大戦後に人為的に持ち込まれたとされています。茎の切片からも再生します。



ナガエツルノゲイトウ  
南米原産で、夏から秋に直径1.5cmほどの球形の白い花穂を付けます。茎の切片からも再生します。



ボタンウキクサ  
水面に葉を広げて浮いています。通常は水面に茎をのばし、その先に子株を作って増えます。



オオカナダモ  
生物実験用として輸入され、広がったとされています。葉は4~5枚でコカナダモやクロモと異なります。



コカナダモ  
1961年に琵琶湖で初めて見つけられました。葉は3枚と少なく、オオカナダモやクロモと異なります。

写真 オオカナダモ・コカナダモ(角野1994)、ミズヒマワリ・ナガエツルノゲイトウ・ボタンウキクサ(環境省のWEBサイト)

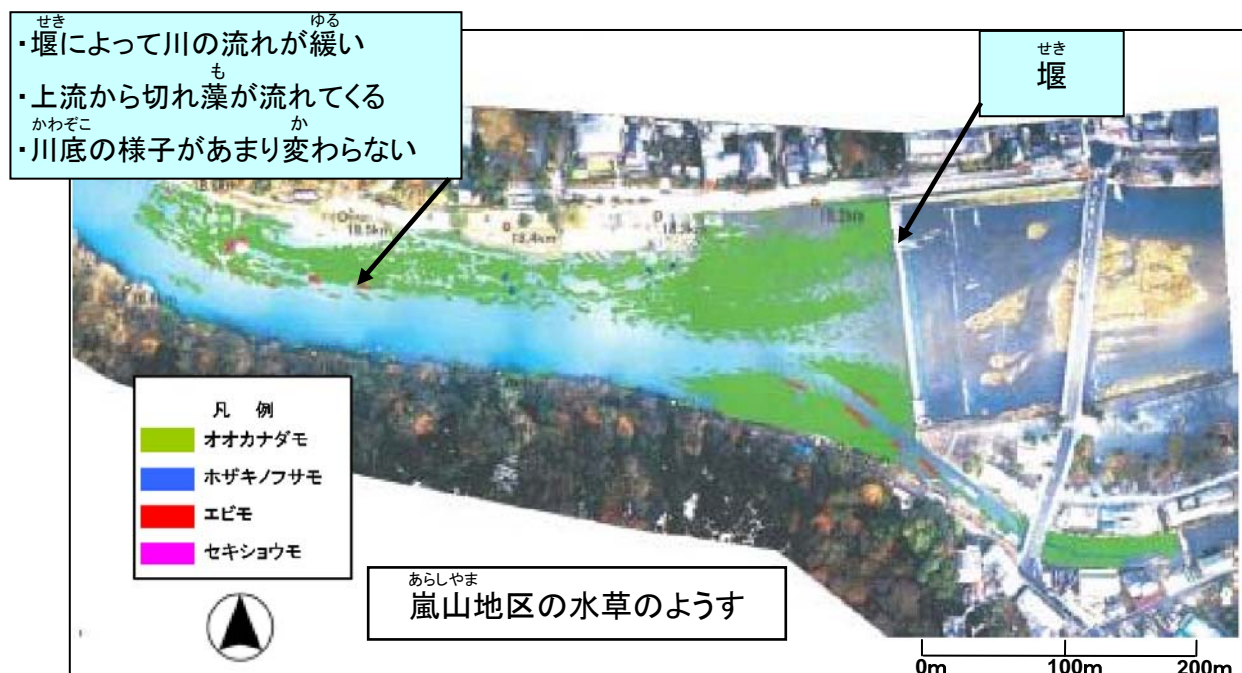
## ■外来種の水草は、繁殖する力が強いんだ！

外来種の水草は生育する力が強いので、いろんなところで増えていくことができるんだよ。増えすぎると、下の写真のように、いろいろと困ったことがでてくるんだ。

①生活への影響	②漁業への影響	③河川や湖沼環境への影響
<p>増えすぎた水草や流れついた藻がたまって、風景が悪くなります。くさって生くさいニオイがしてきます。 写真左: 滋賀県HP 写真右: 「水草繁茂に係る要因分析等検討会」資料</p>	<p>網を置いたりひいたりできなくなって魚をとれなくなったり、船のスクルーにからまって動かなくなったりします。 写真左: 南湖再生WG資料, 写真右: 浜端(2010)</p>	<p>水面いっぱい広がるほど育ってしまうと、光をさえぎって、ほかの植物が光合成しにくくなります。</p>

あらしやま へいせい  
 嵐山地区では、平成17年からオオカナダモなどがたくさん増えつづけてきたんだ。

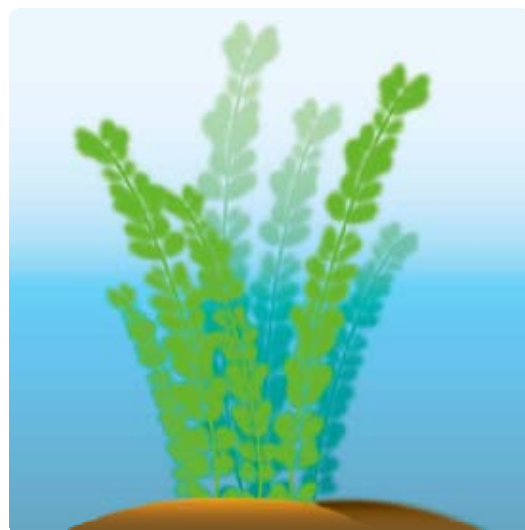
- ちいき かつらがわ ほんらい せいたいけい よご  
 ・地域の人たちは、桂川本来の生態系をたもったり、水草がくさることで水が汚れないようにしたり、においが出ないようにするために、取り除く活動を積極的に行っているんだ。
- のぞ ちいき あらしやま たいさく れんらく  
 ・水草を取り除くために、地域みんなが「嵐山地区水草対策連絡会」をつくって取り組み、地元の嵯峨中学校の生徒もたくさん参加しているんだ。



### 水草はどんなところに生育しやすいの？

あらしやま とくちょう  
 嵐山地区では、こんな特徴があるよ。

- 堰(せき)によって川の流が緩いところがある
  - 上流側にも生えている水草が流れてくる
  - 川底の地形があまり大きく変わらない
- げんいん  
 などが原因で育ちやすいと考えています。



どんなことをやっているの？



- Q 自分たちで取り組みを始めたきっかけは、どんなこと？  
 水草のくさったニオイがひどかったことが、取り組むきっかけだったんだよ。
- Q いつ頃、取り除いているの？  
 コカナダモやオオカナダモは、5月頃～9月頃に生長が活発になるので、大きく生長する前の6月頃に毎年取り除いているんだよ。
- Q どのように取り除いているの？  
 道具やボートなどの準備、刈取りや陸に揚げる作業に参加した全員で役割を分担しておこなっているよ。取り除くのは、機械を使わずに人の力で行っています。
- Q 刈り取った水草の処分は、どうするの？  
 ごみと水草を分けたあと、水草を2日ぐらい乾燥させて、ごみとして処分するんだよ。

### みんなで取り除く作業にとりくんでいます！



写真: 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所 提供

みんなの家の近くで同じような取り組みがあれば、参加してみようよ！

# 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

## 水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会

### 水辺の生態系保全再生・ネットワーク取り組み事例集

1. 生きものの多様な空間づくり-----
  - 生きものの多様な空間づくり取り組み事例マップ
  - ①淀川の自然再生の取り組み（近畿地方整備局 淀川河川事務所）
  - ②生きものの多様な空間づくりの取り組み（近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所）
  - ③早崎内湖再生における取り組み（滋賀県）
  - ④ワンド増進計画（近畿地方整備局 淀川河川事務所）
  - ⑤猪名川における河原再生の取り組み（近畿地方整備局 猪名川河川事務所）
2. 生きものが出会うネットワークづくりの取り組み-----
  - 生きものが出会うネットワークづくり取り組み事例マップ
  - ①生きものが出会うネットワークづくりの取り組み  
（近畿地方整備局 淀川河川事務所）
  - ②魚のゆりかご水田プロジェクト（滋賀県）
  - ③「水辺の小枝によるナルミ井堰の簡易改良」の取り組み  
（近畿地方整備局 木津川上流河川事務所）
3. いきいきと流れる川づくり-----
  - いきいきと流れる川づくり取り組み事例マップ
  - ①いきいきと流れる川づくりの取り組み状況（近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所、淀川河川事務所、独立行政法人 水資源機構）
4. 琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全-----
  - 取り組み事例マップ
  - ①淀川における外来種対策（近畿地方整備局 淀川河川事務所）
  - ②淀川ワンドにおける外来種対策の取り組み（大阪府）
  - ③外来魚のリリース禁止に関する取り組みについて（滋賀県）
  - ④「イタセンパラ」の再導入について（近畿地方整備局 淀川河川事務所）
  - ⑤イタセンパラ保護増殖事業について（近畿地方環境事務所）
  - ⑥琵琶湖オオクチバス等防除事業について（近畿地方環境事務所）
  - ⑦アユモドキ保護増殖事業について（近畿地方環境事務所）
  - ⑧一庫ダムにおける外来魚駆除の取り組み（独立行政法人 水資源機構）
  - ⑨琵琶湖における取り組み（滋賀県）
  - ⑩外来種対策（水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会）
5. 連携施策の推進-----
  - 連携施策の取り組み事例マップ
  - ①自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクトにおける取り組み状況（近畿地方整備局ほか）

■水辺の生態系保全再生・ネットワーク取り組み事例集

1. 生きものの多様な空間づくり

○ 生きものの多様な空間づくり取り組み事例マップ



①淀川の自然再生の取り組み（近畿地方整備局 淀川河川事務所）

1. イメージ図

- ・生きものの多様な空間づくり  
淀川の自然再生の取り組み

【ワンドの保全再生】



【鵜殿ヨシ原の保全再生】



## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

### 2) 事業概要

#### (ワンドの保全再生)

淀川のワンド内には河川環境の指標となる国の天然記念物イタセンパラが生息していた。「イタセンパラ保護増殖事業計画」に基づき、淀川の代表的ワンドである城北ワンド群他において種の保存のため総合的な施策を行う。

保全再生にあたっては、実験ワンドの植物調査、魚介類調査等のモニタリング結果からワンド底層・周辺植生の維持改善手法を検討しそれらをワンド造成時の設計検討等にフィードバックし、順応的に調査・検討手法やワンド設計等について見直しを行いながら自然の回復力を活かし段階的に保全・復元・整備を行う。

#### (鶺鴒ヨシ原の保全再生)

「高水敷切り下げ対策」を中心とした鶺鴒地区のヨシ原復元対策を進める。切り下げを行った際には表土の移植を行い、現在ヨシ原が成立していないところ等に新たにヨシ原を復元する。

## 3. 課題

#### (ワンドの保全再生)

淀川では明治時代の河川工事の象徴であるケレップ水制の周辺に自然豊かなワンドが形成され、河川環境、景観のシンボルであり、特に城北ワンド群は国の天然記念物であるイタセンパラの一大生息地であったことなど、貴重な動植物の宝庫ともなっている。これらのワンドは、昭和50年頃は約130個あったものが、平成1年には34個にまで減少している。

#### (鶺鴒ヨシ原の保全再生)

紀貫之の「土佐日記」にも登場する鶺鴒は、多様な動植物が生息し、学術的にも非常に重要な地域である。そのヨシ原が近年の地下水位低下や高水敷の冠水頻度の減少により干陸化が進み、ヨシ群落の衰退が進行している。

## 4. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・ワンドの保全再生 (H11年度～H50年度)			
・鶺鴒ヨシ原の保全再生 (H5年度～H50年度)			

## 5. 平成24年度の取り組み状況

### ワンドの保全再生

唐崎地区の高水敷の切り下げを継続して実施するとともに、水制工によるワンドを前島地区に設ける。

### 鵜殿ヨシ原の保全再生

鵜殿ヨシ原の切り下げを引き続き行う。

## 6. 取り組みによる効果

### 【唐崎地区】

平成23年度は、魚類調査では、春季（6月）に17種、秋季（9月）に19種、全体で23種の魚類を確認した。

確認された種は、主に河川中・下流域に生息するコイ科の純淡水魚が中心であった。また、近年、淀川下流域での確認が少なくなっているとされるヨドゼゼラやヒガイ属も確認された。

二枚貝調査では、ドブガイ属、イシガイ、シジミ属の3種が確認された。

### 【鵜殿地区】

切り下げ対策を行った箇所では施工後数年でヨシ群落面積が約8割にまで再生し、重要種についても、ミコシガヤ、ミゾコウジュなど約20種が出現している。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

### 【唐崎地区】

平成25年度は、引き続き唐崎地区に高水敷を切り下げワンドを設ける。

### 【鵜殿地区】

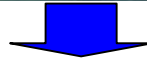
平成25年度以降も高水敷切り下げ対策を実施するとともに、導水による水がヨシ原全体に水が行き渡るような方策を検討する。

②生きものの多様な空間づくりの取り組み（近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所）

1. イメージ図

■野洲川河口部ヨシ帯再生

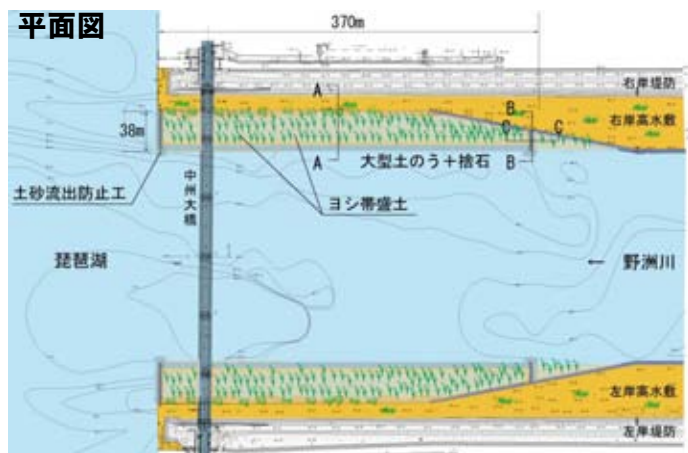
施工前



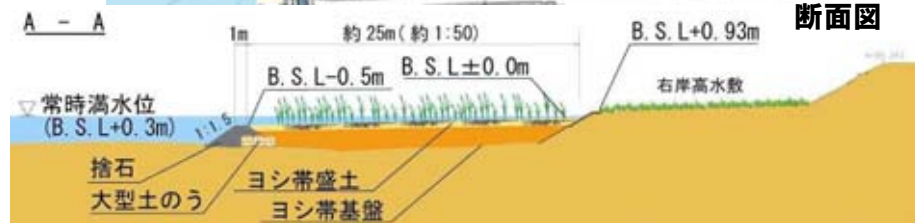
完成イメージ



平面図



断面図



## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所

### 2) 事業概要

琵琶湖に流入する野洲川の河口部において、ヨシ帯で形成される水陸移行帯を再生し、琵琶湖固有のニゴロブナなどの産卵・生息環境を改善する。

平成20年度に地元、学識経験者及びNOP等と連携・協働するため野洲川河口部ヨシ帯再生協議会を設立した。

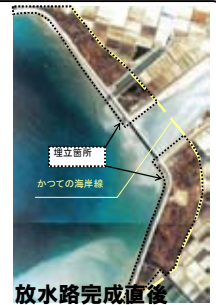
## 3. 課題

魚類にとって重要な産卵・生息の場となるヨシ帯が放水路開削により消失した。

琵琶湖に広がるヨシ帯



1967年頃の吉川漁港



野洲川河口部は、矢板護岸となっており、水域と陸域が分断されている。

野洲川河口部の水際状況



野洲川0.4km付近 2005年6月19日撮影

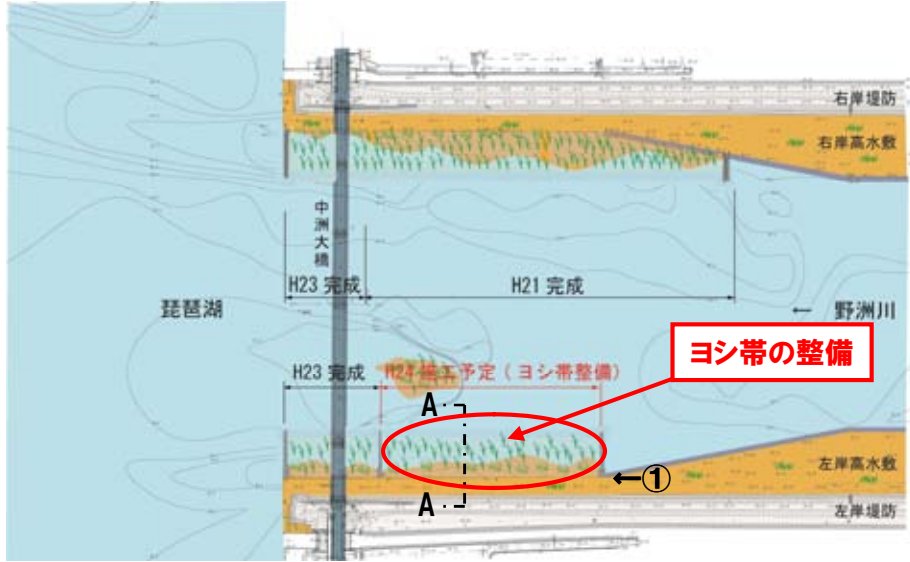
## 4. 事業スケジュール

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
野洲川河口部					
ヨシ帯再生	工事着手	工事継続	工事継続	工事継続	工事継続

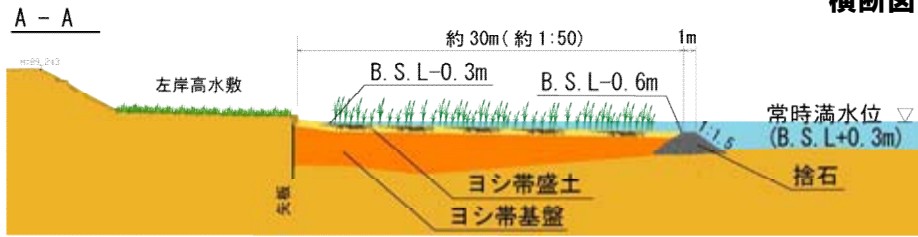
5. 平成24年度の取り組み状況

■平成24年度工事実施状況

平面図



横断面図



① 野洲川河口部左岸施工予定箇所



## 6. 取り組みによる効果

平成 24 年 10 月現在、琵琶湖固有のニゴロブナなどの産卵・成育場となるヨシ帯が約 1.4ha 再生された。



### コイ科魚類の仔稚魚確認状況

種数	H20.5月	ヨシ帯施工前		ヨシ帯施工後	
		H20.6月	H22.6月	H23.6月	
コイ・フナ類	1	1	130	86	
カネヒラ			16	60	

※H20 年度の個体数は、金魚網、タモ網による合計結果

※H22,23 年度の個体数は、タモ網、サデ網、電気ショッカーによる合計結果

※H20～H23 年度調査で他に確認された種は以下の通りである。

魚類(オイカワ、コイ稚魚、コイ科稚魚、ドジョウ、アユ、トウヨシノボリ、ナマズ、オオクチバス、ヌマチチブ)  
エビ類(アメリカザリガニ、カワリヌマエビ属、テナガエビ、スジエビ)

平成 21 年度以降施工箇所において、施工前と比べ多くのコイ科魚類の仔稚魚が確認された。再生したヨシ原が、仔稚魚の成育場として機能していると考えられる。

### ヨシ帯付近でのコイ・フナ類の産卵行動



### ③早崎内湖再生における取り組み（滋賀県）

#### 2. 概要

##### 1) 事業主体

滋賀県

##### 2) 事業概要

早崎内湖の再生により、「琵琶湖と接続する大規模な内水面」や「水辺エコトーン」、「多様かつ大規模な水辺植生帯」などのビオトープ拠点を確保し、内湖に生息生育する生き物の種類や個体数などが増加し、内湖本来の生物多様性を図ります。

#### 3. 課題

技術的、社会的、環境的、経済的な側面からの評価、検討

1. 琵琶湖全体から見た早崎内湖再生の優位性等の整理
2. 河川法等の問題や課題の解決のための検討
3. 内湖への流出入に関する検討および水流、水質の検討
4. 軟弱地盤対策について検討
5. 関連施設および背後地の対策（補償）等の検討
6. 事業効果、環境評価の概略検討
7. 順応的管理手法による経済的で適切な施工計画を作成し、事業の枠組みを決定

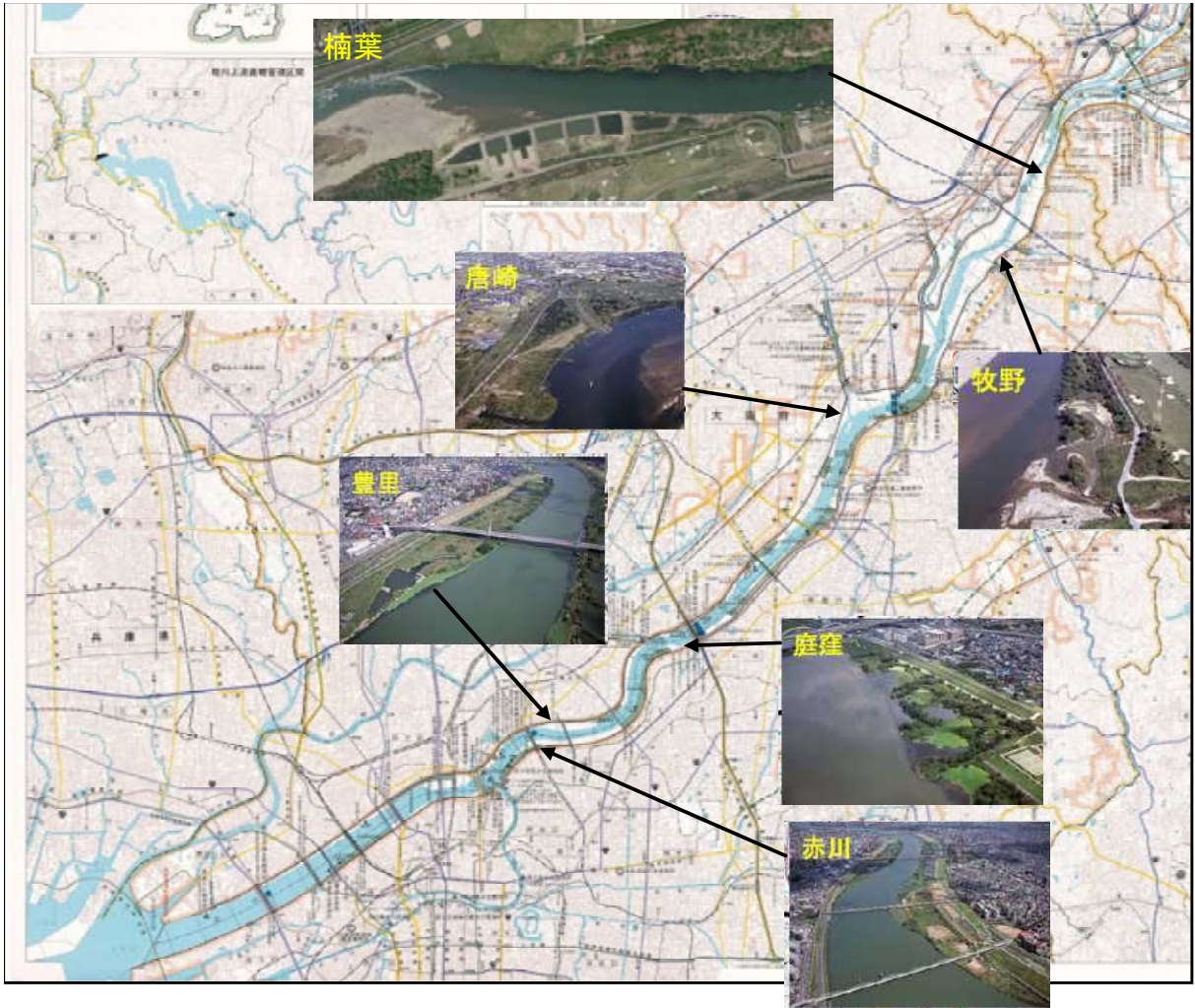
#### 4. 事業スケジュール

- |          |   |
|----------|---|
| ・平成13年度  | 試験湛水（A＝20ha）開始                            |
| ・平成19年3月 | 早崎内湖再生計画(案)を作成（89ha）                      |
| ・平成20年度～ | 地形測量、用地測量、地質調査、文化財調査や基本設計を実施し実現可能な実施計画を検討 |
| ・平成23年度  | 計画規模を現在の試験湛水区域の20haに変更                    |

④ワンド増進計画（近畿地方整備局 淀川河川事務所）

1. イメージ図等

【ワンドの保全再生（ワンド増進計画）】



淀川におけるワンドの状況

## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

### 2) 事業概要

これまで、淀川河川事務所では、人と自然豊かな淀川が共生した社会を目指すべく河川環境の保全に向けた整備（ワンド再生、ヨシ原再生、魚がたやすく上下流に移動出来るような川づくり、木津川の砂州再生、淀川下流の干潟再生、コンクリートの見えない川づくり等）を行ってきました。これらの整備の中で、特にワンドについては、淀川の本風景であり、豊かな生物相が育まれていることから、そのような環境の場を広げ、また、平成18年から姿を見せなくなった国の天然記念物である野生のイタセンパラにとって望ましい環境を整備していくためにも、ワンドの再生を、スピードを上げて整備をしていきます。

なお、整備にあたっては、学識経験者の方々によるご指導をいただきながら進めていきます。

- ・ワンド整備箇所数 城北ワンド群等 12 地区合計 51 個（H20 年 3 月）から、平成 20 年 3 月以降の 10 年間で合計 90 個以上となるよう整備
- ・整備地区 赤川地区、楠葉地区、牧野地区、唐崎地区他
- ・事業工期 平成 11 年度から平成 29 年度

## 3. 課題

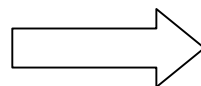
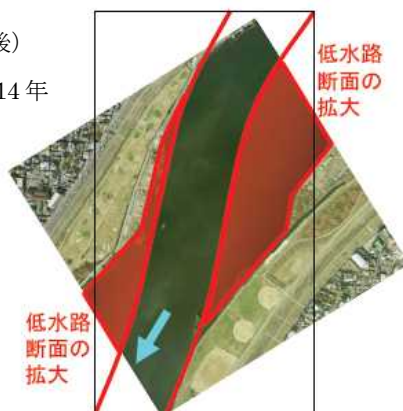
明治期の河川工事で設置された水制工周辺に土砂が堆積し、昭和 30 年代まではワンドやたまりが多数形成されていたが、近年の河川改修によりその多くが失われた。これにより、国の天然記念物イタセンパラをはじめとする在来魚類の生息環境が減少した。

改修前後の空中写真による比較（10.0k 付近）

(改修前)  
昭和 47 年



(改修後)  
平成 14 年



- ・低水路の直線化
- ・護岸整備
- ・低水路断面の拡大

#### 4. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
(唐崎地区) ・ワンド整備 ・モニタリング	1個	1個	1個

#### 5. 平成24年度の取り組み状況

##### 唐崎地区航空写真



##### 唐崎地区施工状況（平成22年度施工）



##### 唐崎地区施工状況（平成23年度施工工事中）



##### 唐崎地区施工状況（平成23年度施工 完了6ヶ月後）



## 6. 取り組みによる効果

〔唐崎地区〕

平成23年度魚類調査では、春季（6月）に17種、秋季（9月）に19種、全体で23種の魚類を確認した。確認された種は、主に河川中・下流域に生息するコイ科の純淡水魚が中心であった。また、近年、淀川下流域での確認が少なくなっているとされるヨドゼゼラやヒガイ属も確認された。

二枚貝調査では、ドブガイ属、イシガイ、シジミ属の3種が確認された。



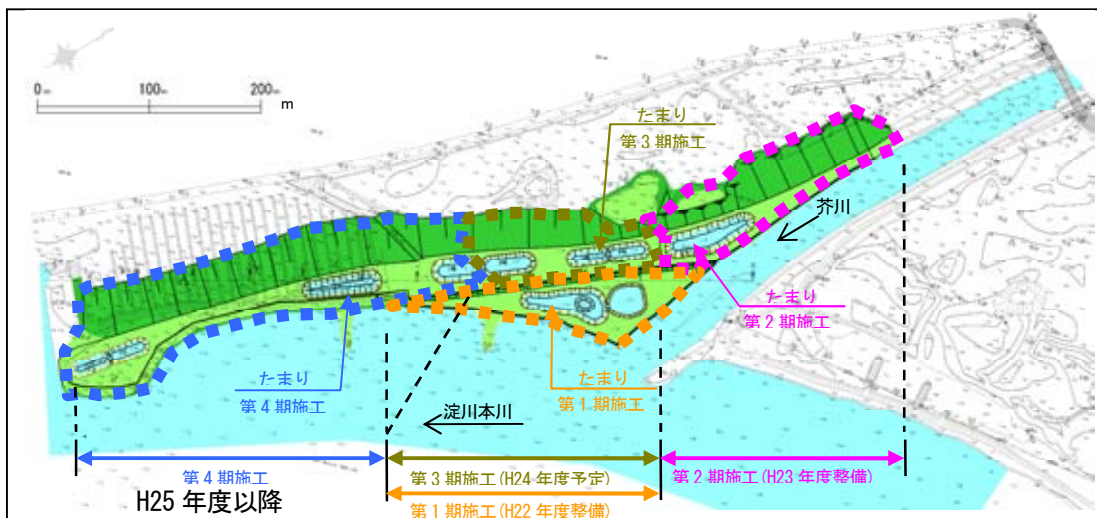
ヨドゼゼラ



イシガイ

## 7. 平成25年度の取り組み予定

平成25年度施工については、平成22年度以降の切り下げ基盤の状況を踏まえて、下流側の区域を切り下げる。タマリを造成する。



⑤猪名川における河原再生の取り組み状況（近畿地方整備局 猪名川河川事務所）

1. イメージ図

1) 猪名川におけるレキ河原の消失

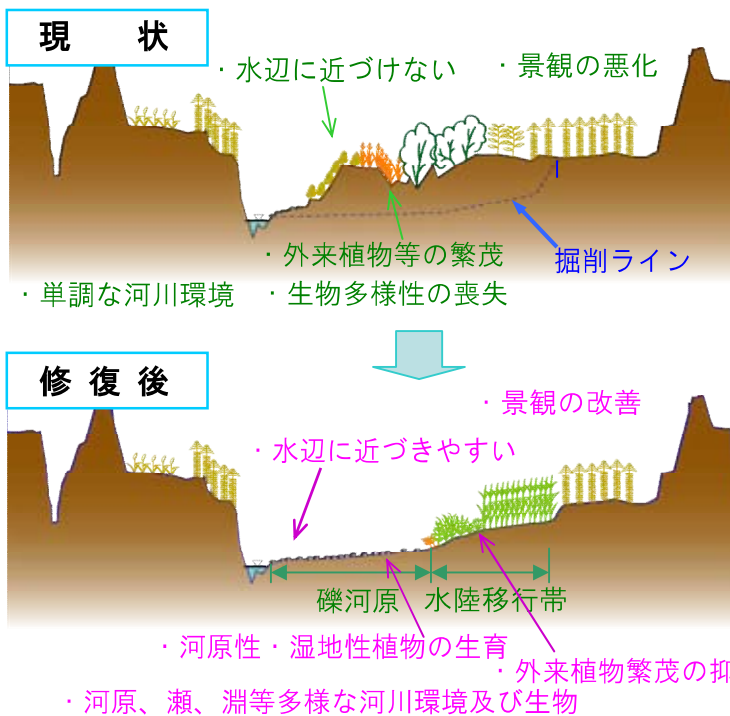


2) 猪名川における外来植物の繁茂

猪名川で特に問題となっている特定外来植物アレチウリ



3) 猪名川における横断形状修復による河原の再生



## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所

### 2) 事業概要

猪名川ではこれまでの河川改修等により、河原や湿地環境の多くが消失し、水辺の景観や親水性が大きく損なわれてしまった。また本来陸域に生息する植物や外来植物が低水路を含む河道内全域で繁茂し、昔から猪名川で生息・生育していた生物の中には絶滅や激減するものが現れるなど、猪名川の自然環境は極めて悪化してきている。

このため本事業は、掘削により横断形状を修復し、冠水頻度（面積）を増大させることで河原や湿地環境を再生し、それによって生物多様性及び猪名川本来の自然環境を取り戻すものである。

また、外来植物の繁茂を抑制するため、NPO等住民との共同作業により、抜き取り作業等を（将来的には流域規模で）継続的に行っていく。

## 3. 課題

掘削するだけでは、一時的に外来植物を含む全ての植物が一掃されるが、再び繁殖力の強い外来植物が優先し繁茂してしまう可能性が高い。

このため、掘削後直ちに在来植物の播種又は、在来植物の根茎を含む土砂を覆土するなどの手当が必要であり、また、掘削工事後、河原や在来植物の生育が安定するまで外来植物の抜き取り等を行う必要がある。

これらについて、安定的かつ継続的に実施する手法や体制づくりが重要と考える。

## 4. 事業スケジュール

### ● 横断形状の修復（河原再生掘削工事）

H17年度 ～ H30年度

### ● NPO等住民協働による外来植物対策

H21年度 ～ H30年度以降

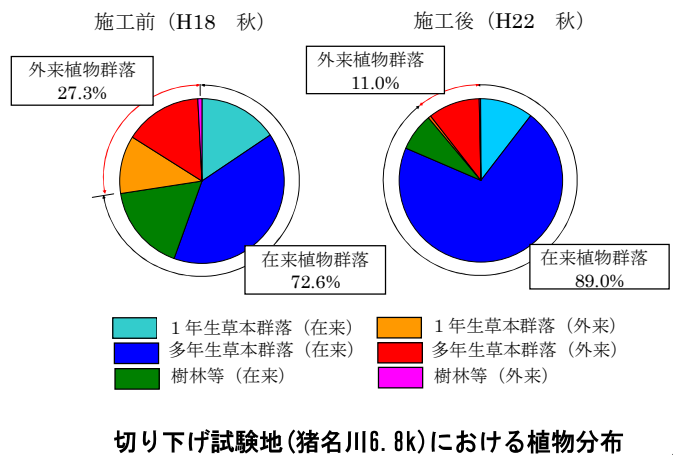
- ・ アレチウリ等の抜き取り作業
- ・ 啓蒙活動、勉強会
- ・ 外来植物の監視、モニタリング

## 5. 平成24年度の取り組み状況

### ○ 河原再生掘削工事の実施



## 6. 取り組みによる効果



## 7. 平成25年度の取り組み予定

### ○ NPO等と協働による外来植物対策

自然再生の一環として平成21年度より、市民参加による外来植物対策を進めてきており、更なる活動拡大のために、活動指針となる「猪名川の外來植物対策マニュアル」を平成22年度に作成した。今後、正しい知識を身につけたリーダーの育成など、地域住民の自主的な活動を促進する。

### ○ モニタリングの継続

事業実施にあたっては、モニタリングを実施し、既存の知識を集約して生物の生息・生育の影響について仮説と検証を繰り返し、知見の蓄積と実践へのフィードバックを行う。

## 2. 生きものが会えるネットワークづくりの取り組み

### ○ 生きものが会えるネットワークづくり取り組み事例マップ

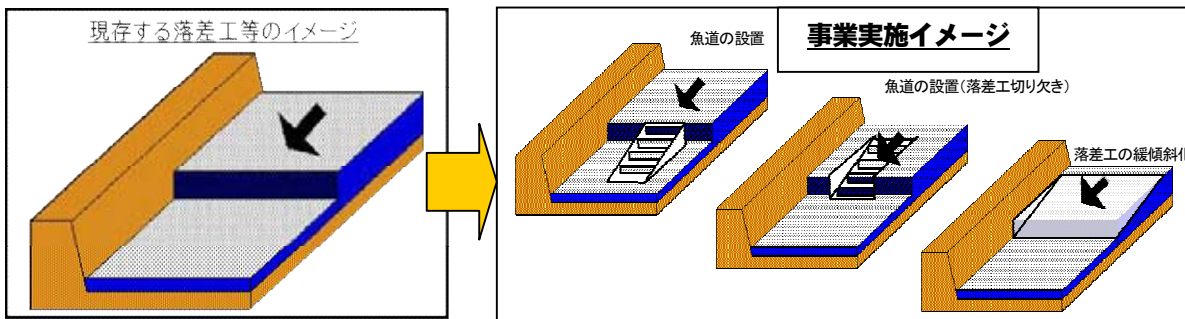


①生きものが出会うネットワークづくりの取り組み（近畿地方整備局 淀川河川事務所）

1. イメージ図

生きものが出会うネットワークづくり

支川合流部では連続性が分断されている箇所が多い。  
(宇治川支川東高瀬川の例)



淀川支川天野川合流部落差工の改良例

## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

### 2) 事業概要

河口の淀川大堰を遡上するアユは100万尾を超えており、大阪湾からの魚類の遡上できるような河川環境の復活に対して流域の期待が大きくなっている。しかし、桂川井堰群をはじめ支川処理・河床安定のために設けられた落差工などの河川横断工作物により、魚類の遡上・降下環境は十分ではない。

大阪湾から本川、さらに支川において魚類が遡上・降下できる環境を確保するために、こうした河川横断構造物等を改善する「魚がのぼりやすい川づくり」の推進を図る。

## 3. 課題

桂川井堰群、淀川流入支川にある落差工等河川横断施設により、生物の生活史に影響する分断が生じている。

魚類でいえば、これら構造物による連続性の分断が、遡上・降下の阻害要因となっている。

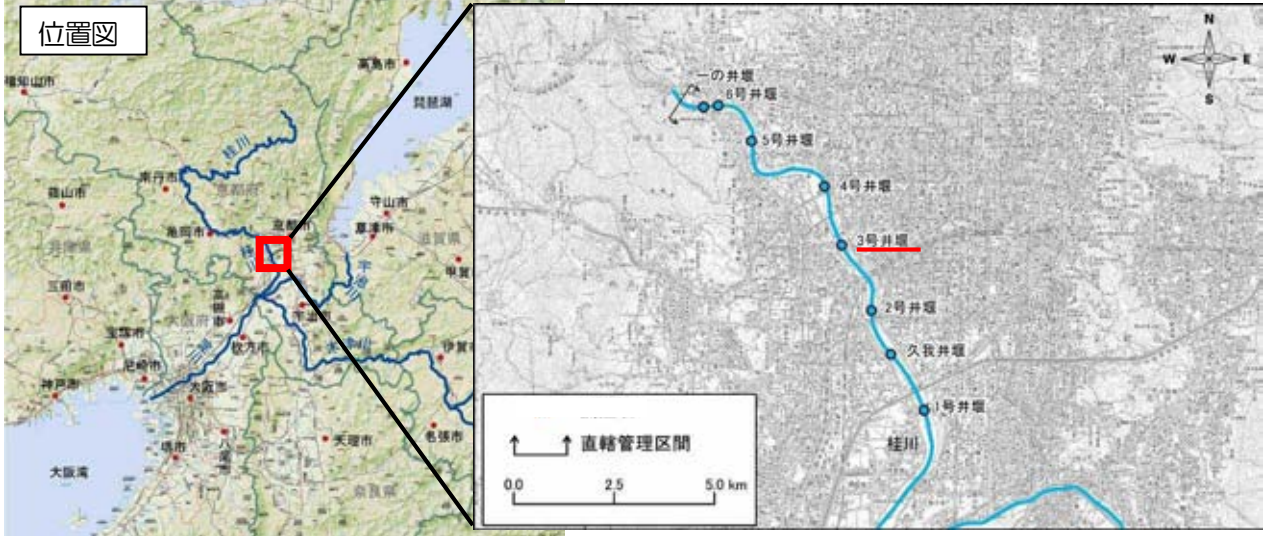
## 4. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・淀川大堰におけるアユ等魚類遡上調査			.....
・桂川、芥川井堰改良、遡上調査	桂川1号井堰改良	桂川3号井堰改良	_____
	芥川、桂川改良後遡上調査		-----

## 5. 平成24年度の取り組み状況

平成24年度は桂川3号井堰の改良を実施。

位置図



桂川3号井堰  
改良前



## 6. 取り組みによる効果

芥川1号井堰にH22年度に設置した魚道の事後調査結果の概要を以下に示す。

H23年

- ・ 遡上が確認されたのはアユ、オイカワ、ドンコ、カワヨシノボリ等の魚類11種、スジエビのエビ類1種であり、遡上力の比較的高くないと考えられるギンブナ、カマツカ、モツゴ等の遡上も確認された。
- ・ アユの遡上は、夜間を含む1日間（6/14 9:00～6/15 8:10）で計33個体であった。

H24年

- ・ ボランティアによる遡上観察において、約4000個体の遡上が確認されている。

桂川1号井堰のH23年度改良後における事後調査結果の概要を以下に示す。

- ・ 平成24年6月10日における1号井堰左岸側魚道の改良後の捕獲調査では、160個体を超えるアユの遡上が確認された。

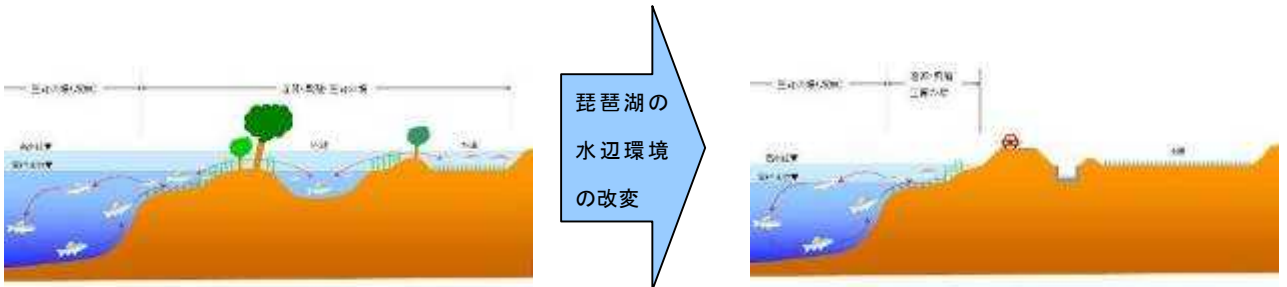
## 7. 平成25年度の取り組み予定

- ・ 淀川大堰魚道の魚類遡上モニタリング調査
- ・ 芥川魚道設置後及び桂川1号、3号井堰魚道改良後のモニタリング調査

## ②魚のゆりかご水田プロジェクト（滋賀県）

### 1. イメージ図

#### 1. 琵琶湖辺の田園環境の変化



- ・琵琶湖水位の変動による浸水被害
- ・湿田のため田舟などの使用を余儀なくされ、農家は大変な苦勞

- ・農業生産性の向上
- ・魚類産卵繁殖・生育機能喪失

外来魚被害も加わり琵琶湖の在来魚が激減

#### 2. 魚のゆりかご水田プロジェクト



#### 魚道設置による田んぼと水田の落差解消



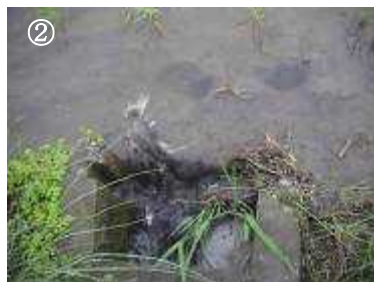
ほ場整備によってできた水田と排水路の落差



魚道設置による水田と排水路の落差解消



① 魚道遡上



② 排水路から水田進入



③ 産卵行動



④ 産着卵



⑤ 田んぼで成長した稚魚



⑥ 田んぼから水路へ稚魚が流下

## 2. 概要

### 1. 事業主体 滋賀県

### 2. 事業概要

目的:プロジェクトの目的

琵琶湖と水田との間を魚が行き来し、産卵繁殖していたかつての水田機能を回復させ、人や生きものが安心して暮らせる田んぼの環境を取り戻し、生きものと人々でにぎわう農村づくりを目指す。



(経緯)

H13～H15 下記実証調査を実施

- ・水田の魚類産卵繁殖機能確認
- ・ゆりかご水田営農手法の確立
- ・「水田魚道排水柵」の開発

H16～H17 『排水路堰上げ式水田魚道』の開発



遡上期の排水路堰上げ式水田魚道(田植え～中干し)



非遡上期(中干し以降)の全景

H18 魚のゆりかご水田環境直接支払いパイロット事業

魚のゆりかご水田の効果的・安定的な取り組みのため、魚道設置により琵琶湖からの魚類遡上が可能となった水田で、従来の営農活動に加え、魚類の水田への遡上・産卵、稚魚の成育に必要な水管理や魚道の維持管理等に取り組む団体に、水田面積に応じ35,000円/haの環境直接支払を実施。

**H19 『世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策』(国制度:農地・水・環境保全向上対策)**

地域で取り組まれる魚道施設の整備や維持管理、各種イベントなど魚のゆりかご水田プロジェクトの活動を支援し、より多くの地域で取り組まれるよう推進。

**H23 琵琶湖流域生態系の保全・再生**

湖辺域における地域ぐるみで生態系保全の活動が行われる魚のゆりかご水田を核として、生物多様性を維持・回復させる取組を普及拡大させていく。

**魚のゆりかご水田米**

取り組まれる農家の支援策として、田んぼへ上った魚たちが産卵し、ふ化した稚魚がそこで成長し、琵琶湖へ巣立っていく、こうした魚にやさしい田んぼでつくられた、安全で安心なお米を『魚のゆりかご水田米』としてブランド化を図るため、名称及びロゴマークを商標登録。

**『魚のゆりかご水田米』**

名 称:平成 18 年 7 月商標登録

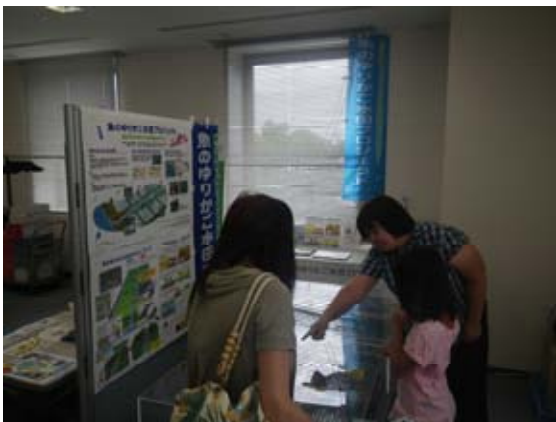
ロゴマーク:平成 21 年 2 月商標登録



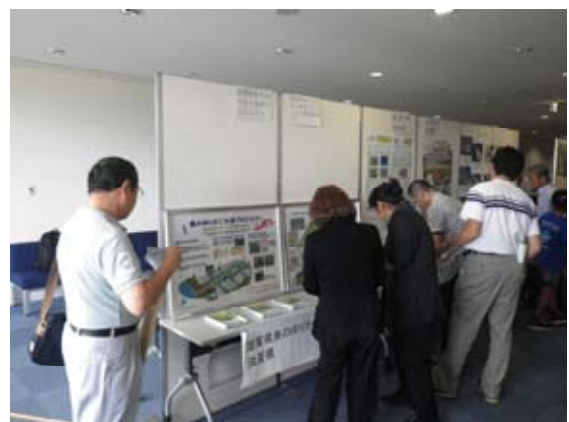
**3. 平成 24 年度の取り組み状況**

- ① H24. 08. 07 しが☆まなび発見 2012 (魚のゆりかご水田プロジェクトの取組を紹介)
- ② H24. 09. 16 マザーレイクフォーラムびわこミ会議 (魚のゆりかご水田プロジェクトの取組を紹介)
- ③ H24. 10. 20~21「あさ、ひる、ばん博物館を楽しもう」(取組農家と共に、魚のゆりかご水田取組を紹介)
- ④ H24. 10. 24~26 びわこ環境ビジネスメッセ 2012 (滋賀県ブースで魚のゆりかご水田プロジェクトの取組を紹介)
- ⑤ H24. 12. 13~15 (予定) エコプロダクツ 2012 (滋賀県ブースで魚のゆりかご水田プロジェクトの取組を紹介)

① H24. 08. 07 しが☆まなび発見 2012  
展示ブース



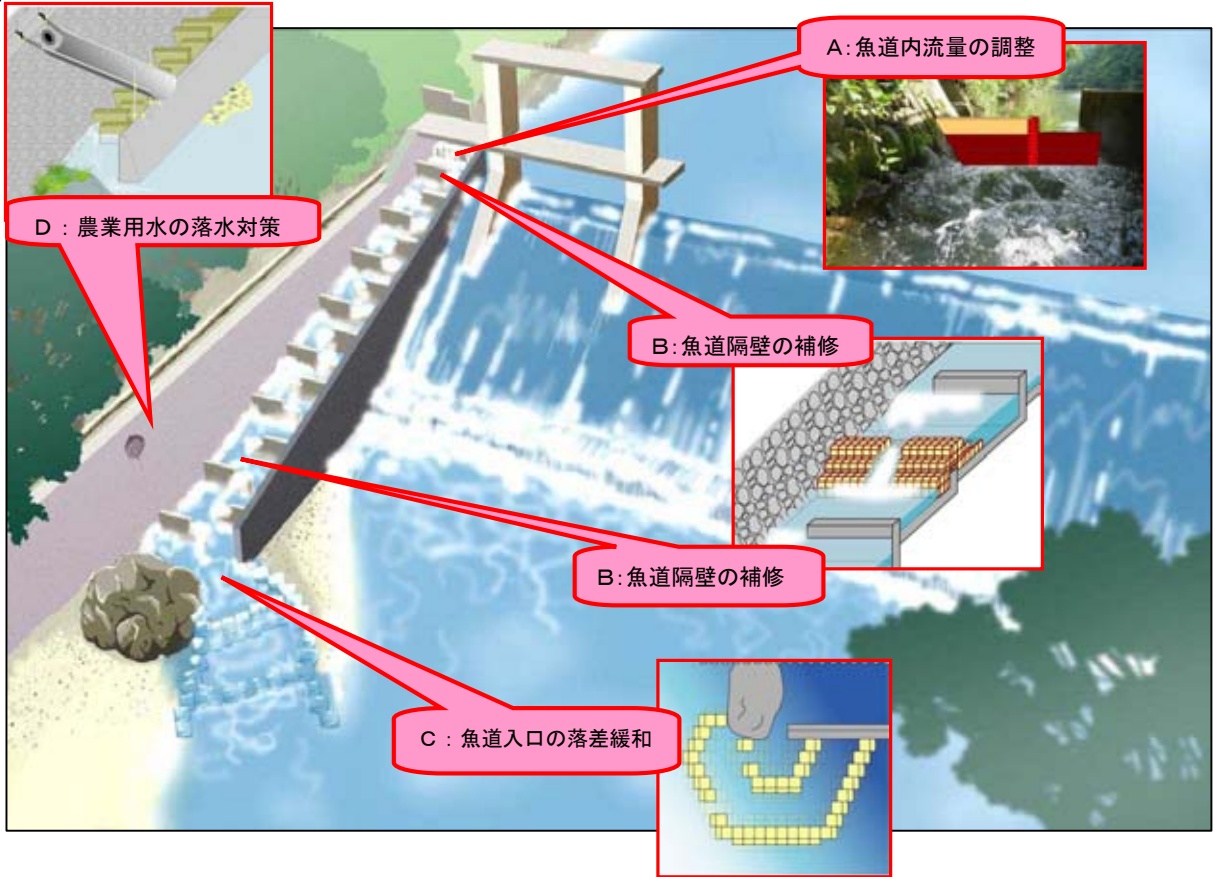
② H24. 09. 16 マザーレイクフォーラムびわこミ会議  
展示ブース



・ H24 魚のゆりかご水田など豊かな生きものを育む水田取組面積 177ha (予定)

③「水辺の小技によるナルミ井堰の簡易改良」の取り組み（近畿地方整備局 木津川上流河川事務所）

1. イメージ図



## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所

### 2) 事業概要

木津川上流域の堰の一つであるナルミ井堰では、魚道が設置されているものの老朽化等により、落差が大きくなったり、流況が悪化して、魚類の遡上が難しい状態となっていた。そこで、魚類環境の保全・復元をテーマに、流域の方々と行政が一体となって考え、協働しながら実施する取り組みとして魚道の簡易改良を行った。魚道の全面的な改良には、多額の費用や堰管理者との調整が必要であり、早期の実現が困難であるため、現状の部分的な改良によって魚道機能の向上を図る簡易改良を試行した。

## 3. 課題

- ・簡易改良実現に向けた関係者（堰管理者の宇陀市、堰利用者の水利組合、漁業協同組合、自治会）と調整し合意・協力を得る。なお、参加者も確保する。
- ・台風等水位上昇の影響にも耐えうる構造であること。
- ・耐久力の確認、生物遡上状況の確認など、モニタリングが重要。

## 4. 事業スケジュール

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
・1回目簡易改良実施	—		
・2回目簡易改良実施			—
・モニタリング	.....		

## 5. 平成24年度の取り組み状況

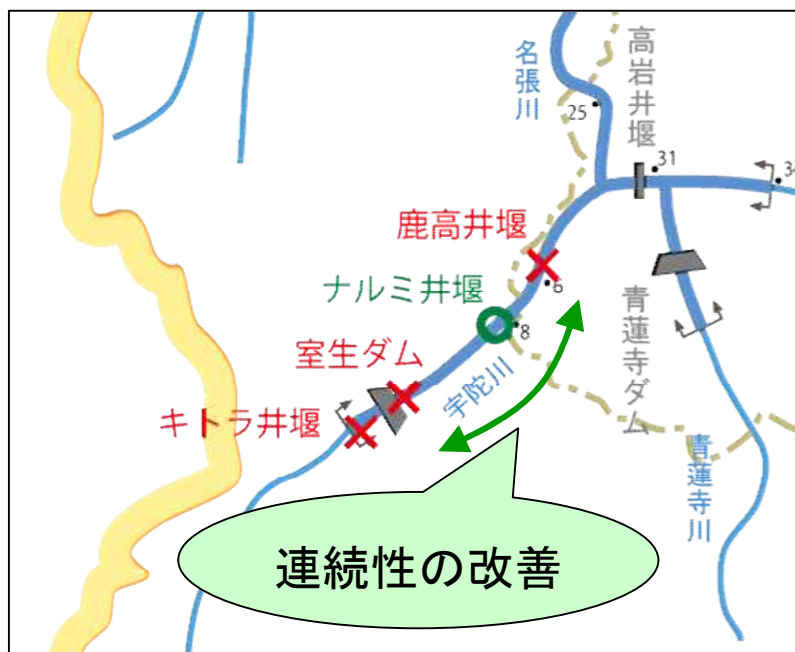
### 【今回の魚道改良の成果】

- ・地域との連携により、安い施工費、少ない日数で、宇陀川の限られた区間における河川縦断連続性が再生できた！
- ・地域のみなさんの「川への関心」がさらに高まった！



簡易改良前

簡易改良後



## 6. 取り組みによる効果

### 魚道簡易改良の成果として、魚類等の遡上が確認できた！

魚類4種(オイカワ、カワムツ、ギギ、カワヨシノボリ)、甲殻類2種(テナガエビ、スジエビ)の遡上を確認、遡上実験によりアユの遡上が可能であることも確認できた。

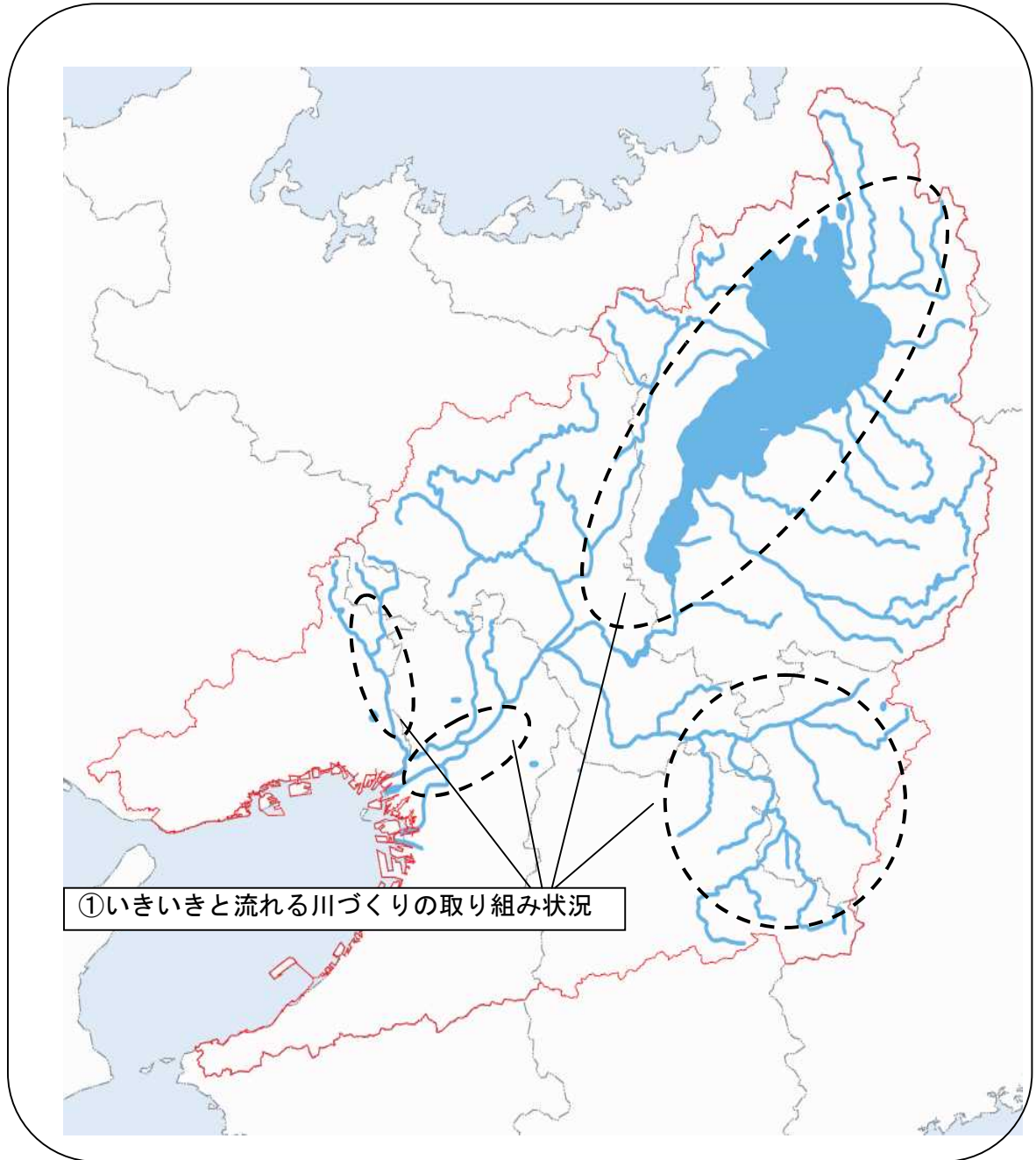
改良以前は、遡上魚類等は確認されていなかったこと、遊泳魚だけでなくギギ、カワヨシノボリといった底生魚類の遡上も確認されたことから、対策は効果があったといえる。

### 想定規模の出水においても、構造物はほぼ維持された！

- ◎9月18日 出水(推定流量:約49m<sup>3</sup>/s)では構造物は完全に維持された。
- ◎計画時の想定流量(平均年最大:約176m<sup>3</sup>/s)を超えた、9月30日 出水(推定流量:約232m<sup>3</sup>/s)では、といが流失したものの、その他の設置物は維持されたことを確認した。

### 3. いきいきと流れる川づくり

#### ○ いきいきと流れる川づくり取り組み事例マップ



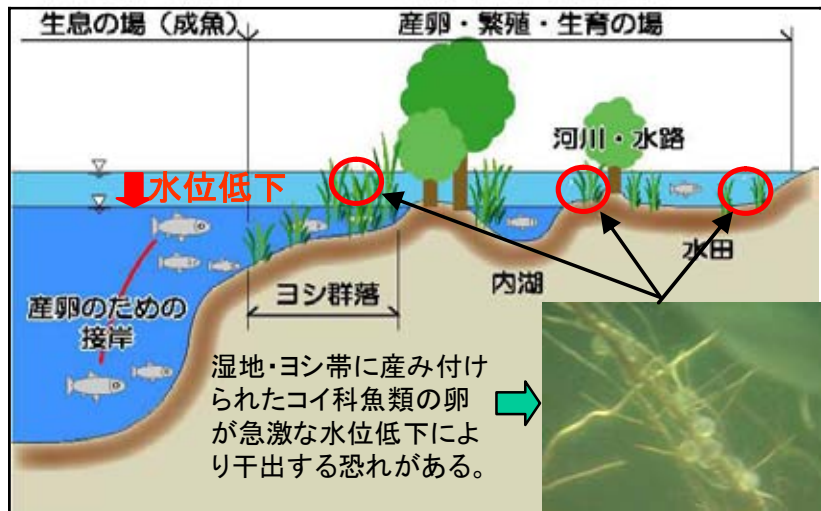
①いきいきと流れる川づくりの取り組み状況（近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、淀川河川事務所、独立行政法人 水資源機構）

1. イメージ図

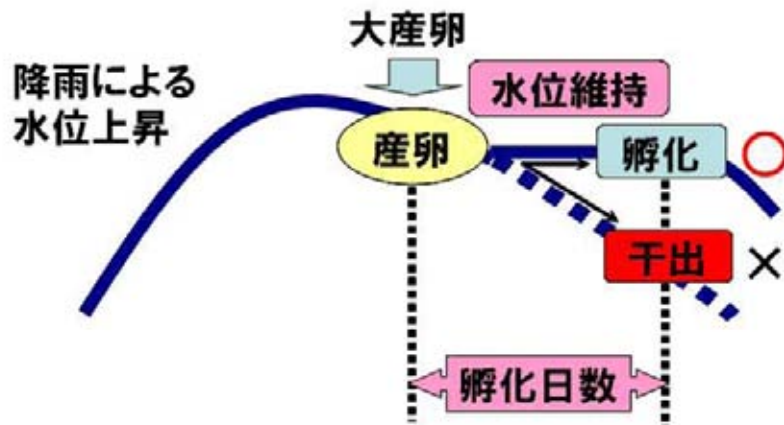
■環境に配慮した瀬田川洗堰の試行操作



瀬田川洗堰(滋賀県大津市)



琵琶湖湖岸域の状況



水位維持模式図

10万個以上のコイ・フナ類及び1万個以上のホンモロコの産着卵(大産卵)が確認されれば、孵化日数の5日間もしくは7日間を水位維持し、魚卵の干出を防ぐ。

■淀川大堰の水位操作による城北ワンドの生物生息環境の改善検討



■ダムからのフラッシュ放流による河川環境の復元



<ダム運用による攪乱の増大 >



:平成 24 年度に「フラッシュ放流」を実施したダム

## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所、淀川河川事務所  
独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所、一庫ダム管理所

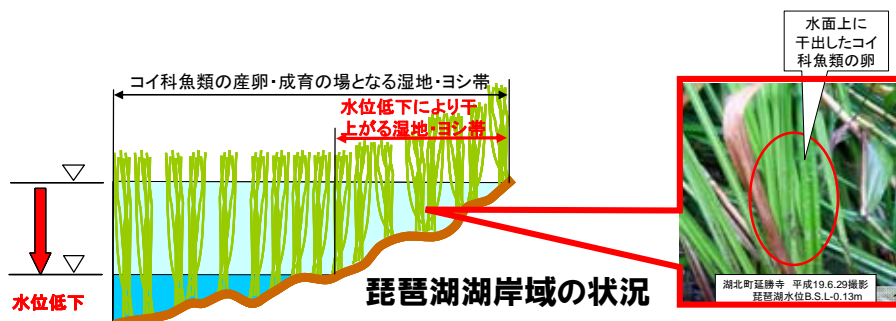
### 2) 事業概要

これまでのダム・堰の運用は、人間の視点に立ち治水、利水を主目的として、河川流況の平滑化が図られ、攪乱の減少や季節的水位変動パターンの変化により、生物の生息・生育に影響を及ぼしてきた。このため流域住民の安全・安心の確保を最優先にしつつ、生物の視点に立ち、可能な限り自然な河川流況に近い流量が流れるように、治水、利水への影響を考慮した上で、ダム・堰の運用により水位変動や攪乱の増大を図り、流域河川内の土砂移動の連続性を確保し、自然な河原の復元等、川本来のダイナミズムを再生する。

また、琵琶湖周辺で産卵・生育する魚類を保護するために、琵琶湖周辺域及び下流の治水リスクを増大させない範囲で洪水期前について降雨による水位上昇後、湖岸のヨシ帯が冠水する時間を増加させるなど、自然の水位変動をふまえた試行操作を実施し、治水・利水・環境の調和のとれた弾力的な操作方法の確立を目指す。

## 3. 課題

降雨後の急激な水位低下や制限水位に向け約1ヶ月間で約50cmの水位低下により湿地・ヨシ帯が短期間に干上がり、魚卵が干出する。



過年度の調査結果から、移行期の5月31日以降、大規模な産卵が確認されていない。

■淀川（淀川大堰）

淀川大堰の湛水域では、平常時水位を高め維持していることが、ワンドや水辺の浅瀬の面積を減少させ、またワンドと本流との水の交換の減少を招き、ワンド内の水質悪化や底質悪化の原因の一つになっている。

■ 名張川、猪名川（青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム、一庫ダム）

ダムの下流域では、河川の流れが平滑化して川本来の水位変動や攪乱が減少し、上流からの土砂の供給がダムにより遮断されるため、結果として、河床の石に付着した藻類等の剥離更新頻度、河床の攪乱頻度が減少し、ダム下流の河川環境に変化が生じていると考えられる。

4. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・生態系に配慮した瀬田川洗堰の試行操作 (H15年～)			.....
・淀川大堰の水位操作による城北ワンドの生物生息環境の改善 (H12年～)			.....
・ダムからのフラッシュ放流による河川環境の復元 (H14年～高山ダム、H15～一庫ダム、H16～比奈知ダム、H19～室生ダム、H20～青蓮寺ダム、日吉ダム)			.....

## 5. 平成24年度の取り組み状況

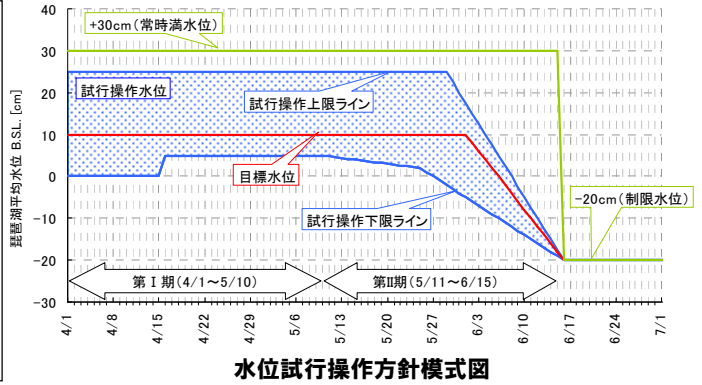
### ■平成24年度 環境に配慮した瀬田川洗堰の試行操作

#### 試行操作水位の設定

【試行操作上限ラインの設定】  
治水リスクの観点から試行操作上限ラインを設定。

【試行操作下限ラインの設定】  
濁水リスクの観点から試行操作下限ラインを設定。

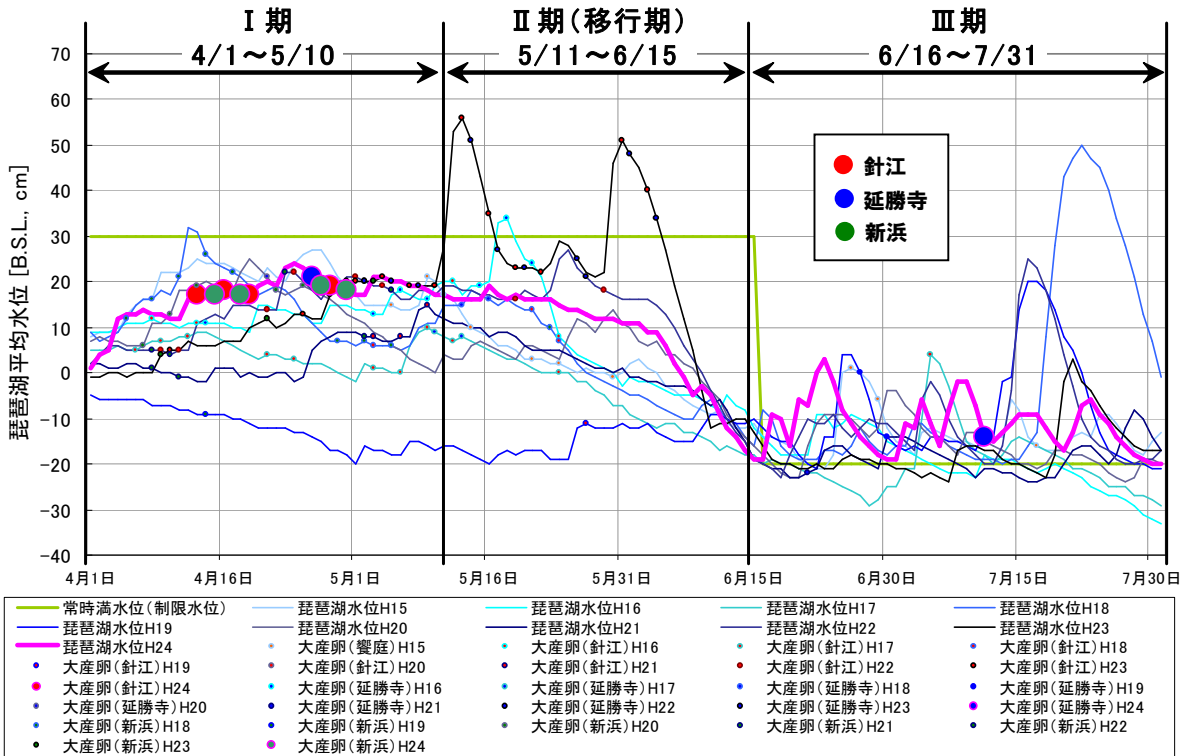
【目標水位の設定】  
目標水位(大産卵がない場合など、次回の産卵に備えるため目指す下水位)をBSL+10cmで設定。  
BSL+10cm以上の水位を極力目指す。  
4/1~6/1 : BSL+10cm



#### 操作方法

- ① 草津市新浜、高島市針江、湖北町延勝寺のいずれかの地点で日々、現地調査を実施。10万個以上のコイ・フナ類の産着卵が確認された日を「大産卵日」とし、4/1~6/15において翌日から極力5日間の水位維持を実施。
- ② 高島市針江、湖北町延勝寺、湖北町海老江、大津市小野、伊庭内湖での現地調査により1万個以上のホンモロコの産着卵が確認された日を「大産卵日」とし、4/1~6/15において翌日から極力7日間の水位維持を実施。
- ③ 大産卵がない場合、次回の産卵に備えるため、速やかに目標水位を目指し水位低下。

### コイ・フナ類大産卵状況図[平成15年~平成24年]



■淀川大堰

自然出水を踏まえた大堰操作の検討

平成24年度は、水位低減措置は実施していない。

■高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム、一庫ダム

フラッシュ放流に合わせて、下流河川の流れや川の中の生物について調査し、今後のダム下流の河川環境に配慮したダム操作を行うための基礎資料を収集した。また、名張川にある青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムは平成22年から最大放流量が、名張川の下名張地点で重なるように室生ダム、比奈知ダム、青蓮寺ダムの順番で放流する操作（以下、「重ね合わせ操作」という。）を実施している。

○実施概要

- 【比奈知ダム】 実施日：平成24年5月9日（水）  
平成24年5月16日（水）  
土砂還元（置き土）量：併せて100 m<sup>3</sup>  
最大放流量<sup>\*</sup>：30 m<sup>3</sup>/s（最大放流量を2時間継続）
- 【青蓮寺ダム】 実施日：平成24年5月16日（水）  
土砂還元（置き土）量：30 m<sup>3</sup>  
最大放流量<sup>\*</sup>：30 m<sup>3</sup>/s（最大放流量を2時間継続）
- 【室生ダム】 実施日：平成24年5月16日（水）  
土砂還元（置き土）量：200 m<sup>3</sup>  
最大放流量<sup>\*</sup>：13 m<sup>3</sup>/s（最大放流量を2時間継続）
- 【一庫ダム】 実施日：平成24年5月18日（金）  
平成24年6月12日（火）  
土砂還元（置き土）量：実施日毎に300 m<sup>3</sup>  
最大放流量<sup>\*</sup>：12.5 m<sup>3</sup>/s  
（最大放流量は5時間継続）
- 【高山ダム】 実施日：平成24年5月31日（木）  
平成24年6月7日（木）  
最大放流量<sup>\*</sup>：40 m<sup>3</sup>/s（最大放流量を2時間継続）

フラッシュ放流による河川環境の変化を把握するため実施した主な調査は下表のとおり。

調査項目	調査内容
魚類調査	魚種、個体数等の変化
底生動物調査	生息環境の変化に伴う生物相（種類や個体数）
付着藻類調査	藻類剥離の物性値の変化
還元土砂追跡調査	河床の土砂状況等の変化
水質調査	フラッシュ放流前後の懸濁物質等の変化

○実施状況写真



フラッシュ放流前



フラッシュ放流中



フラッシュ放流後

名張川 大屋戸地点（青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムの下流）

## 6. 取り組みによる効果

### ■瀬田川洗堰の試行操作の効果

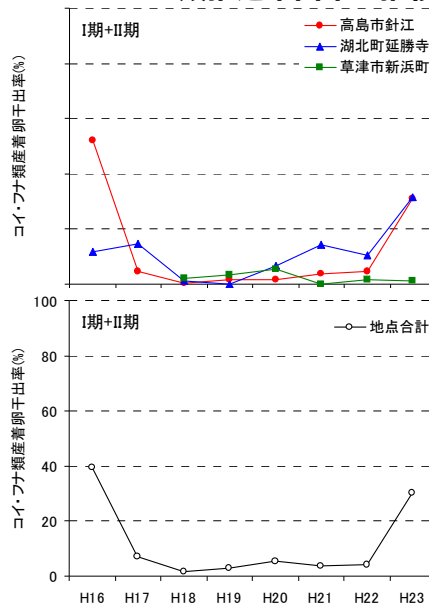
#### コイ・フナ類推定干出率一覧

試行操作期間(Ⅰ+Ⅱ期)<4/1~6/15>

年	北湖		南湖	3地点合計
	高島市針江	湖北町延勝寺	草津市新浜町	
	干出率(%)	干出率(%)	干出率(%)	干出率(%)
H16	52.0 (52.3)	11.7 (11.8)	-	39.6※ (39.9※)
H17	4.6 (4.4)	14.7 (14.8)	-	7.0 (6.9)
H18	0.5 (0.0)	1.5 (0.1)	1.9 (2.0)	1.7 (1.5)
H19	1.8 (1.7)	- (-)	3.4 (4.0)	2.8 (3.1)
H20	1.7 (-)	6.6 (6.7)	5.4 (5.5)	5.3 (5.5)
H21	3.9 (3.8)	14.2 (-)	0.0 (0.0)	3.7 (2.8)
H22	4.8 (5.1)	10.6 (10.8)	1.8 (1.8)	4.1 (4.2)
<b>H23</b>	<b>31.3</b> <b>(31.5)</b>	<b>31.7</b> <b>(32.5)</b>	<b>1.2</b> <b>(0.6)</b>	<b>30.3</b> <b>(30.8)</b>

注)※は高島市針江、湖北町延勝寺の2地点合計の干出率を示す  
( )は大産卵(10万個以上)時のみの結果を示す

#### コイ・フナ類推定干出率の推移



~H17:2地点(高島市針江、湖北町延勝寺)の平均値  
H18~:3地点(高島市針江、湖北町延勝寺、草津市新浜町)の平均値

平成23年の3地点合計の干出率は、30.3%であった。

■フラッシュ放流による効果

- ・フラッシュ放流により河床に堆積した泥や古くなった藻類を剥離することができた。
- ・また、平成21年まで実施してきた操作と比較して、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムが連携して実施する重ね合わせ操作による付着藻類等の剥離・更新効果が大きいことが確認された。(写真)



フラッシュ放流前      フラッシュ放流後

青蓮寺ダム置土下流のフラッシュ放流前後の藻類剥離状況 (写真)

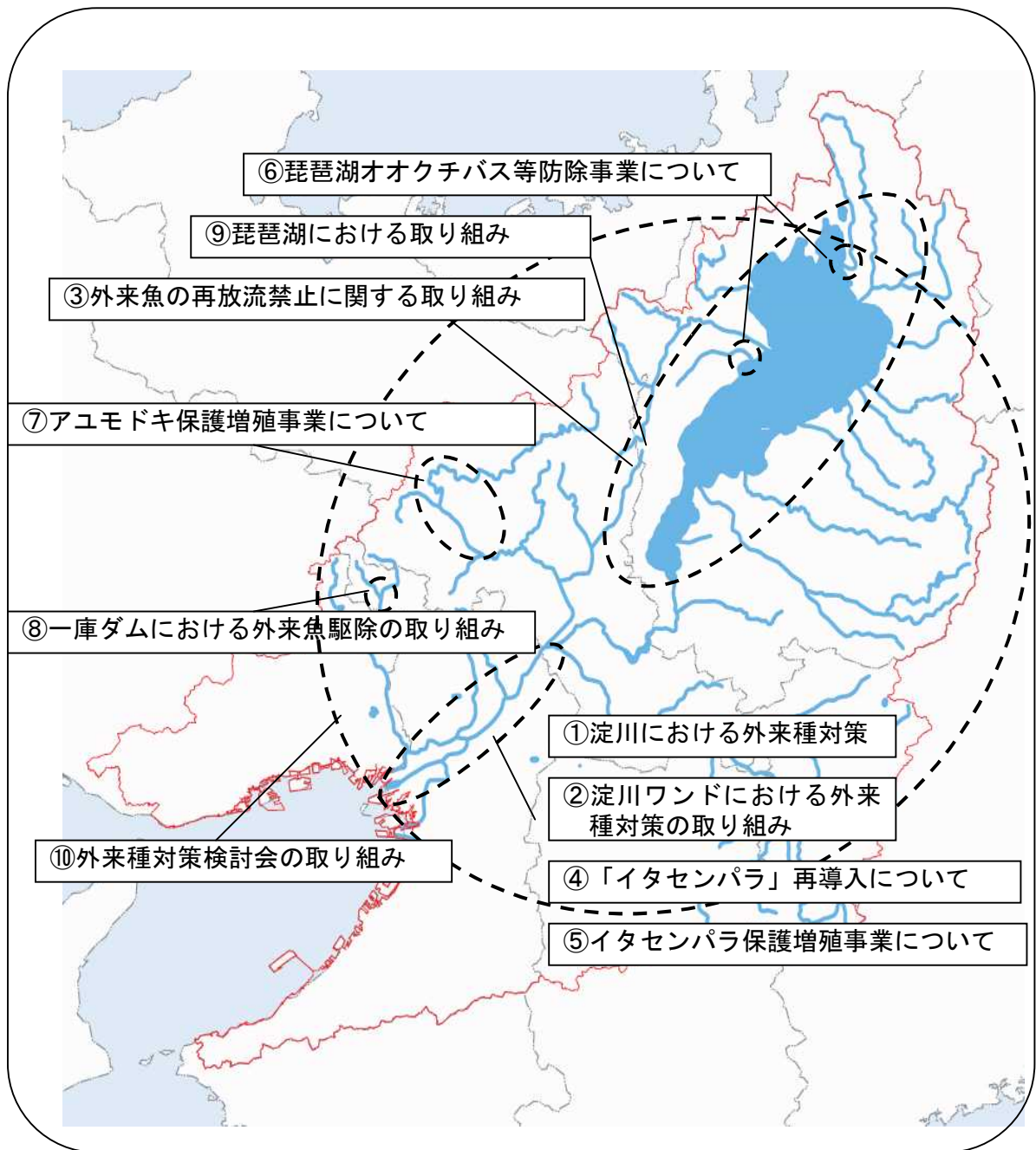
- ・土砂供給により、礫分が主であった河床に砂分を供給された。
- ・一庫ダムでは、魚類（オイカワ）の個体数の増加を確認している。(下表)

一庫ダムのダム下流における魚類個体数の経年変化表

年月	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
ウナギ	2	2	8	8	4	3	2	1	9	2	2
コイ	1	1	2		1						1
コイ科稚魚							51				
ギンブナ	8	11	9	3	16						
ゲンゴロウブナ					2						
フナ属					3						
オイカワ	22	28	29	40	2	94	132	445	228	418	648
カワムツ	4	1	2							4	
ムギツク	5	2	6								
カマツカ	3	2	3	1				2	1		1
ニゴイ			3								
スゴモロコ		2	1		2						
ドジョウ			1								
シマドジョウ	3		1	1	2	1	2	1	12		
スジシマドジョウ	8	2	1	6							
ギギ	2	1	10	7	4	1	4			1	
ナマス	1		4	1	2	1				1	1
アユ	1	6	6	30	25	37	19	29	49	34	1
ニジマス	2	6		1					5		
ブルーギル	1	1	1							1	
オオクチバス				1							
ドンコ					1						
ウキゴリ					1				1	2	3
シマヨシノボリ								5	5		
トウヨシノボリ							33	83	57	35	33
オオヨシノボリ			1							2	
カワヨシノボリ	22	20	43	37	43	115	127	52	64	35	36
総個体数	84	85	129	133	114	252	370	618	431	535	726

#### 4. 琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全

##### ○ 取り組み事例マップ



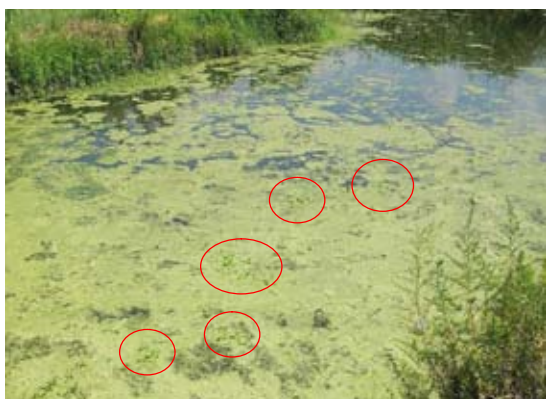
① 淀川における外来種対策（近畿地方整備局 淀川河川事務所）

1. イメージ図等

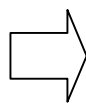
●淀川の健全な水環境の回復を図るため、外来種対策等の環境改善対策を実施



水面を覆うボタンウキクサ（H19 まで）



城北ワンドの水路部でウキクサ中に散在しているボタンウキクサの株



手作業によるボタンウキクサの回収



除去作業の状況  
人力・手作業による回収

## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

### 2) 事業概要

豊かな淡水魚類相を有する淀川の生態系にとって、数多くのワンド等によって形成される水辺の多様なハビタット（生物の生育・生息場）は無くてはならない存在である。しかし、最近の淀川では外来水草の本川河岸やワンドでの過剰繁茂や、肉食性外来魚による食害によって、特にワンドにおける在来種への影響などが指摘されている。

また、繁茂した水草が本川を大量に流下し集積することにより、舟運や取水施設への障害、景観の悪化、水辺でのレクリエーションへの悪影響も生じている。淀川下流において効果的な外来水草の除去方法や外来魚の駆除方法について検討しながら外来種対策を実施している。

## 3. 課題

ボタンウキクサ等の外来水草の繁茂により水中の光量、溶存酸素量の不足、枯死したボタンウキクサの河床への堆積・ヘドロ化にともなう水生生物の生息環境の悪化をもたらした。

また、水生生物への悪影響だけでなく河岸への大集積による取水施設への影響。景観の悪化、河川利用の妨げなど様々な悪影響を引き起こす要因とった。

オオクチバス、ブルーギル等は、ワンドにも侵入し、優占化する傾向も見受けられ、タナゴ類等をはじめとする在来魚の生息環境の悪化をもたらしている。

#### 4. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・外来水草の除去	————	————	……………
・外来魚の駆除	————	————	……………
			……………

#### 5. 平成24年度の取り組み状況

##### ・外来水草の監視・除去

ボタンウキクサ等の外来の水草（浮葉性）に対しては、発生の初期段階から回収作業を開始し、繁茂抑制に繋げることが効率的な対策となります。今年度も繁茂前に回収をおこなうために、早期から継続的な監視を行っています。また、回復力の強いナガエツルノゲイトウやミズヒマワリ等の水草（抽水性）は、活性の低下する秋～冬季に回収作業を行う必要があります。

**対象エリア**：淀川本川(淀川大堰～枚方大橋の約11.2km)及び右岸・左岸ワンド。

**回収頻度**：分布状況により適宜実施

今年度は、上流域における発生源等の効果もあり、ボタンウキクサ等の繁茂はほとんどなく、確認した全てを回収、駆除しています。今後、ナガエツルノゲイトウやミズヒマワリ等の回収を実施する予定です。

##### ・外来魚の駆除

###### 城北ワンドにおける駆除対策

城北ワンド群において、高い密度で生息するブルーギルを主な駆除対象魚として、大型モンドリによる駆除を実施しています。市民団体とも連携し実施しています。

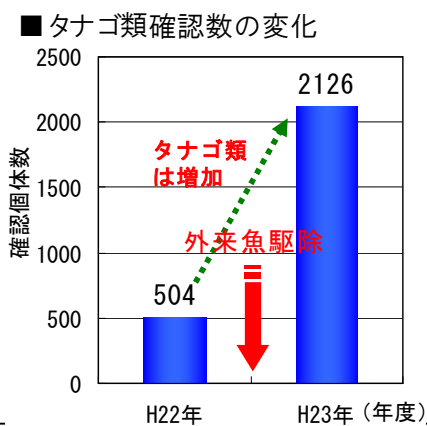
**対象ワンド**：34号ワンド～36号ワンド

大型モンドリ 最大50基/回

大型モンドリ 2回/週（6月～10月）

## 6. 取り組みによる効果

外来魚を駆除した城北ワンドにおいて、下の図のとおりタナゴ類の在来魚が増えている。



## 7. 平成25年度の取り組み予定

引き続き外来水草、外来魚の駆除を行う予定。

②淀川ワンドにおける外来種対策及びイタセンパラの野生復帰の取り組み（大阪府）

1. イメージ図

淀川における魚類の生息状況と河川環境の関係

外来水生生物の増加  
と在来魚の減少

淀川の長期間の湛水化と  
流量の平準化等河川環境の変化

外来水生生物の生態解明と生態に即した駆除方法の開発

①外来魚の生態把握

オオクチバス  
ブルーギル

- ・生殖生態
- ・稚魚の分布移動状況
- ・食性・成長特性
- ・他生物との関係

②外来魚の駆除方法の開発

- ・人工産卵床による卵の駆除
- ・オオクチバス稚魚の駆除
- ・各種漁具を組み合わせた駆除  
人工藻場トラップ、小型定置網  
モンドリ、刺網、地曳網、釣り  
等

期待される事業効果

効率的な駆除対策の事業化

- 在来魚種の増加
- 水辺生態系の回復

③外来水生植物の  
生態把握

- フィールドでの実態調査
- ・天然水域での繁茂生態
- ・生物を含む水域環境への  
影響
- 生態に関する実験
- ・種子生産  
ボタンウキクサ  
ミズヒマワリ
- ・発芽特性  
ボタンウキクサ  
ミズヒマワリ
- ・繁茂速度  
ボタンウキクサ

期待される研究成果

新たな外来水生植物の生態把握

④外来水生植物の  
駆除方法の開発

- ・遮光  
ナガエツルノゲイトウ  
ミズヒマワリ
- ・早期摘み取り  
ボタンウキクサ

期待される事業効果

効率的な駆除対策の事業化

- ボタンウキクサの撲滅
- 水辺生態系の回復

期待される研究成果

新しい駆除方法の開発

天然記念物イタセンパラを含めた在来水生生物の生息環境の回復  
淀川ワンドの生物多様性の回復

## 2. 概要

### 1) 事業主体

地方独立行政法人大阪府環境農林水産総合研究所・水生生物センター

### 2) 事業概要

- ①外来魚の生態の把握
- ②外来魚の駆除効果調査
- ③外来水生植物の生態の把握
- ④外来水生植物の駆除効果調査
- ⑤イタセンパラの保護増殖調査

## 3. 課題

外来魚駆除事業の流域への拡大と関係機関との地域連携と市民参加  
新たな外来水生生物の生態の把握  
ナガエツルノゲイトウ、ミズヒマワリ等の駆除対策  
外来水生植物駆除事業の流域への拡大と関係機関との地域連携と市民参加  
イタセンパラ野生復帰のための生息環境の整備

## 4. 事業スケジュール

平成 24 年度 新たな外来水生生物の生態と駆除効果調査等  
淀川の魚類相及び水生植物相の把握  
淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク活動継続

平成 25 年度 同上

## 5. 平成 24 年度の取り組み状況

### ① 外来魚の駆除活動

大阪市旭区の城北ワンド3ヵ所で、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークの活動を実施し、大網モンドリ、地曳網等を用いた駆除を継続して行っている。

### ② 新たな外来水生植物の生態の把握

最近生育地の拡大が観察されているコゴメイの分布実態やアマゾンチカガミの生育状況の調査を行っている。

### ③ 淀川流域の魚類相及び水生植物相の把握

淀川のワンド域全体及び本流域数地点において、地曳網による魚類調査と目視観察による水生植物調査を実施し、データを取りまとめ中である。

### ④ イタセンパラの野生復帰

淀川ワンドにイタセンパラ親魚を近畿地方整備局淀川河川事務所と共同で放流し、経過を観察中である。

### ⑤ 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークの活動継続

## 6. 取り組みによる効果

### ① 外来魚の駆除効果

城北ワンド群での外来魚駆除事業の継続による駆除効果で在来魚の稚魚が増加するなど成果が見られている。淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークの活動の今後の展開が期待される。

### ② 外来水生植物の駆除効果

早期摘み取りの効果により浮漂性水生植物はほとんど見られなくなった。ミズヒマワリやナガエツルノゲイトウは、遮光シートによって、駆除効果が見られた。また、河川レンジャーや大学との協働による駆除活動の開始など今後の展開や流域への広がりが期待される。

## 7. 平成 25 年度の取り組み予定

### ① 外来魚の駆除効果調査

大阪市旭区の城北ワンド群で、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークの活動として、大網モンドリ、トラップ、地曳網等を用いた駆除を行う。

### ② 外来水生植物の生態の把握

新たな外来水生植物の動向等について調べる。

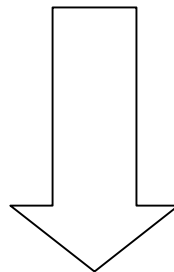
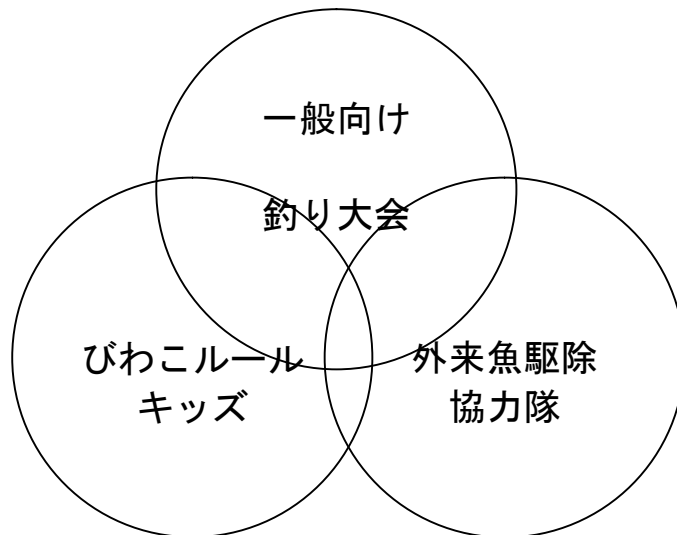
### ② 外来水生植物の駆除効果調査

淀川管内河川レンジャーや大学などと協働して、外来水生植物の一斉駆除を実施する予定である。

### ④ イタセンパラの野生復帰の状況を淀川河川事務所と共同で調査する。

③外来魚の再放流禁止に関する取り組みについて（滋賀県）

1. イメージ図



外来魚のノーリリース

- 回収ボックス、いけすへの投入
- 回収した魚の有効活用として、釣り大会参加者に魚粉を肥料にして育てたスイカ等の配布

## 2. 概要

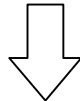
(1) 事業実施主体 滋賀県

(2) 事業概要

- ・「滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」に基づき、ブラックバスとブルーギルのリリース（再放流）を禁止
- ・湖岸に回収ボックスを71基、回収いけすを29基設置し外来魚を回収（平成24年9月末現在の設置数）
- ・びわこルールキッズ事業や外来魚釣り大会等の実施による外来魚の釣り上げとリリース禁止の普及啓発

## 3. 課題

ブラックバスやブルーギルといった外来魚により、ニゴロブナやホンモロコなど  
の在来魚が捕食され、豊かであった琵琶湖の生態系が危機的な状況に陥っている。



釣りというレジャーの側面からも外来魚を減らしていく必要性

## 4. 事業スケジュール

<短期的工程>

- びわこルールキッズ事業の実施
- 外来魚釣り大会の定期的な開催
- 外来魚駆除協力隊（団体・企業・個人）の募集と協力隊による自主的な釣り大会の開催支援（釣竿の無償貸与）

<中・長期的工程>

- 漁業者による回収とあわせ回収ボックス、いけすによる外来魚の回収を引き続き実施



回収ボックス

回収いけす

## 5. 平成 24 年度の取り組み状況

- 回収ボックス・回収いけすによる外来魚の回収  
13.2 t（平成 24 年 4 月～9 月実績）



- びわこルールキッズの募集

京都府・大阪府・兵庫県の後援を得て、琵琶湖淀川流域の小中学生を対象に夏休み期間中に外来魚のノーリリースに協力してもらえる『びわこルールキッズ』を平成 20 年度から募集。

実施期間：平成 24 年 7 月 14 日～8 月 31 日

参加者数：741 名（個人 55 名 218 家族 403 名 12 団体 283 名）



（びわこルールキッズの取り組み）

- 外来魚釣り大会の実施

夏期には外来魚の魚粉を施したスイカを参加者に配布。

実施日	実施場所	参加者数	外来魚回収量	備考
平成 24 年 6 月 17 日	県内 2 会場	329 名	122.0kg	一般向け
平成 24 年 7 月 21 日	大津市浜大津	762 名	56.5kg	キッズ
小計		1,091 名	178.5kg	
平成 25 年 1 月	彦根旧港湾			実施予定
平成 25 年 3 月	彦根旧港湾			実施予定

- 外来魚駆除協力隊による釣り大会の自主開催

<H24.9 末現在>

実施団体：25 団体

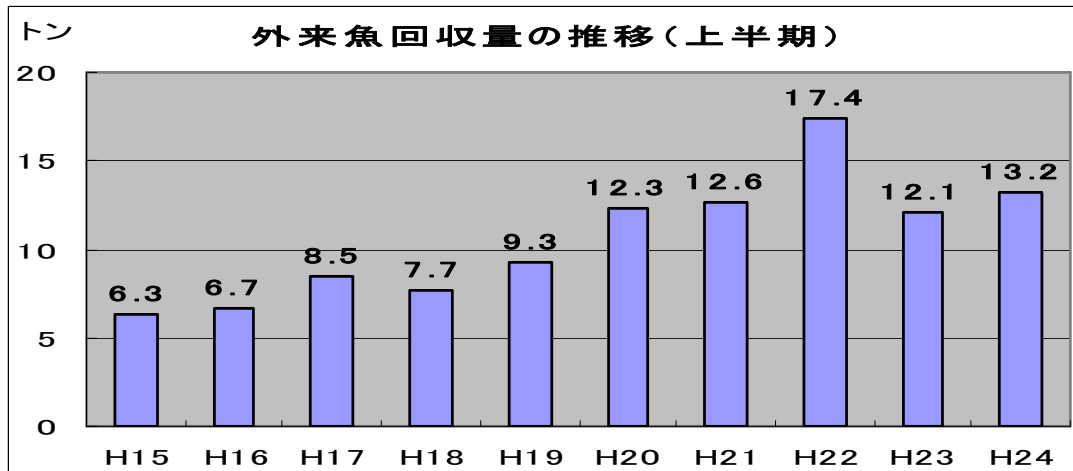
参加者数：2,199 名

駆除量：477.0kg

※県から釣り竿の無料貸し出しを行い支援



## 6. 取り組みによる効果



○回収量は年々ほぼ増加してきており、外来魚のリリース禁止の周知徹底が図られてきていると考えられる。

○9月時点で比較すると、昨年度よりは増加しており、年間で20tの回収を目指す。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

- びわこルールキッズ事業の実施
- 外来魚駆除釣り大会の定期的な開催
- 外来魚駆除協力隊（団体・企業・個人）の募集
- 協力隊による自主的な釣り大会の開催（県が支援）
- 釣り人を巻き込んだ釣り大会の開催支援
- 回収ボックスと回収いけすによる外来魚の回収

④「イタセンバラ」の再導入について（近畿地方整備局 淀川河川事務所）

1. イメージ図

●淀川のシンボルフィッシュ「イタセンバラ」の復活を目指す再導入



イタセンバラは、コイ目コイ科タナゴ亜科に属する日本固有の淡水魚で、国の天然記念物(1974年:文化財保護法)や、国内希少野生動植物種(1995年:種の保存法)、絶滅危惧ⅠA類(1995年:環境省レッドリスト)などに指定され、もっとも絶滅の危険性の高い希少野生生物のひとつに位置づけられ、淀川では生態系保全の象徴として「淀川のシンボルフィッシュ」と言われています。

淀川イタセンバラ検討会  
再導入の是非、方法等について議論

再導入の実施



調査結果の検証

仔稚魚の浮出調査



## 2. 概要

### 1) 事業主体

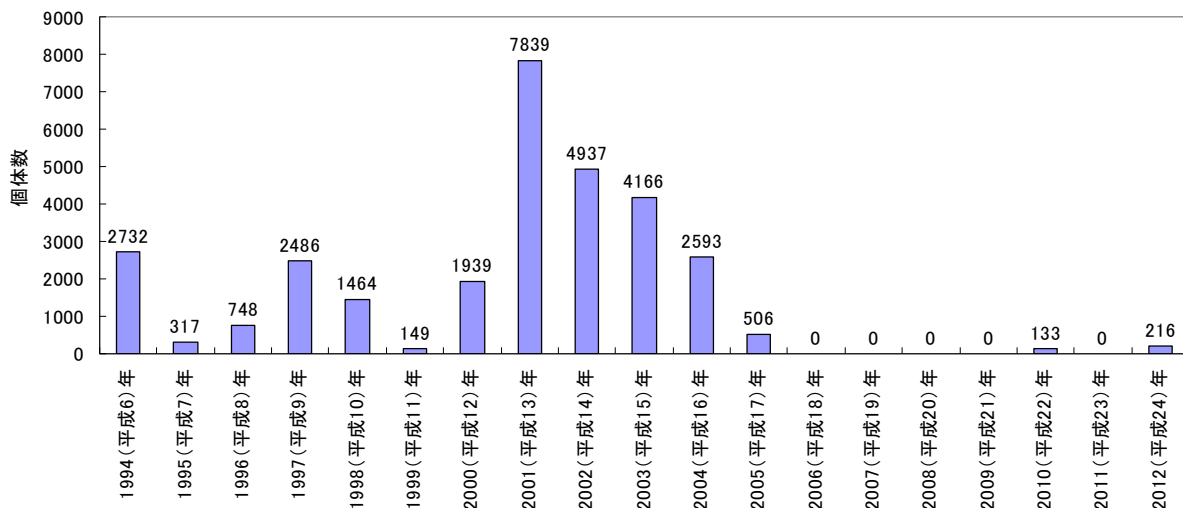
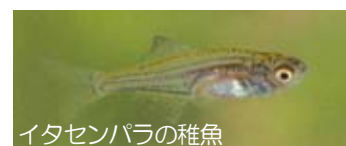
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

### 2) 事業概要

ワンドは淀川の本風景であり、豊かな生物相が育まれるところです。しかし、毎年実施されている淀川城北ワンド群でのイタセンパラの仔稚魚調査ではH18年からイタセンパラの仔稚魚が確認されていない状況です。一方で研究者や行政担当者らが中心となってシンポジウムなどの啓発活動を行い、イタセンパラの野生絶滅を防ぐ必要性について訴えてきました。それらの機会には多くの市民が集まり、淀川のシンボルフィッシュイタセンパラの復活を求める社会的な要請が高まっております。現在淀川水系のイタセンパラは自力で復活する可能性はきわめて低いこと、現存するワンド群の中にはイタセンパラが生活史を全うできる生息環境が整っていると評価できるものがあること、また遺伝的多様性が比較的維持された放流個体が十分に確保されていることなどから、イタセンパラの再導入が本種を野生復帰させるために最も効果的な手段であると判断しました。そこで再導入を試行的に実施し、その効果を調査検討するものです。

## 3. 課題

平成6年より毎年実施しているイタセンパラ稚魚調査では、平成18年から稚魚が確認されない状況でしたが、再導入の結果、平成22年度は133個体のイタセンパラの稚魚を確認しましたが、野生に定着するには十分ではなく、平成23年度は確認されませんでした。平成23年度は方法を改良しながら再び再導入を試み、平成24年春には216個体の仔稚魚を確認しました。今後も引き続き、さまざまな環境要因について分析等を進めながら、再生を目指します。



淀川におけるイタセンパラ仔稚魚の経年変化

#### 4. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・再導入の実施	—		未定
・イタセンパラ稚魚調査	—————		-----

#### 5. 平成24年度の取り組み状況

平成24年度は、平成23年度の再導入結果の調査を実施しております。  
再導入にあたっては本種の危機的な個体数減少の一因とも言われている密漁を警戒し、再導入の場所、個体数及び時期は発表せず実施しております。

##### 【淀川イタセンパラ検討会 メンバー】

(委員)

座長 小川 力也 大阪府立富田林高等学校 教諭  
 委員 綾 史郎 大阪工業大学工学部 教授  
 委員 上原 一彦 大阪府立環境農林水産総合研究所 水生生物センター 主幹研究員  
 委員 河合 典彦 大阪市立城陽中学校 教諭  
 委員 竹林 洋史 京都大学防災研究所 准教授  
 委員 竹門 康弘 京都大学防災研究所 准教授  
 委員 森川 一郎 淀川河川事務所 所長

(オブザーバー)

環境省近畿地方環境事務所  
 京都府文化環境部  
 大阪府教育委員会、大阪府環境農林水産部  
 大阪市教育委員会

〈事務局 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所〉

## 6. 取り組みによる効果

- ・H24年6月に確認された仔稚魚の個体数は野生に定着するには充分とは言えませんが、順調に生育しており、秋には成熟・産卵し、生活史を全うする可能性があります。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

- ・再導入後のモニタリング調査
- ・野生復帰に向けた取り組みの継続的な実施
- ・外来魚対策
- ・密漁等の監視
- ・新たな候補地の検討

## ⑤ イタセンパラ保護増殖事業について（近畿地方環境事務所）

### 1. イタセンパラとは

#### (1) 生態等

コイ科タナゴ類の日本固有の淡水魚。体長10cm、体高が高く平べったい形。

秋に二枚貝に産卵、貝中で越冬、春期に貝中で孵化、浮出。



#### (2) 分布

かつては富山平野と濃尾平野の諸水系、淀川水系に広く分布していた。

現在は、富山平野では氷見市、濃尾平野では愛知県日進市の限られたごく狭い水域に生息しているのみとなり、淀川水系では、下流域の城北地区（大阪市旭区）にかろうじて残されたわんど群と淀川水系中流域（木津川水系）の一部に生息するのみとなった。城北わんど群が全国を通じて最大の生息地。

#### (3) 生息状況

城北わんどにおける春期における稚魚（仔魚）の確認個体数

1997年	2,486匹	1998年	1,464匹	1999年	149匹	2000年	1,939匹	2001年	7,839匹
2002年	4,937匹	2003年	4,166匹	2004年	2,593匹	2005年	506匹	2006年	0匹
2007年	0匹	2008年	0匹	2009年	0匹	2010年	0匹	2011年	0匹

#### (4) 保護に関する法規制

##### ア 文化財保護法

昭和49年「文化財保護法」に基づく「国の天然記念物」に指定。

##### イ 種の保存法

平成7年「絶滅のおそれのある希少野生動植物の種の保存に関する法律」に基づく「国内希少野生動植物種」に指定。捕獲、譲渡し等、輸出、陳列を規制

### 2. イタセンパラの生息環境

#### (1) イタセンパラが好む生息環境

平時は砂州内側にあつて本流と隔てられたタマリのような閉鎖的な水域で、年何回かの増水時には冠水するが、冬の渇水期には水位低下に伴ってタマリが浅く小さくなるような場所（河川氾濫原の浅いタマリ）

1970年頃までは淀川本流に沿って存在していたタマリやわんどがイタセンパラの重要な生息環境として機能していた。

#### (2) 1970年代以降の環境の変化

- ① 河川氾濫原の消失 ← 河川改修による河道の大幅な拡幅・掘削、わんどの埋め立て
- ② 水位の安定化 ← 淀川大堰の建設、河川改修
- ③ 水辺、水中に漂着、堆積したゴミ ← 不法投棄
- ④ 外来水生植物の異常繁茂 ← 水位の安定化

### 3. 平成24年度の取り組み状況

#### (1) 事業計画

平成8年6月、環境庁、文部省、農林水産省、建設省合同で「イタセンパラ保護増殖事業計画」を策定。

本種が自然状態で安定的に存続できる状態になることを目標として、生息状況の把握、生息環境の維持改善、繁殖飼育に向けた取り組み、密漁防止対策、移入種対策、普及啓発の推進等の事業を行うこととしている。

#### (2) 関係連絡会議等

##### ア 近畿地方イタセンパラ保護増殖事業連絡会議

環境省、国土交通省、大阪府、京都府、淀川流域関係10市町、18機関で構成し、機関相互の堅密な連絡と調整を図り、事業の円滑な推進に資することを目的として、平成9年に設置している。

原則毎年開催して、連絡調整を図っている。

##### イ 城北わんどイタセンパラ協議会

城北わんど群を中心とした淀川水系におけるイタセンパラの保護に関する環境省、国土交通省、大阪府、大阪市等の10機関と有識者で構成し、近畿地方イタセンパラ保護増殖事業連絡会議の分科会としての位置付けで平成11年に設置している。

毎年開催し、城北わんど群を中心としたイタセンパラの保護に関する機関等相互の緊密な連絡と調整等を図り、もってイタセンパラ保護対策の協議等を行っている。

#### (3) 事業の具体的実施状況

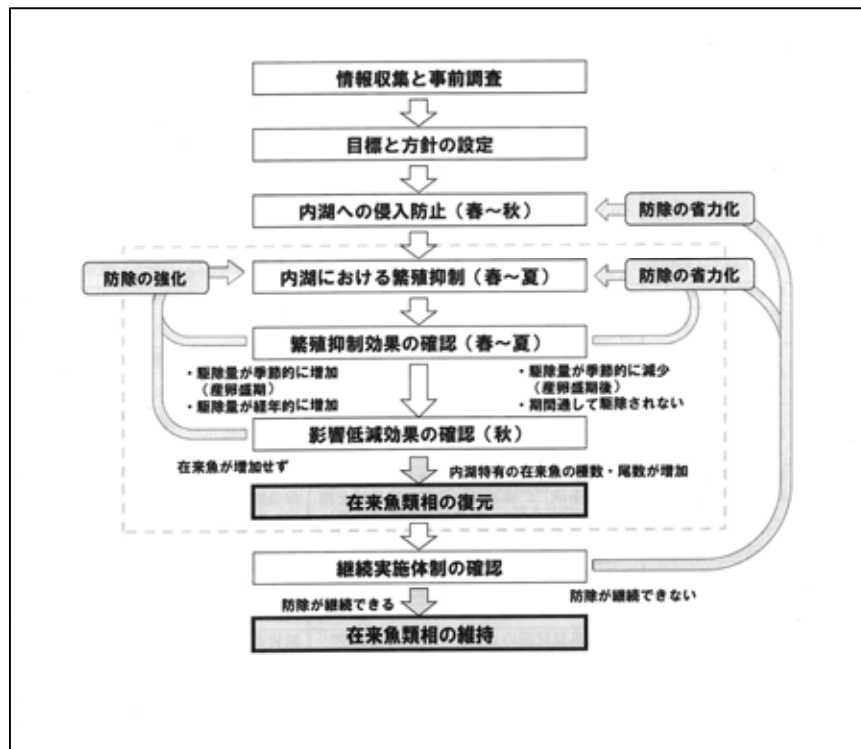
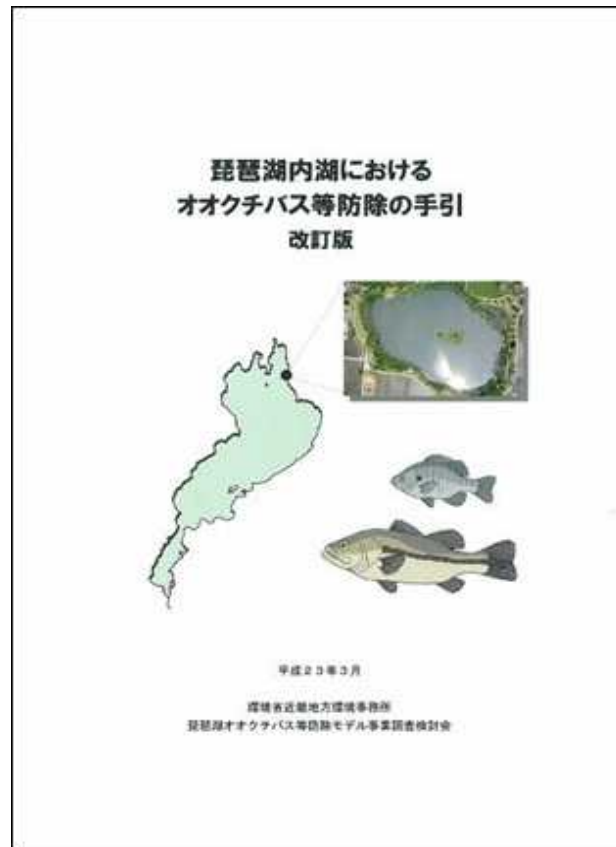
淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク構成機関として、同ネットワークによる外来魚駆除活動等に参画。関係連絡会議等を年度内に開催する。

### 4. 連携について

- ・ 国土交通省 → 実験、新わんどの創設、浅い水際帯の創設、大堰の水位操作、外来水生植物の除去、淀川イタセンパラ検討会、イタセンパラ野生復帰
- ・ 大阪府水生物センター → 飼育繁殖(域外保全)、イタセンパラ野生復帰、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク
- ・ 大阪市水道記念館 → 飼育繁殖

⑥ 琵琶湖オオクチバス等防除事業について（近畿地方環境事務所）

1. イメージ図



## 2. 概要

外来生物法に基づく特定外来生物のうち全国へ広域にわたり分布して生態系等被害を及ぼしているオオクチバス・コクチバス・ブルーギル(以下「オオクチバス等」)については地域の状況に応じて適切な手法により防除を進めることが必要である。

このため、環境省として優先的に防除に取り組むべき水域(保護地域や希少な生物が生息する水域)について、地方公共団体、関係団体等と連携して防除事業を実施し、その成果をマニュアルとしてとりまとめ、各地の防除に活用することを目的としたモデル事業を行った。

近畿地方環境事務所は50種を超える固有種が生息する固有の生態系を有し、ラムサール条約湿地にも登録されている琵琶湖及び周辺内湖において、オオクチバス等により生態系や水産業に被害が生じているため、平成17年度事前調査等を実施し、平成18年度から3カ年の事業としてモデル事業を実施し、平成21年3月「琵琶湖内湖におけるオオクチバス等防除の手引き(以下、「防除手引き」)を作成した。

平成21年度から23年度までモデル事業で作成した手引きを実践、検証する事業を実施した。

## 3. 課題

オオクチバス等の防除活動を継続していくため、関係機関が連携協力し、地域関係者への普及啓発、防除活動体制の整備、防除活動への支援を行っていくことが必要。

## 4. 24年度の取り組み状況

平成21年度に作成したオオクチバス等の防除手引を見直すとともに、簡略化した普及版を作成し、琵琶湖内湖における外来魚防除活動が継続的に実施し得る体制整備のための意見交換、防除講習会の開催等を行う。

## ⑦アユモドキ保護増殖事業について（近畿地方環境事務所）

### 1. アユモドキとは

#### (1) 生態等

ドジョウ科の日本固有の淡水魚。体長15cm。縦に扁平で背面には横縞、計6本の口ひげがある。初夏に大雨などで一時的に水没した植物の根元などに産卵する。

#### (2) 分布

かつては近畿地方及び山陽地方の一部の水系の平野部から低山地までの河川及び農業用水路に多く生息していたが、生息環境の変化とともに1970年代から本種の確認情報が少なくなり、現在は、京都府と岡山県に分布域は限られている。

琵琶湖淀川水系では、京都府亀岡市のみにおいて野生個体群が確認されている。

#### (3) 保護に関する法規制

##### ア 文化財保護法

昭和52年「文化財保護法」に基づく「国の天然記念物」に指定。

##### イ 種の保存法

平成16年「絶滅のおそれのある希少野生動植物の種の保存に関する法律」に基づく「国内希少野生動植物種」に指定。捕獲、譲渡し等、輸出、陳列を規制

### 2. 保護増殖事業計画の概要

アユモドキ保護増殖事業計画（平成16年11月19日 文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省）の事業項目

1. 生息状況等の把握及び生態等に関する知見の集積
  - (1) 生息状況等の調査等
  - (2) 生態等に関する知見の集積
  - (3) 生息に適する環境の解明
2. 生息地における生息環境の維持及び改善
  - (1) 生息水域の維持及び改善
  - (2) 水量及び水質の維持及び改善
3. 個体の保護及び増殖
  - (1) 密漁防止対策及び監視の強化
  - (2) 外来種による影響の防止
  - (3) 緊急時の避難措置
  - (4) 飼育下における繁殖
4. 飼育下における繁殖個体の再導入を含む生息地の再生
5. 事業を効果的に推進するための方策
  - (1) 普及啓発等の推進
  - (2) 農村整備及び河川整備における配慮
  - (3) 効果的な事業の推進のための連携の確保

### 3. 平成24年度の取り組み状況

(1) アユモドキ生息地への外来魚侵入防止対策

平成19年度後半から、生息地にオオクチバスが見られるようになり、平成20年度は当歳魚が確認されない状況になった。そのため、平成19年度から外来魚の供給源であるため池のオオクチバス等の生息状況調査及び侵入防止対策事業を実施。

(2) 生息河川における餌資源調査

アユモドキ生息河川におけるミジンコ類等大型動物プランクトンの状況を把握。

(3) アユモドキの遺伝的多様性分析

アユモドキの現存集団の遺伝的多様性について、平成23年度に開発したMHCプライマーを用いて免疫に関わる分析を行い、これまでに実施されているマイクロサテライト分析結果と合わせ、総合的に遺伝的多様性の評価を行う。

(4) 密漁防止のための巡視等

アユモドキの密漁を防止するため、生息地の巡視、生息河川の清掃を実施。

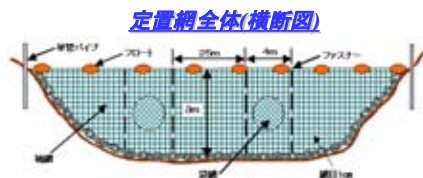
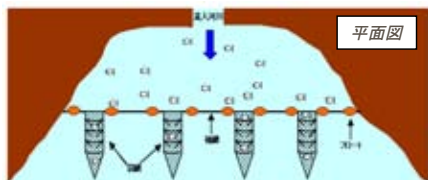
(5) 他機関との連携協力

「淀川水系アユモドキ連絡協議会」を平成16年に設置。国土交通省、農林水産省、環境省、大阪府、京都府、亀岡市、南丹市ほか関係18機関を構成メンバーとし、専門家の参画を得て、機関相互の連絡と調整を図り、事業の円滑な推進に資することを目的として、毎年度2回程度開催。

## ⑧一庫ダムにおける外来魚駆除の取り組み状況（独立行政法人 水資源機構）

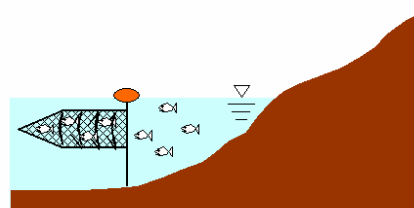
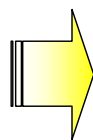
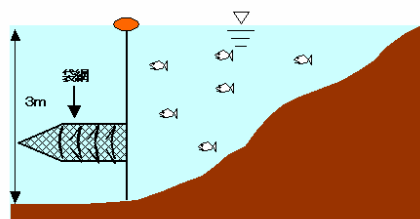
### 1. イメージ図

#### 洪水期に向けてのダムの水位低下を利用した魚の調査（水位低下式定置網）



①ダムの水位が高い時期に定置網を設置↓

②夏場にかけてのダムの水位低下に伴い、袋網に逃げ込んだ魚を捕獲↓



### 2. 概要

水位低下式定置網（1. イメージ図参照）を利用して魚類を捕獲し、在来魚は再放流、外来魚は乾燥粉末処理後、魚粉化(肥料)して、堆肥として再利用する。

水位低下式定置網の使用により、一度に多くの種類の魚を捕まえることができるうえ、在来魚については生きたまま再放流することが可能である。

### 3. 課題

・ダム管理後、外来魚（ブラックバスやブルーギルなど）が徐々に増加しているため、当該対策を継続して行っていく必要がある。

### 4. 事業スケジュール

○外来魚駆除（平成17年度～）

なお、平成18年度からは猪名川漁業協同組合と協働して、職員による直営で実施している。

## 5. 平成24年度の取り組み状況

### ○実施概要

#### 【一庫ダム】

実施時期：平成24年5月31日～10月16日

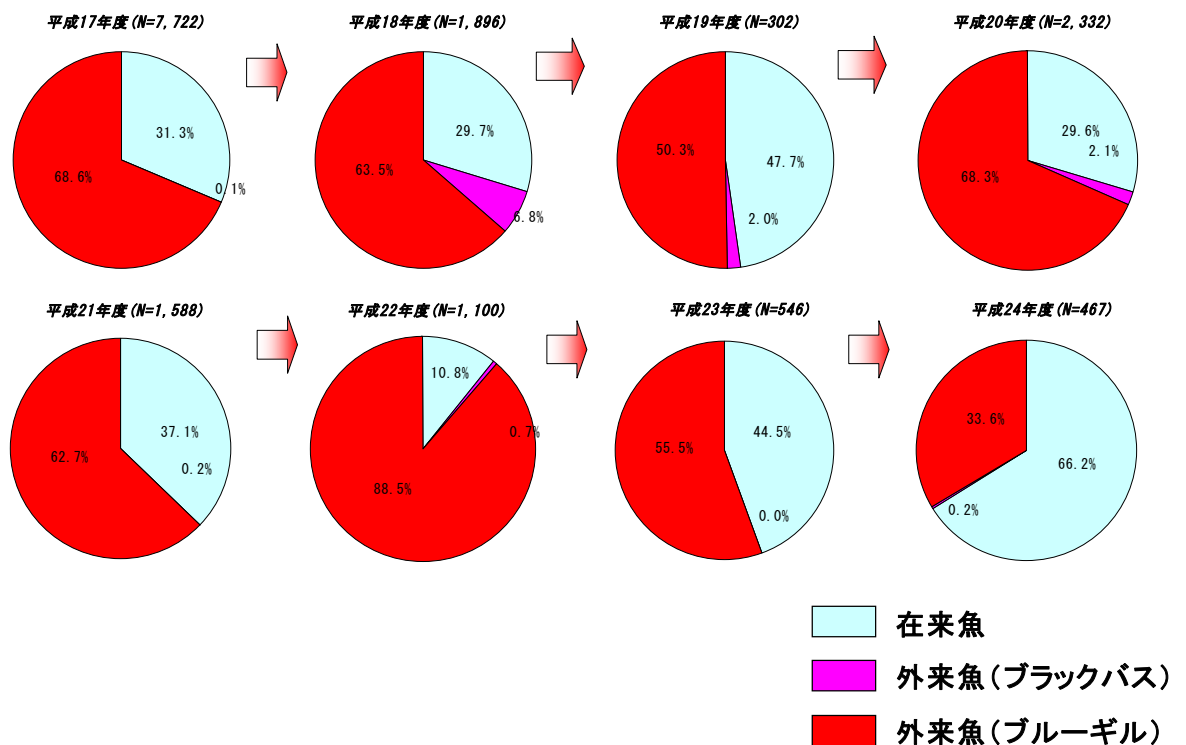
実施頻度：上記期間中において週3回（火、木、土）網上げを実施

### ○実施状況写真



## 6. 取り組みによる効果

- ・年度により波があり、一概に効果を述べることは難しい。
- ・今後も地道に取り組みを実施していく。



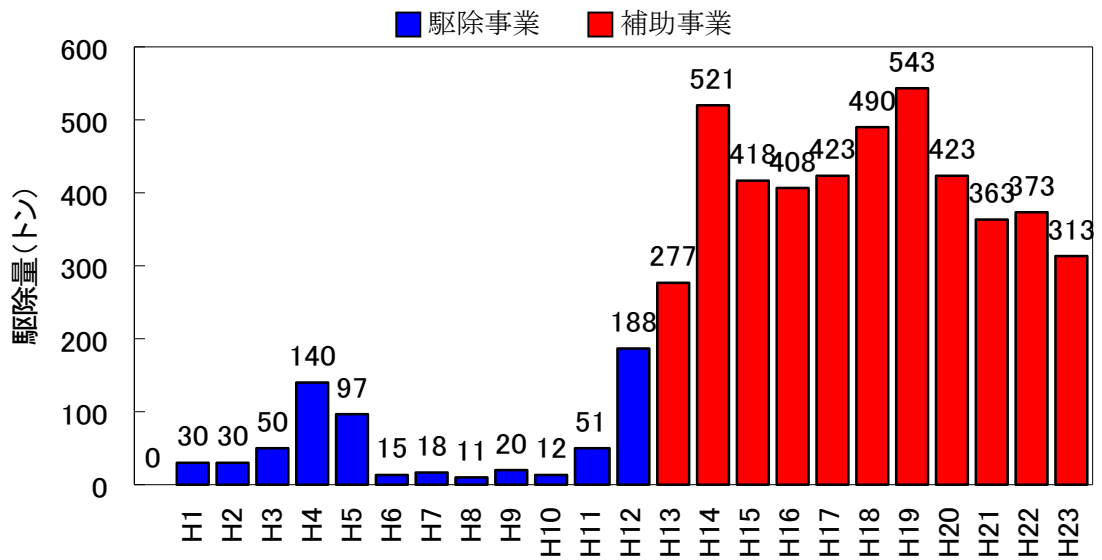
⑨琵琶湖における取り組み（滋賀県）

1. イメージ図

●外来魚による在来魚食害



●外来魚駆除量の推移



●外来魚駆除風景



## 2. 概要

### ●有害外来魚ゼロ作戦事業

#### 1) 事業主体

滋賀県漁業協同組合連合会

#### 2) 事業概要

##### ・外来魚駆除促進対策

漁業者によるオオクチバス、ブルーギルの捕獲駆除

##### ・外来魚繁殖抑制対策

漁業者によるタモ網を用いたオオクチバス仔魚の捕獲駆除

##### ・回収処理

駆除した外来魚の回収と有効利用

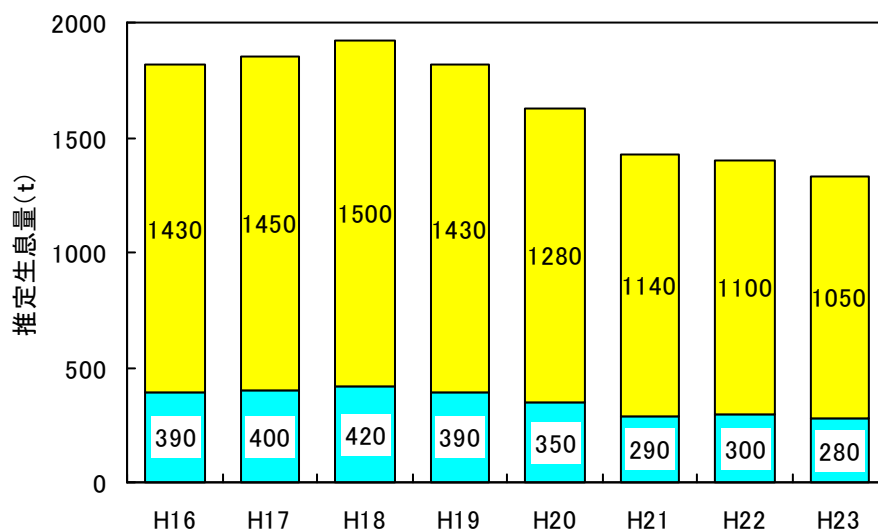
##### ・オオクチバス稚魚発生抑制事業

オオクチバスの発生を抑制するため、小型機船底曳き網や電気ショッカー・ボート等を用いて、産卵前のオオクチバス親魚を捕獲

## 3. 課題

### ●琵琶湖における外来魚の推定生息量

■ オオクチバス ■ ブルーギル



- ・駆除事業の進展により推定生息量は減少している。魚食性の強いオオクチバスを中心に、今後も徹底した駆除を進める必要がある。
- ・駆除が進むと外来魚が小型化する傾向にあり、刺網などによる駆除効率が低下している。

#### 4. 事業スケジュール

引き続き強力な外来魚対策を実施するとともに、生息状況に応じた効果的な駆除手法を検討、導入する。

#### 5. 平成24年度の取り組み状況

- ・ 外来魚駆除促進対策（駆除目標：315トン）

10月15日現在 261.0トン駆除

- ・ 外来魚繁殖抑制対策

オオクチバス仔魚のタモ網すくい 駆除目標：600万尾

- ・ オオクチバス稚魚発生抑制事業

電気ショッカーボートの新造 10月現在3.8トン駆除

#### 6. 取り組みによる効果

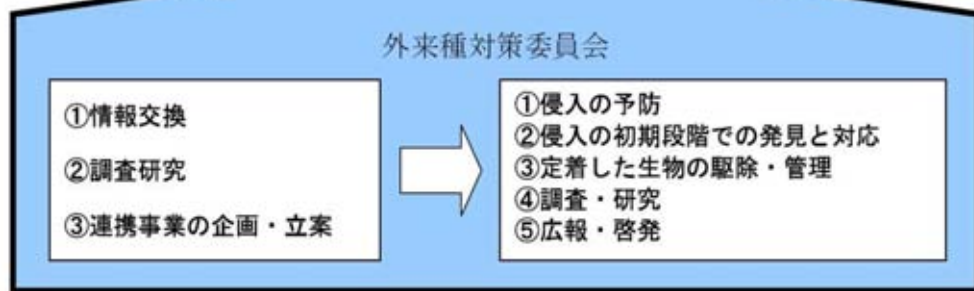
毎年400トン程度の外来魚を駆除することにより、外来魚生息量が平成16年度の1,820トンから平成23年度の1,330トンへと減少するとともに、ニゴロブナやホンモロコなどの在来魚介類の漁獲量に復活の兆しがみられる。

#### 7. 平成25年度の取り組み予定

平成25年度も有害外来魚ゼロ作戦事業を継続し、強力に外来魚の駆除を推し進める計画である。

⑩外来種対策検討会の取り組み（水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会）

1. イメージ図



各府県の外来種（外来魚）対策

※各府県とも漁業調整規則でオオクチバス、ブルーギル等の移植制限（滋賀県は、ビワマス等16種以外の水産動物の移植制限）

「バスの放流は禁止されています」  
キャンペーン（三重県）

※三重県の取組例

- 「三重県自然環境保全条例」  
移入種の放逐等の禁止、特定外来魚の増殖抑制、生息域縮小等
- 条例普及用の小中学生向けカレンダー、下敷きの作成



※滋賀県の取組例

- 「滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」（琵琶湖ルール）  
外来魚の再放流の禁止（ノーリリース）、基本計画の策定、県民等の活動の促進、琵琶湖レジャー利用監視員の設置等
- ノーリリースありがとう券事業（外来魚500gごとに50円相当の商品と交換できる「ノーリリースありがとう券」と引換）
- 外来魚回収ボックス・回収いけすの設置
- 有害外来魚ゼロ作戦事業（駆除促進、回収処理、繁殖阻止、生態系修復、密放流防止、実態調査、駆除技術事業化試験）
- 生物多様性攪乱対策事業（移入動植物の分布調査、対策の検討）

ノーリリースありがとう券  
協力店舗



## 2. 概要

- 1) 事業主体 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会  
(水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会)  
琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

### 2) 事業概要

琵琶湖・淀川流域圏の再生計画では、琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全、生態系に影響を及ぼす外来種対策に取り組んでいくこととしている。流域圏の各所において、関係機関が連携した取り組みの実施、地域住民やNPO団体などと協働による取り組みの推進を図るため、連携交流会と協働で外来種対策検討会を開催し、外来種対策に関する情報や意見交換を行うとともに、外来種勉強会などの企画立案、実施運営の取り組みを進める。

## 3. 課題

- ・ 外来種に対する基本的な情報の周知。
  - ・ 多様な主体、地域住民の参画、連携による生態系保全再生の取り組み推進。
- ※流域圏において、持続的にきめ細かく外来種への対策を進めるためには各主体の連携を促進するとともに、地域住民と協働した取り組みとしていく必要がある。

## 4. 事業スケジュール

平成20年11月9日	外来種対策を考える会（淀川）
平成21年8月6日	第1回 外来種対策検討会
平成21年10月13日	第2回 外来種対策検討会
平成21年11月24日	外来種勉強会（猪名川）
平成22年3月19日	第3回 外来種対策検討会
平成22年6月29日	第4回 外来種対策検討会
平成22年9月15日	水草繁茂現地調査（琵琶湖・瀬田川）
平成23年1月20日	第5回 外来種対策検討会
平成23年5月10日	第6回 外来種対策検討会
平成24年6月22日	第7回 外来種対策検討会
平成24年7月6日	水草対策現地調査（嵐山地区・桂川）

外来種対策検討会を開催し、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会と、協議会が協働で検討を実施。

今後も、継続した取り組みを実施する。

## 5. 平成24年度の取り組み状況

### ◆第7回外来種対策検討会の開催

○日時：6月22日（金）14：00～16：00

外来種チュウゴクオオサンショウウオの調査事例（京都市）について、対策検討会を立ち上げ対策を打ち出していることや鴨川水系では在来種は絶滅に近いことなど情報交換が行われた。また猪名川の外来種対策（猪名川河川）について、外来種マニュアルを作成して配布していることや地域住民との連携・交流について、意見交換が行われ知識を深めた。

### ◆嵐山地区現地勉強会（水草対策）の開催

○日時：7月6日（金）11：00～16：00

桂川嵐山地区において、藻が井堰付近に定着し増え続けることにより、在来の水草に影響を与えたり河川が汚れ不快な匂いが出た。その対策として、国・府・市および地域団体・地元中学校の協働で、水草除去を行っている。現地勉強会において連携交流会を交え意見交換することで、今後の住民団体等との協働による連携のあり方等を考えた。また外来種問題とアユモドキ保全のための外来種対策（環境省）について、意見交換を行った。

今後は、情報発信の継続とできるだけ多くの人に外来種対策の重要性を知ってもらうためアイデアを模索することが重要であるとの意見が出された。



嵐山地区での刈り取り状況

### ◆BY展の開催

○日時：7月28日（土）～7月29日（日）

BY展において、パネルやポスター展示を行い、チラシやパンフレットの配布を行情報発信を行った。



### ◆広報用チラシの配布

嵐山地区水草対策について、とりまとめた広報用のチラシを連携交流会に配布し、交流会の構成団体等の活動において、有効に活用を図っていただく予定。



一般周知用の広報チラシ

## 6. 取り組みによる効果

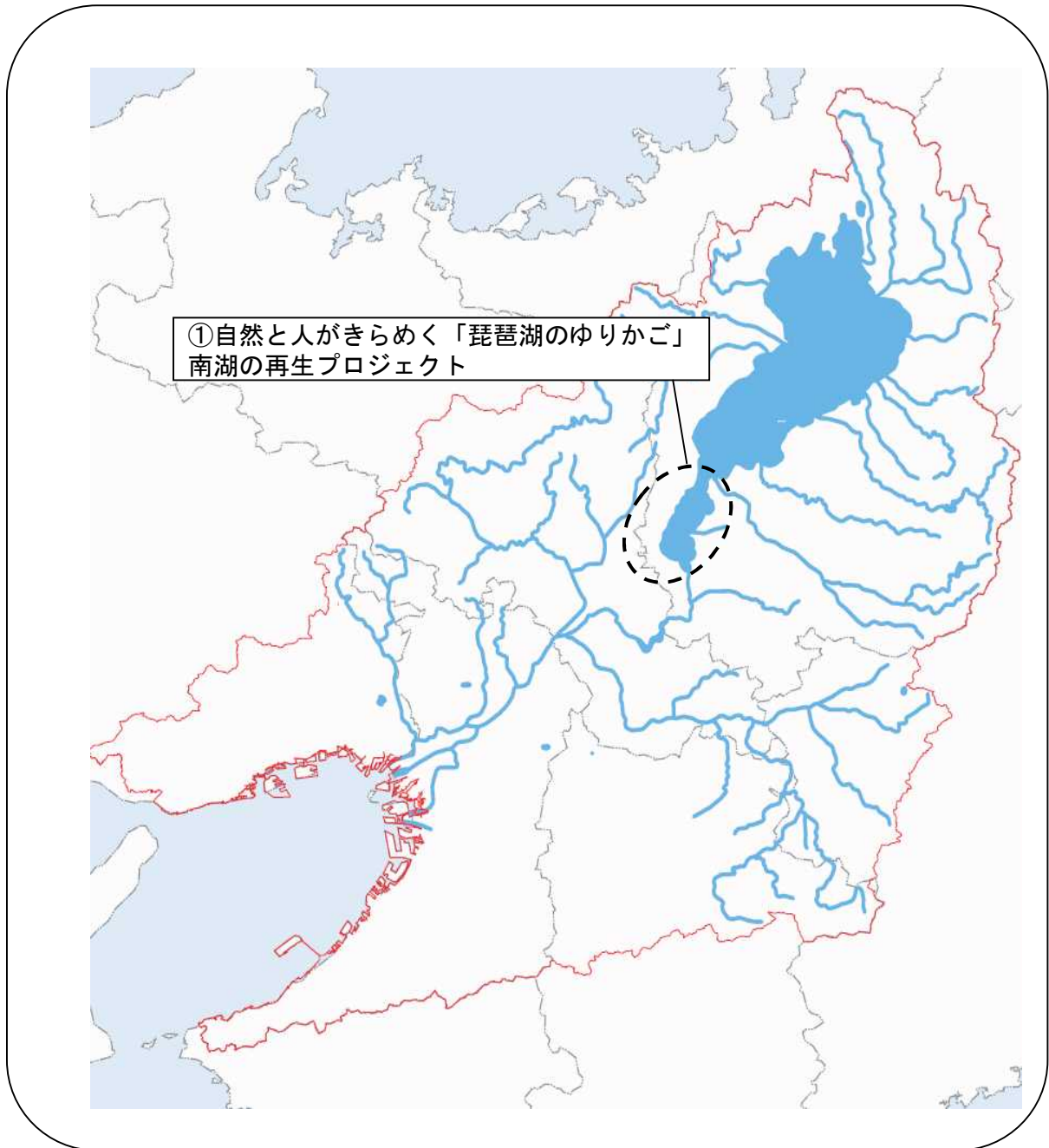
- ・ 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会とも連携して、外来種対策検討会を立ち上げ、外来種など対策の取り組みを情報共有することができた。
- ・ 流域圏における外来種等の対策に関し、地域住民やNPO団体等と協働した取り組みを推進するための広報活動を進めることができた。

## 7. 今後

- ・ 外来種対策などについて、地元団体などと連携している取り組み情報を収集・検討し、現地における調査を実施する。
- ・ 現地勉強会の情報をとりまとめ、広報用チラシを作成し連携交流会などに配布する。また交流会の構成団体等の活動において、有効的に活用していただく。
- ・ できるだけ多くの人に外来種対策の重要性を知ってもらうためのアイデアを模索する。

5. 連携施策の推進

○ 連携施策の取り組み事例マップ



①自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクトにおける取り組み状況（近畿地方整備局ほか）

1. イメージ図



## 2. 概要

### 1) 事業主体（構成機関）

滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、水資源機構、水産庁、近畿農政局、環境省近畿地方環境事務所、近畿地方整備局

### 2) 事業概要

南湖においては、水質の悪化や外来種の増加等によって生態系が危機的状況にあり、「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」（平成17年3月策定）には、“自然と人とがきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクト”について様々な取り組みが記述されており、南湖再生にあたっての課題抽出、対応方針の検討、事業実施の連携及び調整、事業進捗の確認、情報交換等を行うため、平成18年7月に「南湖再生WG」を設置。平成22年3月に野洲市が加入。

## 3. 課題

南湖においては、近年特に、琵琶湖漁業の減少、ヨシ帯等湖岸域の保全、外来魚の繁殖、水草の異常繁茂、水質の浄化、砂浜等の親水施設等の整備、琵琶湖生態系保全や適正利用等の啓発など課題が山積している。これらの各課題に関し、各機関が様々な取り組みを連携し、継続的に実施しているところである。

## 4. 事業スケジュール

「南湖再生WG」の開催を継続して実施していく。

## 5. 平成24年度の取り組み状況

平成24年2月8日に南湖再生WGを開催し、平成23年度の取組状況等について、情報交換を行った。

平成24年度に連携して実施している主な事業等は下記のとおり。今後も、南湖における課題解決に向け、対応方針の検討、事業連携、情報交換等を継続して実施していくこととしている。

### ① 湖湖底環境改善事業（滋賀県他）

南湖の湖底環境を改善するため、セタシジミ種苗放流湖底の窪地埋め戻しと覆砂等を実施。

### ② 草津市下物ビオトープ（滋賀県・水資源機構）

草津市下物町地先の琵琶湖敷地と隣接する堤脚水路において、滋賀県と水資源機構が協働して湖岸生態系回復のためビオトープ整備を実施。現在、維持管理を行うとともに魚類の生育・産卵等のモニタリングを実施。

### ③ 新浜うおじまプロジェクト（水資源機構他）

水資源機構が所管する滋賀県草津市新浜地区の約5haの管理地において、コイ科魚類の産卵・生育を助け、琵琶湖固有の魚類を回復させるため、平成19年度に水資源機構、草津市、関連企業等が連携し田んぼ池を整備。現在、維持管理を行うと共にモニタリング調査を実施。

### ④ 水草繁茂に係る対策（滋賀県・琵琶湖河川他）

特に南湖水草繁茂への当面の対応策検討のため、平成21年度、これまでの知見をもとに学識者により、水草の産業・生活・環境へ与える影響、繁茂要因等を検討した“水草繁茂に係る要因分析等検討会”でとりまとめた水草の当面の管理について、湖底環境改善事業による貝曳き漁具を用いた水草除去、ワタカ等の種苗放流、瀬田川の水草刈り取り試験等、水草繁茂対策の取り組みを実施。

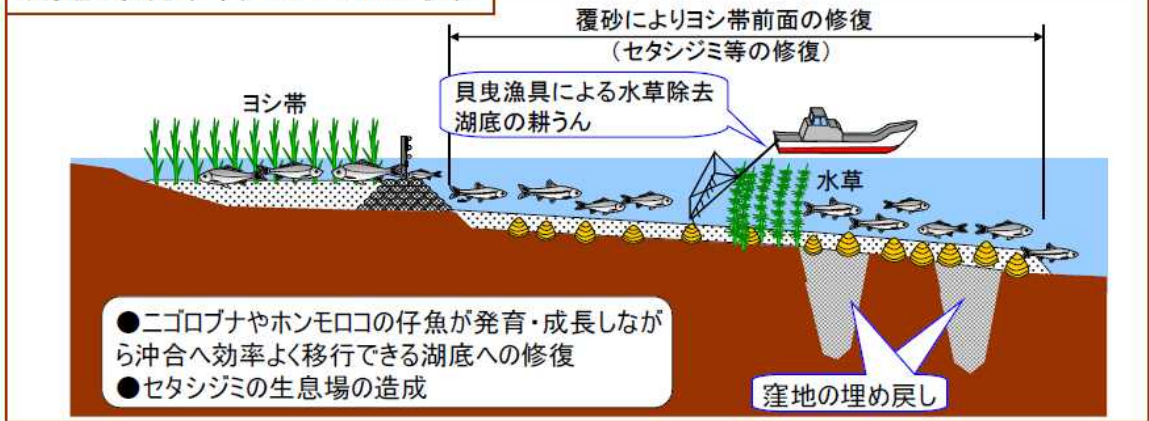
また、平成23年12月に水草連携打合せ会を設置。

### ⑤ 瀬田川洗堰の試行操作のためのコイ科魚類産卵調査（琵琶湖河川・滋賀県）

広範囲での産卵調査が望ましいことから滋賀県と協働して調査及び情報共有し、今年度は、調査結果から目標水位を設定し、瀬田川洗堰試行操作を実施。

①南湖湖底環境改善事業

湖底環境改善のための対策



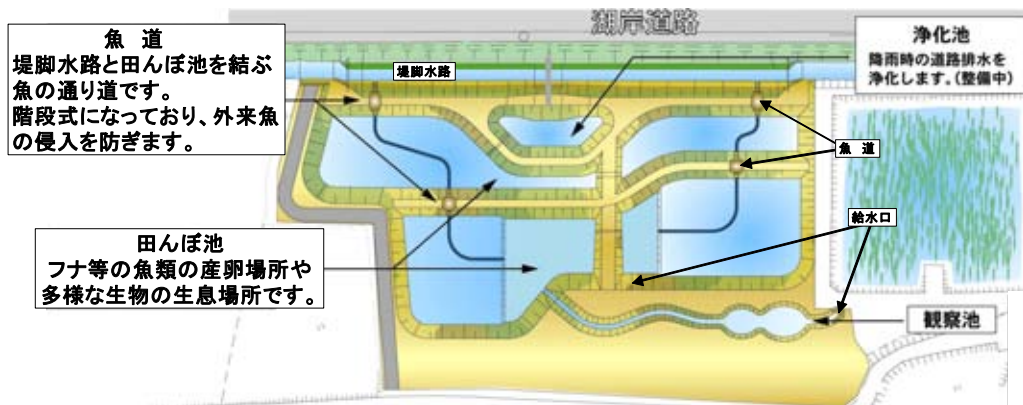
湖底耕耘、水草除去、セタシジミ・ワタカ放流

ヨシ帯造成、ヨシ帯全面の覆砂

窪地埋め戻し試験施工及びモニタリング等

今後も関係機関が連携し、セタシジミ等沿岸帯の生物生息環境の回復を目指す。

②草津市下物ビオトープ



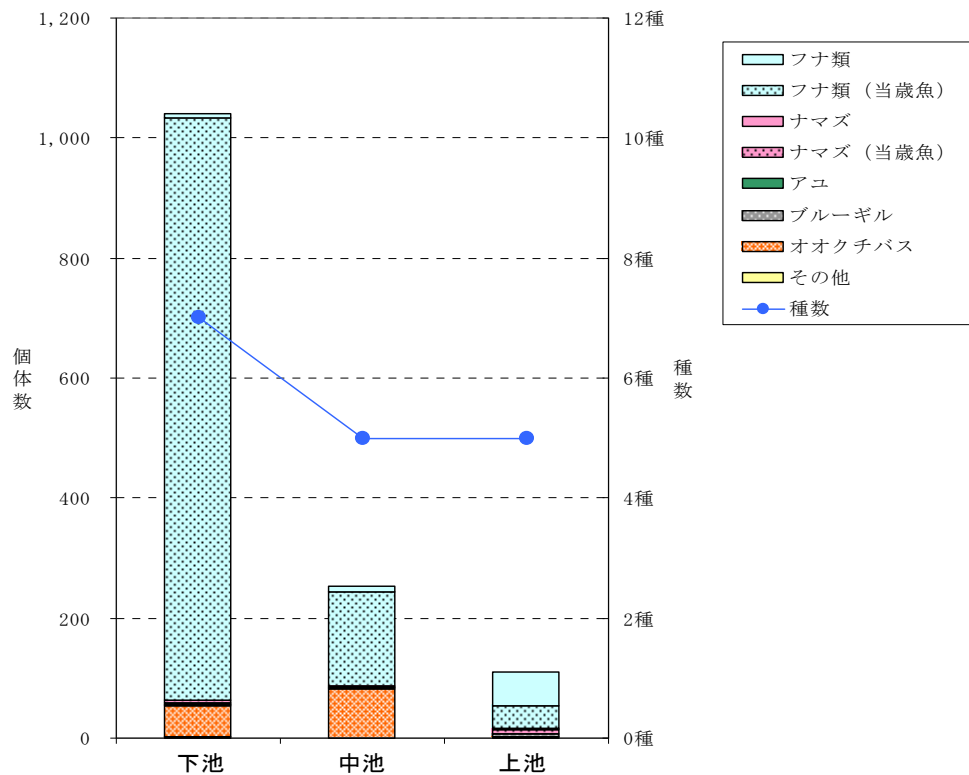
関係機関、地元住民等と連携し、自然観察会を実施しながら湖岸生態系回復を目指す。

### ③新浜うおじまプロジェクト

たんぼ池（維持管理・モニタリング実施中、今後自然観察会を実施）



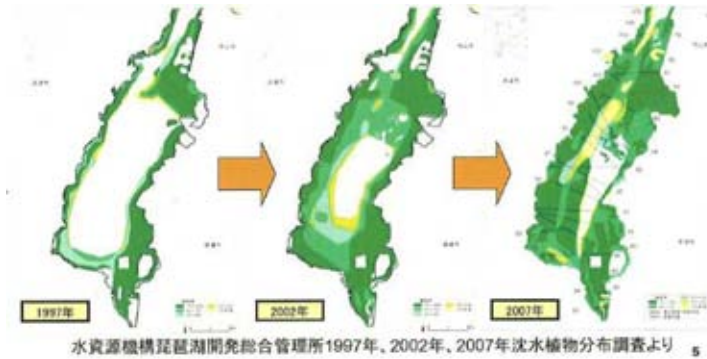
水資源機構はじめ、関係機関、地元住民等、地域が連携し管理運営する組織づくりを進め、自然観察会等を実施しながらコイ科魚類の産卵・生育の場を目指す。



モニタリング調査（定置網調査）の結果、在来種（フナ類等）の当歳魚が多数確認された。

※調査結果は、平成24年5月に3回、6月に2回行った調査の合計値である。

#### ④水草繁茂に係る対策



南湖の水草の変遷（沈水植物の水平分布）

○水草の繁茂に係る要因分析等検討会



○当面の水草管理の取り組み

- ・年間を通じた貝曳き漁具等による水草の基底部からの除去
- ・セタンジミ・ワタカなどの種苗放流等
- ・船舶の航行障害や悪臭の発生など住民生活への影響軽減のための刈り取り
- ・事業実施は、国や県等関係機関が連携を密にし、必要事項把握のうえ、実施場所、実施方法等を適宜見直しながら順応的に行う

※湖底改善事業



南湖湖底に繁茂する水草

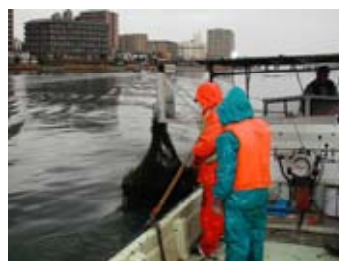


貝曳き漁具(マガン)での刈り取り



水草がなくなり砂地に戻っている

※瀬田川刈り取り試験



水草刈り取り

⑤瀬田川洗堰の試行操作のためのコイ科魚類産卵調査

琵琶湖周辺で産卵・生育する魚類を保護する為の環境に配慮した琵琶湖の水位管理

◇平成15年度より、ニゴロブナなどのコイ科魚類の産卵・生育に配慮した水位操作を試行。

**琵琶湖湖岸域への影響**

コイ科魚類の産卵・成育の場となる湿地・ヨシ帯  
水位低下により干上がる湿地・ヨシ帯  
水面上に干出したコイ科魚類の卵

**課題**  
急激な水位低下により湿地・ヨシ帯が短期間に干上がり、卵が干出

**瀬田川洗堰試行操作**

高島市針江、湖北町延勝寺、草津市新浜町で産卵調査を実施。

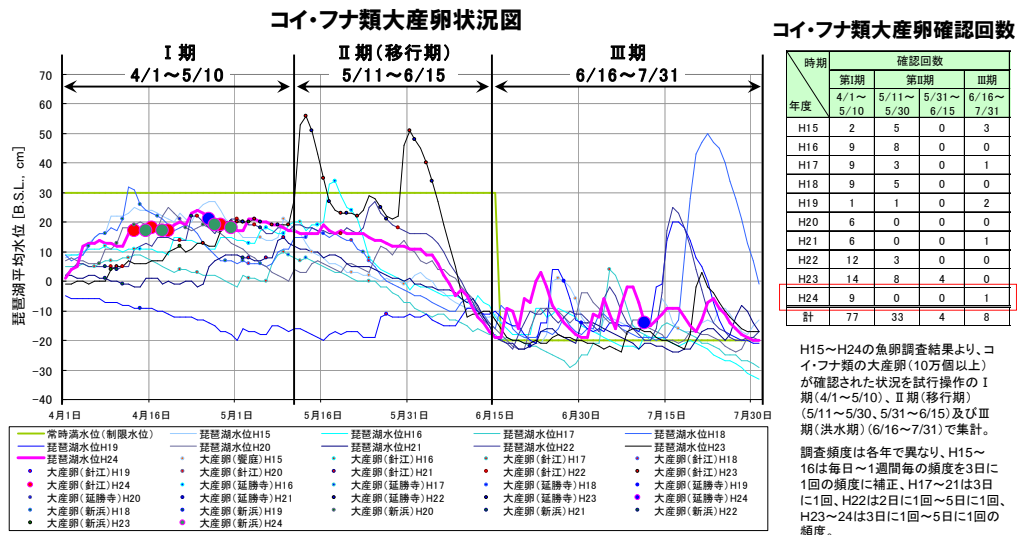
産卵  
水位維持  
孵化  
孵化日数

①コイ・フナ類: 10万個以上  
②ホシモロコ: 1万個以上

①コイ・フナ類: 10万個以上の産卵数(大産卵)が確認されれば、孵化日数の5日間を水位維持し、魚卵の干出を防ぐ。  
②ホシモロコ: 1万個以上の産卵数(大産卵)が確認されれば、孵化日数の7日間を水位維持し、魚卵の干出を防ぐ。

琵琶湖水位と現地調査による大産卵の状況  
コイ・フナ類

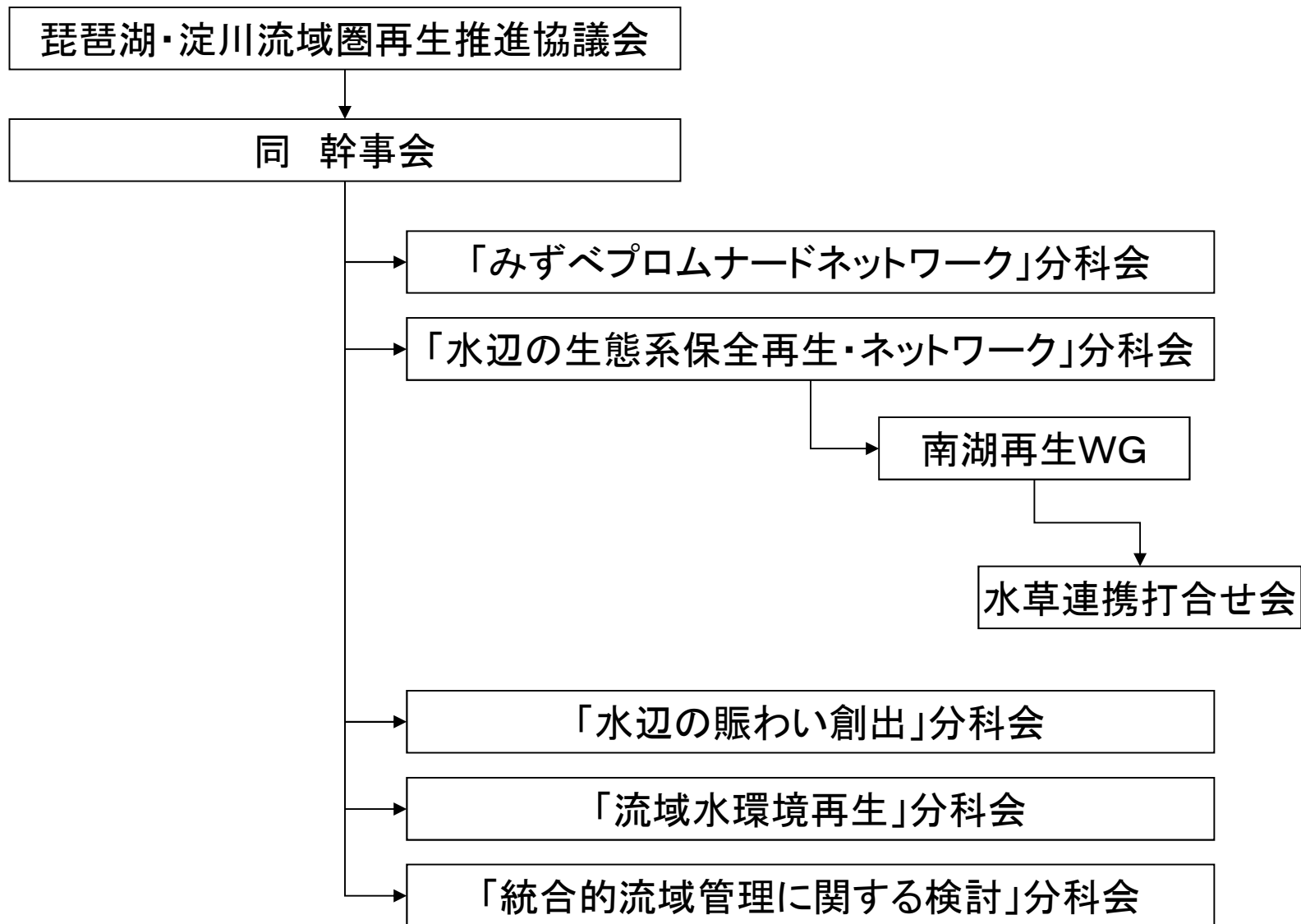
・平成24年はコイ・フナ類の大産卵が合計10回確認された。



現在、産卵調査結果に基づき、瀬田川洗堰試行操作を実施しているが、コスト縮減の観点から、効率的な水位操作方法の検討を行う。

# ○南湖再生WG

## ◇位置付け



## ○南湖再生WG

### ◇設置目的

水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会では、湖沼・河川・水路・河畔林・里山・森林等の連続性が分断された自然環境をつなぎ、流域の生態系ネットワークを再生することを目的として、水辺の再生、河原の復元、琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保存等の取り組みを実施している。

南湖においては、水質の悪化や外来種の増加等によって生態系が危機的状況にあり、琵琶湖・淀川流域圏の再生計画書には、自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクトについて様々な取り組みの記載がされている。近年特に、琵琶湖漁業の漁獲高の減少、ヨシ帯等湖岸域の保全、外来魚の繁殖、水草の異常繁茂、水質の浄化、砂浜等の親水施設等の整備、琵琶湖生態系保全や適正利用等の啓発など課題が山積している状況にある。このため、これらの課題抽出、対応方針の検討、事業実施の連携及び調整、事業進捗の確認、情報交換等を行うため「南湖再生WG」を設置する。

## ○南湖再生WG

### ◇取り組み事項

南湖を再生させるに当たっては、浚渫等による湖底環境整備、水草異常繁茂対策、点源・面源からの流入負荷対策等様々な取り組みが必要であるが、各課題に関し、各機関が取り組んでいる調査、研究、対策について情報共有・交換し、これらが有効かつ効果的に実施されるよう連携及び調整を行う。現在実施されている主な取り組みは次のとおりである。

- ①産卵環境に配慮した瀬田川洗堰操作
- ②ヨシ群落保全・再生事業
- ③水草異常繁茂対策
- ④魚のゆりかご水田整備事業  
(その他、多数あり)

### ◇その他

本WGでは、水草繁茂対策については、滋賀県が設置している水草WGと連携して取り組むものとする。

また「南湖再生プロジェクト」の範囲については、原則として琵琶湖大橋を境とした琵琶湖の南側とするが、「北湖」における「南湖」と同様の課題について、連携調整を行う。

## ○南湖再生WG

### ◇南湖再生WG経過

第1回 平成18年12月14日

第2回 平成19年5月17日

第3回 平成19年12月14日

第4回 平成20年8月8日

第5回 平成22年3月23日

(第6回 平成23年3月17日)

第6回 平成24年2月8日

第7回 平成25年2月15日

※東日本大震災により中止。

### ◇水草連携打合せ会 経過

第1回 平成23年12月21日

第2回 平成25年1月17日

## 水草連携打合せ会 要領

### ■目的

本打合せ会は、「水草連携打合せ会」とし、「南湖再生WG」の設立趣旨に則り、「南湖再生WG」の枠組みのなかで、関係機関の実務担当者が、当面の水草管理について、課題抽出、対応方針の検討、事業実施の連携及び調整、事業進捗の確認、情報共有・交換することを目的とし、その結果はまとめて「南湖再生WG」に報告するものとする。

### ■取り組み事項

本打合せ会における関係機関による取り組み事項は、関係機関が各々役割を担って進めるものとし、以下のとおりとする。

#### 1. 課題抽出、対応方針の検討

各関係機関において検討・実施されている水草除去について課題の抽出を行い、その対応方針を検討する。

#### 2. 効率的・持続的な水草除去に関する調査、研究、対策についての情報共有・交換、実施に向けての連携及び調整

各関係機関において検討・実施されている水草除去に関する調査、研究、対策について情報共有・交換し、これらが有効かつ効果的に実施されるよう連携及び調整を行う。

#### 3. モニタリング調査に関する調査、研究、対策についての情報共有・交換、実施に向けての連携及び調整

各関係機関で実施された対策に関する水草群落の面積・現存量・種組成状況、在来魚類・底生生物の生息状況、水質・底質などのモニタリング調査について、調査、研究、対策についての情報共有・交換し、これらが有効かつ効果的に実施されるよう連携及び調整を行う。

#### 4. 水草の有効利用に関する調査・研究の情報共有・交換、実施に向けての連携及び調整

各関係機関で実施している有効利用に関する調査・研究の情報共有・交換し、これらが有効かつ効果的に実施されるよう連携及び調整を行う。

### ■組織

本打合せ会は、主に下記の関係機関の実務担当者をもって組織するものとする。なお、下記以外の関係機関からの出席を拒むものではない。

1. 滋賀県(琵琶湖政策課、下水道課、水産課、河川・港湾室)

2. 水資源機構(琵琶湖開発総合管理所)
3. 近畿地方整備局(琵琶湖河川事務所)

■会議

本打合せ会は、関係機関の実務担当者から開催の要請があり、事務局が必要と認めたときに随時開催するものとする。

■事務局

本打合せ会の事務局は、近畿地方整備局琵琶湖河川事務所に置く。

〈平成23年12月21日 確認〉

■平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針

水辺の生態系保全再生・ネットワーク

実施項目	平成24年度		平成25年度の活動方針
	活動方針	活動報告	
1. 生き物の多様な空間づくり (多様な生物を保全するための生物の生息環境の保全再生)	・生物の生息生育環境を保全再生するための取組みを継続して実施するとともに、モニタリングを行う。	・琵琶湖におけるヨシ帯、砂浜の保全再生、淀川におけるヨシ原、ワンド、干潟の保全再生、猪名川におけるレキ河原の再生等の事業を各機関により着実に推進している。 ・個々の取組みについて、モニタリング結果個表をとりまとめた。	・生物の生息生育環境を保全再生するための取組みを継続して実施するとともに、モニタリングを行いながら個々の取組みの効果を確認する。
2. 生き物が出会うネットワークづくり (生物の生息生育環境を保全再生するための、連続性の確保)	・生物の生息生育環境を保全再生するための取組みを継続して実施するとともに、モニタリングを行う。	・琵琶湖における水田との連続性の確保による魚類の産卵成育環境の保全、桂川や芥川、宇陀川における上下流の連続性の確保に向けた取組みを推進した。	・生物の生息生育環境を保全再生するための連続性確保に向けた取組みを推進するとともに、継続したモニタリングを実施する。
		・流域圏各所での取組みについて、ネットワークの観点から取組み効果についての評価の基礎資料とするために、水域の上下流方向の連続性に関する再点検やモニタリング資料をとりまとめた。	・流域圏におけるネットワークの観点から取組み効果について、どのように評価できるか、引き続き検討を行う。
3. いきいきとながれる川づくり (川本来のダイナミズムの再生)	・試行操作等を継続して行い、琵琶湖の水位管理や、淀川のワンドの環境改善等について、検討を進める。	・瀬田川洗堰の試行操作を行い、コイ科魚類の産卵等に配慮した取組みの検討を進めた。 ・ダム下流の河川環境改善に向けたフラッシュ放流等の試行操作の実施により、基礎資料を収集した。	・試行操作等の継続により、琵琶湖の水位管理や淀川ワンドの環境改善手法および河川環境改善に向けたダム操作の検討を進める。

4. 琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全（固有種や天然記念物等を保全するための対策）	・淀川におけるイタセンパラの野生復帰・再定着に向けた条件整備、琵琶湖における外来魚のリリース禁止、流域圏での外来生物の駆除等、引き続き実施する。	・淀川におけるイタセンパラの保全・再定着への取り組み、流域圏の各所における外来種等の駆除や環境整備により、流域圏ならではの種の保全対策を実施した。	・淀川におけるイタセンパラの保護・再定着に向けた環境整備、琵琶湖における外来魚のリリース禁止や流域圏各所での外来生物等の駆除などの取り組みを、引き続き推進する。
	・連携交流会とともに、外来種対策に関する情報を共有し、知見を増やす。	・外来種対策検討会の場で連携交流会とともに、各機関の取り組み状況等を情報共有し、地域住民の参画促進に向け意見交換を図った。	・連携交流会とともに、外来種対策に関する情報を共有し、知見を増やしながら、連携した取り組みを推進する。
5. ソフト面の取り組み	・引き続き、関係機関の情報共有や流域圏への情報発信に取り組む。	・各機関で着実に多様な空間づくりを行うとともに事例集を作成し情報の共有化を図ること等により取り組みの改善・拡大を図っている。 ・BY展・出張展示において、各機関からのパネル展示を実施した。 ・嵐山地区水草対策の現地勉強会をもとに作成した広報チラシを配布する。	・引き続き、関係機関の情報共有や流域住民等との連携・協働に向けた流域圏への情報発信に取り組む。 ・できるだけ多くの人に外来種対策の重要性を知ってもらうためのアイデアを模索する。
6. 連携施策の推進	・連携交流会とともに、外来種対策に関する情報を共有し、知見を増やす。	・外来種検討会において、各機関、連携交流会で情報共有を図るとともに、嵐山地区水草対策現地勉強会において、連携し知見を増やした。	・連携交流会とともに、外来種対策に関する情報を共有し、知見を増やしながら、連携した取り組みを推進する。
(南湖の再生プロジェクト)	・引き続き、南湖再生プロジェクトに基づき、連携・調整を行いながら対策を推進する。	・「自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクト」として、関係機関の連携・調整のもと、瀬田川洗堰の試行操作や南湖湖底改善事業等を推進した。	・南湖再生WGにおいて連携・調整を図りながら、引き続き南湖再生プロジェクトに基づく施策を推進する。

## 1. 生きものの多様な空間づくり

### 〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・琵琶湖におけるヨシ帯、砂浜の保全再生、淀川におけるヨシ原、ワンド、干潟の保全再生、猪名川におけるレキ河原の再生等を各機関により着実に推進している。
- ・個々の取り組みについて、モニタリング結果個表をとりまとめた。



淀川(鵜殿)のヨシ原保全再生の取り組み

### (事例集参照)

- ①淀川の自然再生の取り組み(近畿地方整備局 淀川河川事務所)
- ②生きものの多様な空間づくりの取り組み(近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所)
- ③早崎内湖再生における取り組み(滋賀県)
- ④ワンド倍増計画(近畿地方整備局 淀川河川事務所)
- ⑤猪名川における河原再生の取り組み(近畿地方整備局 猪名川河川事務所)

### 〔平成 25 年度の取り組み〕

- ・生物の生息成育環境を保全再生するための取組みを継続して実施するとともに、モニタリングを行いながら個々の取り組みの効果を確認する。

## 2. 生きものが出会うネットワークづくり

### 〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・琵琶湖における水田との連続性の確保による魚類の産卵成育環境の保全、桂川や芥川、宇陀川における上下流の連続性の確保に向けた取り組みを推進した。
- ・流域圏各所での取り組みについて、ネットワークの観点からどのように取り組み効果についての評価の基礎資料とするため、水域の上下流方向の連続性に関する再点検やモニタリング資料をとりまとめた。



宇陀川における魚道の簡易改良による連続性の確保(魚道流量の調整、隔壁補修、落差緩和)

### (事例集参照)

- ①生きものが出会うネットワークづくりの取り組み(近畿地方整備局 淀川河川事務所)
- ②魚のゆりかご水田プロジェクト(滋賀県)
- ③水辺の小枝によるナルミ井堰の簡易改良の取り組み(近畿地方整備局 木津川上流河川事務所)

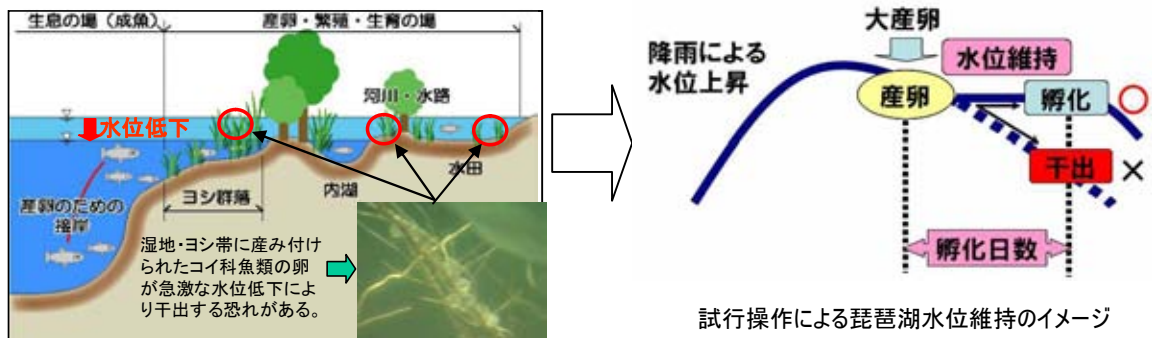
〔平成 25 年度の取り組み〕

- ・生物の生息成育環境を保全再生するための連続性確保に向けた取り組みを推進するとともに、継続したモニタリングを実施する。
- ・流域圏におけるネットワークの観点から取り組み効果について、どのように評価できるか、引き続き検討を行う。

3. いきいきと流れる川づくり

〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・瀬田川洗堰の試行操作を行い、コイ科魚類の産卵等に配慮した取り組みの検討を進めた。
- ・ダム下流の河川環境改善に向けたフラッシュ放流等の試行操作の実施により、基礎資料を収集した。



(事例集参照)

- ①いきいきと流れる川づくりの取り組み(近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所、淀川河川事務所、独立行政法人 水資源機構)

〔平成 25 年度の取り組み〕

- ・試行操作等の継続により、琵琶湖の水位管理や淀川ワンドの環境改善手法および河川環境改善に向けたダム操作の検討を進める。

4. 琵琶湖・淀川流域圏ならではの種の保全

〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・淀川におけるイタセンパラの保全・再定着への取り組み、流域圏の各所における外来種等の駆除や環境整備により、流域圏ならではの種の保全対策を実施した。
- ・外来種対策検討会の場で連携交流会とともに、各機関の取り組み状況等を情報共有し、地域住民の参画促進に向け意見交換を図った。



市民団体による「外来植物抜き取り大作戦」  
(猪名川河川事務所)



オオサンショウウオ緊急調査 (京都市)

### (事例集参照)

- ①淀川における外来種対策(近畿地方整備局 淀川河川事務所)
- ②淀川ワンドにおける外来種対策及びイタセンパラ野生復帰の取り組み(大阪府)
- ③外来魚の再放流禁止に関する取り組みについて(滋賀県)
- ④「イタセンパラ」の再導入について(近畿地方整備局 淀川河川事務所)
- ⑤イタセンパラ保護増殖事業について(近畿地方環境事務所)
- ⑥琵琶湖オオクチバス等防除事業について(近畿地方環境事務所)
- ⑦アユモドキ保護増殖事業について(近畿地方環境事務所)
- ⑧一庫ダムにおける外来魚駆除の取り組み(独立行政法人 水資源機構)
- ⑨琵琶湖における取り組み(滋賀県)
- ⑩外来種対策検討会の取り組み(水辺の生態系保全再生・ネットワーク分科会)

### 〔平成 25 年度の取り組み〕

- ・淀川におけるイタセンパラの保護・再定着に向けた環境整備、琵琶湖における外来魚の再放流禁止や流域圏各所での外来生物等の駆除などの取り組みを、引き続き推進する。
- ・連携交流会とともに、外来種対策に関する情報を共有し、知見を増やしながら、連携した取り組みを推進する。

## 5. ソフト面の取り組み

### 〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・各機関で着実に多様な空間づくりを行うとともに事例集を作成し情報の共有化を図ること等により取り組みの改善・拡大を図っている。
- ・BY展・出張展示において、各機関からパンフレット等の配布やパネル展示を実施した。
- ・嵐山地区水草対策の現地勉強会をもとに作成した広報チラシを配布する。



BY 展における情報発信の様子



一般周知用の広報チラシ

### 〔平成 25 年度の取り組み〕

- ・引き続き、関係機関の情報共有や流域住民等との連携・協働に向けた流域圏への情報発信に取り組む。
- ・できるだけ多くの人に外来種対策の重要性を知ってもらうためのアイデアを模索する。

## 6. 連携施策の推進

### 〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・「自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクト」として、関係機関の連携・調整のもと、瀬田川洗堰の試行操作や南湖湖底改善事業等を推進した。
- ・外来種検討会において、各機関、連携交流会で情報共有を図るとともに、嵐山地区水草対策現地勉強会において、連携し知見を増やした。



嵐山地区での刈り取り状況

### （事例集参照）

- ①自然と人がきらめく「琵琶湖のゆりかご」南湖の再生プロジェクトにおける取り組み状況（近畿地方整備局ほか）

### 〔平成 25 年度の取り組み〕

- ・南湖再生WGにおいて連携・調整を図りながら、引き続き南湖再生プロジェクトに基づく施策を推進する。
- ・連携交流会とともに、外来種対策に関する情報を共有し、知見を増やしながらか、連携した取り組みを推進する。

## 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

### 流域水環境再生分科会

### 統合的流域管理に関する検討分科会

### 平成24年度及び平成25年度の取り組み

#### ■平成24年度活動報告および平成25年度活動方針（案）

##### 【流域水環境再生】

○猪名川分科会の取り組み（猪名川）

（神崎川水質汚濁対策連絡協議会）

○流域ミュージアム連携会議

○打ち水一斉行動

○上下流交流水源地探訪企画

○流域水環境再生取り組み事例集

○平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針（総括）

##### 【統合的流域管理】

○統合的流域管理に関する検討の経緯

○琵琶湖における流域管理について、マザールイックフォーラム推進事業（滋賀県）

# 猪名川水環境シンポジウム2011

猪名川をよく知り、よく学び、身近にふれあう川とするために

主催：国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 / 後援：神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会

## 猪名川分科会の取り組み

猪名川水環境シンポジウム2011  
猪名川における  
自然再生の目標と課題

平成24年12月20日

猪名川河川事務所

(神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会 事務局)

# 猪名川分科会

## ★猪名川分科会の目的

猪名川分科会は、猪名川流域の水循環をふまえた統合的な流域水質管理システム構築をめざし、流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し行動することを目的として、平成22年2月に設立されました。

## ★目指すべき方向性(将来像)と目標 (平成22年11月1日公表)

### 川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ

目標①: 水遊びができる水質にしよう

⇒ きれいな水で生き物がたくさんいる猪名川を目指します。

目標②: 人が集まる水辺にしよう

⇒ ゴミのない猪名川を目指します。

目標③: 猪名川を学ぼう

⇒ 猪名川を学べる場をつくります。

# 猪名川水環境シンポジウム 開催概要

より良い猪名川の水環境の実現をめざして住民と行政が一体となった取り組みを進めるため、猪名川を知り考えていただくことを目的として、平成22年より開催。

= 平成22年のプログラム =  
【平成22年10月3日開催】

『川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ』

- 基調講演 「澄んだ猪名川」  
菅原正孝 大阪産業大学教授
- 活動報告
  - ・猪名川流域の水環境
  - ・一庫ダムの水質への取り組み
  - ・猪名川流域下水道の現状について
  - ・清流猪名川をとりもどそう！
  - ・猪名川・神崎川の水質調査について
- パネルディスカッション
  - ・菅原教授(コーディネータ)
  - ・猪名川河川事務所長
  - ・猪名川河川レンジャー
  - ・自然と文化の森協会
  - ・池田・人と自然の会
  - ・猪名川・神崎川水質研究グループ
- 水環境パネル展を同時開催



菅原先生による  
基調講演



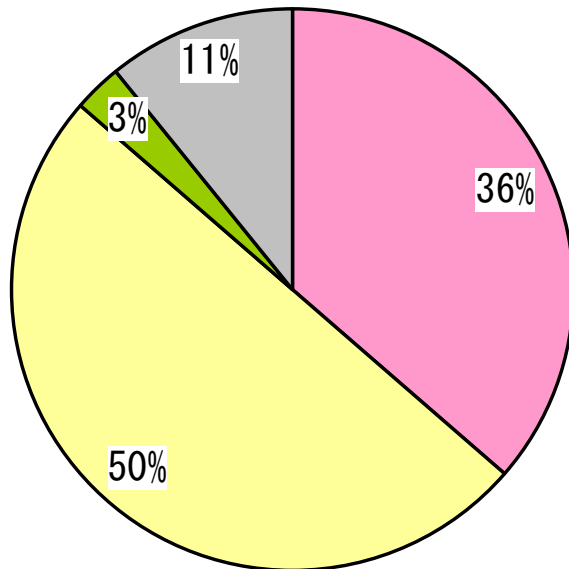
活動報告



パネルディスカッション

# 猪名川水環境シンポジウム 参加者アンケート

Q.シンポジウムに参加された感想は？

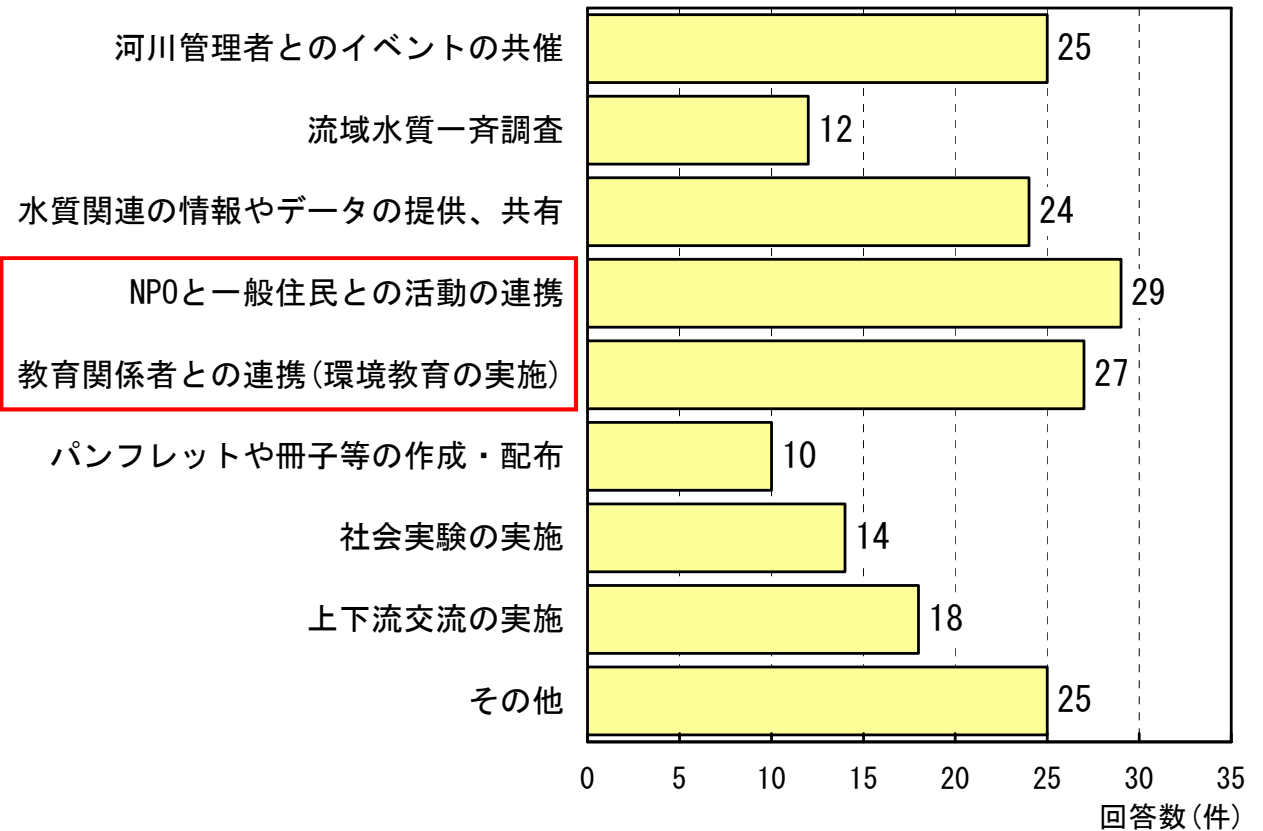


- 有意義だった
- まあまあ有意義だった
- 有意義ではなかった
- 無回答

(アンケート回答者数78人)

Q.今後の猪名川流域の水質管理において、どのような協力、連携を期待されるでしょうか？

(複数回答)



(アンケート回答数 全58件)

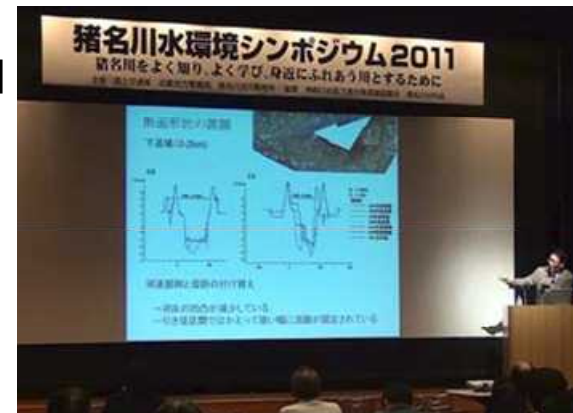
# 猪名川水環境シンポジウム2011 開催概要

= 平成23年のプログラム =

【平成23年11月6日開催】

『猪名川をよく知り、よく学び、  
身近にふれあう川とするために』

- 基調講演 「猪名川における自然再生の目標と課題」  
竹門康弘 京都大学防災研究所准教授
- 活動報告 ・猪名川・藻川の魚にふれあえる、  
ソーラーポンプで揚水するイケスづくり  
・猪名川をよく知り、よく学び、  
身近にふれあう川とするために！  
・猪名川の水環境改善に係る活動報告
- パネルディスカッション
  - ・竹門准教授(コーディネータ)
  - ・底のみえる水辺研究会
  - ・猪名川・神崎川水質研究グループ
  - ・猪名川河川レンジャー
  - ・猪名川河川事務所長
- 水環境パネル展を同時開催



竹門先生による  
基調講演



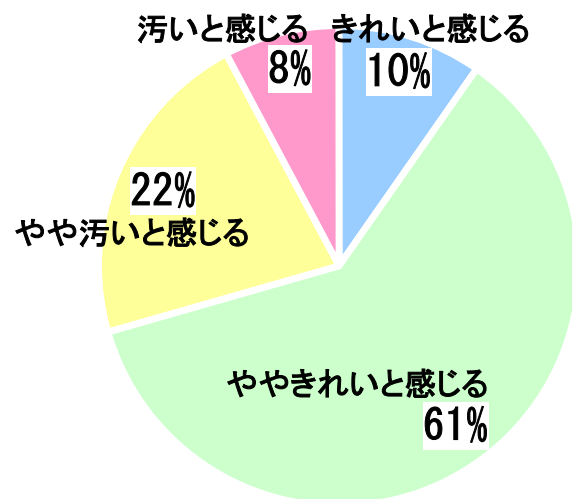
活動報告



パネル  
ディスカッション

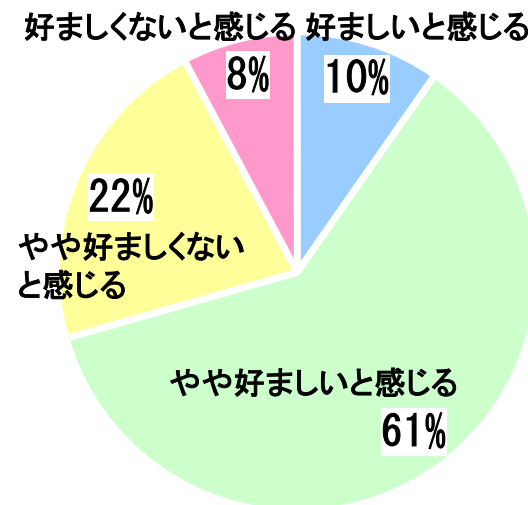
# 猪名川水環境シンポジウム2011 参加者アンケート

Q1.現状の猪名川の水質は、どのように感じますか？



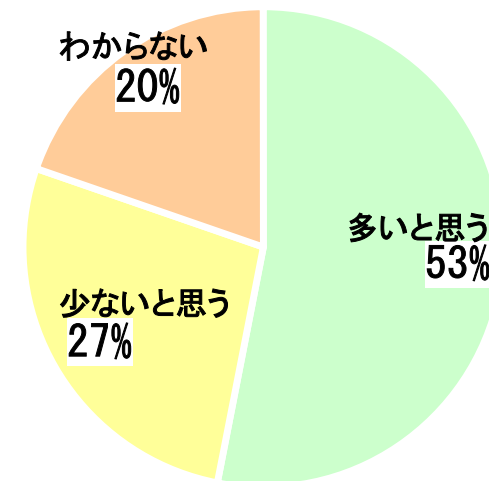
- ◆きれい、ややきれいと感じる理由
  - 生き物がたくさんいる
  - 川に入って遊ぶことができる
- ◆汚い、やや汚いと感じる理由
  - 生き物が少ない
  - 河原にゴミ等が散らかっている

Q2.現状の猪名川の景観は、どのように感じますか？



- ◆好ましい、やや好ましいと感じる理由
  - 周りに山や川が見える
  - 川に自然(草木)が多い、緑が多い
- ◆好ましくない、やや好ましくないと感じる理由
  - 砂や石の河原が少なく自然な感じがしない
  - 河川敷がグラウンドなどに整備されている

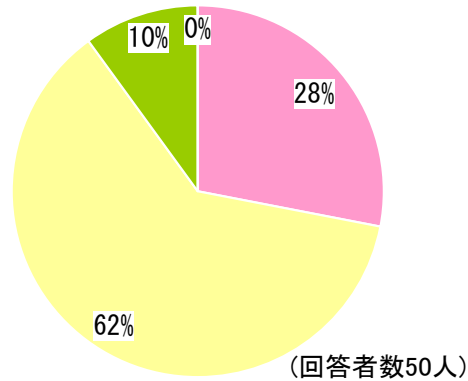
Q3.現状の猪名川の生き物は多いと思いますか？



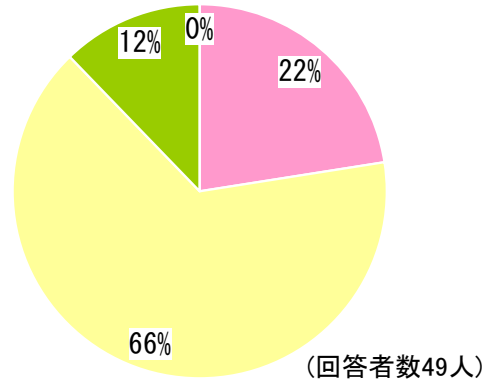
- ◆多いと思う理由
  - 観察会や生物調査で確認したことがある
  - 自然が多くイメージ的に生き物が多くいそう
- ◆少ないと思う理由
  - 自然が少なくイメージ的に生き物が少なそう
  - 観察会や生物調査で確認したことがある

# 猪名川水環境シンポジウム2011 参加者アンケート

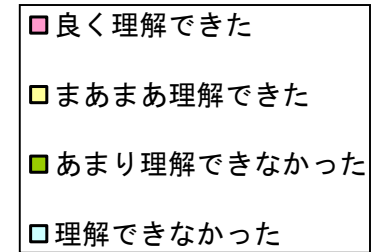
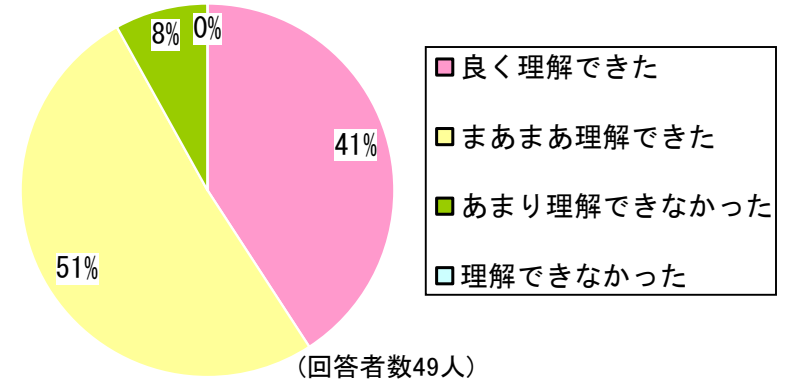
Q4.猪名川の水環境の現状が理解できたか



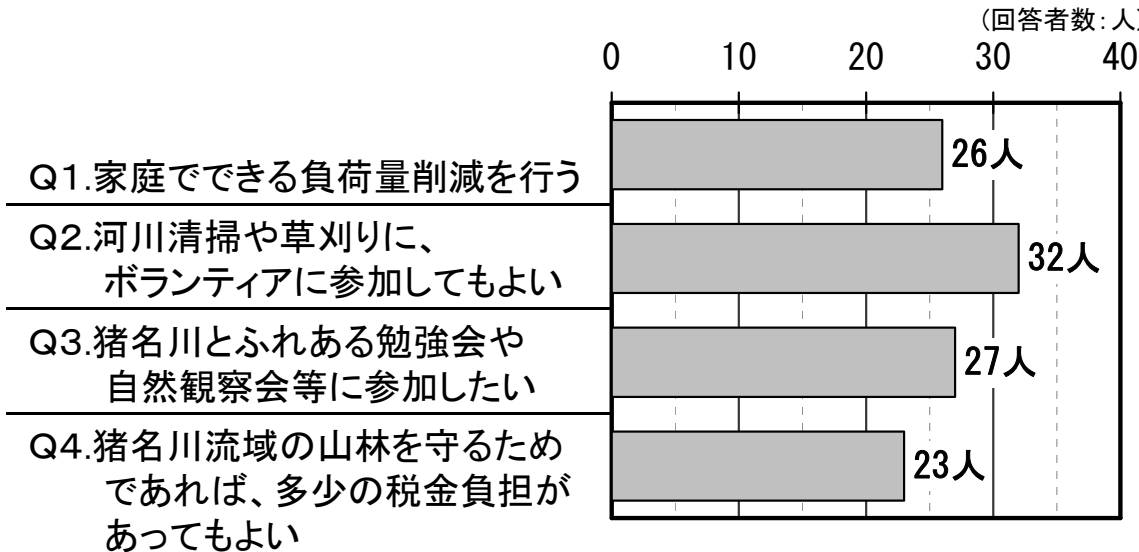
Q5.生物や人の感覚を指標によって表すことができることについて



Q6.良い水環境の実現に向けた取り組みが行われていることについて



パネルディスカッションでは、参加者の意見を討議の参考とするため、討議の途中で4つの質問について、サインボードによる意見聴取を行った。



サインボードによる参加者意見の聴取の様子

# 猪名川水環境シンポジウム2012 開催概要

= 平成24年のプログラム =

【平成24年12月8日開催】

『猪名川をよく知り、よく学び、  
身近にふれあう川とするために』

➤ 基調講演 「川と人を繋ぐ活動を通じて」

ねや川水辺クラブ企画委員長 上田 豪 氏

➤ 活動報告

- ・自然と文化の森協会の活動報告  
(自然と文化の森協会)
- ・一庫ダムの水環境に関する取り組み  
(独)水資源機構一庫ダム管理所)
- ・環境体験「猪名川たんけん」活動報告  
(市立川西小学校3年生)
- ・「INAGAWA自然体験ランド」に参加して  
(市立川西小学校5年生)
- ・猪名川分科会の取り組み (猪名川分科会事務局)
- ・猪名川の魅力 (池田・人と自然の会)

➤ 水環境パネル展を同時開催



基調講演



活動報告



会場風景

# 猪名川水質一斉調査の概要

猪名川に直接ふれて水環境を実感してもらうとともに、流域全体の結果を分かりやすく整理し、猪名川の水環境の状況を知ってもらうことを目的として、平成23年度より実施。

## 【平成23年度の実施概要】

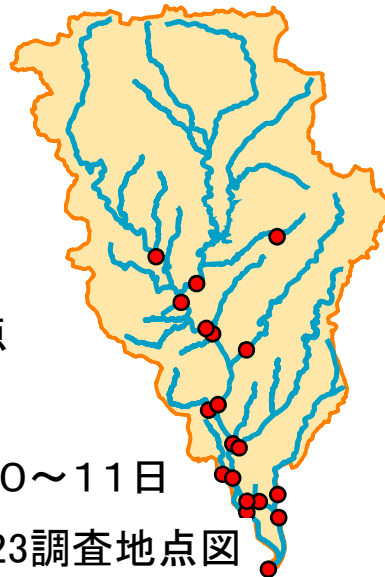
参加団体数 8団体

調査地点 19地点

(猪名川本川・藻川:7地点  
支川:12地点)

実施日:平成23年12月10～11日

H23調査地点図



## 【平成24年度の実施概要】

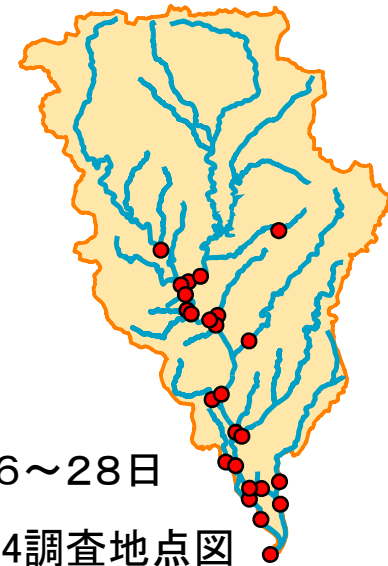
参加団体数 13団体

調査地点 25地点

(猪名川本川・藻川:8地点  
支川:17地点)

実施日:平成24年10月26～28日

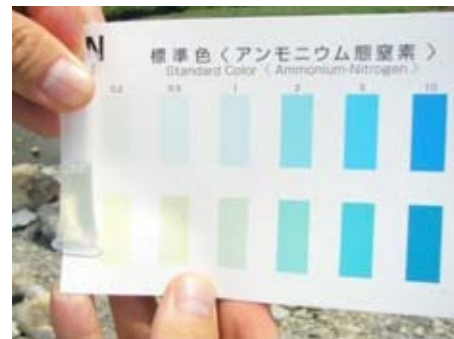
H24調査地点図



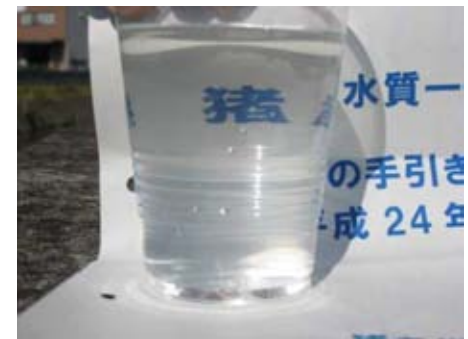
調査風景(平成23年度)



調査風景(平成24年度)



川の水の簡易水質調査



水の濁り、色の調査

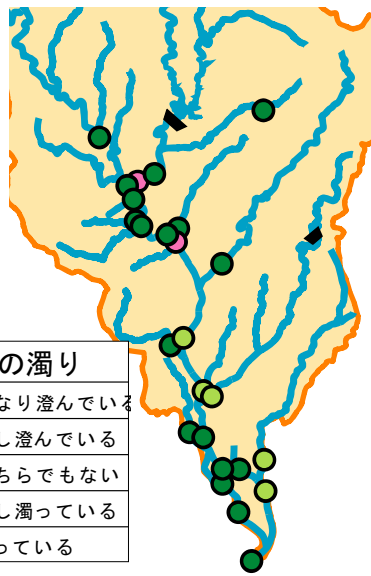
# 猪名川水質一斉調査の結果(水の濁り、におい)

## 【調査項目】(平成24年度)

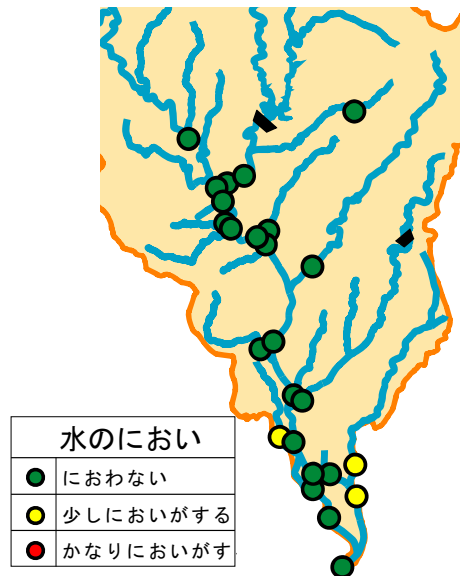
天候、気温・水温、ごみの状況、水の濁り・におい・色、川底の状態、簡易水質試験(COD、アンモニア性窒素、pH)、川の状況の写真撮影

## 【水の濁り、水の色調査結果】

- ・水の濁りでは、矢問川など支川の一部で少し濁っていたが、他は概ね澄んだ状態であった。
- ・水のにおいでは、利倉や支川の一部で少しにおいが感じられたが、その他の地点ではにおいはほとんどなかった。



水の濁りの調査結果



水のにおいの調査結果



利倉地点の  
水の濁りの様子

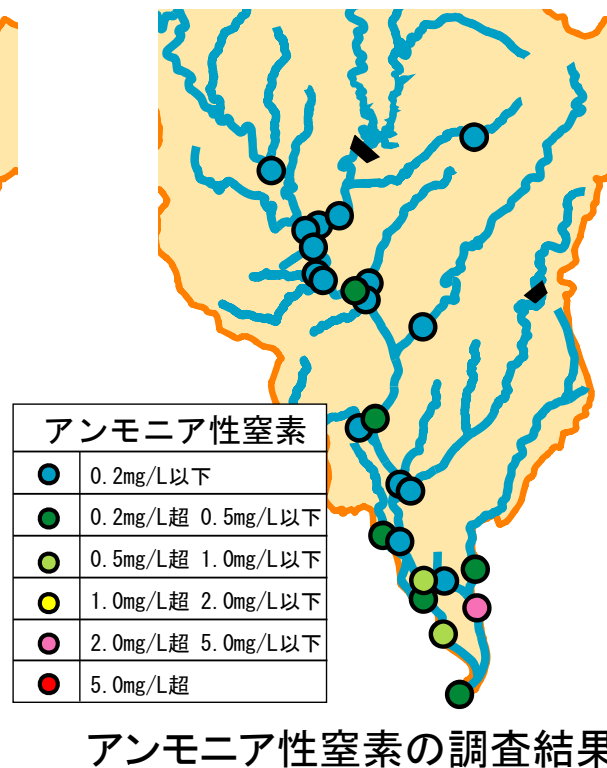
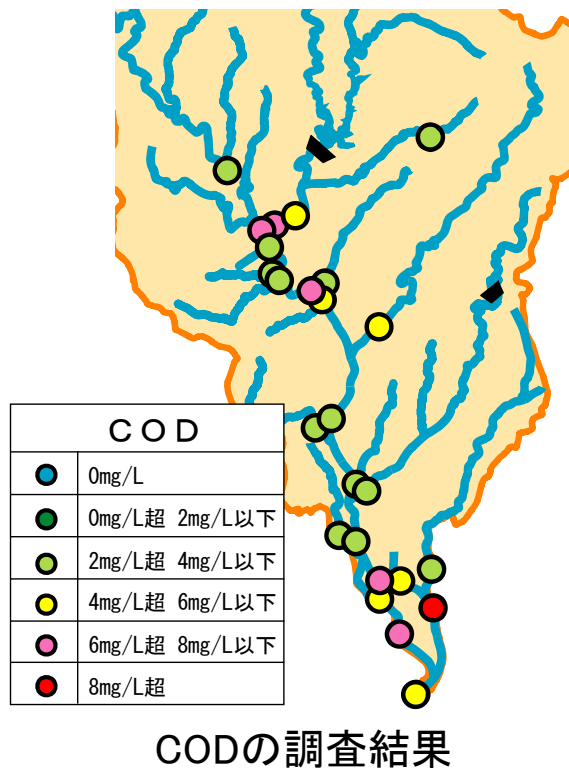


矢問川の  
水の濁りの様子

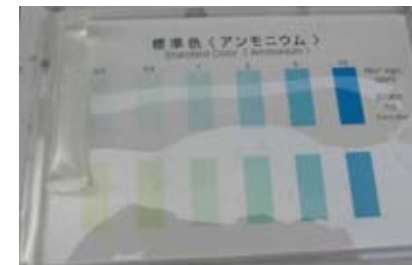
# 猪名川水質一斉調査の結果(簡易水質試験)

## 【簡易水質試験(COD、アンモニア性窒素)の調査結果】

- ・CODでは、8mg/Lを超えていたのは、利倉のみであった。6mg/Lを超えていたのは、猪名川橋、こんにやく橋、ゴルフ橋、宮園橋、一庫大路次川最下流の5地点であった。
- ・アンモニア性窒素は、利倉で2mg/Lを超えており、猪名川橋、宮園橋で0.5mg/Lを超えていた。他の地点は0.5mg/L以下で、下流で高い傾向であった。



CODの調査



アンモニア性窒素の調査

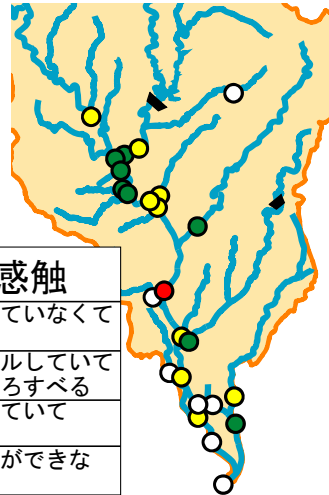
(初谷川 奥橋地点)

# 猪名川水質一斉調査の結果(川底の感触、水環境マップ)

## 【川底の感触の調査結果】

- ・池田床固工でヌルヌルしていた。
- ・少しヌルヌルしている地点もみられた。

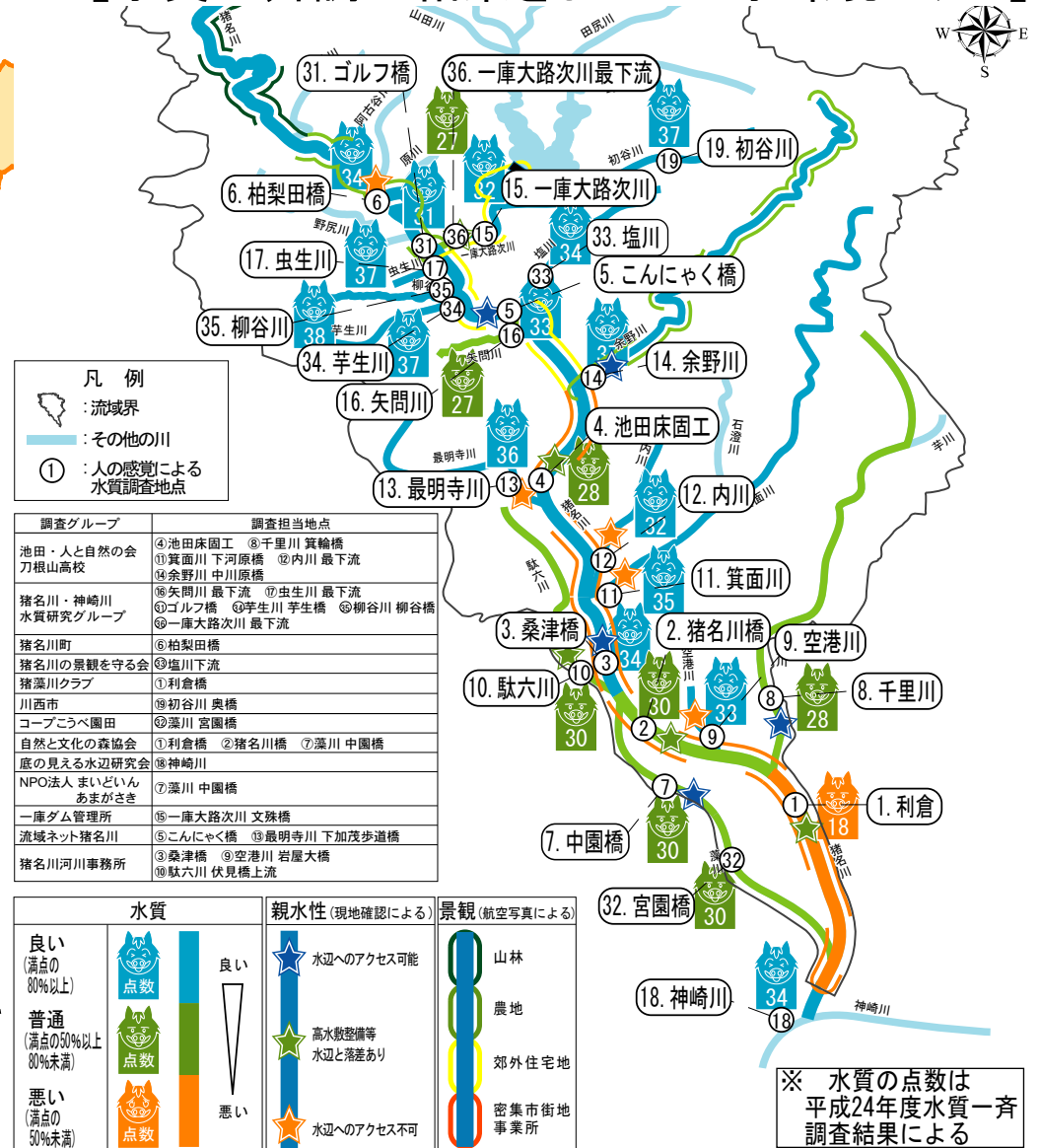
川底の感触	
●	ヌルヌルしていません
●	少しヌルヌルしてるところ
●	ヌルヌルしてよくすべる
○	調べることができなかった



## 【水環境マップ】

- ・水環境マップは、水質一斉調査の結果から、各地点の水環境の状況を、「良い」「普通」「悪い」の3段階で評価し、色で区別したものです。
- ・水辺への近づきやすさや周辺の風景の状況なども、一緒に表しています。

## 【水質一斉調査結果をまとめた水環境マップ】



## 猪名川水環境パネル展

より良い猪名川の水環境の実現をめざした取り組みの情報提供と広報PRの目的で、平成24年度から広報強化期間の設定とともに、本格的に実施。

今年度は広報強化期間を10月とし、この間に5市町で開催しました。

【平成22年度】

- 猪名川水環境シンポジウムと同時開催

【平成23年度】

- 猪名川水環境シンポジウム2011と同時開催

【平成24年度】

- 流域市町の公共施設で開催
- 開催場所 尼崎市役所ロビー  
猪名川町役場ロビー  
宝塚市役所市民ホール  
豊能町立図書館  
川西市役所ロビー



尼崎市役所



川西市役所



猪名川町役場

平成24年度猪名川水環境パネル展の様子

# 猪名川分科会広報チラシ

猪名川分科会の取り組み結果や今後の予定を広報PRを行う目的で、平成24年度に作成。水環境パネル展開催時等に配布。

**水環境に関する** わたしたちの身近な川 猪名川  
**猪名川分科会の取り組み**

猪名川分科会では、美しい、魅力いっぱいの猪名川を実現するため、住民の皆様と一緒に様々な取り組みを始めたいです。美しい猪名川、遊びたい猪名川を未来の子ども達に残すため活動に参加してませんか。

●猪名川分科会は・・・  
 猪名川流域の総合的な水環境のシステム構築をめざし、流域の河川管理者、自治体及び住民、市民団体などが連携して活動することを目的として平成22年度に設立され、水環境に関する取り組みを行っています。

**わたしたちの猪名川の未来のすがた**  
 ～川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ～

**猪名川の水質について住民はどう思っているの？**

高度の時代(2000年平成12年度) 住民が感じる水質

猪名川流域の目指す将来像を実現するため、三つの基本目標を掲げ、住民と行政が協力し、水質管理に取り組みしていく必要があります。

**基本目標**

1. 水遊びができる水質にしよう  
 きれいな水で生き物がたくさんいる猪名川
2. 人が集まる水辺にしよう  
 ゴミのない猪名川
3. 猪名川を学ぼう  
 猪名川を学べる場をつくる

**取り組み1 水質一斉調査**

住民の皆様は、猪名川や支流で、水の色、臭い、濁り、水温など様々な水質調査を行っています。また、猪名川の「健康診断」を行っています。多くの場所で行うことで、猪名川の水質の現状を把握に役立ちます。

**取り組み2 水環境シンポジウム**

猪名川の水環境の現状の把握、川で活動されている住民などによる取り組みの報告や紹介を行い、参加された方からも、意見をいただき、魅力ある猪名川づくりのための取り組みを、一緒に考えます。

猪名川分科会事務局 国上町猪名 猪名川分科会事務局 国上町猪名  
 〒463-0277 本郷西町4-1-20-203 TEL:072-751-1988 FAX:072-753-8472 E-Mail:inagawa-water@kkr.mlit.go.jp

**取り組み3 パネル展示**

猪名川の水環境情報や、住民や小学生が学んだ生き物観察など、猪名川の水環境についてのパネルを展示しています。また、猪名川で活動されている住民などによる取り組みの紹介など、猪名川の楽しさや魅力が伝わってくる写真などもあります。

**取り組み4 水環境マップを作成**

住民の皆様が行っていた「水質一斉調査」から、猪名川の水環境の状況を把握しました。調査の結果に基づいて水のきれいさ(汚濁)を示しています。

**凡例**

- 川域内
- その他の川
- 人の感覚による水質調査地点

**水質**

良い (濁り0.00以下)  
 普通 (濁り0.00以上0.20未満)  
 悪い (濁り0.20以上)

**観水性 (透明度による)**

水辺へのアクセス可能  
 水質調査場所  
 水辺へのアクセス不可

**汚濁 (汚濁度による)**

汚濁  
 汚濁度低  
 汚濁度高

とっても分かりやすいね!

それぞれの取り組みについて、詳しくは猪名川分科会のホームページをご覧ください。

猪名川分科会     
[http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/busi/information/water\\_pollution/index.html](http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/busi/information/water_pollution/index.html)

猪名川河川事務所     
<http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/index.php>

猪名川分科会事務局 国上町猪名 猪名川分科会事務局 国上町猪名  
 〒463-0277 本郷西町4-1-20-203 TEL:072-751-1988 FAX:072-753-8472 E-Mail:inagawa-water@kkr.mlit.go.jp

## 猪名川の愛護セミナーの概要

猪名川を見て、ふれて、感じることで、猪名川を学ぶ取り組みです。

こんにやく橋、池田床固下流、桑津橋の3地点で、生き物(水生生物)を採取して種類や数によって猪名川の水質状態を調べます。

昭和62年度から、毎年7月下旬の日曜日に開催しており、今年で26回目です。流域内の小学生など、毎回150名程度が参加しています。



注)猪名川の愛護セミナーは、猪名川河川事務所の主催です。

## 猪名川の愛護セミナーの様子

猪名川の愛護セミナーでは、「水の中の生き物調査」の他に、「私たちのくらしと水のクイズ」、「簡易水質調査」、「人の感覚による水質調査」なども行っています。



「私たちのくらしと  
水のクイズ」



「簡易水質調査」



「人の感覚による  
水質調査」



「水の中の生き物調査」



見つけた生き物調べ



先生による説明

# 猪名川の愛護セミナーで見つかった生き物

## <きれいな水の主な生き物>



オオヤマカワゲラ



ヒゲナガカワトビケラ

## <ややきれいな水の主な生き物>



コオニヤンマの幼虫



ヒラタドロムシの幼虫

## <汚い水の主な生き物>



ヒルの仲間



サカマキガイ

## 水生生物調査の結果(平成22~24年)

水質 ラン ク	調査場所 調査年	こんにやく橋			池田床固下流			桑津橋		
		H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24
	COD(パックテスト)	4	2	2	4	4	4	6	4	2
I きれいな水	ウズムシ類							○	ヒラタカゲロウ類は上流のこんにやく橋では見つかっていない	
	サワガニ		○	○						
	ヒラタカゲロウ類				○	○	○	○	○	○
	カワゲラ類		○				●			
	ナガレトビケラ類	○	○		●	○			○	
	ヤマトビケラ類	○								
	ブユ類		○							
カワトビケラ類		●			●			○		
II ややきれいな水	カワニナ類	●	○	○						○
	コオニヤンマ	○	●	●	○	○	●	○	●	●
	コガタシマトビケラ類	○	○	●	○		○	○		●
	オオシマトビケラ	○	○	○		○	○		○	
水	ヒラタドロムシ類	●	●	●	●	●	●	○	○	○
III 汚い水	ヒル類	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ミズムシ							○	○	
	ミズカマキリ							○	○	
IV 大変汚い水	サカマキガイ		○					汚い水にすむミズムシやミズカマキリはH24は見つかっていない		
	エラミズ類	○		○						
	アメリカザリガニ	大変汚い水にすむサカマキガイやエラミズが見つかっている								○
	ユスリカ類						○			

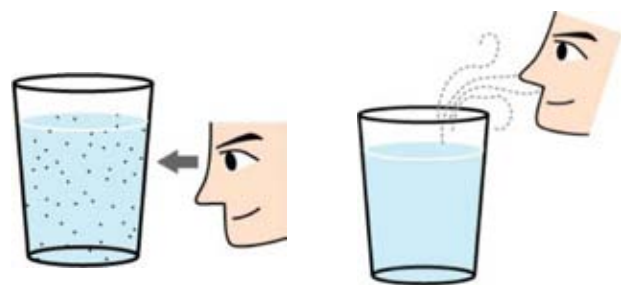
○:見つかった生き物、●:たくさん見つかった生き物

# 猪名川の愛護セミナー 人の感覚による水質調査

猪名川の愛護セミナーでは、平成22年度から、川の水質の状態を、水のおいしさ、色、濁りや川底の感触などの人の感覚によって、調べています。

平成23年度に池田床固下流と桑津橋で水の濁りとおいしさの結果が悪くなりました。

総合評価は、調査を行った3地点とも、『川の中に入って遊びやすい』レベルの水質でした。



水の濁りのチェックの方法

水のおいしさのチェックの方法

## << 水の濁り >>

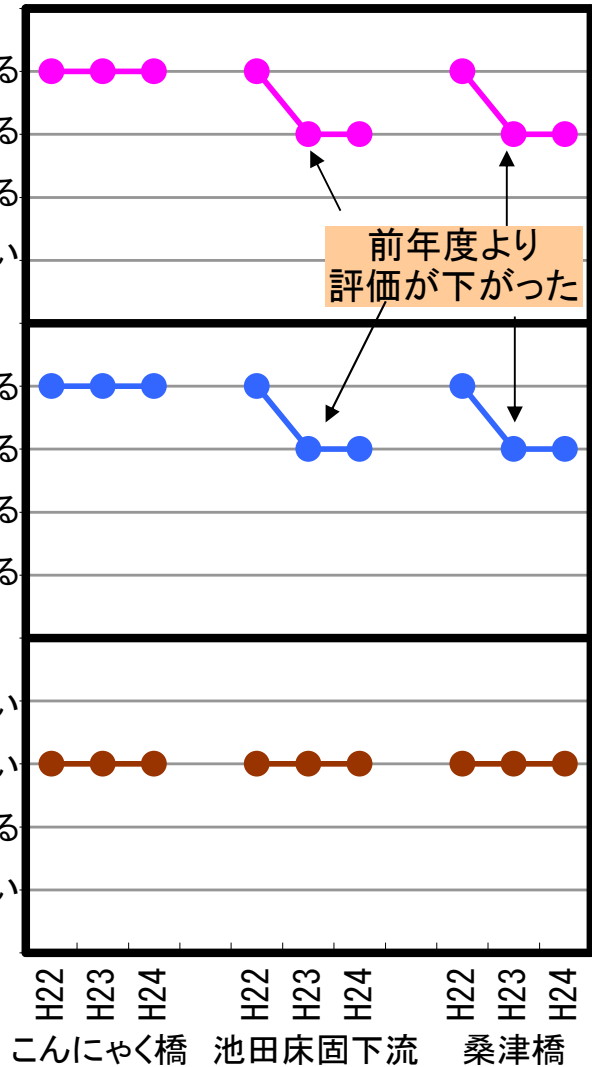
濁りはなく透き通っている  
 少し濁っているが川底は見える  
 濁っていて川底がやっと見える  
 かなり濁っていて川底が見えない

## << 水のおいしさ >>

においはしない、心地よいにおいがする  
 少しにおいがする  
 不快な(いやな)においがする  
 とても不快な(いやな)においがする

## << 総合評価 >>

顔を川の水につけやすい  
 川の中に入って遊びやすい  
 川には入れないが近づくことができる  
 川に魅力がなく、近づきにくい



人の感覚による水質調査の結果

## 第15回 琵琶湖・淀川流域ミュージアム連携会議 開催報告

### ■概 要

- ◆日 時：平成24年9月19日（水）14：00～16：00
- ◆場 所：津波・高潮ステーション（大阪府西大阪治水事務所）
- ◆参加者：13名
- ◆内 容：最近の連携会議の活動を振り返り確認をした。また、BYスタンプラリーの企画運営状況、BY展等の実施結果、現在、検討を進めている連携企画の検討状況、各案内所相互の情報発信などについて、意見交換を行った。その後、津波・高潮ステーションの見学を行った。

### ◆結 果

#### （1）今年度の活動結果について

庶務より、以下の内容について報告があり確認された。

- ①流域ミュージアム連携会議の活動概要
- ②第15回琵琶湖・淀川流域ミュージアム連携会議の開催結果
- ③第3回連携企画検討チーム会議の開催結果
- ④BY展における情報発信

#### （2）流域ミュージアム連携企画について

##### ①BYスタンプラリー [ミュージアム編] について

- ・平成23年度のスタンプラリーの運営状況として、マップの配布状況、認定者数の推移を確認した。各案内所の状況としては、マップを持っていく人は多い。
- ・各施設のイベントでスタンプラリーマップを配付してほしい。
- ・周知する方法として、HP等を使用する方法を事務局で検討する。

##### ②連携企画の検討状況について

- ・クイズの内容が難しい。問題数が多い。
- ・ご当地検定として滋賀県は琵琶湖検定を行っているが、受検者数が激減している。せっかく努力してクイズを作成しても仕組みをよく考える必要がある。
- ・各施設における苦慮している点として、諸般の事情により来場者数が激減しているところが多い。津波・高潮ステーションの来場者数は東日本大震災以降2倍程度に増えている。また建物の老朽化により維持管理において苦慮している。

#### （3）情報発信ツールについて

庶務より、各施設のHPにバナーでリンクしていただければ非常にありがたいということ、また整備局へのリンクだけではなく協議会の名前で直接リンクしていただきたいということをお願いした。

▼▼▼ 以 上 ▼▼▼

## 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

### 琵琶湖・淀川流域ミュージアム連携会議 第3回 連携企画検討チーム会議 議事メモ

日 時：平成24年5月22日（火）14:00～16:00

場 所：淀川資料館（淀川河川事務所）

参加者：9名

#### 1. 流域ミュージアム連携企画について

これまでに各案内所から提案のあった個々の連携企画に関して、企画の内容や運用方法、今後どのように検討を進めていくのかについて議論した。

##### ◆BYスタンプラリー [ミュージアム編]

- 中級、上級の達成者に対して記念として写真撮影を行い盛りあげる。これについて次回のミュージアム連携会議（7月開催予定）において議題とする。
- 全施設のスタンプが押されたイメージを持って貰うため、事務局から順に案内所ごとに回していただいて、完成版を作成し、全施設に掲示する。
- ピンバッジとはどんなものなのか写真等を展示しアピールとして利用できないかという意見があった。庶務にて対応する。

##### ◆琵琶湖・淀川検定（仮称）

- ホームページでクイズをダウンロードしたり、各施設にクイズを置いたりして、基準点以上の点数を取れば表彰状を送るということで、お金を掛けずに運営することを目指す。手法等については庶務で検討する。

##### 【下水道科学館】

地下1階から6階まで各階にクイズがあり、満点でダーツ券がもらえる。ダーツで景品を渡している。（ルービックキューブ、ペンセット、けん玉、アルミ水筒）。景品付で好評。

##### 【水生生物センター】

交野市で淡水魚クイズを行った。また7月の淀川クリーンアップ作戦で淀川水生生物のクイズを行って景品を渡した。景品付で好評。

##### ◆上下流リレーイベント

- 去年度の集計したイベントデータを更新していただくようなメールを送付し、回答してもらおう。それを利用して貰いリレーイベントが出来るか今後提案する。

##### ◆流域ミュージアムリレーウォーク

- 下水道科学館と水道記念館は、元々、リレーウォークのような企画を行っていた。今は水道記念館が休止中であることで途絶えている。
- 上記のような企画を考え、近郊のミュージアム同士で連携できないかを次回のミュージアム会議で提案する。

##### ◆情報共有による各案内所間の相互連携

- 次回のミュージアム連携会議（7月開催予定）において、パンフ等の一斉配布できるように段取りを行う。そのためにパンフ等の必要部数をメールにて確認し、各案内所にフィードバックする。

## 2. BY展における連携企画の実施について

協議会で開催するBY展において、各案内所が何らかの形で連携しながら、情報発信や企画展示などに取り組めないか議論した。

- 今回の「はちけんや」での連携企画として出前講座や工作、水槽持ち込みなどは馴染みにくい。
- パネル、はく製、標本など持ち込みをお願いします。そのために展示物のデータを更新できるようなメールを送付する。
- BY展を告知するようなポスターを各施設に配らせていただく。ご協力をお願いします。

### 【水生生物センター】

ターゲットがしぼりづらい、今回のコンセプトは協議会全体についての情報発信であれば、施設マップを出すなどでPRできるのでは。

以 上

# 琵琶湖・淀川流域ミュージアム連携会議の活動概要

## 1. 琵琶湖・淀川流域ミュージアム連携会議とは

「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」（平成 17 年 3 月策定）では、『琵琶湖・淀川そのものを「流域ミュージアム」とし、水にかかわる自然、歴史、文化等について、学習・体験するなかで、水と人とのつながりを再認識できるよう、情報発信や施設整備を行う。』としています。

流域ミュージアム案内所は、この琵琶湖・淀川流域圏をひとつとしてとらえ、流域のあるがままの姿を“生きた博物館”と見立てる「流域ミュージアム」の理念に賛同し、その拠点としてお互いに連携しながら様々な情報発信に取り組んでいます。

## 2. 構成メンバー（平成 24 年 12 月現在）

下水道科学館、津波・高潮ステーション、水道記念館、大阪府環境農林水産総合研究所「大阪府環境情報プラザ」、大阪府環境農林水産総合研究所「水生生物センター」、大阪広域水道企業団 庭窪浄水場、淀川河川公園（守口サービスセンター、鳥飼サービスセンター、太間サービスセンター）、淀川資料館、三栖閘門資料館、琵琶湖疏水記念館、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、水のめぐみ館 アクア琵琶、滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀県立朽木いきものふれあいの里センター、独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所・木津川ダム総合管理所・日吉ダム管理所・一庫ダム管理所  
（庶務） 近畿地方整備局 企画部 広域計画課

## 3. 平成 24 年度の活動内容

- ◆ 5 月 22 日（火） 第 3 回 連携企画検討チーム会議
  - ・今年度の連携企画内容の確認
  - ・BY 展について
- ◆ 5 月 29 日（火） パンフレット合同配布部数、イベント・展示物・出前講座調べ
  - ・情報発信協力のための調査依頼
- ◆ 7 月 28 日（土） BY 展を実施
  - ～ 7 月 29 日（日） ・パネル展示、剥製展示およびタネ配布による PR
- ◆ 9 月 19 日（水） 第 15 回 琵琶湖・淀川流域ミュージアム連携会議
  - ・BY スタンプラリー [ミュージアム編] 運営状況について
  - ・連携企画の検討について
- ◆ 12 月 フェイスブックを使用した連携ミュージアムの情報発信を開始

## 4. 今後の予定

引き続き、各ミュージアム案内所において連携した情報発信を行うとともに、琵琶湖・淀川流域ミュージアムの連携企画として、BY スタンプラリー [ミュージアム編] を実施する。また連携ミュージアムへの人の関心を高めるために SNS を活用した情報発信を行う。

# 流域ミュージアム連携企画

## BYスタンプラリー[ミュージアム編]

### 【企画実施概要】

流域ミュージアム連携会議では、より多くの方に各ミュージアム案内所を訪れていただき、水に関する様々な情報を知っていただくことを目的に、BYスタンプラリーと連携して、各案内所を巡りスタンプを集める[ミュージアム編]を平成23年6月1日よりスタートしました。



BYスタンプラリー[ミュージアム編]マップ

## BYスタンプラリー [ミュージアム編]

**BYスタンプラリーとは**  
水質改善活動などに取り組んでいるNPOや市民団体の活動に参加して、スタンプを集め、記念品をもらう新しいタイプのスタンプラリーです。琵琶湖・淀川が大好きな人であれば、誰でも参加できます。  
【ミュージアム編】  
琵琶湖・淀川流域で水に関する情報を発信している協賛施設を巡り、BYスタンプを集めましょう！  
集めたスタンプの数に応じて、初級、中級や上級の認定を受け、記念品を買うことができます。

**さぁ みんなでミュージアム案内所をどんどん巡ってスタンプを集めよう！**

### STEP1(初級編) まずは初級にチャレンジ！BYスタンプを2つ集めよう。

1. 初級編には初級ハガキとミュージアム編マップが必要だよ  
スタンプラリーの協賛施設で手に入れることができるよ！
2. 初級編とミュージアム編マップのスタンプ欄にBYスタンプを2つ集めてお  
その施設のBYスタンプでもOK！ミュージアム編マップは正しい順にスタンプを押してね！
3. BYスタンプが2つ集まったら初級編の  
ほかの部分も合わせて応募しよう！  
ハガキには必要事項を必ず記入してね！
4. BYスタンプが正しく集められていたら初級クリア！  
中級チャレンジ用のハガキと記念品の  
初級ピンバッジが送られてくるよ！

### STEP2(中級編) つぎは中級にチャレンジ！BYスタンプを12つ集めよう。

1. 中級編には中級ハガキとミュージアム編マップが必要だよ  
ミュージアム編マップは、初級編でBYスタンプを押したものを使ってね！
2. ミュージアム編マップのBYスタンプを12つ集めてお  
その施設のBYスタンプでもOK！同じ施設のスタンプを何回も押さないでね！  
【注意】  
協賛施設ごとにBYスタンプは異なるので間違えないようにして、貼られている施設欄にスタンプを押してね！
3. BYスタンプが12つ集まったら、その施設で中級ハガキと  
ミュージアム編マップに協賛印を押し、中級ハガキを  
スタンプラリー事務局まで送ってね！
4. 認定印の押された中級ハガキが  
BYスタンプラリー事務局に届くと中級クリア！  
上級チャレンジ用のハガキと記念品の  
中級ピンバッジが送られてくるよ！

### STEP3(上級編) 最後は上級にチャレンジ！BYスタンプを全て集めてミュージアム編を完全制覇しよう。

1. 中級編には中級ハガキとミュージアム編マップが必要だよ  
ミュージアム編マップは、中級編までBYスタンプを集めたものを使ってね！
2. ミュージアム編マップに全ての施設のBYスタンプを押して集めてお  
施設名を確認して間違えずにスタンプしてね！  
【注意】  
協賛施設ごとにBYスタンプは異なるので間違えないようにして、貼られている施設欄にスタンプを押してね！
3. BYスタンプが全て集まったら、その施設で上級ハガキと  
ミュージアム編マップに協賛印を押し、上級ハガキを  
スタンプラリー事務局まで送ってね！
4. 認定印の押された上級ハガキが  
BYスタンプラリー事務局に届くと上級クリア！  
ミュージアム編の完全制覇で！！  
チャレンジステージに挑戦できるハガキと  
記念品の上級ピンバッジが送られてくるよ！  
【注意】  
上級ハガキを送る際は、中級編のスタンプを集めた  
チャレンジコースに送ってね！

## 見本スタンプ



## 【企画実施状況】

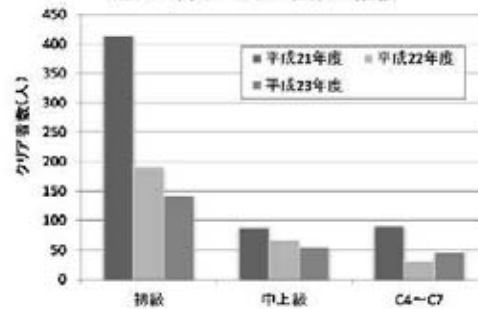
企画の内容から実際にどの程度の参加者があるのか把握は困難であるが、参考にスタン初級、中級、上級認定の推移は以下のとおりである。またBYスタンプラリー (BYQ) のクリア者数の推移をグラフ化しています。

### BYスタンプラリー参加者数

2011年4月から2012年3月31日までの参加者数

	クリア者数	うちミュージアム編 (施設2つ:52件)
初級	143名	
中級	30名	10名
上級	25名	8名
チャレンジ4	10名	
チャレンジ5	12名	
チャレンジ6	13名	
チャレンジ7	11名	
クリア数(のべ)	244名	

### 過去3年間のクリア者数の推移



### BYスタンプラリー景品の推移

○初級～上級は各級クリアごとにピンバッジプレゼント

○ピンバッジ以外の景品は下表のとおり

	初級	中級	上級	C4	C5	C6	C7
平成22年度	なし	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円※
平成23年度	なし	図書500円	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円	図書1,000円※
平成24年度	なし	図書500円	図書1,000円	なし	なし	なし	図書3,000円

※太字の図書カードはオリジナル図書カードを使用 (@1,400円)、H24年度のC7は未定

※C7では図書カードのほかに記念品(クリスタルキューブなど)もプレゼント

## 景品のピンバッジ



### 今後の予定

引き続き、連携してBYスタンプラリー[ミュージアム編]を継続実施する。また参加者が減少してきていることを踏まえ、ホームページやSNSを活用したBYスタンプラリーの関心を高める方法を検討・実施する。

# 流域ミュージアム連携企画

## 「琵琶湖・淀川検定(仮称)」および SNS(facebook)について

琵琶湖・淀川検定(仮称)は、琵琶湖・淀川流域の住民を対象として、流域各地の流域ミュージアムのことを知ってもらい、これを通じて琵琶湖・淀川流域圏再生計画についても、流域住民の理解を深めることを目的とする。

### ▶琵琶湖・淀川検定(仮称)

流域ミュージアムを知ってもらう方策とし以下のようなクイズを出題して、琵琶湖・淀川流域に関する知識を認定する「琵琶湖・淀川検定(仮称)」を検討した。

問題番号	問題	回答	問題番号	問題	回答
1	家庭でもっとも多く水を使うのはどれでしょう? ①洗濯 ②トイレ ③炊事	③	11	第2芦台風はいつ大阪に接近した? ①昭和9年9月21日 ②昭和25年9月9日 ③昭和33年9月28日 ④昭和36年9月18日	④
2	下水処理場で生物反応槽で、下水の中の汚れを食べて、よごれた水をきれいにするために活躍している生き物はどれでしょう? ①金魚 ②微生物 ③ミズ	②	12	淀川の川岸にある池のような「わんど」はどのように出来たのでしょうか? ①大きな船を運ぶために作った工夫が実用化された ②大きな船を運ぶために作った工夫が実用化できなかった ③川の底の泥物を掃きためた穴を繋いだりして	③
3	川や海が少しずつきれいになってきました。その原因として、もっとも適切なものはどれでしょう? ①下水道の整備が進んだ ②湧き水が増えた ③自然にきれいになった	①	13	びわ湖・淀川水系で特に大切にされている(天然記念物に指定されている)魚は次の組み合わせのうちどれでしょう? ①イタセンパラ・アユモドキ ②ブルーギル・ブラックバス ③オイカワ・ギンナギ ④タイクハバラタナゴ・セドジョウ	①
4	下水処理水をさらにきれいにした「高度処理水」はトイレの洗浄水やせせらぎの水溜などに再利用されています。ほかにもどのようなものに使われているのでしょうか? ①プールの水 ②飲料水 ③電車の洗車	③	14	びわ湖・淀川水系にすむ魚は約何種類いるのでしょうか? ①37種 ②87種 ③127種 ④227種	③
5	水道・下水道の使用料金について、正しいものはどれでしょう? ①水道も下水道も無料 ②水道は有料だが下水道は無料 ③水道も下水道も有料	③	15	びわ湖や淀川の水は最後はどこに流れていくのでしょうか? ①大阪湾 ②駿河湾 ③伊勢湾 ④若狭湾	①
6	大阪で台風などで浸水が心配される時、防潮扉を閉鎖するのは誰でしょう? ①警察官 ②消防団 ③水防団 ④自衛隊	③	16	びわ湖から流れてくる水を生活に使っている人は近畿地方で何人くらいいるのでしょうか? ①約140万人 ②約1000万人 ③約1400万人 ④約2400万人	③
7	毛馬排水機場の排水能力は ①330m <sup>3</sup> /秒 ②330m <sup>3</sup> /分 ③1000m <sup>3</sup> /分 ④50m <sup>3</sup> /秒	①	17	琵琶湖の最南端(アケア琵琶村付近)からここ大阪府環境情報プラザまで、川をたどっていくと約何キロメートルあるのでしょうか? ①約130km ②約100km ③約70km ④約40km	③
8	「津波」は英語で何という? ①big wave ②dynamic wave ③danger wave ④tsunami	④	18	大阪府環境情報プラザは、大阪城をすぐそばに望むところにあります。この大阪城が建てられた安土桃山時代、ここに住んでいたのは誰? ①豊臣秀吉 ②徳川家康 ③織田信長 ④小野妹子	①
9	東南海・南海地震に伴う津波の第1波が大阪市内に到達する時間は? ①約30分 ②約1時間 ③約2時間 ④約3時間	③	19	大阪府環境情報プラザにあるBYスタンプラリーのスタンプキャラクターの名前は? ★「もっど、きと」と、地球に優しい活動をみんなに呼びかけています。 ①キー太とラッキー ②イタちゃんセンちゃんバラちゃん ③モッコちゃんキッコちゃん ④うみまるとローりん	③
10	東南海・南海地震に伴い、大阪府域で想定されている津波の最高波高は? ①約2m ②約3m ③約5m ④約10m	②	20	大阪府環境情報プラザのビオトープ池には淀川産の魚がたくさんいます。その魚の名前は? ①インダイ ②メダカ ③アユモドキ ④イタセンパラ	②



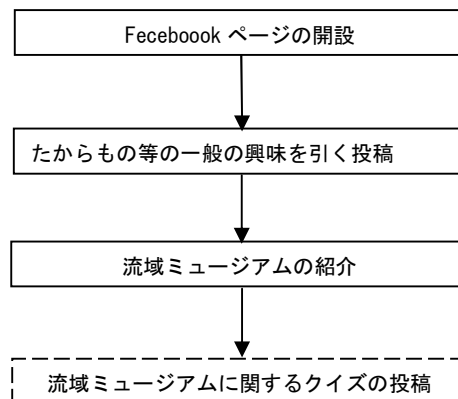
図 琵琶湖・淀川検定(仮称)のクイズの事例と認定書の案

ただし、検定そのものを周知しないと効果を発揮しがたいと判断したため、今年度はまず流域ミュージアムの知名度を高めるための広報を行うこととした。

### ▶SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を用いた広報

広報手法として、情報発信が容易で効果が期待できるSNSを用いることとした。SNSの中ではサービスの知名度や行政での運用実績を考慮してFacebookページを用いることとした。

なお、情報発信自体はFacebookページでの継続的に情報発信をしている琵琶湖河川事務所のウォーターステーション琵琶湖のページで再生計画や流域ミュージアムを紹介する形式で実施した。



ウォーターステーション琵琶での情報発信の様子

<http://www.facebook.com/water.station.biwa/>



12/6日より週2回、投稿することとしており、1回の投稿あたり35～60人の目にふれ、2回の投稿とも記事内で紹介した再生計画のウェブサイトを開覧している。

今後の予定

- ・引く続き、再生推進協議会に関連する魅力的な情報を紹介し連携ミュージアムへの関心を高めるため SNS を活用する。また SNS を活用した連携企画として「琵琶湖・淀川検定（仮名）」の導入について検討する。
- ・より関心を高めるような SNS の運用を模索・検討する。

# 打ち水一斉行動(H24年度) 実施結果表

**■打ち水一斉行動期間** 平成24年7月21日～8月31日  
**■打ち水行動実施数** 61企画 ※その他雨天等で中止した企画数 7企画 [前年度 70企画 ※雨中止8企画]  
**■打ち水一斉行動参加者数** 5,456人 (主催者で把握できていない実施企画分は除く)[前年度4,274人]  
**■打ち水総使用水量** 30,822リットル (主催者で把握できていない実施企画分は除く)[前年度36,684リットル]  
 ※集計は、打ち水一斉行動期間内に実施された打ち水行動のみを行っている

日程	時間	企画名	主催者名	実施場所	参加者数	打ち水量	気温の変化
7月21日(土)	16:00～17:00	小粒な街あそび梅田ゆかたまつり	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、うめきた〔大阪駅北地区〕先行開発区域プロジェクトTMO設立準備委員会、株式会社、大阪市)	大阪ステーションシティ・南ゲート広場		中止	
	16:00～17:00	小粒な街あそび梅田ゆかたまつり	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、うめきた〔大阪駅北地区〕先行開発区域プロジェクトTMO設立準備委員会、株式会社、大阪市)	NU Chayamachi前ストリート		中止	
	16:00～17:00	小粒な街あそび梅田ゆかたまつり	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、うめきた〔大阪駅北地区〕先行開発区域プロジェクトTMO設立準備委員会、株式会社、大阪市)	梅田DTタワー公開空地		中止	
7月22日(日)	16:00～17:00	小粒な街あそび梅田ゆかたまつり	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、うめきた〔大阪駅北地区〕先行開発区域プロジェクトTMO設立準備委員会、株式会社、大阪市)	大阪ステーションシティ・南ゲート広場	300	400リットル	31.9℃→29.8℃(-2.1℃)
	16:00～17:00	小粒な街あそび梅田ゆかたまつり	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、うめきた〔大阪駅北地区〕先行開発区域プロジェクトTMO設立準備委員会、株式会社、大阪市)	NU Chayamachi前ストリート	194	250リットル	31.7℃→29.9℃(-1.8℃)
	16:00～17:00	小粒な街あそび梅田ゆかたまつり	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、うめきた〔大阪駅北地区〕先行開発区域プロジェクトTMO設立準備委員会、株式会社、大阪市)	梅田DTタワー公開空地	128	150リットル	31.6℃→30.4℃(-1.2℃)
7月23日(月)	16:00～16:15	打ち水大作戦in枚方2012	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道	6	400リットル	
7月25日(水)	18:00～18:15	打ち水大作戦	近畿経済産業局 近畿地方整備局 共催	大阪合同庁舎第1号館玄関前	30	200リットル	32.8℃→32.4℃(-0.4℃)
	17:40～	大阪打ち水大作戦2012	大阪府城東区役所	大阪府城東区役所庁舎周辺	30	160リットル	未測定
	16:00～16:15	打ち水大作戦in枚方2012	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道	6	400リットル	
7月27日(金)	11:00～12:00	なんばエコプロジェクト2012	南海電気鉄道(株) 参加団体:戎橋筋商店街振興組合、大阪市(中央区役所・浪速区役所)、クボタ、スイズホテル南海大阪ほか21団体	南海難波駅北側広場	100	300リットル	49℃→42℃ ※気温ではなく地表温度を測定
	17:15～17:45	「Do You Kyoto?」プロジェクト 打ち水大作戦2012	京都市右京区役所地域力推進室	右京区総合庁舎周辺	50	350リットル	37.2℃→35.2℃(-2.0℃)
	17:30～17:45	「DO YOU KYOTO?」プロジェクト打ち水	京都市東山区役所地域力推進室	東山区総合庁舎周辺	20	100リットル	35.3℃→34.1℃(-1.2℃)
7月29日(日)	11:00～12:00	天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所見学ハイク	淀川ダム統合管理事務所	天ヶ瀬ダムダムサイト	30	60リットル	36.5℃→34.5℃(-2.0℃)
	16:00～16:30	打ち水大作戦	琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会	川の駅「はちけんや」	40	200リットル	34.7℃→33.3℃(-1.3℃)
7月30日(月)		西梅田打ち水プロジェクト	西梅田打ち水プロジェクト実行委員会	西梅田		中止	
	15:30～	信濃橋三井ビルディング打ち水	三井不動産株式会社	信濃橋三井ビル周辺	60	1,000リットル	33.6℃→31.6℃(-1.1℃)
	16:00～16:15	打ち水大作戦in枚方2012	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道	6	400リットル	
7月31日(火)	13:30～	中之島三井ビルディング打ち水	三井不動産株式会社	北側エントランス周辺	50	1,000リットル	34.3℃→33.3℃(-1.1℃)
	15:30～	淀屋橋三井ビルディング打ち水	三井不動産株式会社 淀屋橋ODONA 三井住友海上大阪淀屋橋ビル	御堂筋側正面玄関付近	70	1,000リットル	33.3℃→32.2℃(-0.9℃)
	12:30～12:45	打ち水大作戦2012	琵琶湖河川事務所	琵琶湖河川事務所玄関前	30	280リットル	34.3℃→34.0℃(-0.3℃)
8月1日(水)	16:00～16:30	福島区打ち水大作戦	福島区未来わがまち会議	阪神野田駅前	54	1,000リットル	33.5℃→31.5℃(-2.0℃)
	16:00～16:30	すみよしエコフェスタ	すみよし環境区民会議 大阪市住吉区役所	大阪市住吉区役所前(ガレリア)	30	200リットル	未測定
		梅田地区打ち水	梅田地区エリアマネジメント実践連絡会	茶屋町		中止	
	17:15～17:45	先人の知恵を大切に京の絆で涼みましょー！「打ち水大作戦2012」	京都市上下水道局	上下水道局本庁前及び近隣事業者前、きた・みなみセンター各4支所前、ポンプ施設事務所前他5営業所	約100	1000リットル	36.2℃→33.8℃(-2.4℃)
	17:15～18:00	第4回南区「打ち水」大作戦	南区行政推進会議	南区役所庁舎前	約40	200リットル	34℃→32℃(-2.0℃)
	16:00～	打ち水大作戦inあまがさき2012	あまがさき環境オープンカレッジ	橋公園	約50	400ml	気温 34℃→32℃ 地表 46℃→36℃
	16:00～	打ち水行動	此花区まちづくり会議	此花区内各所	1地域約10(全10運合)	-	未測定
16:00～16:15	打ち水大作戦in枚方2012	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道	6	400リットル		
8月2日(木)	17:45～	庁舎周辺美化運動「東淀川区打ち水行動」	東淀川区役所クリーンアップこぶし通りの会(区課長会) 東淀川区役所元氣アップサポーター(職員有志)	大阪市東淀川区役所庁舎周辺地域	50	400リットル	未測定
	17:40～	大阪打ち水大作戦2012	大阪府城東区役所	大阪府城東区役所庁舎周辺	30	160リットル	未測定
	18:00～	西梅田打ち水プロジェクト	西梅田打ち水プロジェクト実行委員会	ブリーゼタワー北側 ハービスPLAZA南側周辺	400	300リットル	31.6℃→30.3℃(-1.3℃)
	17:10～17:30	打ち水	京都市北区役所	北区総合庁舎周辺	25	100リットル	36.5℃→34.5℃(-2.0℃)
	17:00～18:30	十丁暇水路打ち水大作戦	淀川右岸まちづくり協議会	十丁暇水路周辺(茨木市平田台)	200	500リットル	33.5℃→32.5℃(-1.0℃)
	17:30～	打ち水大作戦 in 鶴乃茶屋	鶴乃茶屋倶楽部	茶屋町(網敷神社及びマクドナルド周辺)	20	-	未測定
8月3日(金)	16:00～16:30	クールダウン・枚方～みんなで打ち水大作戦～	枚方市	枚方市駅周辺道路・岡東中央公園内・公園横の緑道	約110	4,660リットル	35.6℃→33.2℃
	15:00～16:00	打ち水大作戦2012	長瀬川水辺環境づくり推進協議会	長瀬川(柏原市)	70	1,000リットル	
8月6日(月)	13:10～13:40	打ち水大作戦2012	木津川上流河川事務所	木津川上流河川事務所玄関前	22	100リットル	31.0℃→30.5℃(-0.5℃)
	11:00～12:00	打ち水大作戦2012	長瀬川水辺環境づくり推進協議会	長瀬川(東大阪市)	270	4000リットル	
8/2～8/31の平日 (各事業所は週に1回、本庁前は毎日)	17:15～	「打ち水」の拡大実施 今夏の節電対策	京都市上下水道局	上下水道局本庁舎前及び関係事業所 9営業所及びきた・みなみセンター各支所	約80	960リットル	-

8月8日(水)	17:40～	大阪打ち水大作戦2012	大阪市城東区役所	大阪市城東区役所庁舎周辺	30	160リットル	未測定
	16:00～	打ち水行動	此花区まちづくり会議	此花区内各所	1地域約10 (全10運合)	-	未測定
	16:00～16:15	打ち水大作戦in枚方2012	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道	6	400リットル	
8月9日(木)	10:00～11:30	清水・弥栄地域における市民用消火栓の一斉放水訓練	東山区清水・弥栄防災水利ネットワーク	東山区清水・弥栄地域			
8月10日(金)		梅田地区打ち水	梅田地区エリアマネジメント実践連絡会	茶屋町	中止		
	13:00～13:30	打ち水大作戦2012	淀川河川事務所	淀川河川事務所玄関前	30	100リットル	35.8℃→35.0℃(-0.8℃)
8月11日(土)	16:00～16:30	福島区打ち水大作戦	福島区未来わがまち会議	大阪市福島区役所前、区内各所	20	-	未測定
8月15日(水)	17:40～	大阪打ち水大作戦2012	大阪市城東区役所	大阪市城東区役所庁舎周辺	中止		
	16:00～	打ち水行動	此花区まちづくり会議	此花区内各所	1地域約10 (全10運合)	-	未測定
8月16日(木)	17:00～17:15	打ち水大作戦!	京都市中京区役所	中京区役所前(堀川通沿い)	20	80リットル	-
	17:15～17:45	打ち水大作戦	京都市上京区役所地域力推進室	上京区役所総合庁舎前	20	70リットル	-
	11:15～ 13:15～ 15:00～	海遊館打ち水大作戦	(株)海遊館	海遊館	450	1,000リットル	未測定
	17:30～17:45	IDO YOU KYOTO?プロジェクト打ち水	京都市左京区役所	左京区総合庁舎	30	150リットル	38℃→36℃(-2.0℃)
8月17日(金)	11:15～ 13:15～ 15:00～	海遊館打ち水大作戦	(株)海遊館	海遊館	450	1,000リットル	未測定
8月18日(土)	11:15～ 13:15～ 15:00～	海遊館打ち水大作戦	(株)海遊館	海遊館	500	1,000リットル	未測定
	16:00～	打ち水イベント	大阪女学院	扇町	20	50リットル	未測定
8月19日(日)	11:15～ 13:15～ 15:00～	海遊館打ち水大作戦	(株)海遊館	海遊館	500	1,000リットル	未測定
8月21日(火)	16:00～16:30	福島区打ち水大作戦	福島区未来わがまち会議	大阪市福島区役所前、区内各所	15	200リットル	未測定
	15:30～	中央区打ち水大作戦2012	中央区地域女性団体協議会	大阪市中央区役所正面玄関前及び周辺	43	500リットル	36.0℃→35.1℃(-0.9℃)
8月22日(水)		大阪打ち水大作戦2012	大阪市城東区役所	大阪市城東区役所庁舎周辺	30	160リットル	未測定
	16:00～	打ち水行動	此花区まちづくり会議	此花区内各所	40	-	未測定
8月25日(土)		JOTOワンボトル打ち水大作戦	大阪市城東区役所	大阪市城東区役所庁舎周辺	30	160リットル	未測定
	16:45～17:00	枚方まつり2012での打ち水	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道・枚方市民会館前	約40	1,600リットル	
8月26日(日)	17:15～17:30	枚方まつり2012での打ち水	枚方市	岡東中央公園内・公園横の緑道・枚方市民会館前	約20	800リットル	36.5℃→34.6℃
8月29日(水)	16:00～	打ち水行動	此花区まちづくり会議	此花区内各所	1地域約10 (全10運合)	-	未測定
	12:30～12:45	打ち水大作戦2012	猪名川河川事務所	猪名川河川事務所玄関前	20	72リットル	29.0℃→29.0℃ (変化無し)
8月31日(金)	10:10～11:30	北大冠水路ピオトープ打ち水作戦	大阪府北部農と緑の総合事務所	北大冠水路ピオトープ(高槻市)	50	250リットル	33.0℃→32.5℃(-0.5℃)
	16:00～16:30	福島区打ち水大作戦	福島区未来わがまち会議	大阪市福島区役所前、区内各所	15	200リットル	未測定

## 打ち水大作戦（協議会）H24

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会では、7月21日から8月31日までを「打ち水行動期間」とし、流域圏の各地で一斉に打ち水を行っています。

協議会でも、7月29日に川の駅「はちけんや」で、年次報告会・有識者委員会にあわせ、打ち水を行いました。

### 実施場所

川の駅「はちけんや」

### 日時、実施内容

	参加者数	打ち水量 ※1	気温の変化
7月29日（日）	約40名	200リットル	34.7℃ → 33.3℃ (-1.3℃)

※ 1 水は、大阪市海老江下水処理場のご協力による再生水を使用。



気温の変化 -1.3℃



実施前 34.7℃



実施後 33.3℃

(問合せ先)

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会  
事務局

国土交通省近畿地方整備局  
企画部広域計画課

電話：06-6942-1141

## 打ち水大作戦（近畿地方整備局）H24

近畿地方整備局でも協議会の「打ち水行動期間」にあわせ、関係各事務所とともに、職員有志により打ち水を行いました。また、大阪合同庁舎第1号館での打ち水は、近畿経済産業局と近畿地方整備局による共催で実施しました。

なお、打ち水の使用した水は、近畿地方整備局は、大阪市海老江下水処理場のご協力による再生水を使用し、各事務所では、雨水や洗い物の排水等による再生水を使用しています。

### 実施場所、日時、実施内容

実施場所	実施日	参加者数	打ち水量	気温の変化
大阪合同庁舎第1号館 (経産局、整備局共催)	7月25日	30名	200リットル	32.8℃→32.4℃(-0.4℃)
淀川ダム統合管理事務所	7月29日	30名	60リットル	36.5℃→34.5℃(-2.0℃)
琵琶湖河川事務所	7月31日	30名	280リットル	34.3℃→34.0℃(-0.3℃)
木津川上流河川事務所	8月6日	22名	100リットル	31.0℃→30.5℃(-0.5℃)
淀川河川事務所	8月10日	30名	100リットル	35.8℃→35℃(-0.8℃)
猪名川河川事務所	8月29日	20名	72リットル	29.0℃→29.0℃(変化無)

#### ■大阪合同庁舎第1号館(経産局・整備局)



日刊建設工業新聞 平成24年7月30日(月)



「打ち水でしばしの涼を体感へ」一。  
近畿地方整備局、近畿農政局ら国の機関  
や淀川流域の沿川府県市などで構成する  
琵琶湖・淀川流域再生推進協議会は、  
21日から8月31日までを「打ち水行動期

### 打ち水でしばしの涼を

琵琶湖・淀川再生協議会  
大作戦2012を展開

間」として、「打ち水大作戦2012」を淀川流域各地で展開している。  
伝統的な水文化を継承するとともに、ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境にもたらす水の有効性を再認識することが目的。  
25日には、大阪地方合同庁舎第1号館の玄関前で午後6時から実施。夕方にもかかわらず気温32.8度の蒸し暑い中、近畿整備局と近畿経済産業局の職員ら約30人がバケツやペットボトルに入った下水道の再生水約200ℓをまいて一写真、真夏の暑さを和らげた。

■ 淀川河川事務所



■ 木津川上流河川事務所



■ 猪名川河川事務所



■琵琶湖河川事務所



■淀川ダム統合管理事務所(天ヶ瀬ダム)



## 京都市の「打ち水」の取組

京都市では、おおむね8月1日の「水の日」、8月1日～8月7日の「水の週間」に合わせて、ヒートアイランド現象を緩和し、地球温暖化防止の意識を高める契機とするため、京都市内の公共施設や事業所・商店街等で市民や事業者の皆様との協働により、京都の夏の風物詩「打ち水」を実施しています。

今年度を実施した本市の代表的な取組事例の様子は以下のとおりです（詳細は別紙「実施内容一覧」のとおり）。



『「Do You Kyoto?」プロジェクト 打ち水大作戦 2012』の様子（右京区役所）



『「DO YOU KYOTO?」プロジェクト打ち水』の様子（東山区役所）



『打ち水大作戦 2012』の様子（上下水道局）



『第4回南区「打ち水」作戦』の様子（南区役所）



『打ち水』の様子（北区役所）



『打ち水大作戦!』の様子（中京区役所）



『「DO YOU KYOTO?」プロジェクト打ち水』の様子（左京区役所）

## 実施内容一覧

	日程	時間	企画名	所管部署	実施場所	参加者数	打ち水量	気温の変化
1	7月27日 (金)	17:15 ～ 17:45	「Do You Kyoto?」プロ ジェクト 打ち水大作 戦2012	京都市 右京区役 所地域力 推進室	右京区総合 庁舎周辺	50	350リ ットル	37.2℃→ 35.2℃ (-2.0℃)
2		17:30 ～ 17:45	「DO YOU KYOTO?」プ ロジェクト 打ち水	京都市 東山区役 所地域力 推進室	東山区総合 庁舎周辺	20	100リ ットル	35.3℃→ 34.1℃ (-1.2℃)
3	8月1日 (水)	17:15 ～ 17:45	先人の知恵 を大切にし て京の絆で 涼みましょ う!「打ち水 大作戦20 12」	京都市 上下水道 局	上下水道局 本庁前及び 近隣事業者 前 きた・ みなみ両セ ンター各4 支所前, ポ ンプ施設事 務所前他5 営業所	約100	1000リ ットル	36.2℃→ 33.8℃ (-2.4℃)
4		17:15 ～ 18:00	第4回南区 「打ち水」作 戦	南区行政 推進会議	南区役所庁 舎前	約40	200リ ットル	34℃→ 32℃ (- 2.0℃)
5	8月2日 (木)	17:10 ～ 17:30	打ち水	京都市 北区役所	北区総合庁 舎周辺	25	100リ ットル	36.5℃→ 34.5℃ (- 2.0℃)
6	8/2～8/31 の平日 (各事業 所は週に 1回, 本庁 前は毎日)	17:15 ～	「打ち水」の 拡大実施 今夏の節電 対策	京都市 上下水道 局	上下水道局 本庁舎前及 び関係事業 所 9営業 所及びきた ・みなみセ ンター各支 所	約80	960リ ットル	—
7	8月16日 (木)	17:00 ～ 17:15	打ち水大作 戦!	京都市 中京区役 所	中京区役所 前(堀川通 沿い)	20	80リッ トル	—
8		17:15 ～ 17:45	打ち水大作 戦	京都市 上京区役 所地域力 推進室	上京区役所 総合庁舎前	20	70リッ トル	—
9		17:30 ～ 17:45	「DO YOU KYOTO?」プ ロジェクト 打ち水	京都市 左京区役 所	左京区総合 庁舎	30	150リ ットル	38℃→ 36℃ (-2.0℃)

(問合せ先)

京都市総合企画局政策企画室

政策調査担当

電話：075-222-3035

## 大阪打ち水大作戦 2012 (大阪市)

大阪市では、ヒートアイランド現象の緩和に向けたムーブメントを高めていくため、平成 24 年 7 月 20 日（金）に「大阪打ち水大作戦」打ち初め式を大阪市役所本庁舎周辺で開催しました。

打ち初め式では、笑いと元気で盛り上げるために、ゲストとして嘉門達夫さんや「OSAKA 翔 G A N G S」の皆さんに参加していただき、当日会場にお越しいただいた参加者全員で、一斉に打ち水を行いました。

あいにくの天気のため、打ち初め式のセレモニーを実施する時には、路面も十分濡れた状態になりましたが、ご参加いただいた皆さんと一緒に、数分間の打ち水を楽しむことができ、体感的には涼しく感じられました。

このイベントを含め、7 月から 9 月にかけて、市内の 38 か所で市民協働による「大阪打ち水大作戦」を展開しました。

### 打ち初め式について

日 時：平成 24 年 7 月 20 日（金） 16:00～17:15

場 所：大阪市役所本庁舎正面玄関、みおつくしプロムナード（本庁舎南側）

来場者数：約 400 人

打ち水量：1.8 トン（大阪市海老江下水処理場の高度処理水を利用）

〔イベントの様子〕



### 市内 38 か所で市民協働による打ち水について

別紙のとおり

（問合せ先）

大阪市環境局環境施策部環境施策課

電話：6630-3216

## 平成24年度 打ち水実施事業者一覧

	打ち水実施日	名称	実施場所	主催者名及び 後援・協力者名
1	7月18日(水)	大阪打ち水大作戦 2012	城東区役所庁舎周 辺	城東区総務課、市民協働課、 窓口サービス課、保健福祉、 生活支援
2	7月19日(木)	鶴見区打ち水大作 戦	鶴見区役所周辺	鶴見区役所
3	7月20日(金)	「大阪打ち初め大 作戦」打ち初め式	大阪市役所	環境局
4	7月22日(日)	小粋な街あそび梅 田ゆかたまつり	大阪ステーション シティ：南ゲート 広場	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪 神電気鉄道㈱、うめきた〔大阪駅北 地区〕先行開発区域プロジェクト TMO設立準備委員会、㈱カクタ フ、大阪市)
5	7月22日(日)	小粋な街あそび梅 田ゆかたまつり	NU Chayamachi 前ストリート	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪 神電気鉄道㈱、うめきた〔大阪駅北 地区〕先行開発区域プロジェクト TMO設立準備委員会、㈱カクタ フ、大阪市)
6	7月22日(日)	小粋な街あそび梅 田ゆかたまつり	梅田DTタワー公 開空地	梅田ゆかた祭準備実行委員会 (日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪 神電気鉄道㈱、うめきた〔大阪駅北 地区〕先行開発区域プロジェクト TMO設立準備委員会、㈱カクタ フ、大阪市)
7	7月25日(水)	大阪打ち水大作戦 2012	城東区役所庁舎周 辺	城東区総務課、市民協働課、 窓口サービス課、保健福祉、 生活支援
8	7月25日(水)	打ち水大作戦	大阪合同庁舎 第1号館玄関前	近畿経済産業局 近畿地方整備局 共催
9	7月27日(日)	昔ながらの知恵と 風習体感「打ち水 セレモニー」	南海難波駅北側広 場	南海電気鉄道(株) 参加団体：戎橋筋商店街振興 組合、大阪市(中央区役所・ 浪速区役所)、クボタ、スイ スホテル南海大阪ほか
10	7月29日(日)	打ち水大作戦	川の駅「はちけん や」	琵琶湖・淀川流域圏再生推進 協議会
11	7月30日(月)	信濃橋三井ビル ディング打ち水	信濃橋三井ビル周 辺	三井不動産株式会社
12	7月31日(火)	中之島三井ビル ディング打ち水	北側エントランス 周辺	三井不動産株式会社

平成24年度 打ち水実施事業者一覧

	打ち水実施日	名称	実施場所	主催者名及び 後援・協力者名
13	7月31日(火)	淀屋橋三井ビルディング打ち水	御堂筋側正面玄関付近	三井不動産株式会社 淀屋橋ODONA 三井住友海上大阪淀屋橋ビル
14	8月1日(水)	『このはな 冷やそう!』打ち水行動	此花区内各地域	此花区まちづくり会議
15	8月1日(水)	福島区打ち水大作戦	阪神野田駅前	福島区未来わがまち会議
16	8月1日(水)	すみよしエコフェスタ	住吉区役所前(ガレリア)	すみよし環境区民会議 住吉区役所
17	8月2日(木)	庁舎周辺美化運動「東淀川区打ち水行動」	東淀川区役所庁舎周辺地域	東淀川区役所クリーンアップ こぶし通りの会(区課長会) 東淀川区役所元気アップサポーター(職員有志)
18	8月2日(木)	大阪打ち水大作戦2012	城東区役所庁舎周辺	城東区総務課、市民協働課、窓口サービス課、保健福祉、生活支援
19	8月2日(木)	西梅田打ち水プロジェクト	ブリーゼタワー北側 ハービスPLAZA南側周辺	西梅田打ち水プロジェクト実行委員会
20	8月3日(金)	打ち水大作戦 in 鶴乃茶屋	茶屋町	阪急電鉄(株) 鶴乃茶屋倶楽部
21	8月8日(水)	大阪打ち水大作戦2012	城東区役所庁舎周辺	城東区総務課、市民協働課、窓口サービス課、保健福祉、生活支援
22	8月8日(水)	『このはな 冷やそう!』打ち水行動	此花区内各地域	此花区まちづくり会議
23	8月11日(土)	福島区打ち水大作戦	福島区役所前、区内各所	福島区未来わがまち会議
24	8月15日(水)	『このはな 冷やそう!』打ち水行動	此花区内各地域	此花区まちづくり会議

平成24年度 打ち水実施事業者一覧

	打ち水実施日	名称	実施場所	主催者名及び 後援・協力者名
25	8月16日(木)	海遊館打ち水大作戦	海遊館	(株)海遊館
26	8月17日(金)	海遊館打ち水大作戦	海遊館	(株)海遊館
27	8月18日(土)	打ち水イベント	扇町公園	大阪女学院
28	8月18日(土)	海遊館打ち水大作戦	海遊館	(株)海遊館
29	8月19日(日)	海遊館打ち水大作戦	海遊館	(株)海遊館
30	8月21日(火)	福島区打ち水大作戦	福島区役所前、区内各所	福島区未来わがまち会議
31	8月21日(火)	中央区打ち水大作戦 2012年(仮称)	中央区役所正面玄関前及び周辺	中央区地域女性団体協議会
32	8月22日(水)	大阪打ち水大作戦 2012	城東区役所庁舎周辺	城東区総務課、市民協働課、窓口サービス課、保健福祉、生活支援
33	8月22日(水)	『このはな 冷やそう!』打ち水行動	此花区内各地域	此花区まちづくり会議
34	8月25日(土)	JOTOワンボトル打ち水大作戦	蒲生公園	城東区ゆめ～まち～未来会議
35	8月29日(水)	『このはな 冷やそう!』打ち水行動	此花区内各地域	此花区まちづくり会議
36	8月31日(金)	福島区打ち水大作戦	福島区役所前、区内各所	福島区未来わがまち会議

平成24年度 打ち水実施事業者一覧

	打ち水実施日	名称	実施場所	主催者名及び 後援・協力者名
37	9月8日（土）	福島区民まつり	下福島運動場	福島区民まつり実行委員会 （財）大阪市コミュニティー 協会福島区支部協議会
38	9月9日（日）	天王寺区民まつり	天王寺区 五条公園グラウン ド	天王寺区民まつり実行委員会

## 打ち水大作戦 in 枚方 2012/クールダウン・枚方～みんなで打ち水大作戦～

枚方市では、7月23日から8月26日にかけて、市役所本庁舎付近で下水の高度処理水を使い、打ち水を実施し、市民に『涼の効果』を体験していただきました。

8月3日に実施したクールダウン・枚方～みんなで打ち水大作戦～では、市民や事業者呼びかけ、市内で一斉に打ち水を行いました。

### ■ 実施場所

枚方市駅周辺道路、岡東中央公園内・公園横の緑道、枚方市民会館前、各企業敷地内

### ■ 実施日

打ち水実施日	打ち水の取り組み名称	主催者名及び後援・協力者名
7月23日 7月25日 7月30日 8月1日 8月8日	打ち水大作戦 in 枚方 2012	主催：枚方市
8月3日	クールダウン枚方～みんなで打ち水大作戦～	主催：枚方市 協力：大阪府枚方土木事務所 (打ち水用具の借用・散水車による散水) ：保育所・民間企業 約100人 (会場で打ち水に参加) ：保育所・民間企業 48団体 (各企業敷地内で打ち水に参加)
8月25日 8月26日	枚方まつり 2012 での打ち水	主催：枚方市 協力：大阪府枚方土木事務所 (打ち水用具の借用)

## 実施内容

### ◆打ち水大作戦 in 枚方 2012

日時：7月23日（月）、25日（水）30日（月）、8月1日（水）、8日（水） 16：00～16：30

場所：岡東中央公園横緑道「ふれあい通り」

人員：枚方市職員6名程度

方法：下水の高度処理水（中水）で打ち水（バケツ20個、ビニールプール1個を使用）。

中水栓からホースを連結し直接打ち水及びビニールプールへの補給。

### ◆クールダウン枚方～みんなで打ち水大作戦～

日時：8月3日（金） 16：00～16：30

場所：枚方市駅周辺道路、岡東中央公園内・公園横の緑道「ふれあい通り」、民間企業敷地内

人員：スタッフ12名程度、参加者約100名

方法：下水の高度処理水（中水）、散水車、上水で打ち水（上水は公園内及び保育園児が使用）。

バケツ80個、ビニールプール5個、散水車（2t）1台を使用。

中水栓からホースを連結し直接打ち水及びビニールプールへの補給。

<打ち水効果>

実施日	気温	
	打ち水前	打ち水後
8月3日	35.6℃	33.2℃

写真①



写真②

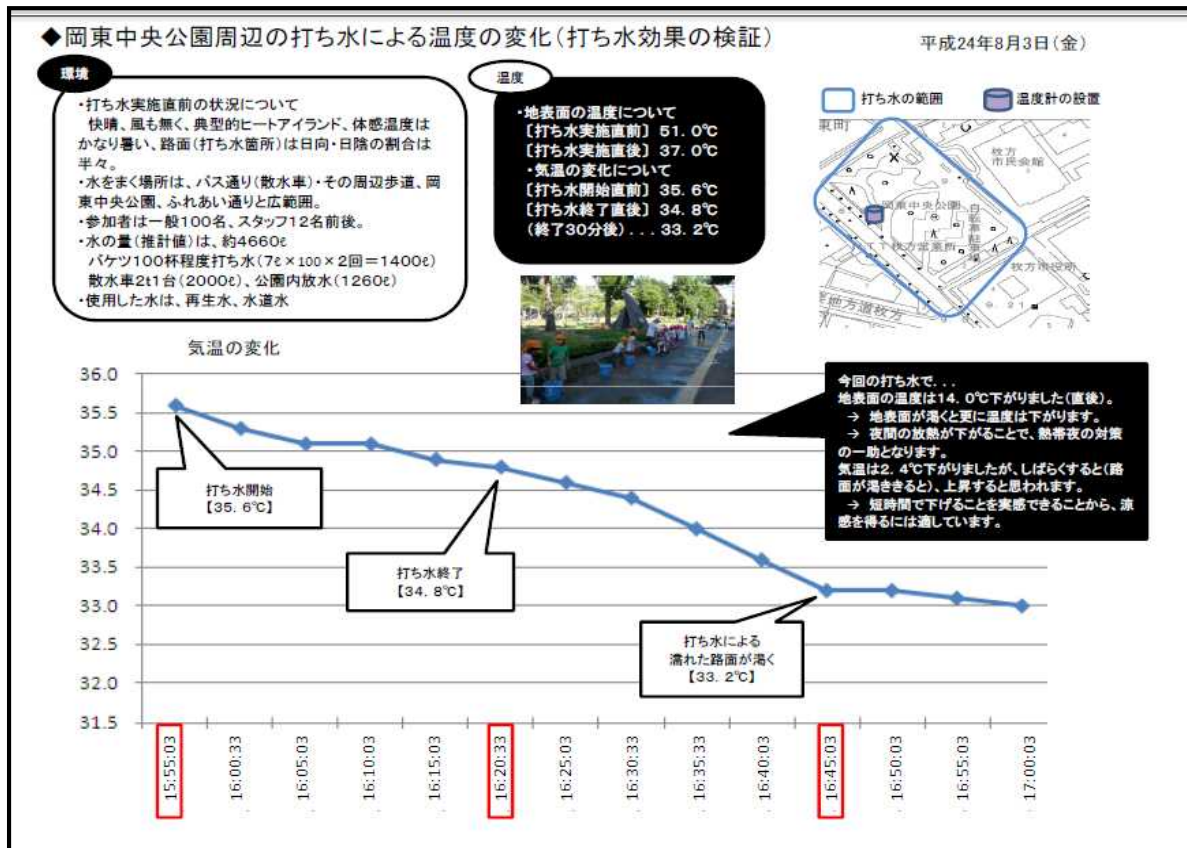


写真③



写真④





◆枚方まつり 2012 での打ち水

日時：8月25日(土) 16:45~17:00、8月26日(日) 17:15~17:30

場所：枚方市民会館、岡東中央公園内・公園横の緑道「ふれあい通り」

人員：市役所職員延べ10名

：参加者約100名

方法：下水の高度処理水(中水)

バケツ80個、ビニールプール1個を使用。

中水栓からホースを連結し直接打ち水及びビニールプールへの補給。

<打ち水効果>

実施日	気温	
	打ち水前	打ち水後
8月26日	36.5℃	34.6℃

(問合せ先)

枚方市 環境保全部 環境総務課

電話：050-7102-6006

## 打ち水大作戦 in あまがさき 2012

都市化した本市を打ち水で気温を下げて、真夏のヒートアイランド現象を緩和するため、さらに今夏は各家庭や各事業所での節電対策が必要であるため、7月1日（日）から処暑8月23日（木）を今年度の全市一斉打ち水強化期間と定め、「打ち水大作戦 in あまがさき 2012」として市内各所に二次利用水を使っの打ち水の実施を呼びかけました。

この一環として、橘公園でも雨水を利用した打ち水を実施しました。その際、竹の水鉄砲作り教室（参加者 26 人）も併せて開催し、子どもへの啓発を行いました。

### 日時・実施場所・実施内容

- ・ 橘公園：8月1日（水） 竹の水鉄砲作り 14:00～16:00 参加者小学生 26 人  
打ち水 16:00～17:00 参加者約 50 人

- ・ 市内各所…市施設 3 箇所、市内事業所等 26 箇所、市内教育機関 2 校

7月1日（日）～8月23日（木）の期間での実施を呼びかけ、結果報告をしていただきました。

#### ■橘公園での打ち水（参加者約 50 人）

気温 34℃→32℃ 地表温度 46℃→36℃



#### ■竹の水鉄砲作り（参加者 小学生 26 人）



（問合せ先）

尼崎市経済環境局環境部環境創造課  
電話：06-6489-6301

# 水との復縁運動の展開「打ち水一斉行動 2013」の取り組み方針

## 1. 再生計画記載内容

### 3. 水と人とのつながりの再構築

#### (2) 「水との復縁」運動の展開

水をはじめとする流域の様々なめぐみを再認識するため、水と暮らしのあり方について流域をあげて見つめ直し、疎遠になったり、おろそかになっている水に関わる様々な活動を再生するため「水との復縁」運動を展開する。

#### 2) 流域一斉行動の実施

ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境にもたらす水の有効性を再認識するために、「打ち水大作戦」などの社会実験を引き続き実施する。

## 2. 実施方針

協議会として「打ち水行動期間」を設け、一斉行動として「水との復縁」運動の展開に取り組む。

このため、各機関において、積極的に一斉行動期間内に「打ち水」に取り組むとともに、打ち水行動の広報に努めていくこととする。

打ち水一斉行動期間

7月21日～8月31日



※ 2012年の開催状況

## (参考)

### 打ち水の約束事

●使用する水は、再利用水とします。

- ・ 職場でコップなどを洗った水
- ・ シャワーが暖くなるまでに流す水や、お風呂の残り湯
- ・ 空調設備の排水
- ・ 雨水の貯留水 など

※可能であれば、参加人数の把握と温度計で気温の変化を測定してください。

# ～ 上下流交流 水源地探訪企画の開催結果 ～

- 主催：琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会
- 開催日時：平成24年11月16日(金) 10:00～16:00
- 総参加者：約40名
- 行程概要：木津川・布目川～高山ダム～岩倉峡

流域住民の方々と一緒に流域圏の水源地域である高山ダムや木津川、布目川を訪れ、水源施設であるダムにふれるとともに、その役割やダム水質の保全、ダム下流の河川環境改善の取り組みについて、管理者よりご説明いただきました。

## 高山ダムの視察・見学状況

高山ダムの見学



木津川に注ぐ名張川にある高山ダムを視察しました。

高山ダムの説明



ダムの役割や環境への取組みの説明を受けました。

ダム施設を視察



高山ダムの堤体内も視察しました。

ダム施設の詳しい説明



施設を案内・説明いただきながら視察しました。

## 木津川の下流域(笠置)～上流域(岩倉峡)の視察状

木津川(笠置町付近)を視察



木津川の下流域の様子を視察しました。

木津川(岩倉峡付近)を視察



木津川の上流域の様子を視察しました。

# 高山ダムの説明

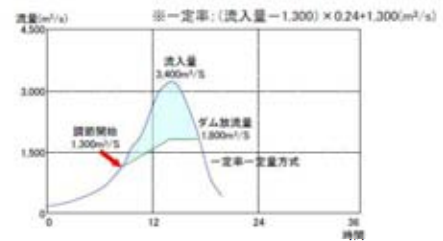
高山ダムの主な役割として、洪水調節により有市地点において約1.0m水位を低減できたことや利水として大阪府や兵庫県に補給していること、発電においてCO2削減に貢献していることを説明していただきました。また環境保全の取り組みとしてフラッシュ放流や曝気循環設備、アオコ等について説明していただきました。最後にイベントや不法投棄対策を行っていることについても触れていただきました。

## 高山ダムの放流設備



## 高山ダムの洪水調節計画

- 高山ダム地点の流入量3,400m<sup>3</sup>/sに対し、一定率一定量放流方式により最大1,800m<sup>3</sup>/sを放流する計画である。
- 流入量が1,300m<sup>3</sup>/sに達するまでは流入量を放流し、1,300m<sup>3</sup>/sに達した後は、1,800m<sup>3</sup>/sに達するまで一定率の割合<sup>※</sup>で放流を行い、1,800m<sup>3</sup>/sに達した後は一定放流を行う。(暫定操作)



## 高山ダムにおけるアオコ等の発生状況

アオコはH14年以前には毎年のように発生していたが、H15年以降では10年間発生はしていなかったが、H24年の8/30~9/9の11日間発生した。

◆ダムサイト地点アオコ発生状況



## ダム下流河川環境保全対策 (フラッシュ放流)

【フラッシュ放流の目的】

ダム下流の流況改善、アユの生育環境等も考慮した付着藻類の剥離・更新を主目的として、ダム下流の河川環境に配慮した放流を行う。

フラッシュ放流による水位と河川の付着物の減少(有市地点)



## 高山ダム水源地域ビジョン (イベント)

### 月ヶ瀬レガッタ

昭和59年に月ヶ瀬湖で行われた環境レガッタを記念して、毎年開催されている。5km(途中4コース)で500mを競うタイムレース。

開催時期 7月ごろ

参加資格 小学生以上

主催 奈良県体育協会

### 村活ききまつり

都市農村交流と地域産業の発展をのぞき、年に一度行っている。平成21年には、特産品の販売や、セミナーイベント等を行った。

開催時期 2月ごろ

参加資格 小学生以上

主催 村活ききまつり実行委員会

### 月ヶ瀬湖沿岸早稲マラソン

奈良市(月ヶ瀬村地域)の発展を促すイベント。近畿を中心に15数府県から参加した選手に沿道から応援かい。

開催時期 2月ごろ

参加資格 小学生以上

主催 月ヶ瀬湖沿岸早稲マラソン実行委員会

## ダム湖周辺における不法投棄対策

### 「南山城村環境パトロール隊」

平成15年9月に住民自らの手で立ち上げられた。京都府木津警察署、大河原・高山駐在所の協力を得ながら、村内のパトロールを主に活動している。

高山ダム管理所でも、2回/週の頻度でダム湖周辺等のパトロールを行っている。

### パトロールの実施



### ゴミ集積の実施



### 不法投棄対策の看板



# 上下流交流「水源地探訪企画」実施方針について

## 1. 再生計画の記載

### 3. 水と人とのつながりの再構築

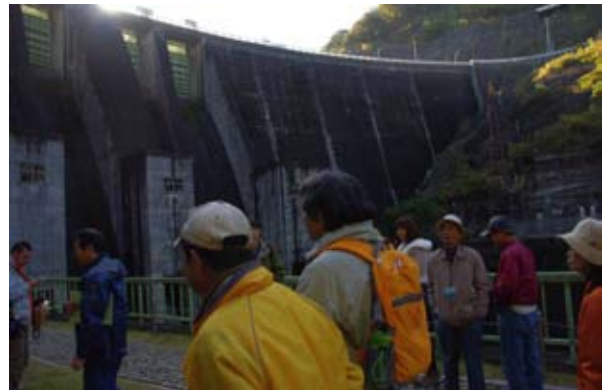
#### (2) 「水との復縁」運動の展開

#### 4) 上下流交流の促進

水利用と環境の関係を考える流域水源探訪ツアー等のイベント等を実施する。

## 2. 実施方針

流域圏および各河川における上下流間の交流を促進するとともに、実際に水源地域を訪れ体感することで、水を育む水源地かん養の大切さを知り、水利用と環境を考える契機となることを目的に、水源地探訪企画や琵琶湖・淀川流域圏連携交流会と連携した企画を実施する。



※2012年の開催状況

## 3. 開催時期等

### (開催時期)

今年度と同様にみずべプロムナードネットワーク分科会、水辺の賑わい創出分科会との連携を視野に入れ、企画の開催時期を決定するものとする。

### (開催内容等)

- みずべプロムナードネットワーク分科会、水辺の賑わい創出分科会の実施するプロムナード点検と連携した合同開催も視野に入れ、開催場所を決定する。
- 視察内容としては、実際に現地において源流域や上流域の川の様子に触れ、その様子を確認出来る箇所や水資源施設（ダム・堰など）、浄水場、下水処理場、流域ミュージアム案内所などから適宜選定する。
- 協議会メンバーの各イベントへの参加協力や協働を検討し実施する。

# 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

## 流域水環境再生分科会

### 流域水環境再生取り組み事例集

#### ○適正な水管理のための水環境改善計画の取り組み事例マップ

##### 1. 適正な水管理のための水環境改善計画の作成

- ①猪名川における水環境の取り組み(近畿地方整備局 猪名川河川事務所)

#### ○『生命の水再生』アクションプランの取り組み事例マップ

##### 2. 『生命の水再生』アクションプランの実施

- ①里山の保全(「箕面体験学習の森」整備事業Ⅱ)における取り組み  
(近畿中国森林管理局)
- ②赤野井湾流域流出水対策推進計画(滋賀県)

#### ○水と人とのつながり再構築の取り組み事例マップ

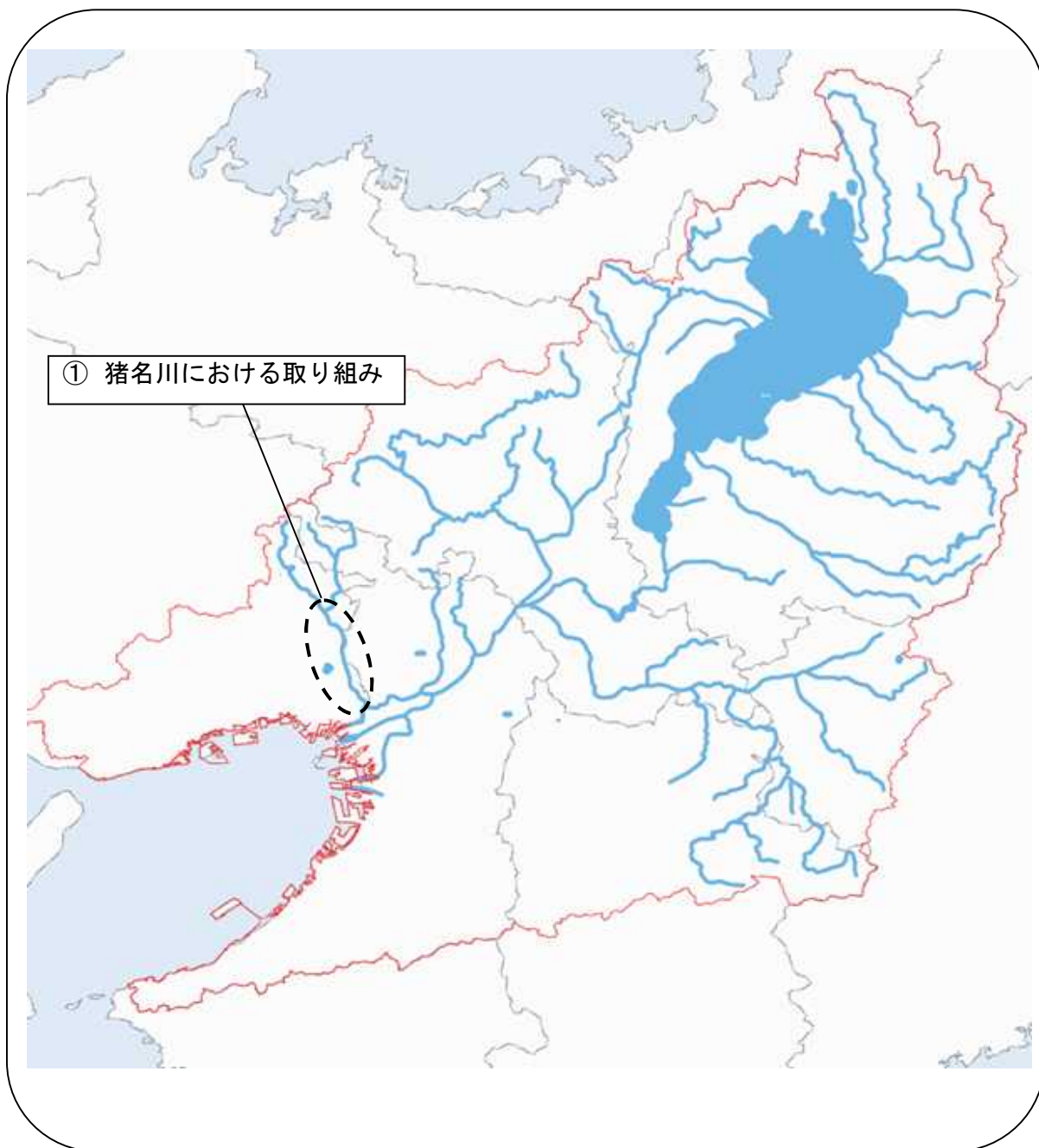
##### 3. 水と人とのつながり再構築

- ①天ヶ瀬ダムにおける住民との協働による情報発信の取り組み  
(近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所)
- ②近畿「子どもの水辺」交流会(近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会)

■流域水環境再生 取り組み事例集

1. 適正な水管理のための水環境改善計画の作成

○適正な水管理のための水環境改善計画の取り組み事例マップ



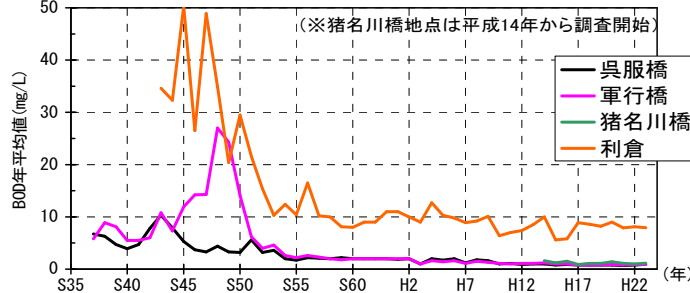
# ① 猪名川における水環境の取り組み（近畿地方整備局 猪名川河川事務所）

## 1. イメージ図

### ◇水質の現状

- 昭和40年代前半頃が最も悪い状況、昭和50年頃より大幅に改善され、近年は横ばい傾向（鈍化）である。
- 利倉地点は下水処理水の放流地点直下にあり、その影響でBOD値が高い。
- 平成23年の全国一級河川水質ランキングでワースト5位となっている。

【河川水質(BOD値)】



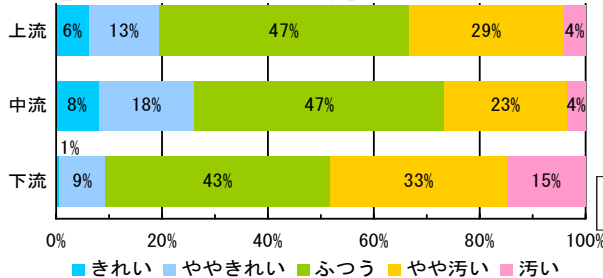
【全国一級河川水質ランキング】

順位	2007年 (H19)	BOD 平均値 (mg/L)	2008年 (H20)	BOD 平均値 (mg/L)	2009年 (H21)	BOD 平均値 (mg/L)	2010年 (H22)	BOD 平均値 (mg/L)	2011年 (H23)	BOD 平均値 (mg/L)
1	大和川	4.7	綾瀬川	3.9	綾瀬川	3.7	綾瀬川	3.7	中川	4.0
2	綾瀬川	4.2	大和川	3.7	中川	3.2	猪名川	3.3	綾瀬川	3.7
3	中川	3.8	猪名川	3.6	大和川	3.2	中川	3.1	大和川	3.2
4	鶴見川	3.6	中川	3.6	猪名川	3.1	大和川	2.8	鶴見川	3.1
5	猪名川	3.3	鶴見川	3.2	鶴見川	2.7	鶴見川	2.7	猪名川	2.7

### ◇住民意識

- 下流域の方が身近な川の水質がよくないと感じている人が多い。
- 水質がよいと感じる理由(上位3つ)
  - 「河原にゴミ等が散乱していない」
  - 「魚や水生生物、鳥がたくさんいる」
  - 「川底に小石や砂がある」
- 水質がよくないと感じる理由(上位3つ)
  - 「川の水が濁っている」
  - 「河原にゴミ等が散乱している」
  - 「川に泡が浮いている」

【流域区分別意識調査結果】



### ◇目指すべき方向性(将来像)と目標

猪名川流域では、次のような方向性と目標を掲げ取り組んでいきます。

#### 目指すべき方向性(将来像)

川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ

目標①: 水遊びができる水質にしよう

⇒ きれいな水で生き物がたくさんいる猪名川を目指します。

目標②: 人が集まる水辺にしよう

⇒ ゴミのない猪名川を目指します。

目標③: 猪名川を学ぼう

⇒ 猪名川を学べる場をつくれます。

## 2. 概要

### 1. 猪名川水環境シンポジウム2012

#### 1) 事業主体

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所  
後 援 神崎川水質汚濁対策連絡協議 猪名川分科会

#### 2) 事業概要

猪名川流域の水環境は、昭和 40 年代前半をピークに著しく悪化していましたが、その後、流域全体において継続的な水質改善の取り組みが行われてきた結果、現在では、下流の一部で環境基準を満足しない箇所があるものの、中・上流域では良好な水質を維持している。

このように改善が進んできた猪名川の水質を今後とも維持し、猪名川流域のより良い水環境を目指すためには、流域住民が猪名川に関心を持ち、水質や水環境に対する意識を高め、流域が一体となって取り組みを推進していく必要があり、「猪名川流域の水質管理の方向性～川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ～」を実現していくために、流域住民と行政が一体となった水質管理の取り組みを始め、猪名川の水環境の現状とこの取り組みについて流域住民に広報 PR し、猪名川への関心と理解を深めるため、猪名川について流域住民と一緒に考えるシンポジウムを開催する。

### 2. 住民による水質一斉調査

#### 1) 事業主体

神崎川水質汚濁対策連絡協議 猪名川分科会

#### 2) 事業概要

流域住民に猪名川の水質調査を実施してもらうことにより、猪名川への関心と理解を深めてもらうために行う。

## 3. 課題

### 1. 猪名川水環境シンポジウム2012

主な参加者の対象を猪名川への関心が高くない一般の流域住民とし、こうした人に猪名川や水環境の取り組みについて関心と知識を深めていただけるよう、プログラムを工夫する。

### 2. 住民による水質一斉調査

猪名川分科会のメンバーだけでなく、一般の流域住民の参加が得られるような参加者の募集方法や調査の実施方法を検討する。

#### 4. 事業スケジュール

1. 猪名川水環境シンポジウム2012の開催  
平成22年度より継続的に実施している。
2. 住民による水質一斉調査  
平成23年度より継続的に実施している。

#### 5. 平成24年度の取り組み状況

1. 猪名川水環境シンポジウム2012の開催  
シンポジウムの企画（平成24年7月～9月）  
広報（平成24年11月）  
シンポジウムの開催（平成24年12月8日）



パネル展示



パネルディスカッション



サインボードを用いた  
会場からの意見聴取



配布チラシ

猪名川水環境シンポジウム2011の様子

2. 住民による水質一斉調査  
調査内容の検討（平成24年7月～9月）  
調査参加者に対する説明会の実施（平成24年10月18日）  
水質一斉調査の実施（平成24年10月26日～28日）



調査風景



川の水の濁りの調査



平成23年度水質一斉調査



参加募集チラシ

## 6. 取り組みによる効果

- ・猪名川の水環境の現状を正しく理解してもらう。
- ・猪名川の水環境を良くしていくためには、流域住民と行政の連携した取り組みが重要である事を理解してもらう。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

- ・猪名川水環境シンポジウム 2013 を実施。
- ・住民による水質一斉調査を実施。

■流域水環境再生 取り組み事例集

2. 「生命（いのち）の水再生」アクションプランの実施

○ 「生命（いのち）の水再生」アクションプランの取り組み事例マップ



① 里山の保全（「箕面体験学習の森」整備事業（Ⅱ））における取り組み状況（近畿中国森林管理局）

1. イメージ図

「箕面体験学習の森」整備イメージ

野外活動ゾーン

目的：ネイチャーゲーム、森林散策等の野外活動を通じて森林にふれあってもらえるゾーンとして整備

内容：野外活動を実施するための芝生広場、森林の整備及び森林散策コースなどの設置



林業体験ゾーン

目的：人工林での作業体験を通じて、森林・林業を理解してもらうためのゾーンとして整備

整備：間伐、下刈、シカ防護対策等の実施方法の検討及び実践



歩道

歩道

歩道

温度差等測定



歩道

青空教室エリア

各ゾーンにおいての実践を踏まえて、ふりかえりの学習を行うエリア。



歩道

下層植生の変化等



炭焼き体験（菊炭）



（凡例）

囲み枠内は森を診るポイント

里山体験ゾーン

目的：地域の特色を示す里山モデル林「箕面ながたにの森」を中心に、かつての北摂地域の森林文化及び多様な動植物を観察、学習するゾーンとして整備を行う。

整備：地域の特色を示すクヌギを中心とした広葉樹への樹種転換、昆虫類、ホンドリス、モリアオガエルなどの良好な生息域としての森林を再生するための検討。動植物への影響を考えた観察路の検討、整備及び伐採木を活用した炭焼き及びシイタケ栽培



台場クヌギ

## 2. 概要

### 1) 事業主体等

①主体 近畿中国森林管理局、箕面森林環境保全ふれあいセンター、  
京都大阪森林管理事務所

②連携相手方

大阪府、箕面市教育委員会、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

### 2) 事業概要

①事業箇所 大阪府箕面市 箕面国有林

「エキスポ‘90みのお記念の森」及びその周辺（約26ha）

②趣旨 大阪府の北部に近接する箕面国有林を含む北摂地域は、かつて台場クヌギを仕立てて菊炭を生産するなど、活発な里山の利用が行われていましたが、現在では、スギ、ヒノキの人工林が大半を占めている状況にあります。

このため、箕面森林環境保全センターでは、平成18年度まで里山再生推進モデル事業を実施し、具体的な里山再生メニューの決定及び里山整備、伐採木の利用、里山再生ガイドラインの作成等に取り組んできました。

これらの取組結果も踏まえ、里山モデル林を含む地域で、広葉樹への樹種転換と森林環境教育のフィールドやソフトの整備（保育作業やクヌギ等の伐採、炭焼き体験など）を行うために「オオクワガタの棲める森づくり」としてクヌギ等の植栽に取り組み、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に資することとしています。

## 3. 課題

箕面体験学習の森として、特に小学生などが森林・林業などの学習体験がきるフィールドの整備を目指しています。箕面市内から自家用車であれば比較的近郊という好条件でありながら、公共交通機関によるアクセスがないため、子どもたちの利用が広がっていない状況にあり、利用促進を図ることなど今後の検討課題です。

## 4. 事業スケジュール

### 1) 「箕面体験学習の森」整備事業（Ⅱ）検討委員会の開催

有識者、関係行政機関、教育関係者、地域住民、ボランティア団体を構成員とする検討委員会を開催し、「箕面体験学習の森」の活用などについて検討。

### 2) 検討委員会における検討結果を踏まえたフィールドの整備やソフトの開発。

①平成23年度にクヌギなどの広葉樹の植栽を終え、その後の植生遷移を植生調査等により検証する。

②NPO、地域住民等市民参加により「オオクワガタの棲める森づくり」のクヌギ等の植栽地の保育作業を継続して実施、学習のふりかえりのできる施設等の整備や散策コースの設定などのフィールド整備及びソフト開発に取り組む。

### 3) 将来的な取組予定

体験プログラムとしてクヌギ等を計画的に伐採をくりかえし、将来的には台場クヌギとなるよう取組みを継続していく考え。

## 5. 平成 24 年度「オオクワガタの棲める森づくり」取組み状況

- 1) 箕面国有林で「オオクワガタの棲める森づくり」として取り組んでいるクヌギ等の植栽地において、下刈り体験イベント(下刈り鎌を使った下刈り体験、植物観察、クヌギを記念植樹、測樹体験、水源の森ジオラマづくり)を開催。
- 2) NPO等との連携 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の協力を得て、下刈り等の作業を実施。

※ 8月21日(火)開催の下刈り体験イベントの実施風景。



下刈り体験



記念植樹(クヌギ)



水源の森ジオラマづくり

## 6. 取組みによる効果

### 連携するNPO等や地元からの評価

下刈り作業などを、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会のボランティア団体や小学生等と協力して行うことで、地域と一体となって森林づくりを推進していることを理解いただき、今後の育樹作業への積極的な参加が期待できる。

## 7. 平成 25 年度の取組み予定

- ・ 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の協力を得て、地域住民等の参加による下刈り作業等の実施。
- ・ 昆虫等動植物の生息環境の整備、ふりかえり広場へのパネル展示、歩道の整備など



## 2. 概要

### 1) 事業主体

赤野井湾流域での水の利用に関わる各主体

( NPO、土地改良区、漁業協同組合、JA、地元自治会、行政等 )

### 2) 事業概要

#### 【 目的 】

赤野井湾へ流入する汚濁負荷の状況を認識し、汚濁負荷削減に向けた取組を実施、検討する。

#### 【 目標 】

赤野井湾流域に暮らすすべての人々が、ホタルが舞いシジミが棲めるような水環境に改善し、誇りある地域にすること。



#### 【 取組 】

- (1) 農業排水対策
- (2) 市街地排水対策
- (3) 河川等の浄化対策
- (4) 湾内の環境改善対策
- (5) 啓発事業およびその他の関連事業
- (6) 環境モニタリング



#### 【 計画推進体制 】

計画に基づく各事業や活動についての進捗状況やモニタリング結果を持ち寄り、情報を共有し、各主体が連携していくためのフォローアップ会議を年 1 回開催する。

### 3. 課題

赤野井湾へ流入する河川における BOD（生物化学的酸素要求量）や全りん・全窒素については、減少傾向を示しているが、湾内における COD（化学的酸素要求量）や全りん・全窒素等については、横ばいの状況であり、引き続き流出水対策の推進が求められる。

### 4. 事業スケジュール

#### 【計画期間】

平成 23 年度 ～ 平成 27 年度 （※平成 23 年度に第 2 期計画を策定）

- ・ 計画に基づいて、各主体が事業を実施する。
- ・ 取組の進捗状況やモニタリング結果を共有するとともに、各主体が連携を図るためのフォローアップ会議を開催する。（年 1 回程度）

## 5. 平成24年度の取り組み状況

○赤野井湾流出水対策推進計画（第2期）に位置づけられている主な事業・活動

### （1）農業排水対策

- ・ 化学合成農薬や化学肥料の使用量を削減した「環境こだわり農業」による水稲生産の拡大。
- ・ 魚のゆりかご水田プロジェクト（魚類の産卵の場となる水田と琵琶湖とのつながりを形成するため、魚類が遡上しやすい魚道作り等）の実施。
- ・ 循環かんがい施設の適正な運用。

### （2）市街地排水対策

- ・ 守山栗東雨水幹線整備事業（管渠に降雨の一時貯留機能を持たし、雨水流出に伴う汚濁を削減）の実施。
- ・ 県道および市道における透水性舗装整備。

### （3）河川等の浄化対策

- ・ 河口部に整備した一時貯留施設や内湖を活用した汚濁物の自然沈降を促す浄化施設、水生植物による植生浄化機能の維持・運用。
- ・ 河川等における清掃活動の実施。

### （4）湾内の環境改善対策

- ・ 湾内水生植物（ハス）の刈取り後の繁茂状況をモニタリングし、刈り取り効果を把握。

### （5）啓発事業およびその他の関連事業

- ・ 環境負荷の少ないライフスタイルの定着に向けた普及啓発。
- ・ 企業間の情報交換を目的とした環境情報交換会の実施。
- ・ 環境学習の展開。

### （6）環境モニタリング

- ・ 湾内および湾内に流入する河川の水質や生息生物等のモニタリングの実施。
- ・ モニタリング結果の集約、整理、発信。

## 6. 取り組みによる効果

赤野井湾に流入する河川における BOD や全りん・全窒素については、改善傾向をしめしている。

また、赤野井湾のあるべき姿に掲げているホテルについては、飛翔地域数が増加傾向を示している。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

計画に位置づけられている事業および活動に取り組むとともに、フォローアップ会議を開催し、取り組みの進捗状況およびモニタリング結果を共有し、各主体の連携を図る。

### 3. 水と人とのつながりの再構築

#### ○水と人とのつながりの再構築の取り組み事例マップ



①天ヶ瀬ダムにおける住民との協働による情報発信の取り組み

(近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所)



## 2. 概要

### 1) 事業主体

国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所  
宇治観光ボランティアガイドクラブ

### 2) 事業概要

天ヶ瀬ダムは自然に恵まれた琵琶湖国定公園内にあり、周辺には源氏物語や宇治十帖等にちなんだ名所旧跡も多い。特に天ヶ瀬ダム湖(鳳凰湖)は、平等院や宇治上神社(世界文化遺産に指定)などのある宇治市と琵琶湖の玄関である大津市を結ぶ観光ルート上に位置し、毎年多くの人々が観光や憩いの場としてダムやダム周辺を訪れている。

宇治市内では宇治を訪れる旅行者に観光案内を行うことを目的として宇治観光ボランティアクラブが組織され活動を行っていた。

淀川ダム統合管理事務所は天ヶ瀬ダムを広く国民に知っていただき、あわせて、天ヶ瀬ダムを観光資源として活用していただくことを目的とした協働事業を宇治観光ボランティアガイドクラブとともに取り組んだ。

事業の主な内容は、淀川ダム統合管理事務所はボランティアガイドクラブに対し研修会を実施し、天ヶ瀬ダムや淀川流域に関する情報を提供する。ボランティアガイドクラブはそうして得た知識を宇治を訪れる旅行者などへ案内をする際に活用するというものである

## 3. 課題

天ヶ瀬ダムを訪れる人は多いものの職員による案内には限界があり、案内板等を設置しているが一般の方への広報としては十分とは考えていなかった。

一方、地域としては塔の島周辺には多くの観光施設や名所旧跡があるが天ヶ瀬ダムの観光資源としてのポテンシャルを十分に活用できていないとの思いがあった。

## 4. 事業スケジュール

- H22年12月10日 協働に向けた意見交換会を開催
- H23年 2月、7月 見学ハイクに向けた現地研修会(第1回、第2回)
- H23年 7月31日 天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所見学ハイク
- H23年 8月26日 見学ハイク反省会を開催
- H24年 3月 3日 研修会(淀川河川事務所との合同研修会)
- H24年 6月 日 見学ハイクに向けた現地研修会
- H24年 7月29日 天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所見学ハイク
- H24年 8月 日 見学ハイク反省会を開催

## 5. 平成24年度の取り組み状況

平成24年度の取り組みとして、3月に淀川ダム統合管理事務所と淀川河川事務所合同の研修会を開催、30名のボランティアガイドが参加した。また、6月には見学ハイクに向けた現地研修会を開催した。

そうした準備を重ね、平成24年7月29日(日)森と湖に親しむ旬間行事として「天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所見学ハイク」を開催した。

参加者はダムサイトや堤頂にあるゲートハウス(ゲートを動かす機械が入っている上屋)や天ヶ瀬ダムをダム直下から見上げることができる減勢池を見学したあと関西電力(株)天ヶ瀬発電所の見学を行った。

ダムの案内や誘導は全てボランティアガイドクラブが担当した。

現地での説明にはボランティアガイドクラブが研修会での成果を活かした資料を用意し、自らの経験や旅行者の視点に立った説明を行うなど工夫したことで参加者からも概ね好評であった。

平成24年度の見学ハイクの参加者は81名であった。

## 6. 取り組みによる効果

当日は、宇治市周辺だけでなく近畿各地から参加者が集まり大人から子供まで総勢81名が参加された。これは、ボランティアガイドクラブが単独で行う1日のイベントと比べてもかなり多い参加者数である。

また、見学ハイク以降もボランティアガイドクラブが行うガイドにおいて天ヶ瀬ダムの案内が行われている。ここにも、協働の効果が現れているものとする。

## 7. 平成25年度の取り組み予定

過去2年間7月に見学ハイクを開催してきたが、反省会での意見を受け、平成25年度はハイキングに厳しい時期を避け6月上旬に開催することとなった。

ボランティアガイドクラブとは定期的に意見交換会を行い、天ヶ瀬ダムを訪れる旅行者に伝えたい内容やメンバーの関心が強いテーマを中心に研修会を実施することとしている。

H25年5月	見学ハイクに向けた現地研修会
H25年6月	天ヶ瀬ダム見学ハイク
H25年7月	見学ハイク反省会

## ② 近畿「子どもの水辺」交流会 （近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会）

### 1. イメージ図

第6回近畿「子どもの水辺」交流会を、平成25年2月9日に大阪府内で開催しました。近畿各地からたくさん子どもたちが集まって、身近な水辺で観察したことや体験したこと、取り組んだ活動など、ポスターを使って発表・発信するとともに、他流域のみんなと一緒に「水辺」について考えて話し合い、楽しく交流しました。



①日頃の活動を発表するグループ別発表会



②「水辺」について活動テーマ別で意見交換し合うグループ交流会



③参加者全員による全体交流会



④「水辺」に関する作品の展示や楽しい体験コーナー

## 2. 概要

### 1) 主催

近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

※ 事務局：近畿地方整備局、大阪府、河川環境管理財団

### 2) 開催概要

近畿「子どもの水辺」交流会は、身近な水辺活動を広く発信していただくもので、「水辺」への関心、上下流・府県間など「水辺」に関わるみなさんの交流を深め、水辺活動の継続・広がり・地域ぐるみで共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指して開催しました。

○開催日 平成25年2月9日

○参加者 小・中学生等

○会場 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

○内容 ①ポスター等を使ったグループ別発表会

②参加者による活動テーマ別グループ交流会（意見交換）

③参加者全員による全体交流会

④作品展示・体験コーナーなど

## 3. 事業スケジュール

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・実行委員会	● ● ● ● 6月 ~ 1月	● ● ● ● 6月 ~ 3月	
・参加者募集	— 7月~9月	— 7月~9月	企画中
・交流会開催	● 2月	● 2月	
・開催地	兵庫県	大阪府	滋賀県

#### 4. 平成24年度の取り組み状況

- 6月 H24行政担当者会議（実行委員募集概要、企画素々案揭示等）
- 7月 実行委員募集（NPOの委員に加え、今年から大学生も募集）  
プレ実行委員会  
（委員会スケジュール、参加者募集概要、実行委員会運営等）
- 8月 参加者募集  
第1回実行委員会  
（参加者募集状況確認、企画素案揭示等）  
第1回企画運営チーム会議（企画案の検討）
- 9月 第2回企画運営チーム会議（プログラム案の立案）  
第3回企画運営チーム会議（プログラム案の検討）
- 10月 第2回実行委員会  
（企画、プログラム案提示等）
- 11月 第3回実行委員会  
（企画、プログラム確定等）
- 1月 第4回実行委員会  
（開催準備、開催チラシ概要、人員配置等最終確認等）
- ◎2月9日 第6回近畿「子どもの水辺」交流会開催
- 3月(予定) 第5回実行委員会  
（開催結果報告、次回交流会の検討等）

※ 子どもたちが主役となれる内容とするため、今年から参加した大学生等を中心に、行政のみならず、NPO等団体と連携協力して取り組みました。

## 第1部



実行委員会会長の開会宣言で交流会スタート！発表団体の紹介のあと、交流会のスタッフの紹介や約束事をみんなで確認しました。

## 第2部



10箇所に分かれて、日頃の水辺活動について発表しました。聞く側も真剣で質問をしたり、感想を言って、意見交換しました。

## 第3部



フリータイムです。お昼ごはんを食べたり、他の団体の発表ポスターや、体験交流コーナーを自由に見てまわりました。

## 第4部



6つの部屋に分かれて、前半は自分達の水辺にある自慢のお宝を一枚の紙に表現。みんなの前で自慢しました。後半は、自分達で考える水辺宣言を、みんなで考えながら作りました。

## 第5部



前半は子ども達がみんなの前で自慢したお宝を縦4m、横3.5mのサイズの近畿の地図が書かれた旗にみんなで貼り、水辺のお宝マップを作りました！後半は第4部で考えた水辺宣言の6つをみんなで声を挙げて読み上げ、水辺宣言6箇条として今後の活動の約束事として決めました。最後に作ったお宝マップを入れて記念撮影し、交流会を締めくくりました。

■平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針

流域水環境再生

実施項目	平成24年度		平成25年度の活動方針
	活動方針	活動報告	
1. 適正な水管理のための水環境改善計画の作成	・猪名川・木津川における住民と連携した水質保全の取り組みを進める。	・モデル小流域の猪名川において、「猪名川流域の水質管理の方向性 ～川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ～」を実現していくために、流域住民に猪名川の関心と理解を深めるため水環境シンポジウムや水質一斉調査等の活動を実施した。	・猪名川では、「猪名川流域の水質管理の方向性」に基づき、流域住民や関係団体との連携による実現に向けた取り組みを進める。 ・木津川上流では、行政や住民が連携した水質管理手法を議論する枠組みづくりの検討を進める。
2. 「生命(いのち)の水再生」アクションプランの実施	・引き続き、「生命(いのち)の水再生」アクションプラン実施の取り組みを進める。	・各機関において、水源のかん養機能の保全、面的負荷対策の推進および水質の改善などの取り組みを実施した。	・各機関において、水源のかん養機能の保全、水質の改善および安定した水量を確保するための取り組みを進める。
3. 水と人とのつながりの再構築	・流域ミュージアム案内所が連携した企画や取り組みを引き続き、実施する。	・流域圏の水に関わる様々な情報を広く知っていただくために、連携企画として「BYスタンプラリー[ミュージアム編]」を継続した。	・流域圏における水に関わる自然、歴史、文化を広く知っていただくため、流域ミュージアム案内所が連携した取り組みを引き続き実施する。
		・「BY展」において、流域ミュージアム案内所が連携して、流域ミュージアムの紹介とパンフレット等の配布を実施した。また、滋賀県、京都府、大阪府の展示ブースにおいて、出張展示を行い、パネル展示・パンフレット配布を行い協議会の取り組みを紹介した。	
	・流域ミュージアム案内所による今後の連携した取り組みについて「連携企画検討チーム」「流域ミュージアム連携会議」において、企画の検討を実施した。		
	・協議会で取り組む打ち水行動期間を設け、各機関において打ち水行動を行う。	・協議会として取り組む打ち水行動期間を決め、各機関において打ち水に取り組んだ。	
・引き続き、上下流の交流を促進するため、水源地探訪の琵琶湖・淀川流域圏連携交流会と連携した企画を実施する。	・上下流の交流を促進し、水利用と環境を考え、水源地保全の大切さを知っていただくための水源地探訪企画をみずべプロムナードネットワーク分科会、水辺の賑わい創出分科会と連携して実施した。	・上下流の交流を促進し、水源地保全の大切さや水をつながりを知ってもらう取り組みを連携交流会とも連携しながら実施する。	

■平成24年度の活動報告と平成25年度の活動方針

流域水環境再生

実施項目	平成24年度		平成25年度の活動方針
	活動方針	活動報告	
		・ダム発電所見学ハイクが淀川統合管理事務所で開催され、ボランティアガイドクラブと協働で住民のかたにダムや流域に関する情報を知っていただき、宇治を訪れる旅行者への情報提供も行った。	
		・近畿「子どもの水辺」交流会が大阪府で開催され、各地で水辺活動を行っている子供たちの情報発信や交流が行われた。	
4. 流域水環境の統合管理に向けたアプローチ	・勉強会を開催し、議論検討を行う。	・滋賀県が行っている琵琶湖総合的流域管理について、勉強会を行い課題などについて意見交換を行った。また統合管理について、今後の方向性について意見交換を行う。	・勉強会を開催し、統合的流域管理を考えていくうえでの課題について整理し、引き続き今後の方向性について議論を進めていく。

## 1. 適正な水管理のための水環境改善計画の作成

### 〔平成 24 年度の取り組み〕

・モデル小流域の猪名川において、「猪名川流域の水質管理の方向性 ～川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ～」を実現していくために、猪名川の水環境の現状と取り組みについて流域住民に広報 PR し、猪名川の関心と理解を深めるための流域住民と一緒に考える水環境シンポジウムを開催した。

また神埼川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会において、流域住民と水質一斉調査等の活動を実施した。



猪名川水環境シンポジウム 2012

### 〔平成 25 年度の活動方針〕

- ・猪名川では、「猪名川流域の水質管理の方向性 ～川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ～」に基づき、流域住民や関係団体との連携による実現に向けた取り組みを進める。
- ・木津川上流では、行政や住民が連携した水質管理手法を議論する枠組みづくりの検討を進める。

(事例集参照)

- ① 猪名川における水環境の取り組み(近畿地方整備局 猪名川河川事務所)

## 2. 「生命(いのち)の水再生」アクションプランの実施

### 〔平成 24 年度の取り組み〕



箕面国有林における植樹の様子

- ・各機関において、水源のかん養機能の保全、面的負荷対策の推進および水質の改善などの取り組みを実施した。

(事例集参照)

- ① 里山の保全(「箕面体験学習の森」整備事業)における取り組み(近畿中国森林管理局)
- ② 赤野井湾流域流出水対策推進計画(滋賀県)

### 〔平成 25 年度の活動方針〕

- ・各機関において、水源のかん養機能の保全、水質の改善および安定した水量を確保するための取り組みを進める。

### 3. 水と人とのつながりの再構築

#### 〔平成 24 年度の取り組み〕

##### （連携ミュージアム）

・流域圏の水に関わる様々な情報を広く知っていただくために、連携企画として「BYスタンプラリー[ミュージアム編]」を継続した。



BYスタンプラリー[ミュージアム編]MAP

・「BY展」において、流域ミュージアム案内所が連携して、流域ミュージアムの紹介としてパネルによる展示やパンフレット配布、アンケート等を実施した。

また、滋賀県、京都府、大阪府の展示ブースにおいて、出張展示を行い、パネル展示・パンフレット配布を行い協議会の取り組みを紹介した。

・流域ミュージアム案内所による今後の連携した取り組みについて「連携企画検討チーム」「流域ミュージアム連携会議」において、企画の検討を実施した。



BY展における流域ミュージアム案内所による PR

##### （打ち水）

・協議会として取り組む打ち水行動期間を決め、各機関において打ち水に取り組んだ。

##### （上下流交流）

・上下流の交流を促進し、水利用と環境を考え、水源地保全の大切さを知っていただくための水源地探訪企画をみずべプロムナードネットワーク分科会、水辺の賑わい創出分科会と連携して実施した。



打ち水の様子

・ダム発電所見学ハイクが淀川統合管理事務所で開催され、ボランティアガイドクラブと協働で住民のかたにダムや流域に関する情報を知っていただき、宇治を訪れる旅行者への情報提供も行った。

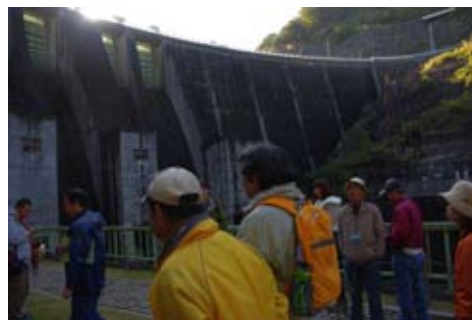
・近畿「子どもの水辺」交流会が大阪府で開催され、各地で水辺活動を行っている子供たちの情報発信や交流が行われた。

##### （事例集参照）

- ① 天ヶ瀬ダムにおける住民との協働による情報発信の取り組み (近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所)
- ② 近畿「子どもの水辺」交流会 (近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会)

#### 〔平成 25 年度の活動方針〕

- ・流域圏における水に関わる自然、歴史、文化を広く知っていただくため、流域ミュージアム案内所が連携した取り組みを引き続き実施する。
- ・協議会として取り組む「打ち水一斉行動期間」を設け、各機関において、積極的に打ち水の実施に取り組み、水との復縁運動の展開を図る。
- ・上下流の交流を促進し、水源地保全の大切さや水のつながりを知ってもらう取り組みを連携交流会とも連携しながら実施する。



高山ダム の 視 察 状 況

#### 4. 流域水管理の統合管理に向けたアプローチ

##### 〔平成 24 年度の取り組み〕

- ・琵琶湖淀川の流域管理について、滋賀県にこれまでの取り組みを紹介していただき、流域水環境の統合管理について議論する。

##### 〔平成 25 年度の活動方針〕

- ・取り組むべき課題の6つの柱をテーマに過去に講演していただいた有識者を交えた勉強会の結果と今回の猪名川や琵琶湖での取り組みの内容を踏まえ、統合的流域管理を考えていくうえでの議論を進めていく。

## 統合的流域管理に関する検討の経緯

### 1. 再生計画の記載内容(統合的流域管理の必要性)

再生計画 p. 56、58

#### 4. 流域水環境の統合管理に向けたアプローチ

水環境は水量、水質を中心とし、人とのつながり等、様々な要素を持つことから、水環境の維持、向上に向けて多くの主体が関与している。

現在、水環境に関わる行政は、それぞれの所管のもとに法律を整備し、現在までに様々な施策が鋭意進められ、大きな成果を上げてきた。しかし、近年、水環境に対して、生物に配慮した水量・水質の確保等、従来の施策では対応できない新たな価値観に基づく対応が求められている。これらに対して、個々の行政が単独で対応、展開するには限界があることから、様々な主体が連携して取り組み、迅速かつより適切な対応が求められている。

一方、琵琶湖・淀川流域圏の水は、琵琶湖やダム湖等の上流域で利用され、その後、京都を中心とした中流域、さらに下流域の大阪平野で利用される等、反復利用されている。このように、琵琶湖・淀川流域圏の地域社会は、流域がもたらす恵みである水を高度に利用することにより成立しており、流域とつながりのある全ての主体が、水をかけがえのない共有財産として認識する必要がある。

さらに、この共有財産である生命の水を、それぞれの主体が守り育てていくために、流域としての「効率性」、「公平性」、「持続性」が保たれ、また、それぞれの主体の合意と共通認識のもとで実施する水環境の統合管理が必要である。

以上のことから、流域水環境のあり方について、行政機関が相互に議論、協力しあうことのできる場づくりを行い、水環境の統合管理に向け、利害を調節し、合意形成にいたる仕組みについて協議・調整を行う。

#### 5) 「統合的流域管理に関する検討分科会」

水環境に関する実態の把握(水環境データベースの構築)、水環境管理のあり方の検討、統合的流域管理のための水マネジメント機構の創設に関して検討等を行い、統合的流域管理に向け、行政が相互に議論、協力しあうことのできる場づくりを行い、利害を調節し、合意形成にいたる仕組みについて協議・調整を行う。

## 2. これまでの経緯・成果

流域圏で取り組むべき水環境のあり方を検討するにあたり、取り組むべき課題を「水質」「水量」「情報発信」「利用」「生態系(水辺生物)」「水辺空間(水辺地)」という6つの柱で整理することとし、事例の収集、有識者を交えた勉強会などにより検討を進めてきた。

以下にこれまでの検討の経過を示す。

	流域水環境管理のあり方	水マネジメント機構の創設に関する検討	水の統合的管理に関する動向
平成17年度	○流域水環境のあり方を検討するために、流域圏で取り組むべき課題を整理し、「水質」、「水量」、「情報発信」、「利用」の4つの柱があることを確認した。	○水マネジメントのあり方を検討するために、日本水フォーラムを招いて、国際機関である世界水パートナーシップが推進している統合水資源管理(IWRM)の定義、現状や策定手法について講演いただいた。 (平成17年7月12日)	○「統合水資源管理(IWRM)の取り組みに関する分科会」が開催された。(第4回世界水フォーラム[メキシコ] 平成18年3月16日～22日)
平成18年度	○シンポジウム「琵琶湖・淀川の水環境を考える」(平成19年2月23日)※1を開催し、琵琶湖・淀川流域圏における、これまでの水環境改善のための取り組みと諸課題を各分野の専門家から報告いただいた。 ※1主催:琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、国土交通省近畿地方整備局、(財)琵琶湖・淀川水質保全機構	○水マネジメント機構の創設に関する検討にあたって統合的流域管理に関する他国の事例収集等を行うこととなり、その一環として日本水フォーラムの鈴木研司氏より、「欧州の流域管理」という演題で、ご講演いただいた。 (平成18年12月1日)	
平成19年度	○水環境管理のあり方の検討や統合的流域管理のための水マネジメント機構の創設に向けた勉強会の設置について検討し、有識者を交えた勉強会などを開催していくこととした。 ○勉強会としてセミナー「水循環」の計画と設計に参加した。 (平成20年1月16日)		○「水災関連災害」に関する提言の中に統合的水管理(IWRM)の重要性についての指摘があり、オープンイベントでもIWRMに関するものが複数開催された。(第1回アジア・太平洋水サミット[大分県] 平成19年12月3日、4日)
	○流域圏で取り組むべき水環境の課題として、「水質」「水量」「利用」「情報発信」に「水辺空間(水辺地)」「生態系(水辺生物)」を加えた6つの柱があることを確認した。 ○勉強会を経て、流域の課題として、「非意図的な間接的再利用」、「微量有害物質の長期的な健康への影響を解明すること」および「再生水利用に対する国民の合意形成」の3つがあることを認識した。	○勉強会を経て、水マネジメント機構が持つべき機能の一つは、「再生水に関わるリスクマネジメント」であるとの共通認識を得た。	
平成20年度	○勉強会の進め方を検討し、6つの柱を4つのテーマ(「水」「人」「生物」「共通」)に編成して行うこととした。 ○服部保先生(兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授)を招いて、テーマ「生物」「水辺空間(水辺地)」「生態系(水辺生物)」の勉強会「生物面から見た統合的流域管理のあり方」を開催した。(平成20年10月21日)		○「総合水資源管理について(中間とりまとめ)」が公表された。(国土審議会水資源開発分科会調査企画部会 平成20年10月1日)
	○勉強会を経て、外来種により生育環境を奪われることなどで、在来植物が減少している現状や生物多様性の確保の必要性を認識した。	○勉強会を経て、水マネジメント機構(仮称)が持つべき機能の一つとして、「生物多様性の確保に向けた広域的な調整機能」があげられるという共通の認識を得た。	○「河川流域における統合水資源管理(IWRM)のためのガイドライン」が発表された。(第5回世界水フォーラム[トルコ] 平成21年3月16日～22日)

平成21年度	○川崎雅史先生(京都大学大学院工学研究科教授)を招いて、テーマ「利用(景観)」「水辺空間(水辺地)」「利用」の勉強会「利用面から見た統合的流域管理のあり方」を開催した。(平成21年11月30日)	
	○勉強会を経て、地域の歴史や文化、地域住民の尊重、場合により河川水量や生物多様性の面からの配慮の必要性について認識した。 ○利用(景観)をテーマにしたが今後、利用については、「水面・河川敷空間」について検討する必要があることを確認した。	○勉強会を経て、利用(景観)に関しては、情報交換や調整する場(仕組み)が必要であるが、統合的流域管理が必要とまでは言えないとの認識を得た。
平成22年度	○宗田好史先生(京都府立大学人間環境学部准教授)を招いて、テーマ「水辺空間(水辺地)」の勉強会「水辺空間と流域圏での連携」を「利用」を開催した。(平成22年12月9日)	
	○勉強会を経て、広域的な連携・調整をふまえ、それぞれの特徴を活かした水辺空間の整備や利用を行っていく必要性を認識した。 ○水辺(河川)の空間をまちづくりの中でどう位置づけて捉えていくか考えていく必要があることを認識した。	○勉強会を経て、水辺空間にかかる空間計画や管理について、流域圏として総合的な議論を踏まえながら取り組んでいく必要があるとの認識を得た。
平成23年度	○井出慎司先生(滋賀県立大学環境科学部教授)を招いて、テーマ「情報発信」の勉強会「流域住民との連携・合意」を「利用」を開催した。(平成24年1月24日)	○第6回世界水フォーラムがフランスにて開催された。(平成24年3月12日から17日)
	○勉強会を経て、一方向の情報発信では不十分であり、より多くの利害関係者の関与・参画のもと、コミュニケーション(対話)により、関係者間の理解と信頼のレベル向上を図っていく必要があるとの認識を得た。 ○情報発信にあたっては、受け手の懸念や関心を尊重し、できるだけ正確で、分かり易い情報を情報伝達のみを目的として行う必要があると認識した。	○勉強会を経て、流域圏における目標設定には、より多くの利害関係者の参画による意思決定が必要であるとの認識を得た。 ○情報発信の情報源には、受け手から信頼され、信頼に基づく対話が求められ、そうした情報源を育成していくことが必要との認識を得た。
平成24年度	○滋賀県の「琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて」「マザーレイクフォーラム推進事業」について、分科会において説明・議論した。(平成24年12月20日)	
	○各機関における、流域管理の目指すべき姿に向け、具体的な取り組みを紹介していただき。今後の流域水環境管理のあり方について、情報共有した。	

#### 今後の予定

「水質」「水量」「利用」「情報発信」「水辺空間(水辺地)」「生態系(水辺生物)」の6つの柱における勉強会の内容と滋賀県や他機関の流域管理についての内容を踏まえて、課題などについて整理し、引き続き今後の方向性について議論を進めていく。

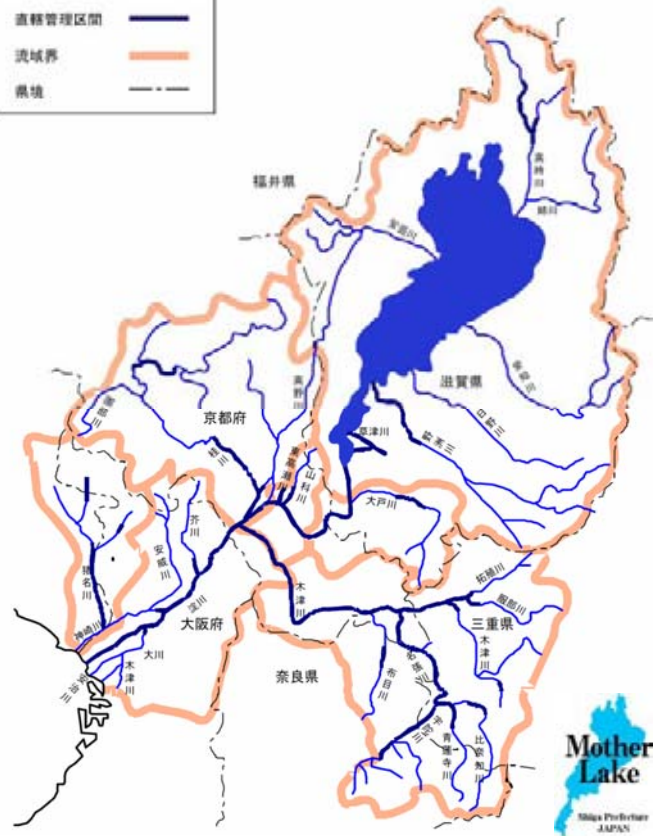
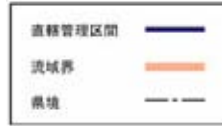
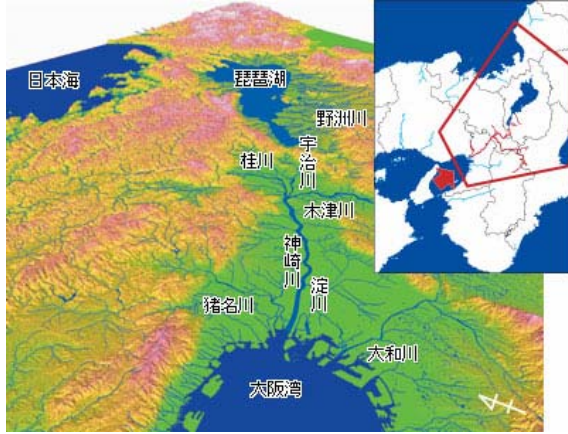


～琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて～  
目次

- 1. 琵琶湖淀川流域の概要**
- 2. 琵琶湖の流域管理の経過と現状**
- 3. 琵琶湖淀川流域の現在の課題**
- 4. 琵琶湖淀川流域における統合的流域管理の取組**
- 5. 琵琶湖淀川流域の未来に向けて**
- 6. 世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加**



# 琵琶湖淀川流域の概要



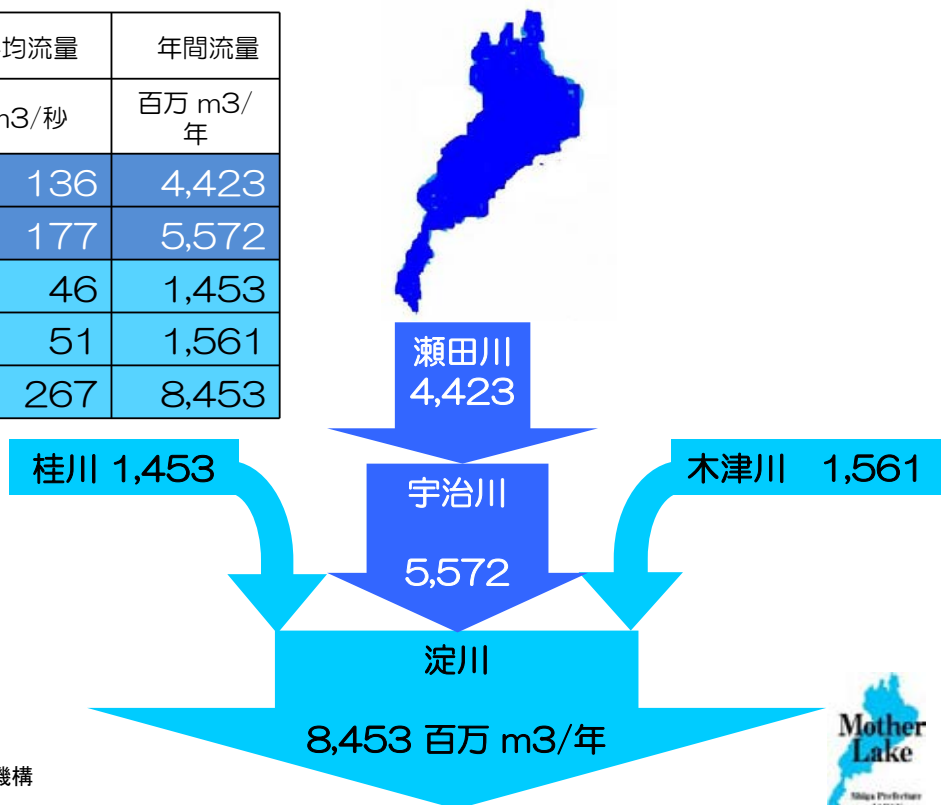
水系名：淀川水系  
 河川名：淀川  
 幹川流路延長：75.1km  
 流域面積：8,240km<sup>2</sup>  
 流域内人口：1,100万人(猪名川除く)  
 流域関係府県：大阪府、京都府、滋賀県、兵庫県、三重県、奈良県

出典：近畿地方整備局HP



# 淀川に占める琵琶湖の流量

	平均流量	年間流量
	m <sup>3</sup> /秒	百万 m <sup>3</sup> /年
瀬田川	136	4,423
宇治川	177	5,572
桂川	46	1,453
木津川	51	1,561
淀川本川	267	8,453



出典：琵琶湖・淀川水質保全機構「BYQ水環境レポート」2008

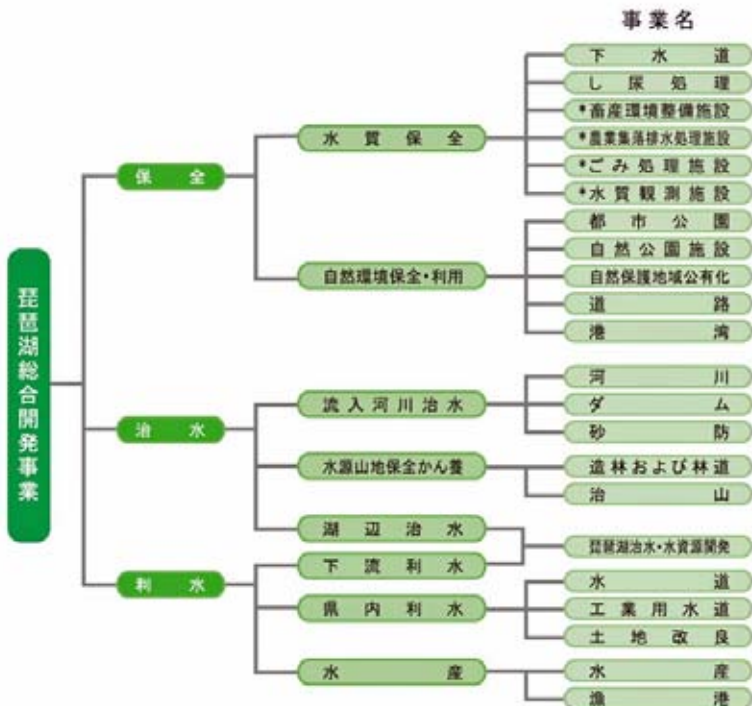


# ～琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて～ 目次

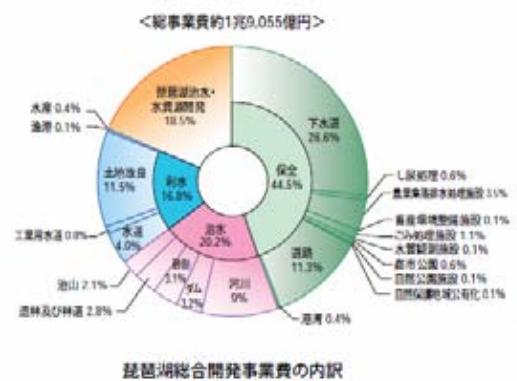
1. 琵琶湖淀川流域の概要
2. **琵琶湖の流域管理の経過と現状**
3. 琵琶湖淀川流域の現在の課題
4. 琵琶湖淀川流域における統合的流域管理の取組
5. 琵琶湖淀川流域の未来に向けて
6. 世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加



## 琵琶湖総合開発事業の概要

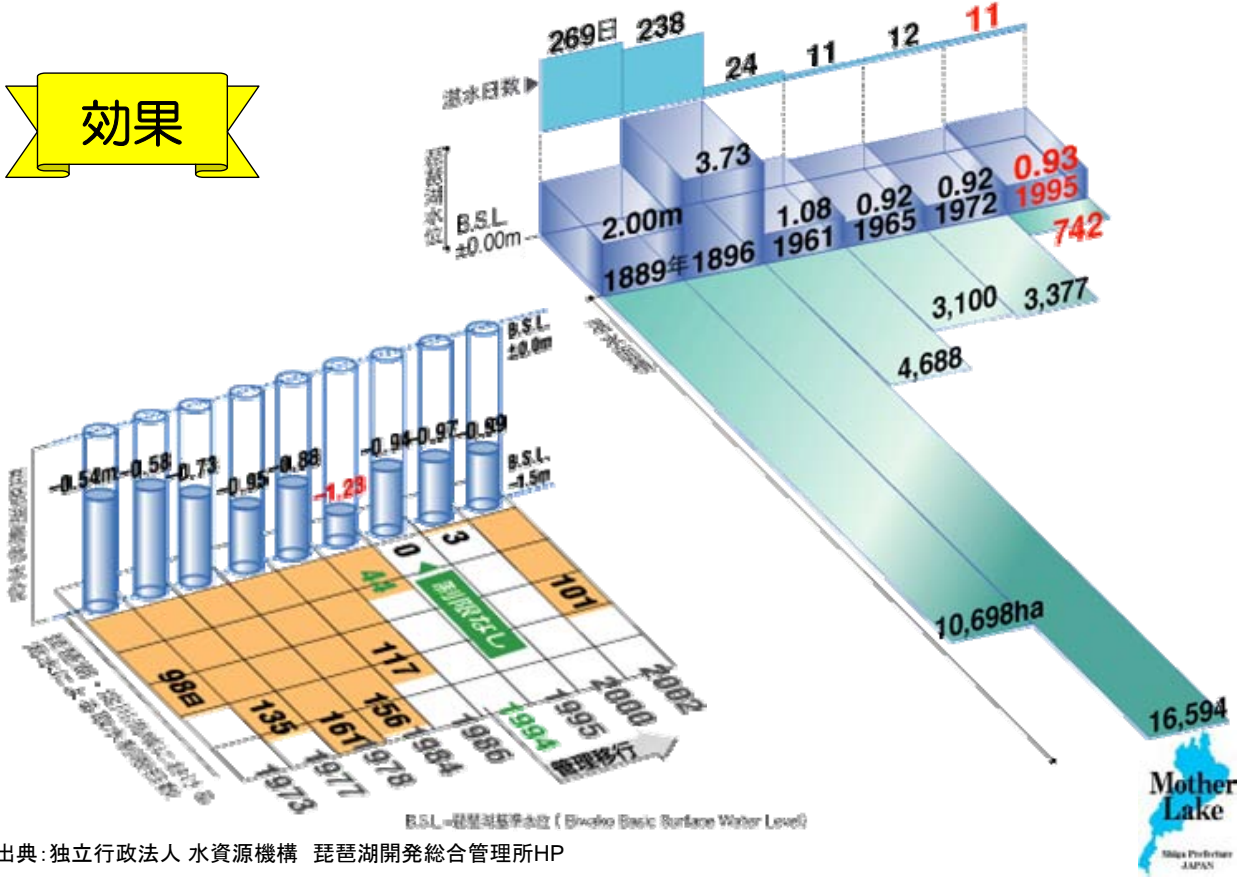


\*は昭和57年変更時に追加された事業



# 琵琶湖開発事業による治水・利水への効果

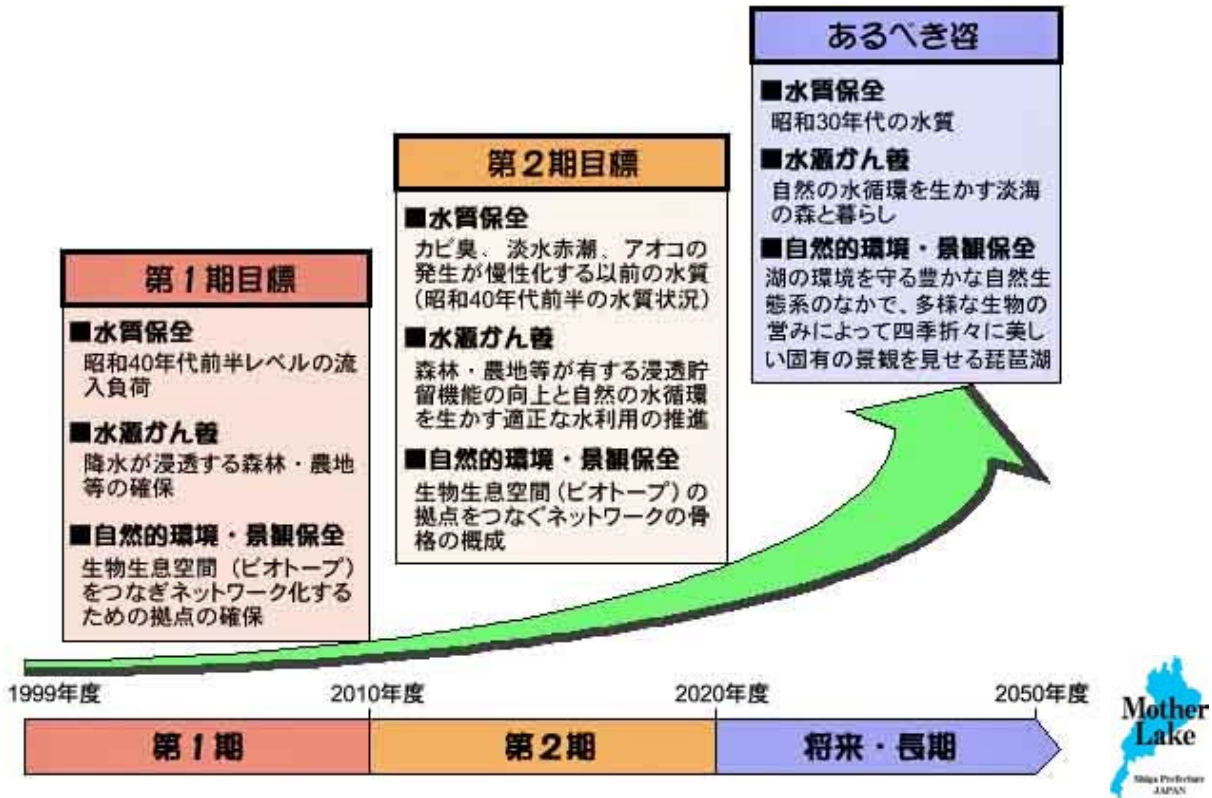
効果



# 在来魚の生息・生育の場の喪失



# 琵琶湖総合保全整備計画(マザーレイク21計画)

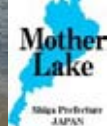


## マザーレイク21計画の取り組み

### ●水質保全対策(赤野井湾)



### ●自然的環境・景観保全対策

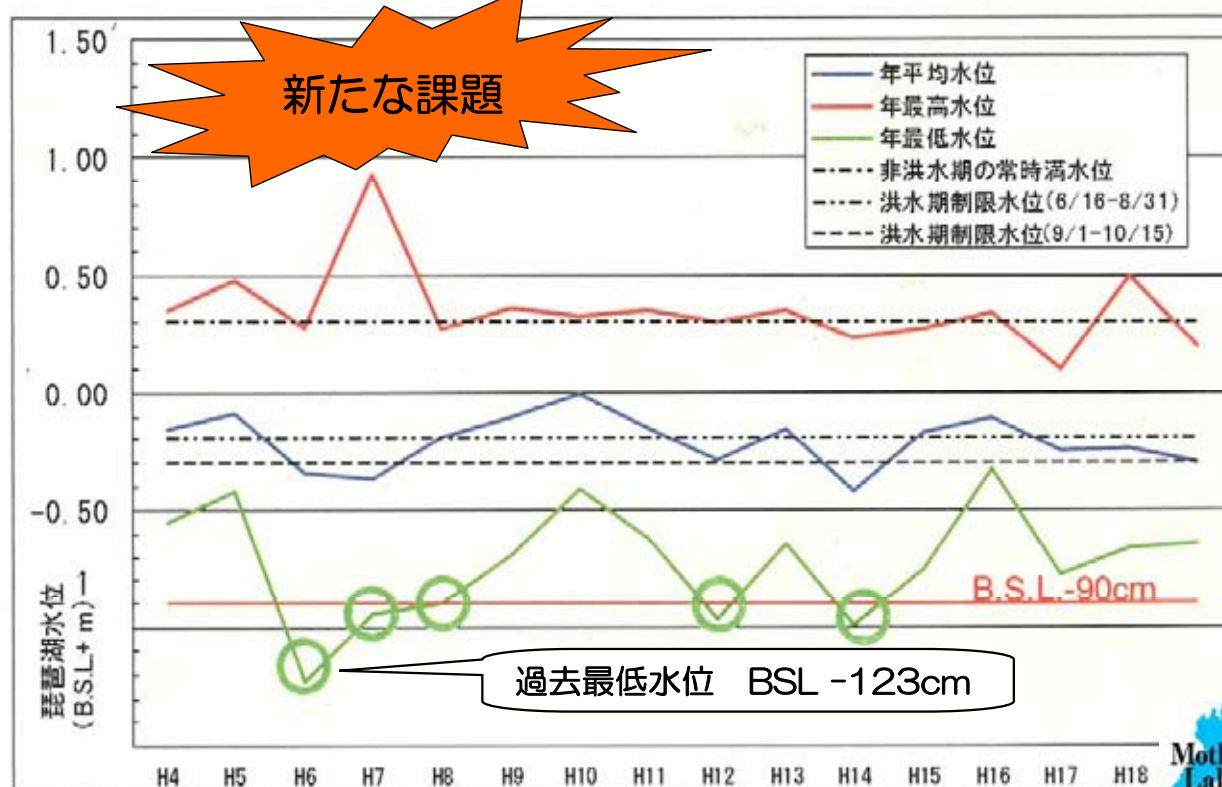


## ～琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて～ 目次

1. 琵琶湖淀川流域の概要
2. 琵琶湖の流域管理の経過と現状
3. **琵琶湖淀川流域の現在の課題**
4. 琵琶湖淀川流域における統合的流域管理の取組
5. 琵琶湖淀川流域の未来に向けて
6. 世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加



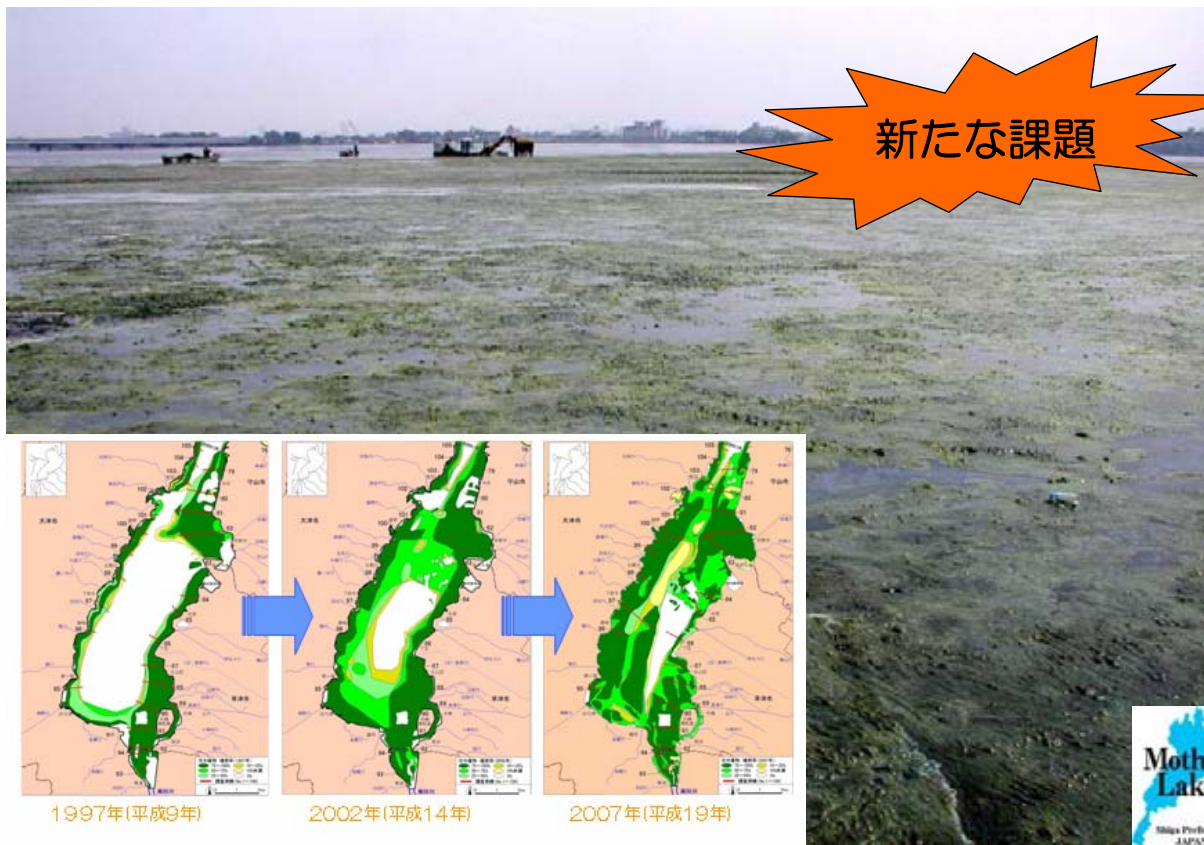
### 頻発する琵琶湖の渇水



出典:近畿地方整備局「淀川水系河川整備計画」



# 南湖における水草の異常繁茂



新たな課題

1997年(平成9年)

2002年(平成14年)

2007年(平成19年)



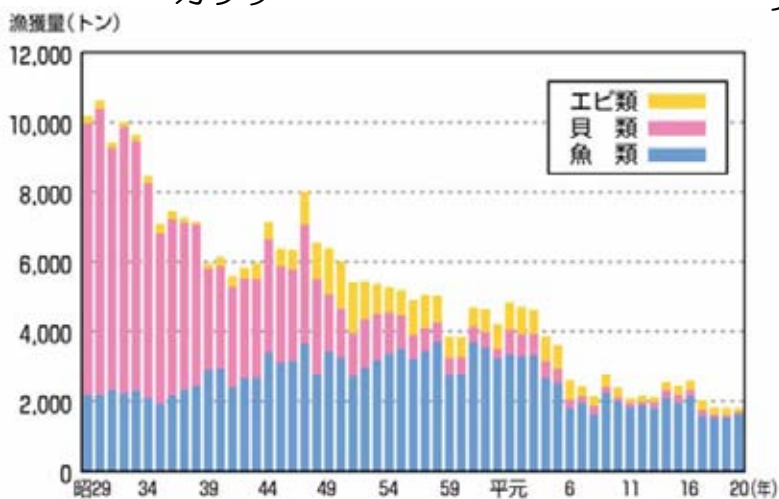
# 外来種等による生態系の攪乱



新たな課題

カワウ

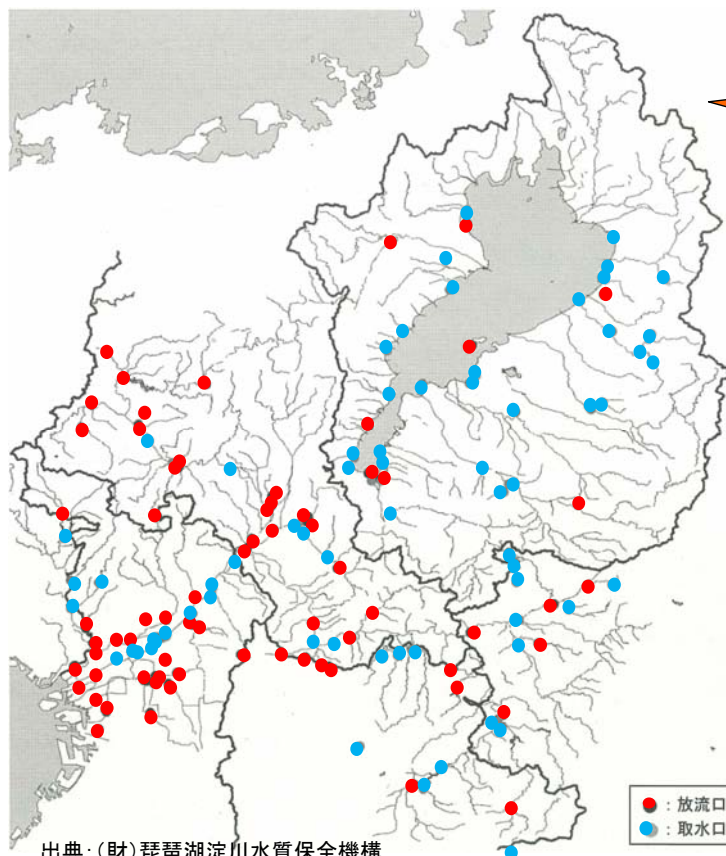
ブラックバスとブルーギル



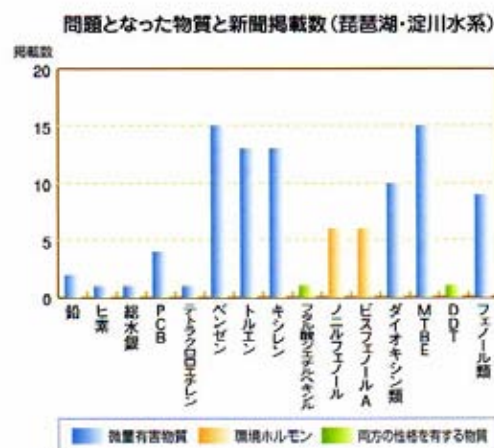
コカナダモ



# 水質汚染リスクの増大



新たな課題

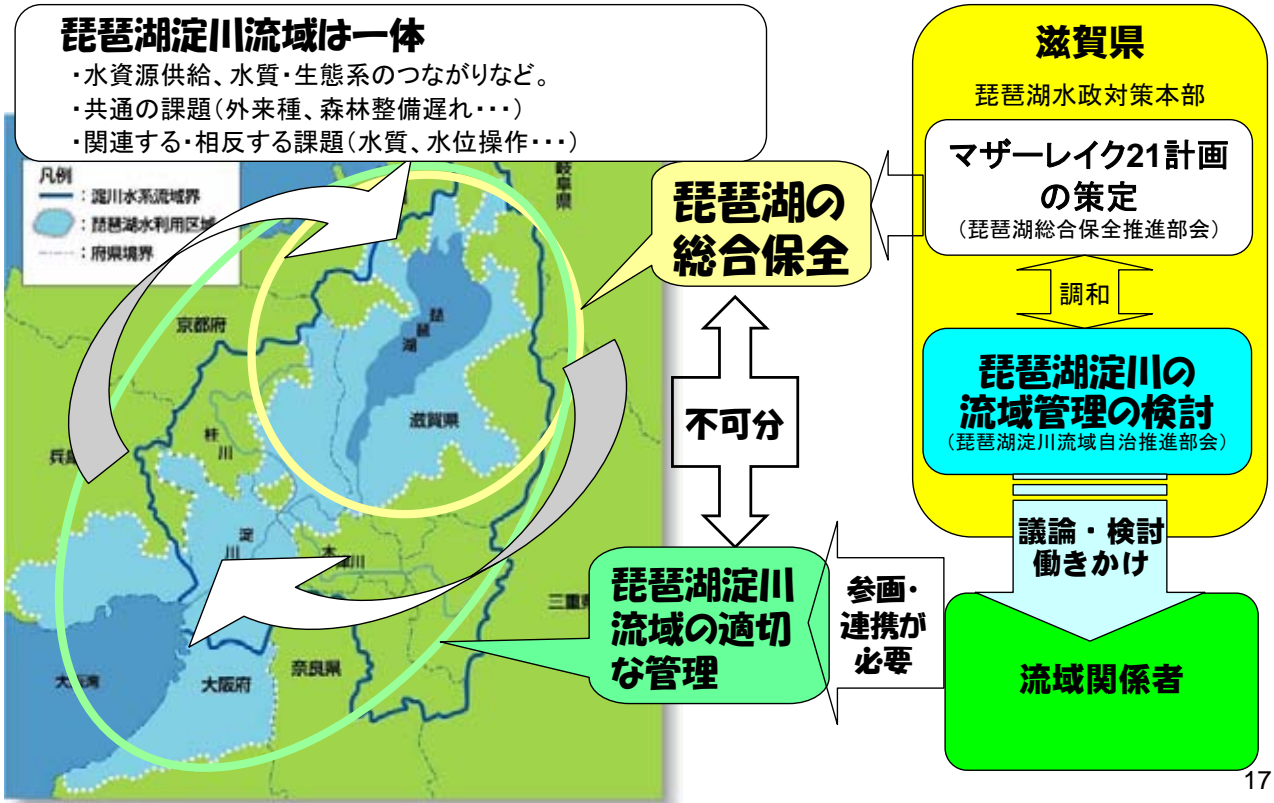


## ～琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて～ 目次

1. 琵琶湖淀川流域の概要
2. 琵琶湖の流域管理の経過と現状
3. 琵琶湖淀川流域の現在の課題
4. **琵琶湖淀川流域における統合的流域管理の取組**
5. 琵琶湖淀川流域の未来に向けて
6. 世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加

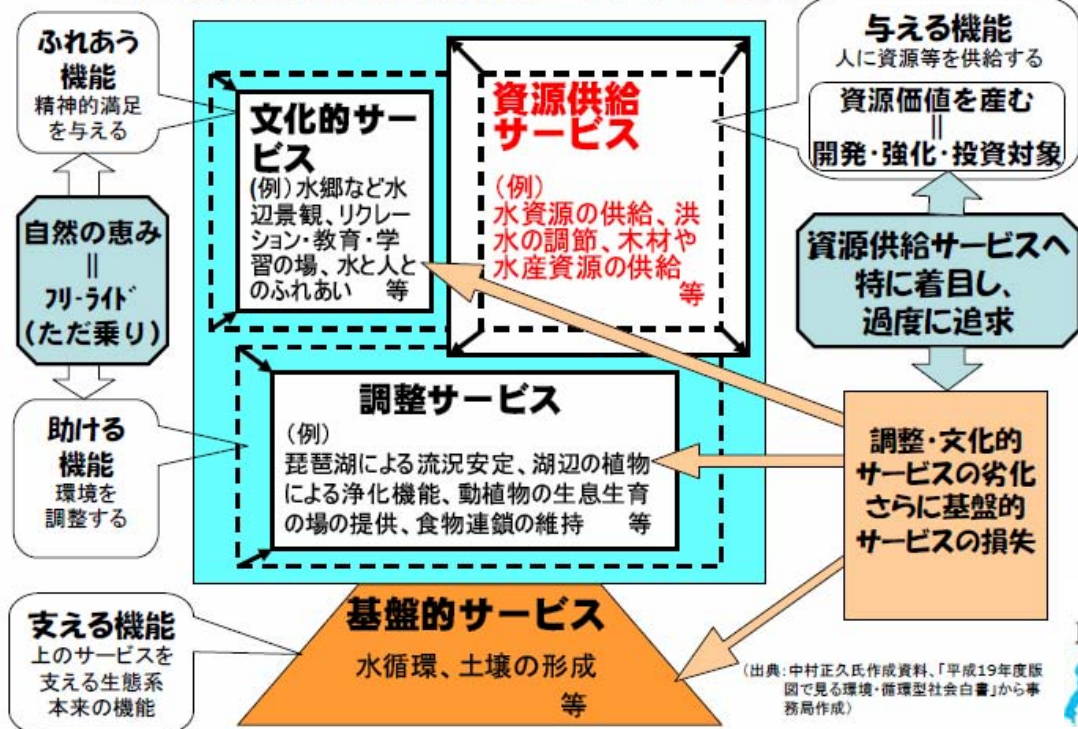


持続可能な琵琶湖淀川流域社会に向け、流域の恵みを健全な形で引き継ぐことが必要  
 マザーレイク21計画の推進には琵琶湖淀川流域の適切な管理が不可欠  
 →中長期的な視点から、流域の将来の課題や取組の基本的方向を示す



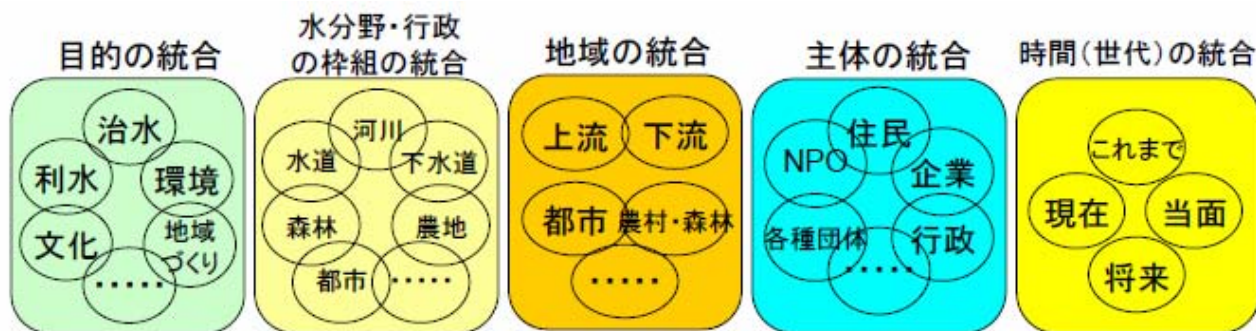
## 流域のめざすべき姿 —生態系サービスの維持向上による流域の社会成長—

琵琶湖淀川流域の生態系サービスとその変化



# めざすべき管理のあり方

## －「つながり」を基本とした統合的な管理－



(例)湖岸堤や湖岸道路で治水や利便性が向上したが湖辺生態系が悪化

→治水と環境などの目的を改めて捉え直した取組

(例)川の中だけでなく川の外における治水対策には河川行政のみで対応できない

→河川、都市計画などの行政分野を横断的する取組

(例)琵琶湖水位管理について洪水時や渇水時の影響について利害が対立

→上下流で課題を共有化し流域として合意をめざす取組

(例)身近な地域での水管理には、行政のみならず住民NPO、企業などさまざまな主体の取組が必要

→さまざまな主体の参画と連携による取組

(例)将来的に維持可能な管理が必要

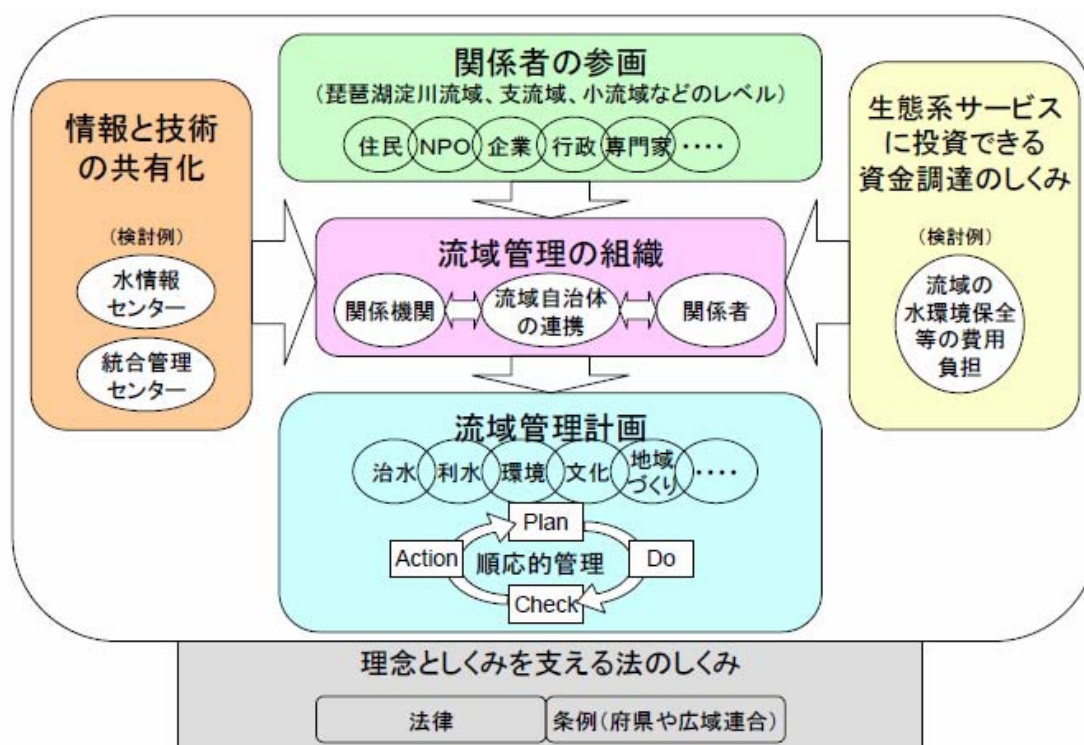
生態系には順応的な管理が必要

→長期的な視点にたった取組



# 新たな流域管理の仕組みのあり方

## －流域ガバナンスの構築－

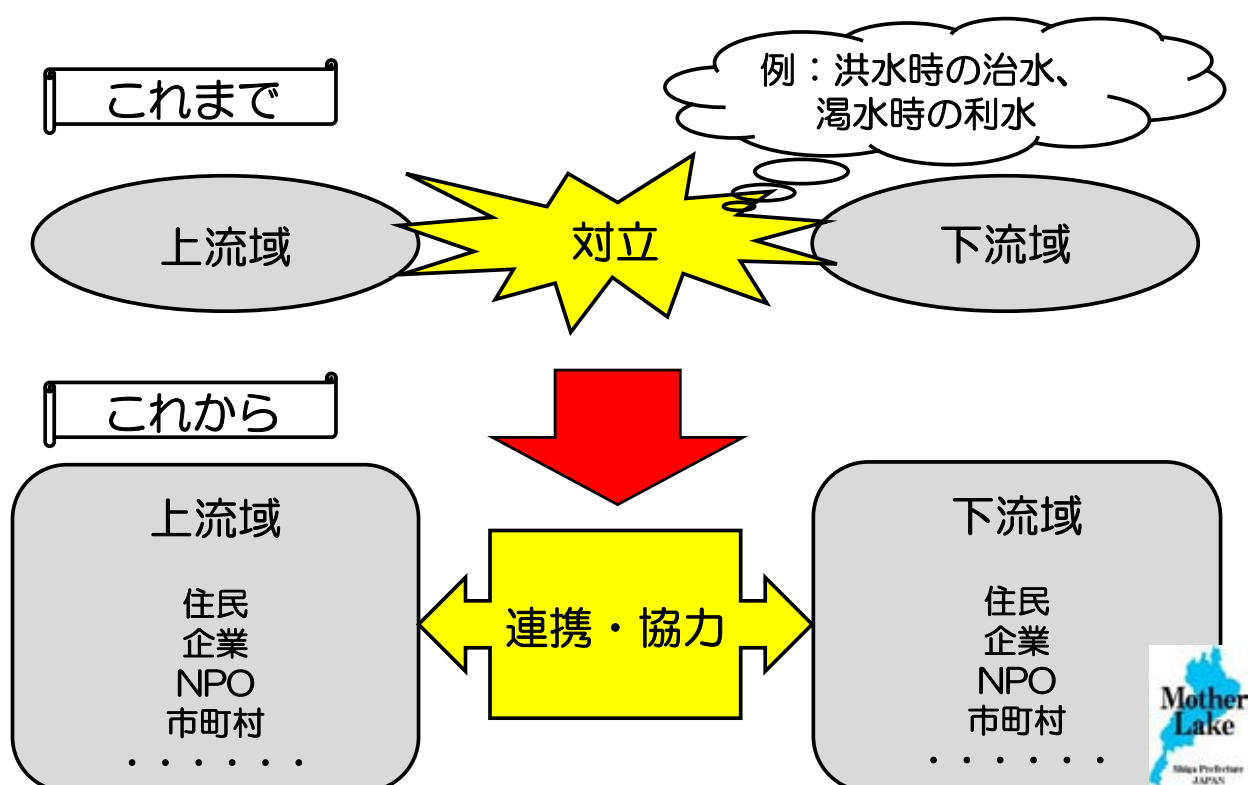


## ～琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて～ 目次

1. 琵琶湖淀川流域の概要
2. 琵琶湖の流域管理の経過と現状
3. 琵琶湖淀川流域の現在の課題
4. 琵琶湖淀川流域における統合的流域管理の取組
5. **琵琶湖淀川流域の未来に向けて**
6. 世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加



## 琵琶湖淀川流域の恵みを次世代に引き継ぐために

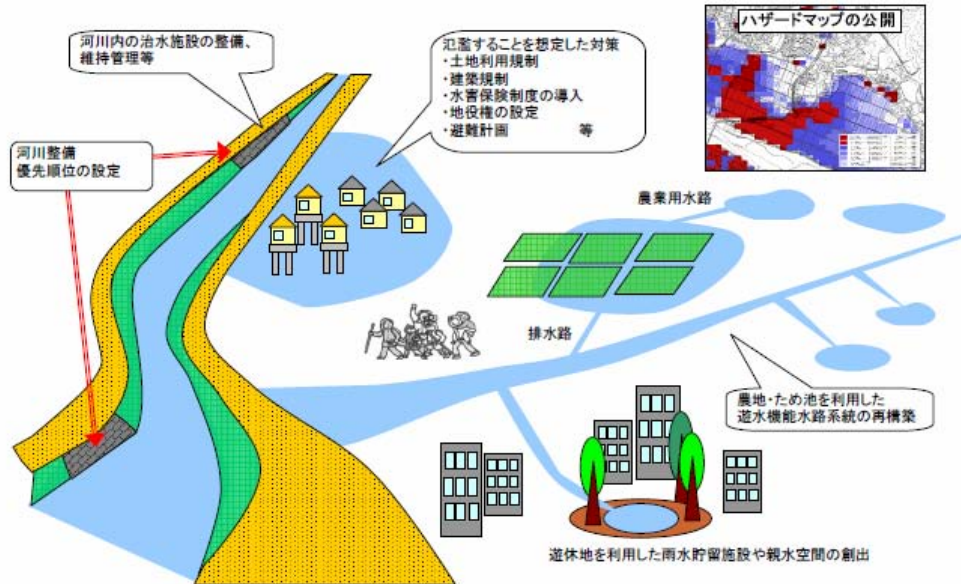


# 流域のめざすべき姿に向け、具体的な取組例を提案

## 取組例(1)

### ●水と共生し「近い水」を活かす地域づくり

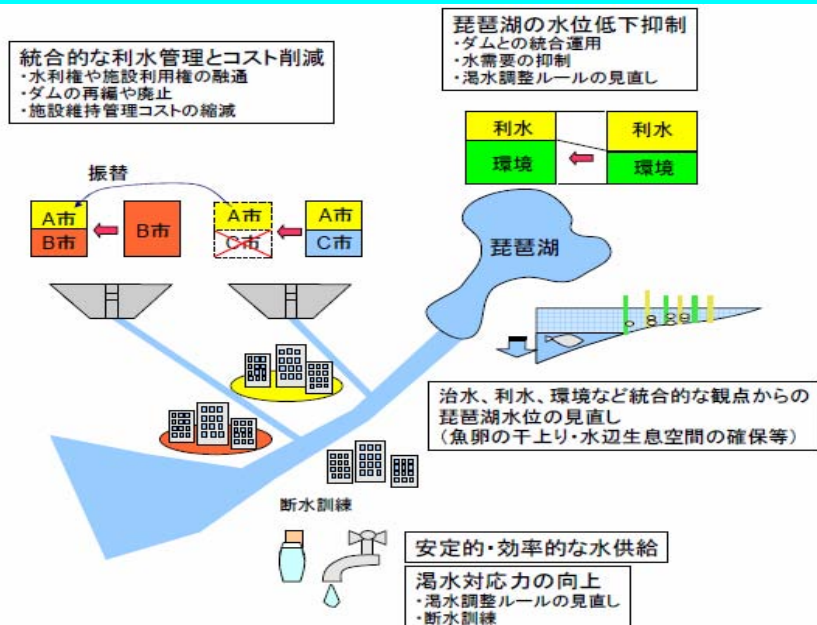
- ・流域全体で水害リスクを分担し、施設の整備・管理
- ・氾濫も想定し水害の際の被害を少なくするまちづくりとふだんから水を意識でき、美しい水辺景観を活かすまちづくりを一体的に推進 等



## 取組例(2)

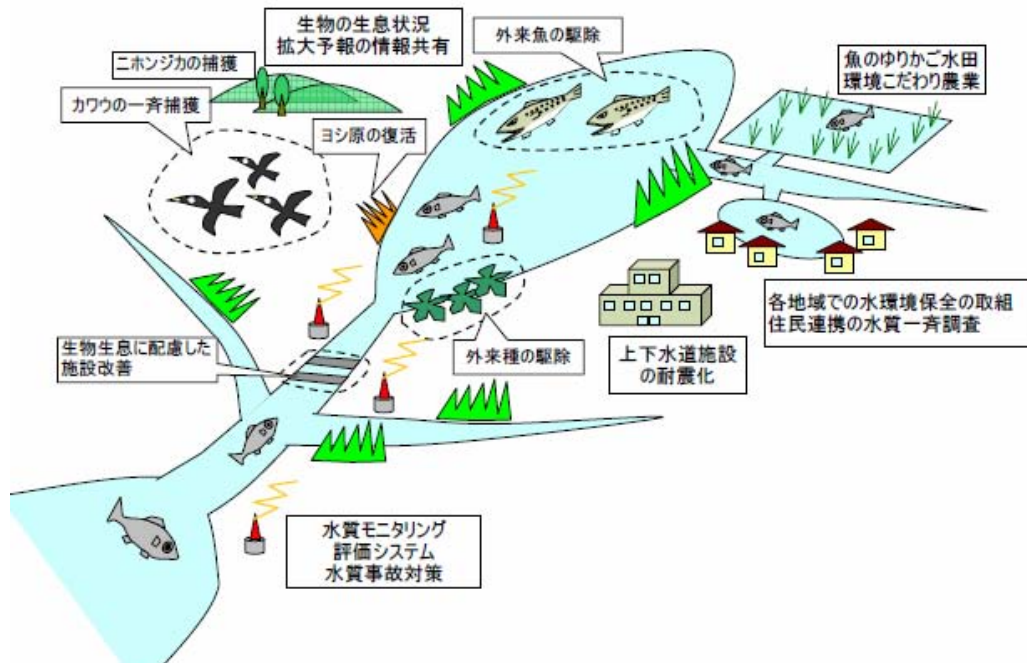
### ●人と生態系のための水資源と施設の効率的な管理

- ・安定的利水と琵琶湖や河川の生態系保全のバランスを図り、既存水資源開発施設の統合的運用による利水管理
- ・琵琶湖の水位操作について、これまでの成果と課題を共通認識、治水・利水・環境や上下流のニーズ、リスク分担などを統合的な観点から見直し、ダム等との統合運用を含め水位操作見直し
- ・水資源開発施設の再編や相互利用の検討 等



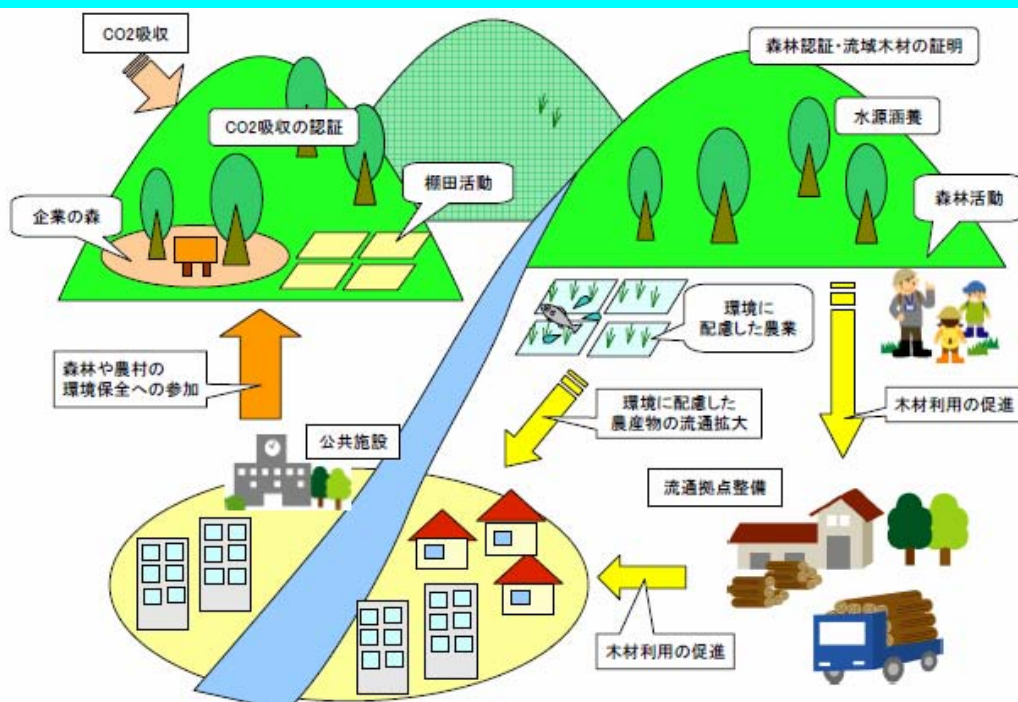
### ●水環境の改善とリスクの管理

- 琵琶湖から大阪湾までを一体的に捉え、わかりやすい指標の設定、生態系や景観含む水環境の改善
- 水質リスクに対応し府県連携による効率的モニタリング、評価
- 地震などの災害や流域レベルの水質事故に備えた対策

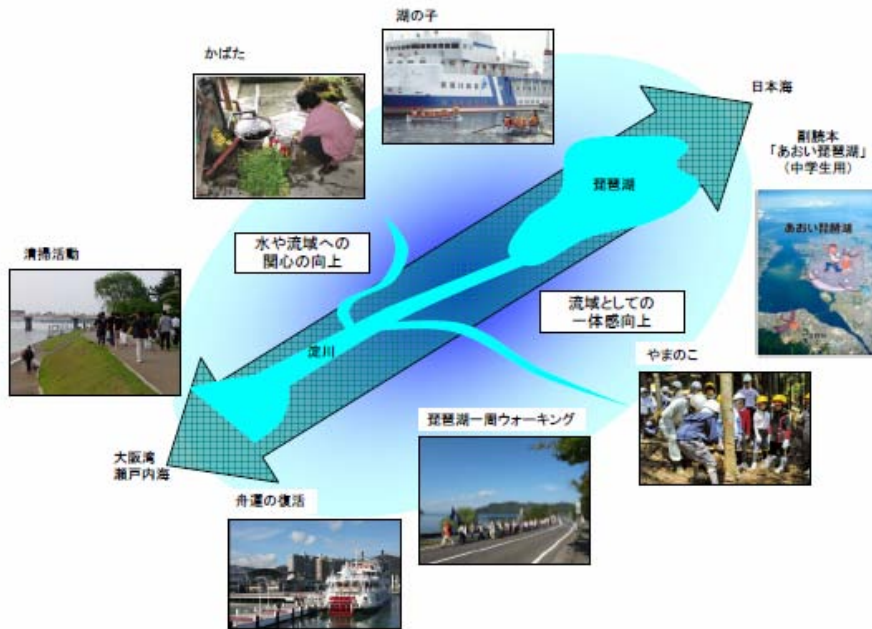


### ●森林や農地の保全と活用

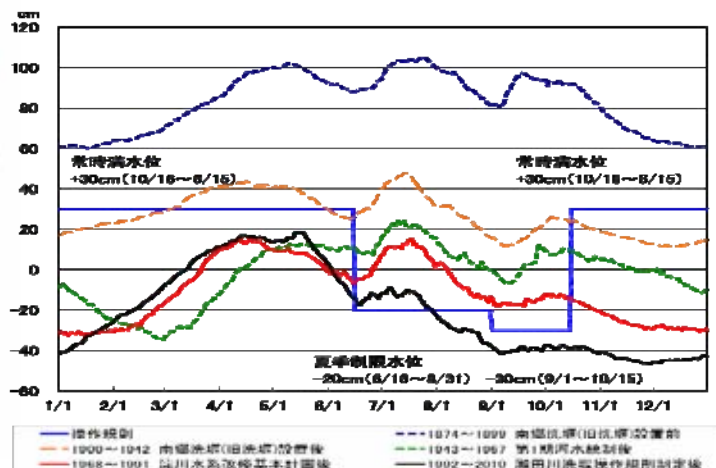
- 流域内での木材の流通促進、環境に配慮した農業の推進と農産物の流通拡大
- 森林の維持管理、企業の森、棚田保全等への参加促進、森林税の流域レベルでの拡充検討



- 水と流域への意識の向上とつながりの促進
  - ・ 情報ネットワークシステムの構築
  - ・ 水辺水面の利用促進、流域をつなぐ舟運や陸路の整備
  - ・ サイクリングロード等の整備、エコツアーなどのイベント、「琵琶湖淀川の日」の設定
  - ・ 流域全体で「うみのこ」、「やまのこ」のような体験学習、環境学習冊子の作成 等



# 琵琶湖の水位操作



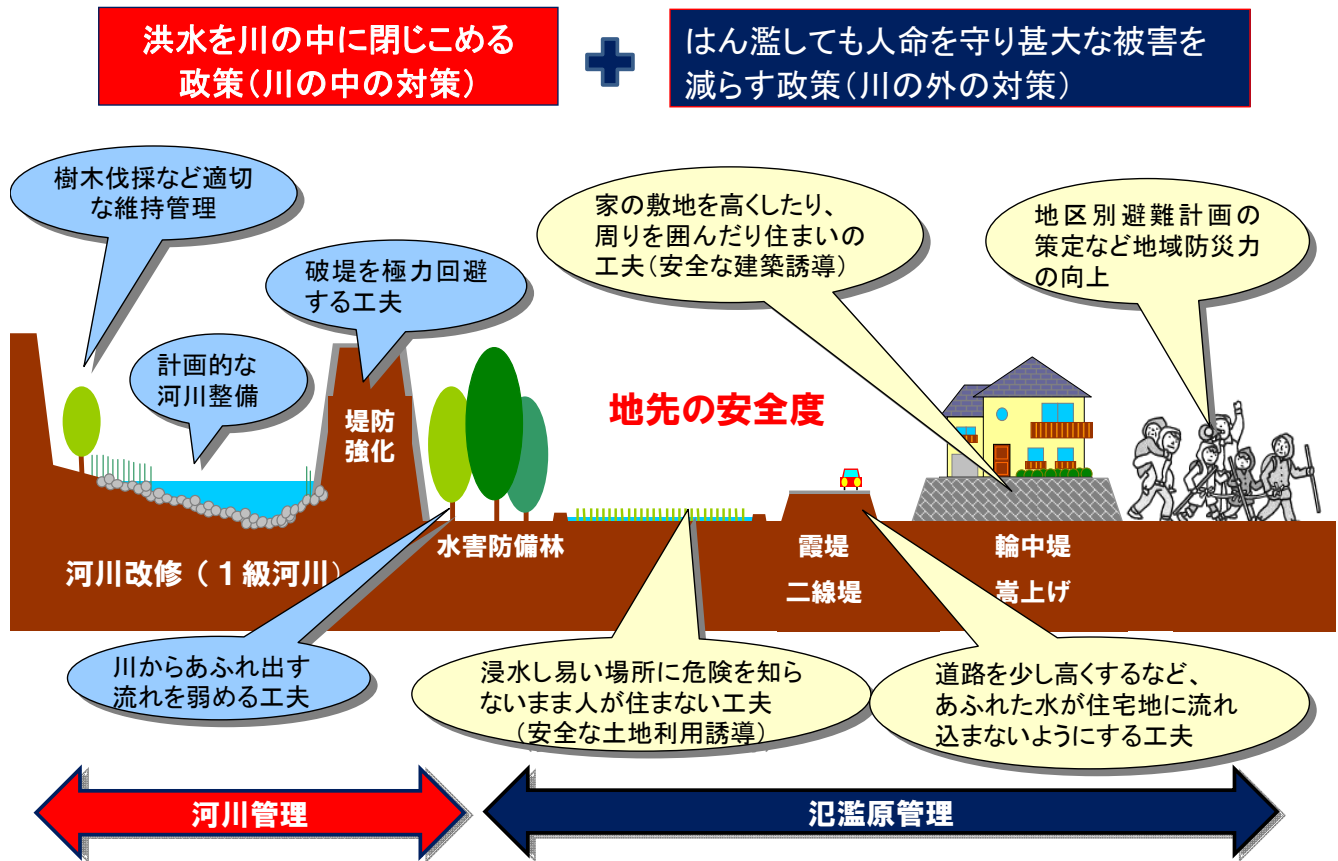
瀬田川洗堰



干出したホンモロコの卵  
(出典: 滋賀県資料)



# 滋賀の流域治水政策の概念図 河川管理と氾濫原管理



## ～琵琶湖淀川のこれからの流域管理に向けて～ 目次

1. 琵琶湖淀川流域の概要
2. 琵琶湖の流域管理の経過と現状
3. 琵琶湖淀川流域の現在の課題
4. 琵琶湖淀川流域における統合的流域管理の取組
5. 琵琶湖淀川流域の未来に向けて
6. **世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加**

## 世界湖沼会議及び世界水フォーラムへの参加

各会議の発表の場において、本県から琵琶湖淀川の統合的流域管理、マザーレイク21計画について報告した。

### 第14回世界湖沼会議

- アメリカ合衆国テキサス州 オースティン市
- 2011年10月31日（月）～11月4日（金）
- 30数カ国から延べ500名程度が参加
- 1984年に滋賀県が提唱して開催して以来、2年毎に世界各地で開催（2001年第9回も滋賀県で開催）



### 第6回世界水フォーラム

- フランス共和国マルセイユ市
- 2012年3月12日（月）～3月17日（土）
- 173の国・地域から延べ20,000人が参加
- 1997年から3年毎に開催（第3回は2003年3月に琵琶湖淀川流域で開催）



ご清聴ありがとうございました



# 【マザーレイクフォーラム推進事業】

平成24年12月20日  
滋賀県琵琶湖環境部  
琵琶湖政策課

## 〈マザーレイクフォーラムとは〉

『マザーレイクフォーラム』とは、マザーレイク21計画第2期計画において、県民・事業者など多様な主体が、情報共有と順応的管理の視点のもと、同計画の進行管理および評価・提言を行う場として位置づけられているものである。

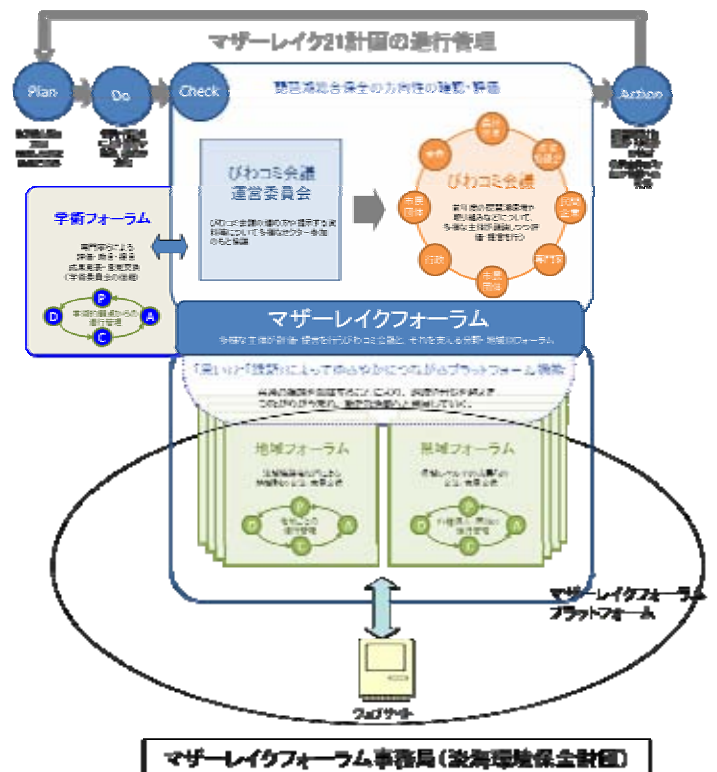
マザーレイクフォーラムは、評価・提言の場と交流の場とからなり、評価・提言の場としては、マザーレイク21計画の進行管理の一翼を担うびわコミ会議を開催する。また、交流の場としては、多様な主体が分野を超えたつながりを育み、新たな活動を展開していくためのプラットフォームを運営する。

## 〈マザーレイクフォーラム推進事業の概要〉

フォーラムでは、多様な主体が思いと課題を共有し、団体・地域・分野を超えたつながりを育むとともに、マザーレイク21計画の進行管理、評価・提言を行うための活動を実施する。

フォーラムの運営は、琵琶湖総合保全学術委員会から、行政が主体ではなくフォーラムに参加する団体・個人が主体的に担い、それを行政が支援する形で進めていくよう提言されている。

そこで、県域レベルで琵琶湖をはじめ滋賀の環境保全を図り、各団体が取り組む活動に対するサポートや普及啓発事業にも積極的に取り組んでいる（公財）淡海環境保全財団に事務局を委託し推進する。



## マザーレイクフォーラム推進事業

マザーレイクフォーラムびわコミ会議（毎年8～9月頃開催）

琵琶湖流域に関わる多様な主体が、お互いの立場や経験、意見の違いを尊重しつつ思いや課題を共有し、琵琶湖の将来のために話し合うとともに、マザーレイク21計画の進行管理の一部を担い、評価・提言を行うびわコミ会議を開催する。なお、「コミ」には、コミュニティ（地域）、コミュニケーション（対話）、コミットメント（約束）の意味が込められている。

びわコミ会議で議論するテーマの選定やプログラムの作成、評価・提言の取りまとめ等の企画・運営については、県民、NPO、農林水産業従事者、事業者、学識経験者、行政などからなる「びわコミ会議運営委員会」により、多様な主体による協働により行う。

びわコミ会議は公開のもと開催されるものであり、琵琶湖や環境保全に関心のある者は自由に会議に参加することができ、発言の機会も与えられる。

## マザーレイクフォーラムプラットフォーム

環境活動に取り組むNPO等への聞き取りから、それぞれの活動を広く伝えるとともに他の団体の情報を知ることができる機会を望む声が多い。そこで、環境保全にかかわる多様な主体が集い、交流し、情報の共有を図ることで分野を超えたつながりが生まれ、新たな活動へと発展していくプラットフォームとして、マザーレイクフォーラムプラットフォームとしてのウェブサイトの運営、管理を行う。

ウェブサイトの企画構成および情報更新や参加者登録など運営・管理については、マザーレイクフォーラムの事務局である（公財）淡海環境保全財団が実施する。

## 〈 県として参画する必要性 〉

フォーラムの運営は、フォーラムに参加する団体・個人が主体的に担い、それを行政が支援する形で進めていくため、行政も、運営委員会を構成する一員としての役割を果たす必要があり参画している。

また、フォーラムのベースとなっているマザーレイク21計画（第2期改訂版）は、平成23年9月議会で議決された県の計画であり、同計画の進行管理および評価・提言を行う場としてマザーレイクフォーラムは位置づけられており、びわコミ会議はその一翼を担っている。

同計画の進行管理を県民等の多様な主体との協働により進めていくために、年に1度びわコミ会議を開催することは必要不可欠であり、また、他の地域フォーラムやNPO等の活動団体と協働してマザーレイク21計画の目標を達成していくためにも、様々な主体の交流や情報交換を図るプラットフォームの運営は必要である。

## 〈 得ようとする成果、目標 〉

マザーレイク21計画は、琵琶湖と人との共生を基本理念に、「活力ある営みのなかで、琵琶湖と人とが共生する姿」を2050年頃の琵琶湖のあるべき姿として標榜している。第2期計画期間の2020年までに、「琵琶湖流域生態系の保全・再生」と「暮らしと湖の関わりの再生」の2本柱の再生を目指し、琵琶湖の総合保全を県民・事業者の主体的な取組と行政施策の両輪で推進していく。多様な主体の参画による「マザーレイクフォーラム」の推進は、県民や各種団体・事業者などの主体が、自発的・意欲的に活動できる仕組みとなるものであり、計画の目標達成に向けての様々な「つながり」を形成していく上で極めて重要なものである。

## 〈 過年度の事業実績 〉

平成23年度

『マザーレイクフォーラム』の設立および第1回円卓会議の開催

平成23年9月議会においてマザーレイク21計画（第2期改定版）の議決を受け、平成24年3月25日に設立記念フォーラムと第1回円卓会議を開催した。

テーマ「ふなずしは生き残れるか？ ～考えよう！あなたの暮らしとびわ湖の未来～」により3つの分科会に分かれてグループ討論を行い、旗上げやフリップへの記入など、来場者全員参加型の議論を行った。

最後に全体討論を行い、「ふなずしが生き残るために必要な取組み」としてTOP5を選定した。

平成24年度

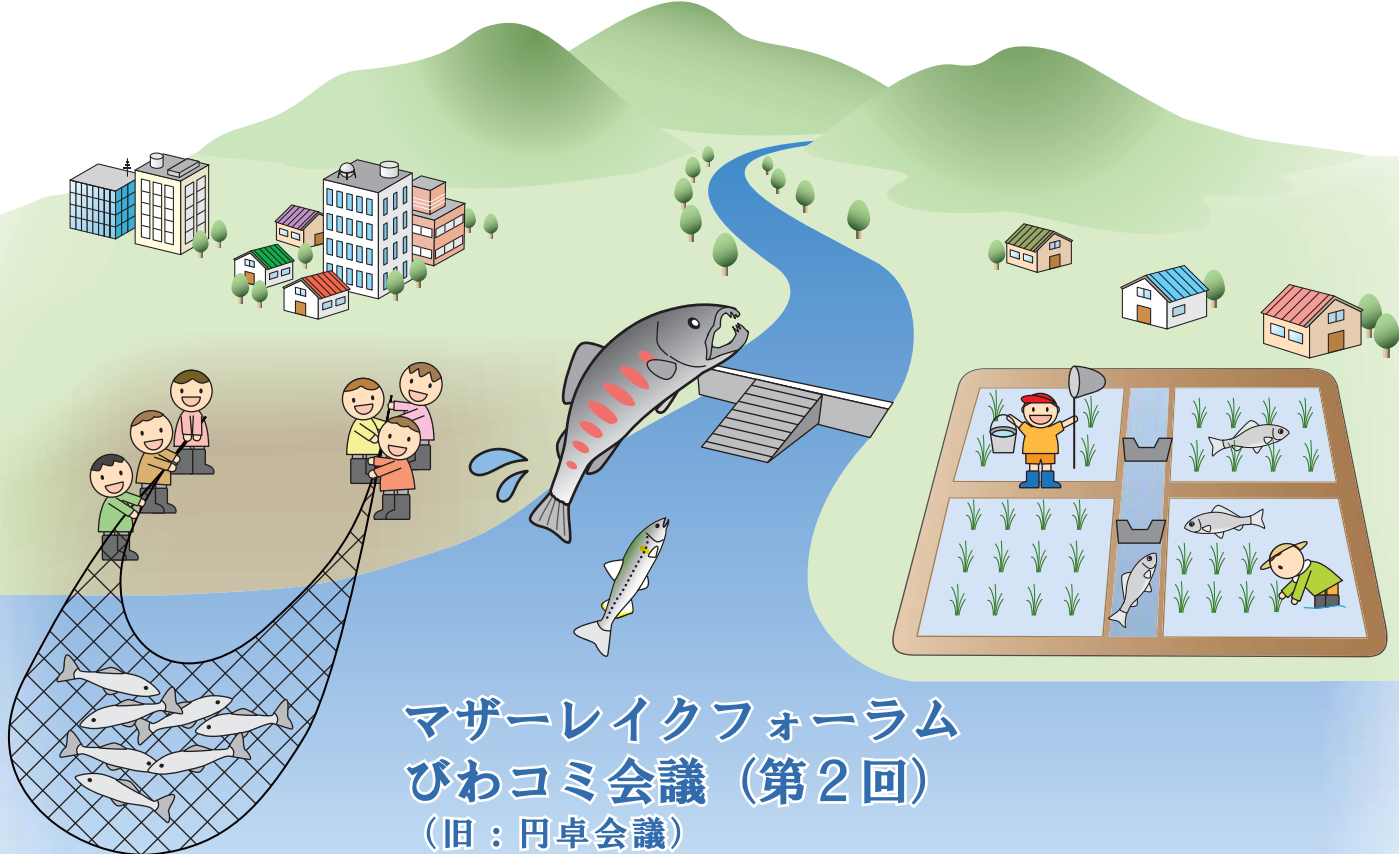
「マザーレイクフォーラムびわコミ会議」の開催とプラットフォームの整備

第1回円卓会議で選定されたTOP5の中で、「ヨシ帯・内湖・水田の物理的なつながりの復元」という項目があり、それについてさらに掘り下げ議論していく方向で第2回会議を開催した。

会議名を「びわコミ会議」へと改称し、テーマを「さかなの旅、ふたたび～取り戻そう、山・里・湖のつながり～」と設定し、マザーレイク21計画の評価会議と、ワークショップを全員参加型により行った。琵琶湖から川の上流までのつながりをアユ班、琵琶湖から水田・内湖までのつながりをフナ班、山・里・湖のつながりを取り戻す交流・学習についてをメダカ班と、分科会にそれぞれ象徴的なさかなの名前をつけ、さかなたちの視点から山・里・琵琶湖のつながりについて考えるワークショップを行った。

参加者は、主催者側からの提供資料や現状の説明、パネリストや他の参加者からの意見などを受けて、最後には、自分や所属する団体など、自らも琵琶湖を守っていく主体であることを自覚のもと、個人や所属する組織で自ら何ができるかについて考え、コミットメントという形で、「琵琶湖を守る私の誓い」として、自分自身等への約束をもらった。





マザーレイクフォーラム  
 びわコミ会議 (第2回)  
 (旧: 円卓会議)

# さかなの旅、ふたたび

## ～取り戻そう、山・里・湖のつながり～

とき 2012年9月16日 (日)

《第1部》 10時30分～12時  
 《第2部》 13時～16時30分

詳しくは、裏面を御覧ください

参加費無料  
 先着220名

会場 コラボしが21 3階大会議室・中会議室

### 第1部 マザーレイク21計画の評価会議

琵琶湖の「いま」をさかなの目線で評価しよう！

琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク21計画）は、琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継ぐための指針で、昨年の10月に第2期改定版が策定されました。

計画に掲げられた目標がどこまで達成されているのか、今回は特に「魚のにぎわい」に着目しながら、専門家や漁師、行政など様々な立場の人を交え、みんなで考えましょう。

#### 琵琶湖やその流域の保全活動 ブース展示

10:00～16:30まで、NPO等の団体ブースを展示しています。お昼休み等を利用してご覧ください。

### 第2部 ワークショップ

みんなで「つながり」を取り戻そう！

昔から、琵琶湖に住むさかなたちは、河川や水路を行き来し、川や田んぼ、内湖で卵を産み育てていました。しかしここ数十年、洪水への備えや農業の生産・作業効率の向上などのために様々な整備や開発が行われ、私たちは安全で豊かな生活を手に入れましたが、さかなたちは多くの障壁のために、田んぼや川にさかのぼることが難しくなっています。

「つながり」を取り戻す活動も各地で進められていますが、まだ十分とは言えません。今回のワークショップでは、なぜ「つながり」を取り戻すことが難しいのか、協力して課題を乗り越えるために何をしていけばよいのかをみんなで話し合っていきたいと思います。



ナビゲーター  
川本 勇



嘉田知事も参加！

氏名	フリガナ
所属	
連絡先	(電話) — —
	(e-mail) @
住所 (市町まで)	市・町
参加する部分 ※いずれかに○	第一部のみ(午前のみ) ・ 第二部のみ(午後のみ) ・ 両方(全日)

※記入された個人情報、マザーレイクフォーラムに関する業務のみで使用し、それ以外の目的では使用しません。

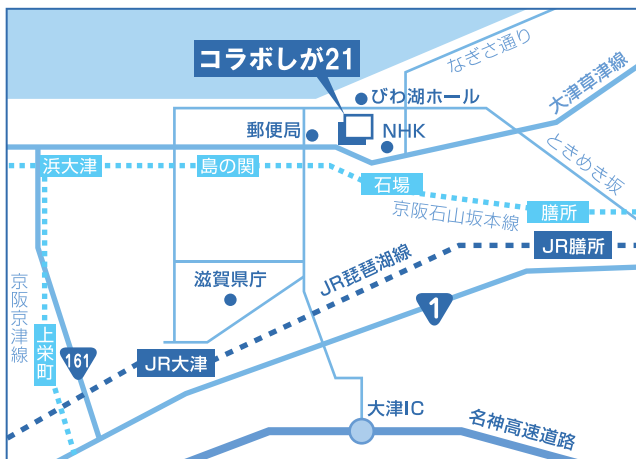
## ●お申し込み方法

上記参加申込書の内容をご記入の上、9月12日(水)までに、FAX、E-MAIL、電話のいずれかの方法でお申し込みください。複数でのお申し込みの場合は、それぞれの方の内容がわかるようにして別紙等(様式任意)でお申し込みください。

### 事務局

(公財) 淡海環境保全財団 川端  
〒520-0807 大津市松本 1-2  
TEL : 077-524-7168 FAX : 077-524-7178  
E-MAIL : mlf@ohmi.or.jp

## ●会場案内



## コラボしが 21

滋賀県大津市打出浜2番1号 インフォメーションセンター  
TEL 077-511-1400

【交通】公共交通機関をご利用ください。

※JR 琵琶湖線 (JR 東海道本線) 「大津」駅よりバス約7分、  
または徒歩約20分

※JR 琵琶湖線 (JR 東海道本線) 「膳所」駅より徒歩約15分

※京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分

※会場駐車場は使用できません。お車で越越しの場合は、市営  
駐車場(有料)へ駐車してください

【昼食】昼食は弁当等を各自でご持参いただくか、周辺のレストラ  
ン等をご利用ください。会場にての販売はありません。

## ブース等の出展団体を 募集しています!

琵琶湖やその流域を保全する活動をされている皆  
さま、ブース等を出されませんか?

活動内容をブース出展やポスター掲示で発表を希  
望される団体は、2012年8月24日(金)まで  
に事務局までご連絡ください。

追って、出展についての詳細を別途連絡させてい  
ただきます。(25団体程度:先着順)

びわコミ会議の“コミ”には、  
コミュニティ(地域)  
コミュニケーション(対話)  
コミットメント(約束)  
の意味が込められているんだよ。  
みんな、「びわコミ会議」に参加し、  
びわ湖について考えよう。



# マザーレイク21計画(琵琶湖総合保全整備計画)の改定

～思いをつなぎ、命をつなぐ。母なる湖のもとに～



○滋賀県では、琵琶湖を21世紀の湖沼水質保全のモデルとするために、2000年3月にマザーレイク21計画(琵琶湖総合保全整備計画)を策定して、「水質保全」「水源かん養」「自然的環境・景観保全」の幅広い取り組みを進めてきました。

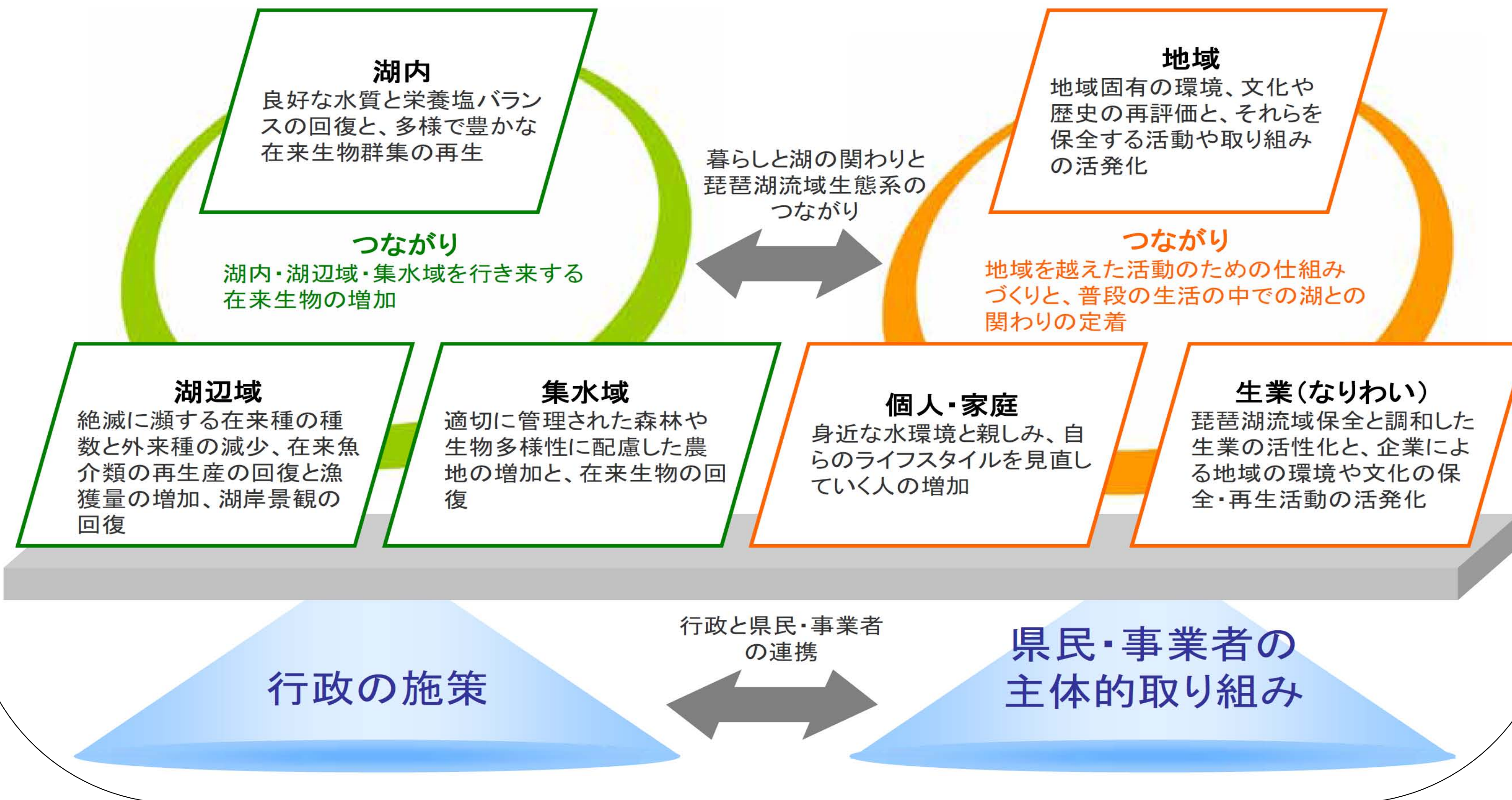
○計画の策定から11年が経過し、**第2期計画期間(2011～2020)**を迎えるに当たって、今回初めての**計画改定**を行いました。

## 第2期の新たな取り組みの方向性

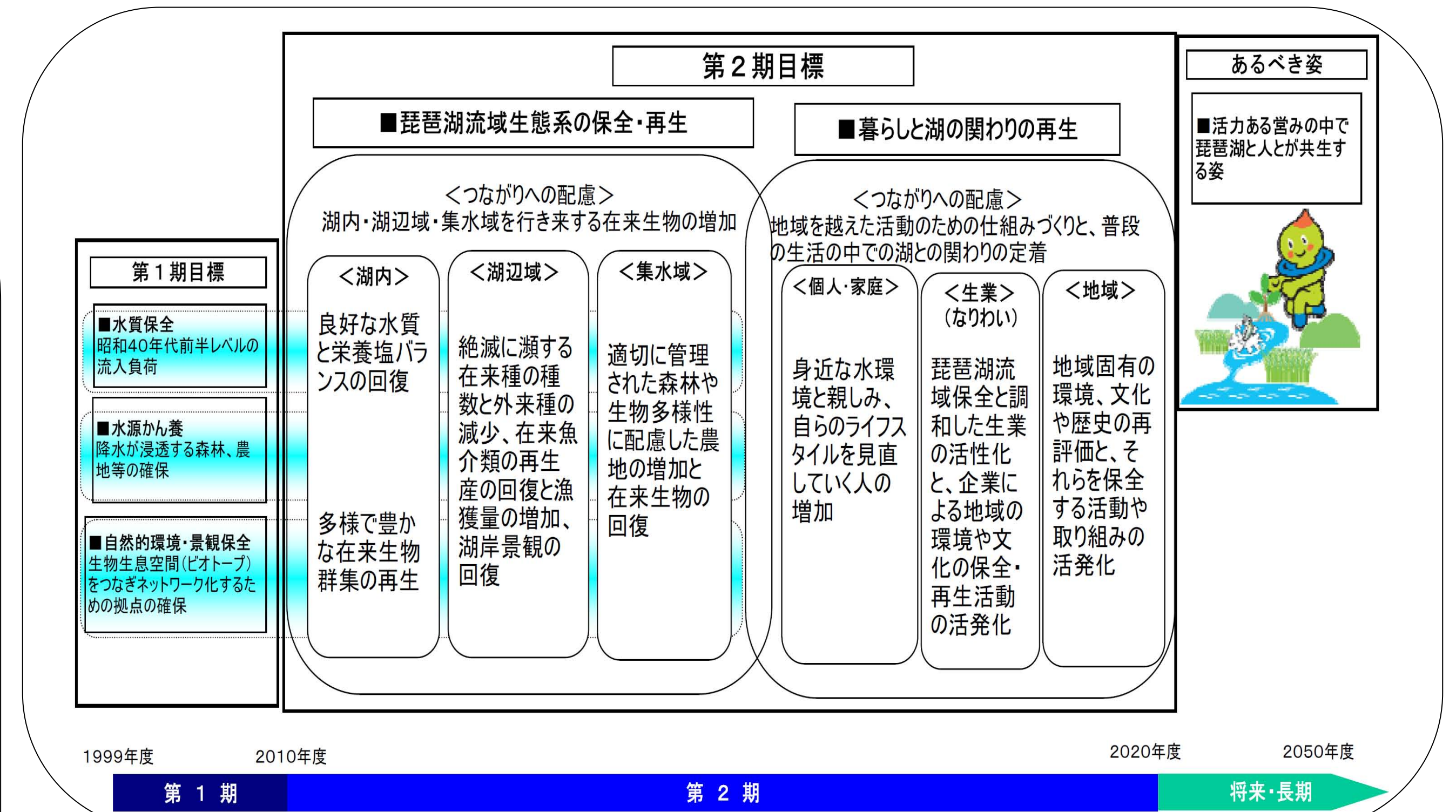
### 琵琶湖流域の総合保全

#### 琵琶湖流域生態系の保全・再生

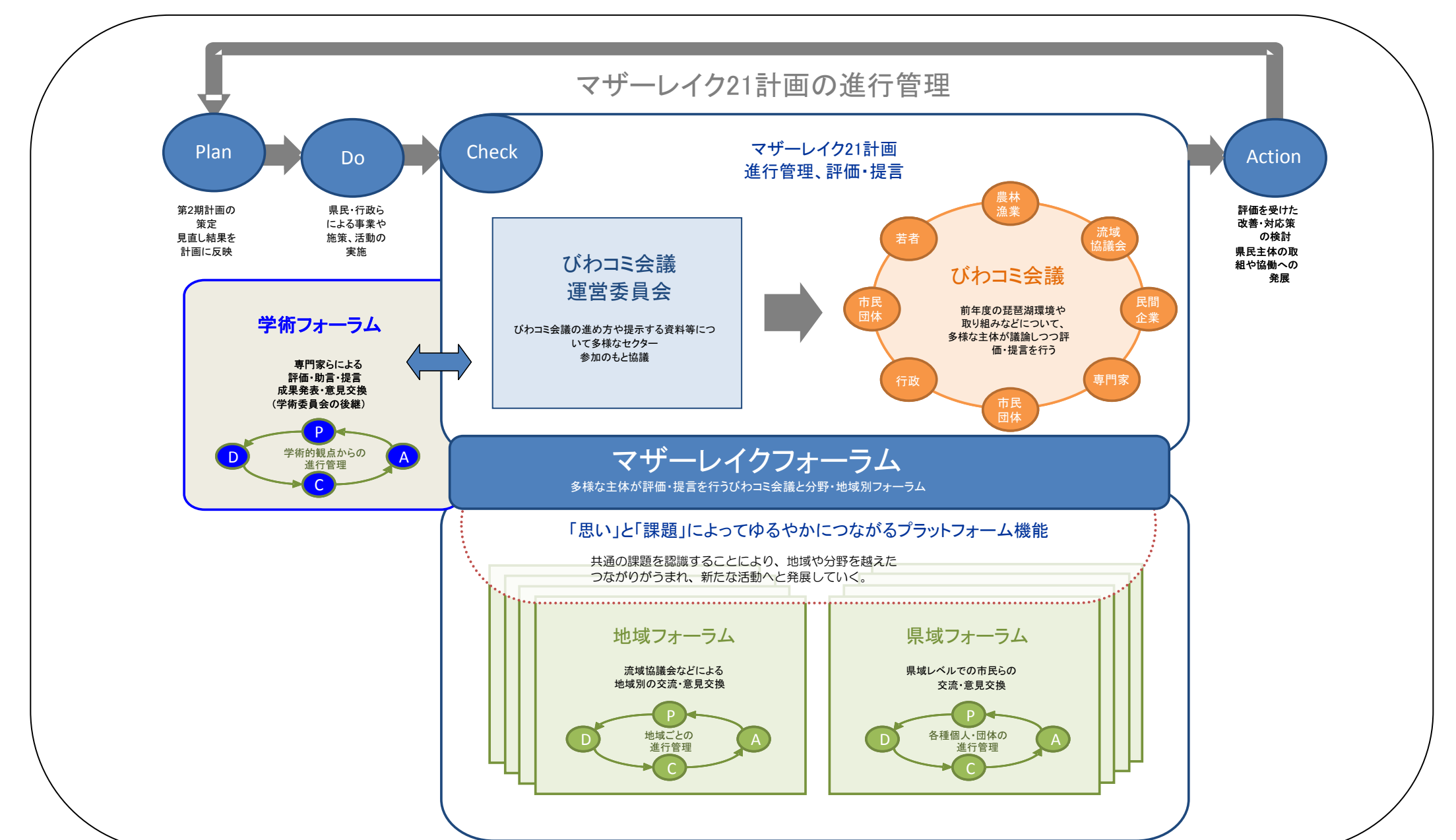
#### 暮らしと湖の関わりの再生



○琵琶湖総合保全学術委員会による第1期(1999～2010)の評価をもとに、滋賀県環境審議会での検討の結果、第2期(2011～2020)では、「琵琶湖流域生態系の保全・再生」と「暮らしと湖の関わりの再生」を2本の柱に据えました。



○二つの柱の「場」と「つながり」ごとに目標を設定し、多くの県民やNPOのみなさんなどが参加する「マザーレイクフォーラム」で計画の進行管理を行います。



【担当】滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課